

| | |
|---|----|
| 2025年冬鳥一斉カウント結果 | 2 |
| 野鳥の動向に関するトピックス（2024年7月～12月） | 4 |
| 野鳥の集団ねぐら調査結果（2024年1月～12月） | 6 |
| 2024年多摩大橋下流・ツバメ集団ねぐら観察結果 | 9 |
| 2024年「我が家の庭にきた野鳥」調査結果 | 12 |
| カワセミ会ジュニアクラブだより | 15 |
| 揺籃社出版即売会の結果概要 | 18 |
| 会報「かわせみ」73号配布会・勉強会 | 18 |
| ●カルガモ雛の「食べることは生きること」の厳しさ マイフィールド観察記（岡本 昭男） | |
| | 19 |
| ●川上さん 天国からもお声をかけて下さい | 20 |
| ● ^{ばいかじ} 南風に吹かれて 第8話（宮島 仁） | 22 |
| ●タイランド鳥だより（2）タイ国内の3つの国立公園と見られる野鳥 （宮越 俊一） | 23 |
| ●宇津貫（うつぬき）みどりの会の野鳥カウント（吉原 邦男） | 26 |
| ●川口川におけるカイツブリの子育てと繁殖環境（米沢 純爾） | 28 |
| ●表紙の野鳥‘キジ’について | 30 |
| 外部機関が主催する探鳥会の支援記録（2024年7月～12月） | 32 |
| 探鳥の記録（2024年7月～12月） | 33 |
| 地元発見探鳥会の記録（2024年7月～12月） | 45 |
| 鳥信（主として2024年7月～12月） | 47 |
| 2024年 タカの渡り調査結果 | 62 |
| 2024年 浅川流域イワツバメ営巣調査 | 69 |
| 2024年定期カウント報告 | 72 |
| 2024年 片倉城跡巣箱設置調査報告 | 93 |

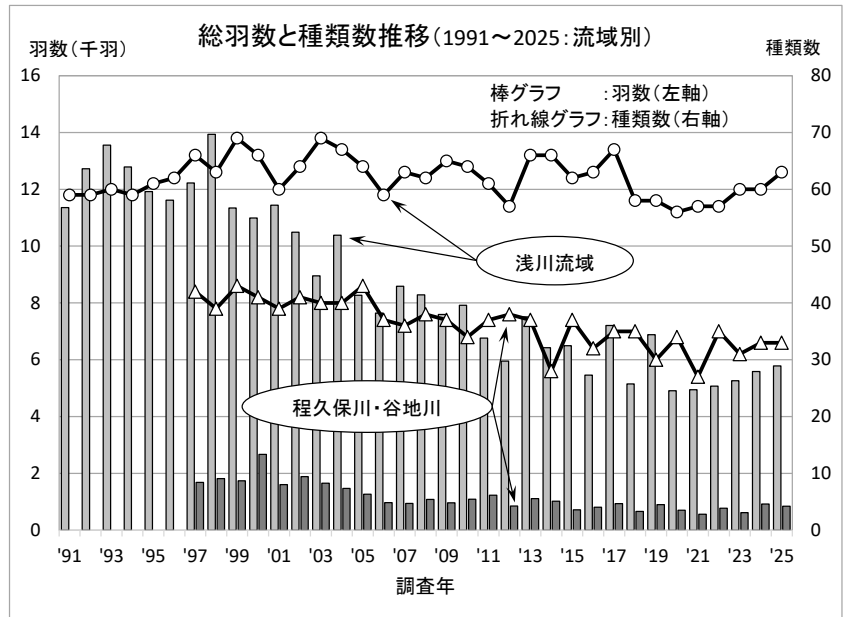
「八王子・日野カワセミ会」は浅川流域の野鳥を観察する市民グループです

2025年冬鳥一斉カウント結果

まとめ： 佐藤 哲郎

2025年の冬鳥一斉カウントは、1月12日午前8時から19区間で行われました。今回も会員各位のご協力により無事に実施することができました。

今回カウントされた総羽数は6,627羽で、昨年の6,503羽より若干多くなりました。一方、種類数も63種と昨年の62種を上回りました。流域別では、浅川流域で63種5,783羽（60種5,585羽：昨年実績以下同じ）、程久保川・谷地川で33種844羽（33種918羽）となっています。浅川流域での羽数は下げ止まりの後、やや上昇傾向が見えています。程久保川・谷地川では羽数は減少しました。



区間別の最多種類数は浅川（ふれあい橋～多摩川合流）の37種、羽数も同区間の706羽が最多となりました。参加者の合計は54名（74名）でした（会員外1名含む）。

1. 数の多い鳥

総羽数の上位3種は、①ムクドリ 940羽（②684羽）、②カワラバト（ドバト）783羽（⑤453羽）、③スズメ 750羽（①1,046羽）。上位10種の羽数計は4,887羽（4,585羽）で総羽数に対する比率は73.7%（70.5%）。昨年より羽数・比率とも増加しました。

調査した19区間全てで観察された鳥はキジバト、カワウ、ダイサギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ハクセキレイ、アオジの8種でした。（昨年は11種）

2. サギとカモ（表は次頁）

サギ3種（アオサギ、ダイサギ、コサギ）は、計226羽（373羽）と昨年より減少しました。これはダイサギが105羽（263羽）と大幅に減少したことが影響しています。コサギは昨年より増え、55羽7区間（40羽4区間）となりました。

カモ類は6種631羽（6種785羽）が観察され、そのうち冬鳥のカモは5種265羽（5種333羽）でした。浅川流域のコガモは合計196羽（239羽）と昨年より減少しました。これは1993年に同流域で記録した1,944羽のわずか10.1%に過ぎません。程

区間毎の総羽数・種類数 注：（）内は昨年

| 区 間 | | 総羽数 | 種類数 |
|------------|-------------|---------------|---------|
| 北浅川 | 松竹公園 陵北大橋 | 284 (380) | 30 (30) |
| | 陵北大橋 松枝橋 | 245 (297) | 33 (37) |
| 浅川 (上流) | 松枝橋 鶴巻橋 | 656 (318) | 33 (34) |
| | 鶴巻橋 大和田橋 | 417 (422) | 31 (34) |
| | 大和田橋 長沼橋 | 208 (311) | 31 (33) |
| 浅川 (下流) | 長沼橋 一番橋 | 494 (359) | 30 (29) |
| | 一番橋 ふれあい橋 | 397 (523) | 33 (37) |
| | ふれあい橋 多摩川合流 | 706 (443) | 37 (35) |
| 川口川 | 川口橋 明治橋 | 314 (230) | 27 (34) |
| | 明治橋 浅川合流 | 257 (271) | 26 (28) |
| 南浅川 | 案内橋 敷島橋 | 89 (126) | 21 (20) |
| | 敷島橋 浅川合流 | 445 (481) | 25 (29) |
| 城山川 | 月夜峯新橋 浅川合流 | 288 (307) | 27 (24) |
| 山田川 | 山田橋 浅川合流 | 260 (297) | 24 (26) |
| 湯殿川 | 白旗橋 時田大橋 | 258 (395) | 28 (29) |
| | 時田大橋 浅川合流 | 465 (425) | 29 (31) |
| 程久保川 | 小宮橋 浅川合流 | 214 (333) | 21 (23) |
| 谷地川 | 月見橋 左入橋 | 220 (121) | 24 (22) |
| | 左入橋 多摩川合流 | 410 (464) | 31 (29) |
| 合計 | | 6,627 (6,503) | 63 (62) |

久保川・谷地川のコガモは 39 羽 (61 羽) でした。

その他のカモ類はオカヨシガモ 2 羽 (0 羽)、ヨシガモ 6 羽 (5 羽)、ヒドリガモ 3 羽 (1 羽)、マガモ 19 羽 (26 羽)。オナガガモは今年もゼロでした。留鳥のカルガモは 366 羽 (452 羽) でした。

3. 昨年との比較

昨年ゼロで今年観察された鳥はオカヨシガモ、ヒメアマツバメ、ヒクイナ、ツミ、オオタカ (但し昨年不明鳥オオタカ? 2 羽あり)、アオゲラ、クロジの 7 種でした。昨年観察されて今年ゼロだった鳥はハシビロガモ、セッカ、ピンズイ、オオジュリンの 4 種でした。

4. その他の鳥

イソヒヨドリは、冬鳥カウントでは 2008 年に初めて観察されています。今年では 5 区間で 8 羽 (1 羽 1 区間) が観察されました。

カワセミは 18 区間 (18 区間) で観察され、総羽数は 69 羽 (80 羽) と、羽数は昨年より減少しました。

タカ・ハヤブサの仲間は、ツミ 1 羽 (0 羽)、ハイタカ 1 羽 (1 羽)、オオタカ 1 羽 (不明鳥オオタカ? 2 羽あり)、トビ 16 羽 (22 羽)、ノスリ 2 羽 (3 羽)、チヨウゲンボウ 1 羽 (3 羽) でした。

モズは 47 羽 (55 羽)、ジョウビタキは 76 羽 (62 羽) で、♂♀の比率はモズが 59:41 (67:33)、ジョウビタキが 66:34 (53:47) と、何れも♂が多い結果となりました (♂♀不明は母数に算入せず)。

5. ツグミの観察数は 35 年間で最少

その他の冬鳥は、クイナ 3 羽 (7 羽)、ツグミ 35 羽 (209 羽)、ベニマシコ 2 羽 (1 羽)、シメ 5 羽 (14 羽)、カシラダカ 53 羽 (104 羽)、アオジ 139 羽 (167 羽) などが観察されました。

ツグミの観察数はわずか 35 羽で、これは 1991 年以来 35 年間で最少の観察数 (最多は 2003 年の 451 羽) でした。「今シーズンはツグミがない」と言われていましたが、データの的にも裏付けられました。他の冬鳥も上記のとおり概ね昨年より減少しています。来年以降の観察数推移が注目されます。

サギ類 3 種の経年変化 (上段: 確認された区間数/下段: 羽数)

| 鳥名\年次 | '18 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | '24 | '25 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| アオサギ | 16 | 18 | 15 | 16 | 18 | 18 | 19 | 18 |
| | 36 | 77 | 42 | 51 | 47 | 70 | 70 | 66 |
| ダイサギ | 16 | 18 | 16 | 16 | 15 | 19 | 19 | 19 |
| | 69 | 104 | 56 | 124 | 250 | 223 | 263 | 105 |
| コサギ | 5 | 3 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 | 7 |
| | 8 | 5 | 9 | 2 | 1 | 10 | 40 | 55 |

カモ類 5 種の経年変化 (上段: 確認された区間数/下段: 羽数)

| 鳥名\年次 | '18 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | '24 | '25 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| マガモ | 2 | 5 | 4 | 5 | 6 | 7 | 7 | 6 |
| | 4 | 30 | 7 | 16 | 34 | 34 | 26 | 19 |
| カルガモ | 15 | 15 | 15 | 14 | 16 | 14 | 15 | 16 |
| | 325 | 297 | 343 | 273 | 354 | 384 | 452 | 366 |
| オナガガモ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| コガモ | 15 | 15 | 14 | 11 | 14 | 13 | 13 | 12 |
| | 468 | 407 | 271 | 283 | 409 | 367 | 300 | 235 |
| ヒドリガモ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 4 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 |

2025年冬鳥一斉カウント参加者 計 54 名 (○印は担当者)

| 区 間 | | 調 査 参 加 者 | |
|---------|-------|-----------|--------------------------------|
| 北浅川 | 松竹 | 陵北大橋 | ○井上京子、白川史子、丸山二三夫 |
| | 陵北大橋 | 松枝橋 | ○中村后子、河村洋子 |
| 浅川 (上流) | 松枝橋 | 鶴巻橋 | ○下野彰夫、村田靖雄 |
| | 鶴巻橋 | 大和田橋 | ○木澤隆雄、増田文子、本島てるみ |
| | 大和田橋 | 長沼橋 | ○佐藤哲郎、高梨規子 |
| 浅川 (下流) | 長沼橋 | 一番橋 | ○山崎悠一、山崎久美子 |
| | 一番橋 | ふれあい橋 | ○玉木雅治、大野清司、登坂久雄 |
| | ふれあい橋 | 多摩川合流 | ○門口一雄、門口裕子、小川圭太 |
| 川口川 | 川口橋 | 明治橋 | ○対中義雄、坂本良子、氷渡トシ子、森田弘文 |
| | 明治橋 | 浅川合流 | ○古山隆 |
| 南浅川 | 案内橋 | 敷島橋 | ○加藤岸男、一場香理、大久保忠佳、横山由美子、会員外 1 名 |
| | 敷島橋 | 浅川合流 | ○門倉美登利、木野孔司 |
| 城山川 | 月夜峯新橋 | 浅川合流 | ○中山尊人、中山千晶、千葉慎子 |
| 山田川 | 山田橋 | 浅川合流 | ○浜野建男、浜野知恵子 |
| 湯殿川 | 白旗橋 | 時田大橋 | ○粕谷和夫、市村緑、植木裕子、佐藤恒子、浪川百合、畠山忠男 |
| | 時田大橋 | 浅川合流 | ○岡田浩郎、高橋靖乃、玉手道雄、玉手しのぶ |
| 程久保川 | 小宮橋 | 浅川合流 | ○菅野桂子、石橋公子、武藤邦子 |
| 谷地川 | 月見橋 | 左入橋 | ○浅野恵美子、浅野幸男 |
| | 左入橋 | 多摩川合流 | ○中村啓二、中村美弥子 |

野鳥の動向に関するトピックス（2024年7月～12月）

まとめ： 粕谷 和夫

（以下、各セクションの先頭の数字は鳥番号で、日本鳥類目録改訂第7版（日本鳥学会2012）で使用されている番号）

- 4 ヤマドリ 5/9 声 小仏城山頂上手前 小仏方面からの登山道合流付近でホロウチ。
- 24 オシドリ
8/2 1羽 北浅川・陵北大橋下流付近 沈下橋から上流に進んでいた。
10/7 8羽（雄5羽、雌3羽） 長池公園・長池
10/15 5羽（雄4羽、雌1羽） 長池公園
11/16 20羽± 館ヶ丘団地近くの調整池 次々と暗い茂みの中から雄と雌が鳴きながら出て来た。
11/19 2羽（雄2羽） 浅川・平山用水取水堰 堰の溜まりを隈なくチェックしたがメスの姿は無かった。
12/2 2羽（雄2羽） 高月浄水場池
- 37 トモエガモ
11/29 2羽（雄2羽） 長池公園・築池 マガモと一緒に
12/24 4羽（雄4羽） 長池公園 11月はオス2羽でしたが、12月はオス4羽になっていた。
- 57 ホオジロガモ 11/24 1羽 浅川・一番橋下流 メスと思われる1羽 時々潜水もしていた。
- 58 ミコアイサ
12/2 3羽（雌3羽） 高月浄水場池
12/15 2羽（ペア） 多摩川・昭和用水堰
- 64 カンムリカイツブリ
11/10 1羽 多摩川右岸・JR多摩川橋梁より上流側 オオバンらと共に採餌
11/26 1羽 多摩川・日野用水堰 オオバン、コガモの群れに交じっていた。
- 78 アオバト
9/6 声 小仏城山～もみじ台の間
9/16 8羽 松竹公園西・タカの渡り調査地
12/8 3羽 駒木野公園上流側山道(小仏川) うち1羽は雨覆いが紫色のオスだった。
- 137 ミソゴイ 9/15 1羽 滝ノ沢林道 沢沿いの道路脇より飛び立つ。
- 141 ササゴイ 9/6 1羽 浅川右岸の岸边・新浅川橋下流 100mほど 岸边にいた 幼鳥のように見えた。
- 166 クイナ
11/8 1羽 浅川・浅川大橋下流 草むらから出たり入ったりしていた。
11/28 1羽 北浅川・元木橋下流側 草むらから出てきたが、直ぐに草むらに姿を隠す。
12/19 1羽 大栗川左岸・新川橋～常盤橋の中程 護岸の水際を上流側へ歩き、草むらに入った。
- 170 ヒクイナ
9/23 1羽 湯殿川・殿田橋上流 護岸上部の草叢 アツという間にコンクリート擁壁を駆け下りて水際の茂みに隠れた。本会認定委員に検討を



<ヒクイナ幼鳥>

依頼し、ヒクイナ幼鳥と同定された。

10/1 2羽(雌1羽、幼鳥1羽) 湯殿川左岸、釜土橋下流 少し待っていると草陰から出てきて移動しながら採餌している雌を見ることができた。幼鳥は既に草陰に入ったままで見られなかったが知人並びに近くで撮影していた人の画像で確認できた。

235 アオアシシギ 10/19 1羽 浅川・ふれあい橋上流側 腹部と飛んだ時の背中、腰、尾羽の白さが目立っていました。

299 セグロカモメ 11/28 1羽 浅川・平山橋下流 浅瀬の中でじっと流れを見ていた。

351 ハイイロチュウヒ 12/29 1羽 多摩川・JR 鉄橋上流付近 腰の白さや風切り羽の横斑、顔つき等からハイイロチュウヒで雌雄や年齢は判別不明と認定された。翌日も近くの会員の方などに数回観察された。



372 フクロウ

12/2 1羽 多摩川・滝山下左岸 河川林 上流側より飛んできて、木に止まる。

12/13 1羽 八王子市台町 カラスに追われ、施設建物の窓ガラスにぶつかり保護され、施設の方が東京都の鳥獣保護担当に連絡し、引き渡す。

374 アオバズク

5/30 1羽 多摩森林科学園 巣の目の前で遠くに聞こえるカラスの声に反応して首を動かしていた。

7/6 1羽 浅川・浅川橋右岸 極楽寺境内 鳴き声

7/13 2羽 日野市内 2羽の幼鳥を確認することができた。

9/2 1羽 八王子市狭間町 20時13分鳴いています。15分ほど前からです。

407 ハヤブサ 8/2 1羽 日野市栄町地先 19:10 多数のねぐら入りのツバメが集まる薄暗いところを、多摩川の上流側から下流側へ川沿いに低い高度で直線的に飛び去る。足にツバメをつかんでいる。特にツバメは騒ぎ立てたりせず静かな襲来であった。

412 サンショウクイ

8/3 1羽 北浅川・小田野中央公園 亜種区分不明

8/6 声 日影林道・キャンプ場 鳴きながら飛ぶ 亜種区分不明

9/6 声 日影林道・キャンプ場 上空を鳴きながら移動 亜種区分不明

457 ツバメ 多摩川・多摩大橋下流の河原に集団ねぐら形成、7月下旬に2万羽以上になった。

459 コシアカツバメ

10/13 200羽+ 日野市クリーンセンター付近 煙突付近や上空を100羽以上が飛び回っていて次第に数が増え約200羽以上が集結し北川原公園上空の電線にずらりと並び羽繕いなどして30分程休んだ後、半数位が思い思いに飛び立ち上空を行ったり戻ったりしながらゆっくりと南西方向へ空高く飛んで見えなくなりました。毎年今頃になるとここに多く集まって来て渡りの中継地になっているのかも知れない。

11/3 20羽± 日野市クリーンセンター付近 多摩川上空を数羽まだ飛んでいてクリーンセンターの煙突上部にも20羽程が集まって来た。煙突の上でホバリングするような行動も度々見られ煙浴ではという話もありましたが煙突からは煙が出ない構造で煙浴ではなさそうです。この日は長居せず5~6分でいなくなりました。

479 エゾムシクイ 8/24 1羽 多摩川・日野橋付近 地鳴き、姿で同定しました。

- 506 ムクドリ 秋に JR 八王子駅北口周辺に約 3500 羽、浅川左岸・ふれあい橋下流の竹藪に約 1200 羽の集団ねぐらが形成された。
- 508 コムクドリ 9/19 1 羽（雄 1 羽） 八王子市中野上町 住宅地の屋根のアンテナに止まる。
- 514 トラツグミ 7/5 声 小仏城山頂上手前
- 549 イソヒヨドリ 60 件の観察情報が鳥信に寄せられた。
- 574 ハクセキレイ 秋に JR 八王子駅北口他に 200 羽以上の集団ねぐらが形成された。
- 575 セグロセキレイ 秋に八王子市二分方小学校西側の桑畑で 50 羽以上の集団ねぐらが形成された。
- 592 ベニマシコ 以下の場所で観察された。
多摩川右岸・通称ひょうたん池付近、浅川右岸・元横山公園前、大和田排水樋管前、浅川右岸・大和田橋下流、浅川・浅川大橋下流側、多摩川・滝山下、浅川・浅川大橋下流、浅川・鶴巻橋下流
- 625 クロジ 12/8 1 羽（雄 1 羽） 高尾梅の郷まちの広場対岸(小仏川) 木の枝にとまっていた。

野鳥の集団ねぐら調査結果（2024 年 1 月～12 月）

まとめ： 粕谷 和夫

カワセミ会では毎年ツバメ、ムクドリ、セキレイの仲間等の集団ねぐらを調査している。具体的なデータは鳥信等に掲載されているので、ここではその概要を報告する。

1. ツバメ（下野彰夫、福本健、渡辺仁他調査）

2024 年は多摩川・谷地川合流部付近に集団ねぐらが形成された他、8 月中旬に一部が一時的に約 4km 上流側の昭和用水堰付近にもねぐらが形成された。本隊のねぐら位置は前年と同じように釣り堀池の北側やひょうたん池、ピーク時には対岸（左岸）側に近い中洲などに移動し、1 カ所に定まることはなかった。7 月下旬のピーク時には 2 万羽以上に増加した。

2. ムクドリ（JR 八王子駅北口駅前 対中義雄調査）

2024 年も JR 八王子駅北口駅前に集団ねぐらが形成された。主要なねぐら入り場所は北口駅前通りで甲州街道迄の並木であるが、2 月は一壱番街通りの街路樹、5 月は三崎町 5 丁目ビルに囲まれた屋敷林で、10 月に駅前通りで甲州街道迄の並木に戻った。結果は以下の通りでいずれも概数である。

| 調査日 | ねぐら入り概数 | 状況 |
|----------|----------|--|
| 2 月 28 日 | 約 2500 羽 | 北風が吹く真冬の調査になりました。16 時 30 分～18 時 10 分。晴れ 気温 11℃ 日没時間 17 時 36 分。 17:00 J:COM アンテナ及びヨドバシカメラ屋上に飛来。同時刻にドン・キホーテ屋上、八王子中町ビル屋上に飛来。 17:30 各所、500 羽以上集まる。 17:40 J:COM アンテナの個体が全てドン・キホーテ屋上に移動する。 |

| | | |
|-----------|----------|---|
| | | 17:50 ドン・キホーテ屋上及び周辺でねぐら入り完了。総数は 2500 羽。 |
| 5 月 29 日 | 約 500 羽 | 晴れ、22℃、18:30~19:30、日没 18:51 18:40 ドン・キホーテ屋上に数羽止まる、同時に仲町ビルにも飛来する。 18:55 J:COM アンテナに飛来するも直ぐ西方向に飛ぶ。 19:10 三崎町の四方をビルに囲まれた屋敷林でねぐら入りを確認しました。(500 羽±) 駅前街路樹及び紅花トチノキには入りませんでした。 |
| 10 月 11 日 | 約 3500 羽 | 16 時 00 分~18 時 00 分。気象:高曇り、南風微風、気温 23℃ 日没時間 17 時 13 分 16 時 15 分 J:COM アンテナに飛来し始める。 16 時 30 分 J:COM に 700~800 羽止まる。 16 時 45 分 止まり切れない個体が周辺のビルに止まる。 17 時 00 分 400~500 羽の複数単位で上空を旋回する。久し振りの光景に感激。3000±羽 17 時 05 分 チョウゲンボウが、オクトーレビル方面より飛来する。 17 時 10 分 ドン・キホーテ屋上アンテナにも数個体が止まる。 17 時 25 分 北口周辺の個体は西方面に順次飛び去る。 17 時 40 分 三崎町の屋敷林にてねぐら入り完了、3500 羽±としました。 |

3. ムクドリ (浅川ふれあい橋付近の河原の竹藪 小川圭太調査)

2024 年は 11 月の浅川・ふれあい橋下流の竹藪に形成された集団ねぐらを 2 回調査した。

| 調査日 | ねぐら入り概数 | 状況 |
|-----------|----------|---|
| 11 月 12 日 | 約 2200 羽 | 群れが近くの電線に一度止まり、浅川で水浴びをした後、上空を旋回し、竹藪へ入った。その後も再度飛び立ち、何度か上空を旋回するのを繰り返し、午後 4 時 48 分頃、竹藪に入ってねぐら入りした。 |
| 11 月 17 日 | 約 1200 羽 | 群れが浅川で水浴びをした後、上空を旋回し、竹藪へ入ったり上空の旋回を繰り返したのち、最終午後 4 時 45 分頃、竹藪に入ってねぐら入りした。11 月 12 日より数はやや少なかった。 |

4. ハクセキレイ (JR 八王子駅北口駅前 対中義雄調査)

JR 八王子駅北口・くまざわ書店前、サンドラック前のクスノキの集団ねぐらが 2016 年から直ぐ近くの東急スクエアビル (2020 年にオクトーレに名称変更) に移り、同ビルの窓枠のような所に 1 列にとまって、丸見えの状態でねぐらを形成するようになった。2024 年は 3 回調査した。

| 調査日 | ねぐら入り概数 | 状況(メインのビルの東急スクエアがオクトーレに名称変更有り) |
|--------|---------|---|
| 2月28日 | 341羽 | 北風が吹く真冬の調査になりました。16時30分～18時10分。 晴れ 気温11℃ 日没時間17時36分。 17:35 オクトーレビル壁面に飛来する。 徐々に窓枠に止まり始める。 18:05 チェッカーにてカウント結果341羽。昨年の2月は418羽でした。 |
| 5月29日 | 50羽 | 晴れ、22℃、18:30～19:30、日没18:51 19:05 くまざわ書店前の街路樹に数羽の鳥影を確認する。 19:15 50羽± 近年はムクドリに追いやられオクトーレビルの窓枠が定宿でしたが、久しぶり街路樹にねぐら入りしました。 因みに2023年5月は、ハクセキレイは確認できていません。梅雨の走りが感じられる陽気でしたが、新緑の緑が元気を出せとのオーラを私は感じました。 |
| 10月11日 | 221羽 | 16時00分～18時00分。気象:高曇り、南風微風、気温23℃ 日没時間17時13分 17時30分 京王プラザホテル前街路樹及び工事用足場に58羽止まる。 17時50分 オクトーレビル窓枠に163羽、京王ホテル58羽、ねぐら入り完了合計221羽としました。 |

5. ハクセキレイ (JR西八王子駅南口駅前 宇都宮信子調査)

西八王子駅南口前のメタセコイヤの木のねぐら入りは2024年には観察されなかった。

6. セグロセキレイ (八王子市三分方 下野彰夫調査)

三分方小学校の西側桑畑のセグロセキレイの集団ねぐらは2024年も形成された。3回調査した。11/4、前日の3日に北側の駐車場から状況を確認し、北側からの観察は不適と判断して南側の民家横で待機した。日の入り前に小群が東西に行き来していたが桑畑に降りるわけではなかった。16時45分の日の入り後の16時59分に22羽が桑畑上空を周回し南側東端から2番目及び3番目の民家の桑畑側の屋根及びおそらく庇に降りてその後民家に近い場所の桑の木にねぐら入りしたとみられる。屋根から降りるところは反対側なので観えず、また直接桑に突っ込む個体もいるので上空での周回、急降下時にカウントした。その後小群が6回遅れて直接桑畑に降下し、屋根で騒いでいた残りが17時11分にねぐら入りして終了した。総数は47羽であった。11/16の調査で57羽のねぐら入りを観察した。桑畑上空を周回して急降下するタイミングのカウント。日の入りは16時35分で、16時38分に43羽が桑畑上空を周回し南側東端か3番目の民家のすぐ裏の桑畑に直接及び間接的にねぐら入りした。16時39分には東高空より8羽が同じ場所に急降下しねぐら入り、16時45分に北高空から6羽がねぐら入りし総数57羽であった。11/23の調査では11/16と同じ地点へ日の入り16時31分を過ぎて16時45～48分間に小群7分割で計35羽がねぐら入りした。

2024 年多摩大橋下流・ツバメ集団ねぐら観察結果

報告： 下野 彰夫

1. 2024 年概観

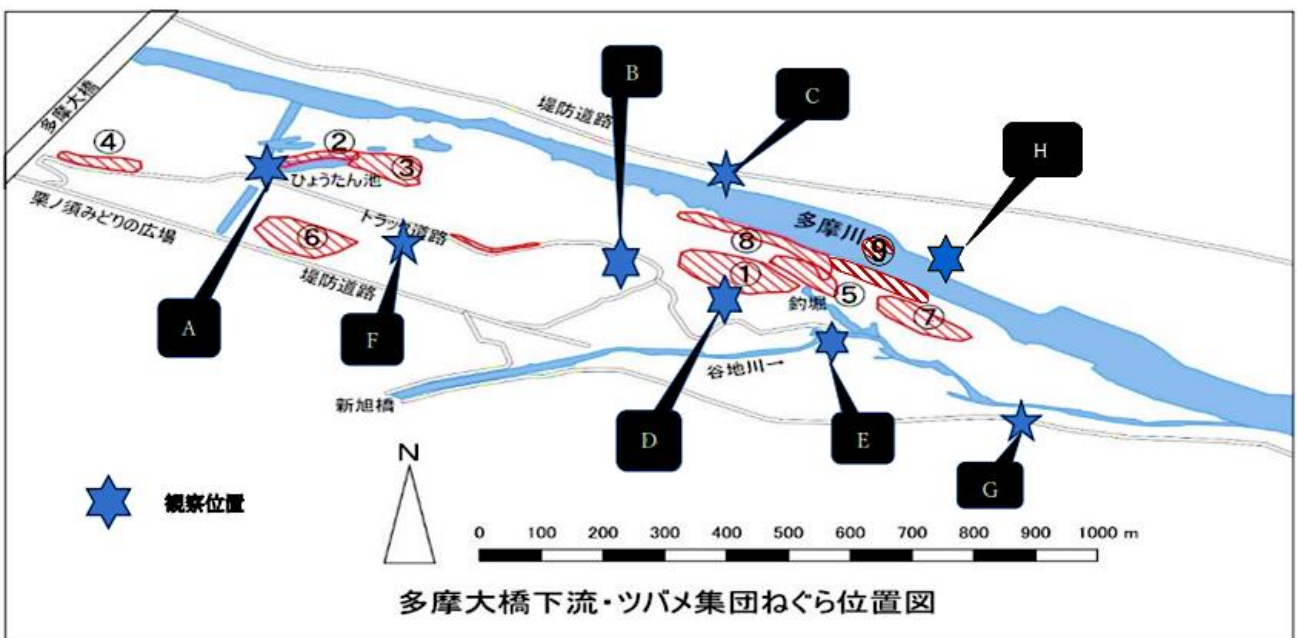
去年以上に高温が続く異常気象で影響が懸念されたが、それでも 7 月 20 日に 20,000 羽以上を数え、新たに中洲のヨシ群落を中心にねぐら入りする様子が観られた。また上流の昭和用水堰と多摩大橋下流間を行き来し、状況により両者間でねぐらを変えることも後半で観察された。

2. 2024 年ツバメ集団ねぐら観察結果

第 1 回の調査は 5 月 17 日、最終の調査は 9 月 1 日として例年どおり観察を継続的に実施した。観察結果を下表に示す。また表中のねぐら入り場所及び観察場所番号を地図上に示す。

| 調査日 | ねぐら入り羽数 | ねぐら入り場所 | 状況 |
|-------|-----------|---------|---|
| 5月17日 | — | — | ひょうたん池周辺でねぐら入り確認できず通過のみ。 |
| 5月18日 | — | — | 釣り堀池周辺及びひょうたん池周辺でねぐら入り確認できず通過のみ。 |
| 5月27日 | 80羽以上 | ⑧ | おそらく右岸ヨシ原にねぐら入りした。 |
| 6月1日 | 80羽以上 | ⑧ | 釣り堀池北側、次いで右岸ヨシ原上空に集結して右岸ヨシ原にねぐら入りした。 |
| 6月5日 | 約1,000羽 | ⑧ | 釣り堀池西側上空から右岸ヨシ原上空に集結して飛び回り、右岸ヨシ原にねぐら入りした。 |
| 6月8日 | 約800羽 | ⑧ | 左岸中央線寄りマンション付近、右岸ヨシ原上空、左岸マンション上空に集結し、低空を300羽程度飛び回り全て右岸ヨシ原に入った。 |
| 6月15日 | 約900羽 | ⑧ | 竹林上空を中心に右往左往し、トラック道路高空に900羽弱数えて③に入りそうになるが結局右岸ヨシ原⑧に入った。 |
| 6月22日 | 2,000羽以上 | ⑤⑦ | 竹林上空から釣り堀池下流上空に2,000羽以上集結し、雨のためかねぐらを変えた。 |
| 6月29日 | 4,000羽以上 | ⑤⑦ | 釣り堀池下流上空に段階的に流入し、釣り堀池下流にねぐら入りした。 |
| 7月4日 | 約10,000羽 | ⑤⑦ | 快晴で今年初めて⑤付近の上空を10,000羽近くが群れ飛び、ねぐら入りする様子が観られた。 |
| 7月6日 | 3,000羽以上 | ⑤⑦ | 夕方に雷注意報が出て強い雨にも関わらず予想外に集結し、降雨強度の少しでも小さい場所を探して群飛する様子が観られた。 |
| 7月7日 | 10,000羽以上 | ⑦⑧⑨ | ねぐらが新たなねぐら位置の中洲⑨に移動したとの情報を得て、以降は主に左岸の砂地の広場Hから観察した。右岸側の⑦⑧の川沿いを含め10,000羽以上のツバメが水際のヨシやヤナギにねぐら入りした。 |
| 7月13日 | 18,000羽以上 | ⑦⑧⑨ | ハヤブサの襲撃もあったが、釣り堀池付近を中心に上空に18,000羽以上が飛び回り、時折川面を往復し何回かの木の葉落としてねぐら入りした。 |
| 7月15日 | 15,000羽以上 | ⑦⑧⑨ | 小雨の状況ながら早い時点から上流側から流入してねぐら入りを繰り返し、⑨を中心に狭い範囲に高密度で休息する様子がライブ配信された。 |
| 7月20日 | 20,000羽以上 | ⑦⑧⑨ | 雷雨予報で観察前に一降りの条件ながら、当年の最大羽数20,000羽以上を数えた。早くに中洲のヨシの良い止まり位置を確保する動きが観られた。 |
| 7月23日 | 数千羽以上 | ③⑧ | 観察会予定地のB地点で例年のように上空で集結旋回し、オギ原上も飛ぶ様子が観られた。ひょうたん池近くの③上空を数多く飛んでいたことから、今後ねぐら移動する可能性が推測された。 |

| | | | |
|-------|-----------|-----|---|
| 7月24日 | 数千羽以上 | ③ | F点で観察したがひょうたん池は近付けなかった。ねぐら位置が変わり③周辺にねぐら入りしたものと判断された。 |
| 7月25日 | 約18,000羽 | ⑦⑧⑨ | H地点から観察する限り数の大きな増減はなかった。ねぐら入り終了後に右岸に行き確認するがひょうたん池及び隣接するヨシ原にねぐら入りしたツバメの姿は確認できなかった。 |
| 7月26日 | 約18,000羽 | ⑦⑧⑨ | 羽数の参考のため、早朝の一斉ねぐら立ちを観察した。中洲のリーダーツバメの先導で瞬く間に中洲及び右岸から東南東に飛び出し、南東の高空に上がり各方面へ散って行った。この間わずか1分強で18,000羽を数えた。 |
| 7月27日 | 5,000羽以上 | ⑦⑧⑨ | B地点より観察したが、川沿いを低空で進入する数が把握できず、高空に全個体が集合する状況も観られないため、羽数は大幅な過小評価となった。 |
| 8月3日 | 約16,000羽 | ⑦⑧⑨ | 観察会もH地点に変更され、中洲に上流から逐次3,000羽程度ねぐら入りして良い場所を確保してそのまま動かない様子と、竹林上の高空に13,000羽程度集結して一気に木の葉落としてねぐら入りする様子が観られた。 |
| 8月10日 | 3,000羽以下 | ⑦⑧⑨ | ねぐら入り前からかなりの強度の雨が10分以上続き、ねぐら入り直前に小雨となり急にツバメが集結したが3,000羽以下と減少した。 |
| 8月15日 | 10,000羽以上 | (⑩) | ねぐらの一部が8月8日頃より昭和用水堰に移ったとの情報があり、現地訪問で10,000羽以上が二つの中洲の主にヤナギにねぐら入りするのを確認した。草本の植生はヨシ原が発達せず多くがガマであった。 |
| 8月17日 | 2,800羽以上 | ⑦⑧⑨ | 前日の台風の影響により10 cm程度水位が上昇し、中洲は丈の高いヨシを選び、対岸は少し下流のヤナギにも入る状況であった。 |
| 8月18日 | 2,000羽以上 | (⑩) | 昭和用水堰取水口突端より観察したが2,000羽以上程度しか観られなかった。 |
| 8月24日 | — | — | 上流から飛来した小集団は全て昭和用水堰ねぐらに引き返し、ねぐら入りはなかった。 |
| 8月25日 | 1,100羽以上 | (⑩) | 昭和用水堰のねぐら入りもさらに減少した。 |
| 8月31日 | — | — | 降り続く雨のため多摩大橋下流の中洲⑨は大半が水没し、多摩大橋下流のねぐら入りは終了と判断された。 |
| 9月1日 | 1,200羽以上 | (⑩) | 昭和用水堰では中洲の一部がわずかに水没したものの大部分はヤナギにねぐら入りするため影響はなく、先週より若干多いくらいであった。 |



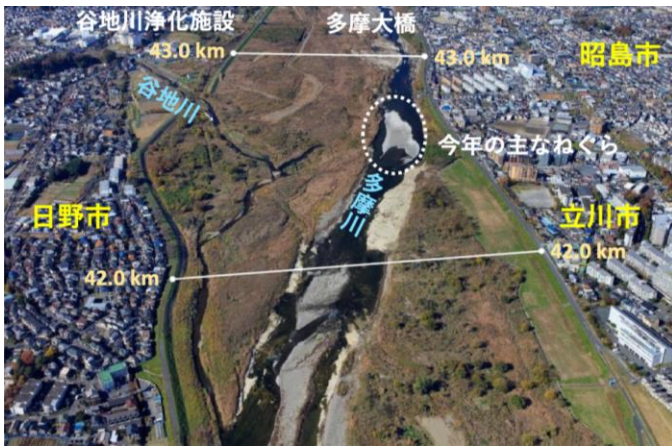


図 中洲ねぐら付近の航空写真



図 7月20日のねぐら入りの風景

※航空写真の出典は国土交通省多摩川水系流域図で令和2年11月撮影のため、ヨシはまだ生えていない。一方、ねぐら入り写真では小規模ながら中程度の高さのヨシ群生が観られる。

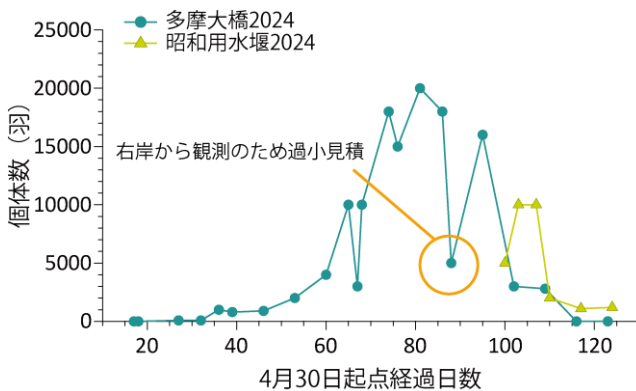


図 2024年のねぐら入り個体数推移

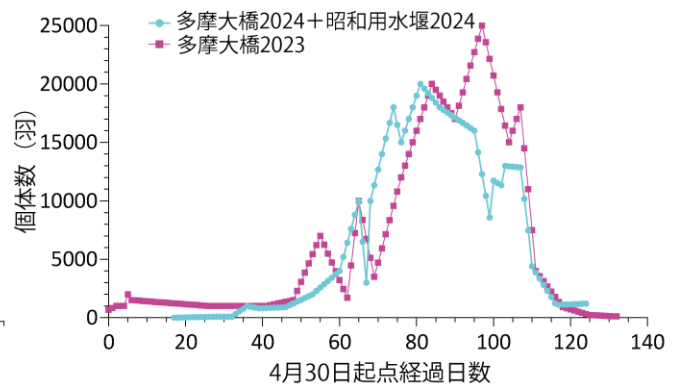


図 2023年及び2024年の個体数比較

3. 2024年状況の考察と今後の調査に向けて

2024年の特記事項としては中洲のねぐら⑨が発見されたこと、次に最大個体数 20,000 羽以上を数えた 7 月 20 日を過ぎた 8 月初旬より群れの大部分が昭和水堰に移動したことである。ねぐら⑨は 7 月以前から利用されていた可能性もあるが、右岸側からの観察では明確な状況が把握できないため、左岸の H 地点からの観察が必須である。昨年までの状況と異なり高空で一旦全数が集合する状況が余り観られず、上流より川沿いに低空で飛来して直接ねぐら入りする多くの個体の見落としが多いためである。昭和水堰のねぐらについては 5~6 月に数百羽程度のねぐら入りが日本野鳥の会奥多摩支部により観察されているが、盛夏の観察記録はない。しかしながら昭和水堰と多摩大橋下流と行き来してねぐら場所を判断する状況が観測されたため、シーズンを通して両ねぐらでの観察の継続が課題と考えられる。

2023 年と比較して、2024 年は夏前の天候不順による餌不足での一番子の減少、二番子は 2023 年と同等以上、高温の継続による三番子の減少を反映した個体数推移になっている。最大羽数は 20% の減少で出現は二週間半早くなっている。昭和水堰での個体数と合わせた総数で、直線補間による積分値（延べ個体数）で比較すると 2023 年に比較して 13% の減少となる。このモデルはねぐらでの滞在が数日程度と仮定しているため、実際の減少は両者の中間の 17% 程度と考えるのが妥当である。

中洲のヨシも 8 月 16 日の台風で冠水し、さらには浅川流域で顕著なように台風で運ばれた大量の礫による植生の衰退及び水生昆虫の減少が予想され、他所に比べヨシ群落の脆弱性の問題もあるが、早期の回復を願いつつ今後の調査計画を検討していきたい。

2024 年 「我が家の庭に来た野鳥」 調査結果

まとめ： 加藤 岸男

※この調査は 2025 年度で終了します。

(1) 概 況

1992 年（平成 4 年）から開始したこの調査は、今回で 33 回目となります。参加庭数は昨年より 1 庭減少して 26 庭でした。この調査への参加率は今年も 10%程度。相変わらず、参加庭数(調査報告者)の確保に難儀することが続いています。

今年は、「会員の庭及びその付近に来た野鳥の種類数」(第 1・3 表)の総数は 44 種で減少傾向が続いています。市街地・戸建は昨年に続き 3 種減少し、反対に市街地・集合住宅は 10 種増えました。野鳥環境に恵まれている家庭が、郊外・集合住宅から、市街地・集合住宅に変更したためです。そのため、郊外が大きく減少しています。全体としては、先の通り 2 種類の減少です。

「1 庭当りの平均飛来種類数」(第 2 表)は、大きな変化はありませんでした。

また、「我が家の庭で繁殖した野鳥」(第 3 表下欄)の事例報告は、16 例で昨年より 5 例減少しました。種類数も 5 種で、キジバト、エナガ、メジロ、ガビチョウの繁殖行動が見られなくなりました。

(第 1 表) 2024 年 会員の庭及びその付近に来た野鳥の種類数(23・22年との対比)

| 区分 | 市街地 | | | | | | | | | 郊外 | | | | | | | | | 総合計 | | |
|-----|-----|----|----|------|----|----|------|----|----|----|----|----|------|----|----|------|----|----|-----|----|----|
| | 戸建 | | | 集合住宅 | | | 累計種類 | | | 戸建 | | | 集合住宅 | | | 累計種類 | | | | | |
| 年 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 |
| 調査数 | 3 | 3 | 4 | 6 | 5 | 2 | 9 | 8 | 7 | 15 | 17 | 17 | 2 | 2 | 2 | 17 | 19 | 19 | 26 | 27 | 26 |
| ● | 17 | 20 | 19 | 18 | 18 | 15 | 23 | 24 | 22 | 28 | 25 | 27 | 12 | 16 | 18 | 29 | 25 | 20 | 30 | 25 | 30 |
| ○ | 5 | 5 | 9 | 19 | 9 | 6 | 27 | 6 | 9 | 11 | 21 | 22 | 14 | 9 | 8 | 10 | 21 | 20 | 14 | 21 | 20 |
| 合計 | 22 | 25 | 28 | 37 | 27 | 21 | 40 | 30 | 31 | 39 | 46 | 49 | 26 | 25 | 26 | 39 | 46 | 49 | 44 | 46 | 50 |

※自宅庭(●)とその付近(○)ともに来た場合は、自宅庭(●)を優先してカウントした。

(第 2 表) 2024 年 1 庭当りの平均飛来種類数(23・22年との対比)

| 区分 | 市街地 | | | | | | | | | 郊外 | | | | | | | | | 総合計 | | |
|-----|-----|----|----|------|----|----|------|----|----|----|----|----|------|----|----|------|----|----|-----|----|----|
| | 戸建 | | | 集合住宅 | | | 累計種類 | | | 戸建 | | | 集合住宅 | | | 累計種類 | | | | | |
| 年 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 | 24 | 23 | 22 |
| 調査数 | 3 | 3 | 4 | 6 | 5 | 2 | 9 | 8 | 7 | 15 | 17 | 17 | 2 | 2 | 2 | 17 | 19 | 19 | 26 | 27 | 26 |
| ● | 10 | 12 | 11 | 8 | 9 | 8 | 9 | 10 | 10 | 11 | 11 | 10 | 8 | 13 | 13 | 11 | 11 | 11 | 10 | 11 | 11 |
| ○ | 4 | 5 | 6 | 10 | 8 | 5 | 8 | 7 | 6 | 10 | 11 | 10 | 13 | 7 | 9 | 10 | 10 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| 合計 | 15 | 17 | 17 | 18 | 17 | 13 | 17 | 17 | 16 | 21 | 22 | 20 | 20 | 20 | 22 | 22 | 21 | 20 | 19 | 20 | 20 |

※種類数欄(● ○)の数値は平均(四捨五入)を表す。

(2) 第 3 表から分かる種類別出現状況

○これまでの調査で確認された種数は 91 種(含、外来種 6 種)ですが、新た加わった種はありません。昨年と比べると、ノスリ、オオヨシキリ、カシラダカ、カオグロガビチョウが減り、ダイサギ、サンコウチョウ、イワツバメ、シメが増えました。

○全 26 庭で見られた種類はなく、ヒヨドリ、ジョウビタキは自宅付近での観察を加えると全庭で観察されています。25 庭で見られたのは、キジバト、ハシブトガラス、シジュウカラ、メジロとおなじみの鳥達です。

○イソヒヨドリは、集合住宅から戸建住宅にも更に範囲を広げ 8 庭になり、近隣を加えるとなんと 14 庭で確認されています。ホトトギスは市街地でも観察されました。

(第3表) 2024年・我が家の庭に来た野鳥調査結果と我が家で繁殖した野鳥

| 住居位置区分 | 市街地 | | | | | | | | | | 郊外 | | | | | | | | | | 集合 | 庭数総合計 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----|----|----|------|----|----|-----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|------|----|----|------|----|----|----|----|----|----|
| | 戸建 | | 集合 | | | | | | | | 戸建 | | 集合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 八:八王子 拝:拝鳥 武:武蔵府中 立:立川 | 萩島 | 粕谷 | 小池 | 庭数小計 | 浅野 | 井川 | 宇都宮 | 小川 | 高梨 | 高橋 | 庭数小計 | 新井 | 市村 | 橋間 | 加藤 | 門倉 | 菅野 | 関谷 | 玉手 | 千葉 | 中村 | 浜野 | 浜田 | 福本 | 福本 | 山崎 | 庭数小計 | 岡田 | 佐藤 | 庭数小計 | | | | | | |
| メッシュ位置 | 仲介 | 八六 | 八五 | | 八八 | 八五 | 八三 | 八六 | 八五 | 八五 | | 八五 | 八九 | 武〇 | 八三 | 八四 | 立三 | 八二 | 八六 | 八三 | 八八 | 八八 | 立一 | 八二 | 立一 | 八九 | | 武〇 | 武二 | | | | | | | |
| 給餌(台設置)有無 | 無 | 有 | 無 | 1 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 無 | 1 | 有 | 無 | 無 | 有 | 無 | 有 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 有 | 有 | 無 | 無 | 8 | 無 | 無 | 設置10 | | | | | | |
| 074 キジハト | ● | ○ | ● | 3 | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | 5 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | 15 | ○ | ● | 2 | 25 | | | | | | |
| 144 アオサキ | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 146 ダイサキ | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 185 ホトキス | | | | | ○ | | ○ | | | | 2 | | | ○ | ○ | | | ● | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | 9 | ○ | ○ | 2 | 13 | | | | | |
| 342 ヒ | | | | | ○ | | | ○ | | | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | | | | | | | | | 5 | | | 7 | | | | | | |
| 354 ツ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | 2 | ● | | 1 | 3 | | | | | |
| 374 アオハスウ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | ● | | | | | | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | |
| 383 カフセミ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 390 コケラ | | | | | ○ | | | | | | 2 | ● | ● | | | ● | ● | ○ | ● | | | | | | ○ | 10 | ○ | | 1 | 13 | | | | | | |
| 397 アオケラ | | | | | ○ | ○ | | | | | 2 | ● | ○ | ● | | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | 6 | | | | 8 | | | | | | |
| 412 サンショウクイ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 418 サンコウチョウ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 420 モス | | | ● | 1 | | ○ | | | | | 1 | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 16 | | | | | |
| 429 オナガ | ○ | | ● | 2 | | | | | | | | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 | | | 1 | 11 | | | | | |
| 435 ハシホトガラス | ● | ● | ● | 3 | ○ | ○ | | ● | ● | ● | 5 | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 25 | | | | |
| 436 ハシブトガラス | | ○ | ● | 2 | ○ | | ○ | | ● | ● | 4 | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 23 | | | |
| 442 ヤマガラ | | | | | | ● | | | | ● | 2 | | ● | ● | | ○ | | ● | ● | ○ | | | | | | ○ | 7 | ○ | ○ | 2 | 11 | | | | | |
| 445 シジュウカラ | ● | ● | ● | 3 | ● | ● | ● | | ● | ● | 5 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 2 | 25 | | | |
| 457 ツハメ | | ○ | ○ | 2 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 6 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 | 22 | | | |
| 461 イワカハメ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | | | | | | | | | 2 | | | 2 | | | | | | |
| 463 ヒヨドリ | ● | ● | ● | 3 | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | 6 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 26 | | | |
| 464 ウグイス | | | ● | 1 | ○ | ○ | | | | | 2 | ● | | ○ | ○ | | | ● | ● | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 16 | | |
| 466 エナガ | | | | | | ● | | | | ● | 2 | ○ | ○ | ● | ● | | | ● | ● | ○ | | | | | ○ | ○ | 9 | ○ | ○ | 1 | 12 | | | | | |
| 485 メジロ | ● | ● | ● | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 25 | | |
| 499 セッカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | |
| 506 ムクドリ | ● | ○ | ● | 3 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 5 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 | 23 | | |
| 521 シロハラ | | | | | | | | | | | | | | | ● | | | | | | ○ | | | | | | 2 | ○ | | 1 | 3 | | | | | |
| 525 ツグミ | ● | | | 1 | ○ | | | | | | 1 | ● | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 1 | 13 | |
| 536 ルリヒタキ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 540 ジョウビタキ | ● | ● | ● | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 26 | |
| 549 イソヒヨドリ | ● | ○ | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5 | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ | ○ | 6 | ○ | ○ | 1 | 14 | | | | | |
| 558 キヒタキ | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | 2 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 561 オオルリ | | | | | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 569 スズメ | ● | ● | ● | 3 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 | ● | ● | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 23 |
| 573 キセキレイ | | | | | | ● | | | | | 1 | | | | | | | | | | | ○ | | | ○ | 2 | | | | | 3 | | | | | |
| 574 ハクセキレイ | ● | ○ | ○ | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 5 | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 20 |
| 575 セグロセキレイ | | | ○ | 1 | ○ | | | | ○ | ○ | 3 | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | 2 | | | | 6 | | | | | |
| 587 カワヒク | ● | | | 1 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 3 | ● | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 | |
| 600 シメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | |
| 602 イカル | | | | | | ○ | | | | | 1 | | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | | | | 3 | | | | | 4 | | | | | |
| 610 ホオジロ | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | ○ | | | | 4 | | | | | 4 | | | | | |
| 624 アジ | | | | | | ○ | | | | | 1 | ● | ○ | ● | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 | ○ | | 1 | 10 | | | | | |
| 901 コジュケイ | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | 3 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 | ○ | | 1 | 12 | | | | | |
| 903 カワラハク(ドノバト) | | | ○ | 1 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | 5 | | | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | 6 | ○ | ○ | 2 | 14 | | | | | |
| 909 カヒチョウ | | | ● | 1 | ○ | ○ | | | ○ | ○ | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2 | 18 |
| 910 ソウシチョウ | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 2 | | | | 2 | |
| 種類計 ● | 11 | 6 | 14 | 17 | 4 | 7 | 4 | 11 | 10 | 13 | 18 | 13 | 11 | 21 | 16 | 7 | 10 | 13 | 13 | 7 | 15 | 9 | 8 | 5 | 8 | 10 | 27 | 6 | 9 | 12 | 30 | | | | | |
| 種類計 ○ | 3 | 6 | 4 | 5 | 16 | 24 | 8 | 3 | 3 | 5 | 19 | 8 | 10 | 10 | 5 | 12 | 6 | 11 | 13 | 10 | 14 | 0 | 15 | 11 | 6 | 15 | 10 | 16 | 9 | 14 | 14 | | | | | |
| ●○合計 | 14 | 12 | 18 | 22 | 20 | 31 | 12 | 14 | 13 | 18 | 37 | 21 | 21 | 31 | 21 | 19 | 16 | 24 | 26 | 17 | 29 | 9 | 23 | 16 | 14 | 25 | 37 | 22 | 18 | 26 | 44 | | | | | |

※412 リュウキュウサンショウクイ

| 表の見方 | 上表●のうち、①営巣巣立ち | ②営巣途中放棄 | ③親子連れ来庭 | ④その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------------|---------|---------|------|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|----|---|---|---|----|---|
| 445 シジュウカラ | | | 0 | | | | | | 0 | | ② | ① | | ③ | | ① | | ② | | ① | ③ | | ③ | 8 | | | 0 | 8 | | |
| 457 ツハメ | | | 0 | | | | ③ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| 463 ヒヨドリ | | | 0 | | | | | | | 0 | | | | | | ③ | ③ | | | | | | | | ③ | 3 | | | 0 | 3 |
| 549 イソヒヨドリ | | | 0 | | | | | | ③ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 |
| 569 スズメ | | | 0 | | | | | ① | | 1 | | ① | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 0 | 3 |
| 合計①②③④ | | | 0 | | | | 2 | | 1 | 3 | | 2 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | | 2 | | | 2 | 13 | | | 0 | 16 | |

※住居位置区分 市街地と郊外との区分の定義が不明確なため、報告者の判断による。

※給餌台設置の有無 「有」は「台」として定期的に設置したもの 時々ミカン等を与える場合や水場のみ場合は「無」

※種類計欄の数値は、●は各区分1件でも●があれば、●にカウントした合計、○は○のみの合計。(各庭平均飛来数は第2表を参照)

※「●」は1年間の内最低1回でも飛来した種 「○」は上記の庭の付近に飛来した種(例えば隣近所に来た種、声を聞いた種など)。

※自宅及び自宅付近ともに飛来した種は、自宅(●)を優先して表示している。

※自宅庭で繁殖した鳥は、営巣巣立ち→途中放棄→親子連れ来庭→その他の順に優先して表示

○給餌台の設置数は10個で、設置率は38パーセント。設置期間は、冬季が主ですが年間を通して設置されている方もいます。設置の有無で、来庭種類数に有意差は特に見られませんが、個体数は多いと思われる。

(3) トピックス(個人別調査報告書「特記事項」欄等)

○新井洋子 剪定して見通しの良くなった金木犀の枝にとまって毛づくろいをする鳥たちに癒されています。コロナ初期に来ていたカビチョウがここ数年訪れません。かわいかったのに！どこに行ったのでしょうか。ご近所の植栽庭や空き地が新しく住宅地になりコンクリートだらけとなりました。我が家も一本の大木を切りましたから同罪ですが、鳥たちには住みにくい世の中になりました。

○井川麻利子 自宅前が小仏川および高尾山です。家にいてもいろいろな鳥を確認できる。毎年、隣家にキセキレイが営巣している。何度かイソヒヨドリが雛を狙う姿を見た。また、今年は繁殖期に朝早くからイソヒヨドリがよく囀っていた。

○市村緑 モズが自宅前の土手の木の上で10月～11月中旬位まで高鳴きしていた。ヤマガラは庭のエゴの木に今年も来て実をついばんでいた。近所に毎年来ているイカルの群れの中の1羽だけ、12月なのにさえずっていた。

○岡田浩郎 ツミは2軒隣のベランダの直近に営巣を開始したが、3日目には営巣放棄していた。あまりにも窓に近く、昼間は人が目と鼻の先にいるという感じなので、放棄したのは無理もないと思う。

○梶間信義 シジュウカラが2ヶ所で営巣し巣立った。

○加藤岸男 ここ毎年繁殖を終えたと思われるアオバズクが庭の電線で鳴いている。

○門倉美登利 上の山からコジュケイやホトトギスの声がよく聞こえる。家のすぐ近くに初めてオナガが5羽来て鳴いた。シジュウカラは1回だけ営巣・巣立ち雛は2羽確認できた。正確には隣の家の木の枝だが、ヒヨドリが子連れで来て、よく観察できた。

○管野桂子 8/14、ヒヨドリの雛3羽がツバキの枝に止まっていると、親鳥が来て給餌をしていた。

○小池一男 スズメが来たことは来たが、その数が年々へってきている様に感じている…。

○関谷孝 春になるとウグイスやエナガ、シジュウカラ、メジロが梅の木にたくさんやってくる。近くに初沢山があるためと思われる。コジュケイは近くの桃源台公園で毎年営巣し、親子でよく鳴いたり、移動したりする姿を見ることができた。巣箱を新しくしたがシジュウカラが営巣し、無事に巣立った。

○高橋靖乃 年始から自宅(集合)が大規模修繕だったため、毎年のような営巣風景は見られなかったが、建物を覆うネットの隙間から幼鳥が入り込み閉じ込められることが2件あり、親子共々パニック状態になっていた。

○玉手しのぶ イソヒヨドリが前のマンションで度々みられるようになった。生息状況の拡大を感じた。

○千葉楨子 11月24日、ツグミが赤い実がたわわについたピラカンサの枝に止まっていた。

○浜田早苗 スズメが例年より遅くまで(8/30)雛2羽を連れて来庭した。

○浜野建男 シジュウカラが7月2日に巣立った。ヒナは4羽+

○福本健 エサ台があった時には、スズメ、シジュウカラが頻繁に来ていたが、エサ台を撤去してからスズメも減多に見かけなくなった。

○山崎悠一・久美子 キジバト、ヒヨドリは庭木の中に営巣したことがあり、観察していたが、今年は営巣までには至らなかった。シジュウカラは以前に設置した巣箱に営巣したことがあるが、現在は巣箱の設置は無い。スズメは屋根瓦の間に営巣したことがあり、観察していたが、営巣までには至らなかった。

カワセミ会ジュニアクラブだより

ジュニアクラブ保護者 尾本 聖子

いつもジュニアクラブへのあたたかいご理解とご協力ありがとうございます。今回はジュニアクラブの観察会の流れや5月のサイエンスドームでのイベントの様子などをご紹介しますと思います。

1. ジュニアクラブの定例野鳥観察会の流れ

毎月原則第4土曜日8時40分（7、8月はお休み。12月は第3土曜）にあったかホール前に集合します。事務局の野口佐和子さんの発声で簡単に名乗り合い、粕谷和夫会長から今日見られそうな鳥のお話があります。その後、浅川右岸を歩いて鳥の観察開始です。サギ類のよく止まる水管橋、カワセミをよく見かける橋、キジの住む土手の横、イソヒヨドリがよくいる建物などを通り、浅川と湯殿川の合流地点で水辺にカモがよく集まっている長沼橋（玉手しのぶさんが「カモの楽園」と命名）を折り返し、サイカチ池（子供たちが楽しみにしているお菓子休憩をします）を通ります（往復約5km）。一期一会の鳥との印象的な出会いも毎回のようにあります。あったかホールに戻ると1階エコくらの会議スペースをお借りし、子供たちが今日見た鳥を挙げていく鳥合わせをします。出なくなったところで支援者の方に「〇〇もいたよ」と教えて頂きます。最後に会長から今日見た鳥の特徴などのお話を聞くのも楽しみです。

2. ジュニアクラブ会員は年度途中で2家族増えて現在9家族です。年齢構成はバラバラで小1から中2までは一人または二人ずつ、高校生2人、幼児2人もいます。男女比は半々くらいです。小学生の多くは鳥を見つつ川沿いの植物などで遊びながら歩いていますが、中学生がそれを見て冷静にコメントしたりするのも面白いです。ストックに野鳥を撮影しているジュニアもいます。鳥合わせでは、遊んでいた子からも、鳥の名前がどんどん出てきます。

3. 支援者の方は10名前後いらっしゃいます。支援者の方には一緒にコースを歩き、鳥を見つけるのを手伝って頂いたり、鳥の名前や見分け方を教えて頂いたり、楽しくお話したり、子供を励まして頂いたりしています。観察会後に岡本昭男さん発案のGoogle Photoで観察会中に撮られた鳥の写真を共有で見せて頂いています。支援者の皆様、いつもありがとうございます。

支援者の方、ジュニアとともに随時募集中、体験大歓迎です。ご一緒できたら幸いです。

4. 2024年の観察について 定例観察会の実施回数は9回でした。（観察した種類はMax 34種（2月）、Min 23種（5月））。4月には電線に止まったウグイスのさえずり、5月にはヒナに餌やりするツバメを近い位置で観察できました。12月に観たオカヨシガモはジュニアクラブ始まって以来、今年初めて観られたそうです。11月には千葉の我孫子野鳥を守る会の方が参加され、「子供たちが野外を楽しそうに歩いている雰囲気が良いですね」とご感想を頂きました。

5. 6月の環境フェスティバル、7月の揺籃社のイベントでもジュニアクラブのチラシを置いて頂き、ご来場者にご興味を持っていただきました。加藤岸男様はじめ、ご協力頂いた皆様はこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

6. 観察会后、こどもエコクラブ HP に活動レポートを出しています。

エコチルという、全国多数の公立小学校に配布されている環境情報紙（電子版あり）にこどもエコクラブの紹介コーナーがあり、東京版ほか多くの地域版の12月号でジュニアクラブが紹介されました。こどもエコクラブ事務局からも「毎月きちんと活動報告をして、いつもとても活発に活動されている様子が伝わってくる」とお褒めの言葉を頂きました。いつも会議スペースをお借りしている、あったかホール1階のエコクラブでも当該号を掲示して下さいました。



＜こどもエコクラブ HP＞
<https://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/profile.php?id=487>

7. 愛鳥週間を控えた5月6日、コニカミノルタサイエンスドーム(八王子市こども科学館)でイベント『八王子の野鳥講座とカルタ遊び』『鳥の紙芝居とカルタ遊び』が開催されました。粕谷会長が講師として『庭や公園の鳥』と題したお話をされ、ツバメの子育ての様子やヒヨドリの飛び方など人の住む近くで見られる野鳥のお話をされました。ジュニアの二人も「カワセミさんとオオルリ君」の紙芝居を読みました。



＜粕谷会長の講演の様子＞

昨年度をふまえ、科学指導員の皆様が別室で鳥の工作をした方々に引き続きで紙芝居・講演のご案内をして下さり、両回とも20～30人の聴衆のいる大盛況でした。会長の講演中の問いかけにすらすら答えてくれたお子さんを含め、2家族がジュニアクラブに入会してくれました。



＜ジュニアも受付しました＞

紙芝居後のカルタ大会（八王子・日野カワセミ会25周年記念「浅川野鳥カルタ」で遊びました。）もジュニアが読み手となり、10名近い子供



＜白熱した、カルタ取りの様子＞

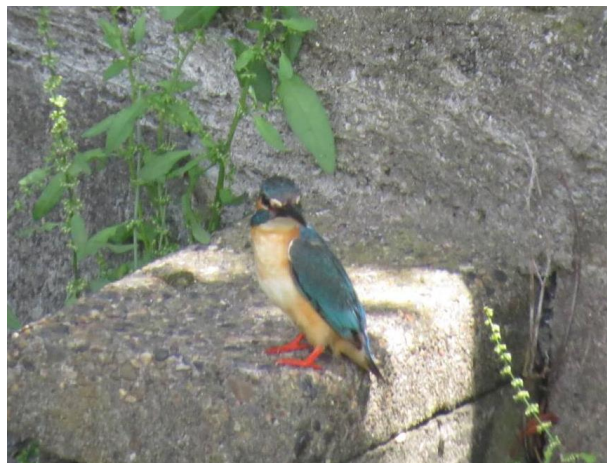
ちが参加して盛り上がりました。お客さんの少なくなった終了間際に、ジュニアクラブ関係者のみによるカルタ大会も急遽開かれ、大人も参加し、良い思い出になりました。稲荷山資料保管施設の貴重な剥製も見せて頂きました。サイエンスドームの2階をお借りした野鳥のクイズラリーも90名以上のご参加を頂きました。今回お客さんの呼び込みや受付、クイズラリーの賞品づくりもジュニアが積極的に手伝ってくれて、助かりました。

ご担当くださり、準備から当日まで本当にお世話になった科学指導員の小岩嘉隆様はじめ、サイエンスドームの関係者の皆様には心から御礼申し上げます。科学指導員の方は非常勤と伺いましたが、子供たちに科学の楽しさを伝える大切なお仕事をなさっているので、八王子市にはぜひ今後一層力を入れて頂きたいと思いました。

【子供達の作品 (* 撮影時の学年)】



<1月、ジョウビタキが目の前の金網に止まっていた。
玉手かける君 (小6*) 撮影 >



<6月、カワセミやシジュウカラの幼鳥を観察できた回でした。
幸野秀樹君 (小4*) 撮影 >



<9月、ダイサギ、アオサギが多数水管橋の欄干で見られました。
平野ジュニア (中1*) 撮影 >



<12月の観察会では、ジュニアのSSさんが自分で描いた野鳥のイラストを見せてくれました。 >

揺籃社出版即売会の結果概要

報告： 粕谷 和夫

1. 日時 2024年7月20日 事前準備9時30分から 本番11時～15時
2. 会場 東京たま未来メッセ1F（京王八王子駅前） 展示室A（4分の1）
3. 内容 清水工房55周年・揺籃社40周年記念「著者に会える出版即売会」。揺籃社から出版した20名の著者・団体が出展、カワセミ会も出展し、「高尾・浅川の野鳥図鑑」を販売した。またカワセミ会会員の関邦義さんが（『日本語ミニ講座』＝日本語の不思議をギュッとつめこんで）で出展した。
4. 参加者 3名
5. 結果概要、感想等

主催者から「パンフレットの捌き具合から換算して、来場者は約200名で、各ブースで著者との交流を楽しまれ、何とか皆さん、それなりに本が売れたようで安心しました。出展者も大変に満足されたようで、有意義な1日となりました。」という報告があった。

カワセミ会のブースでは、「高尾・浅川の野鳥図鑑」が11冊売れた。他に6月の環境フェスティバルで使った野鳥クイズの実施、野鳥相談コーナー設置、実物大野鳥模型の展示も行い、好評であった。

会報「かわせみ」73号配布会・勉強会

報告： 浜野 建男

日時 2024年9月14日（土） 13:00～15:30

会場 八王子市 横山南市民センター 多目的室

参加者 会員27名

内容

(1) 勉強会

- 今年の多摩川ツバメ集団ねぐらの観察結果概要 13:15～13:45 発表：下野彰夫
今年の状況と、昨年との比較など、画像、グラフなどを交え、非常にわかりやすい説明があった。かなり頻繁に現地の状況を記録していることが内容からも窺うことができた。
- カワセミ会40周年記念事業の内容説明 13:45～14:00 発表：粕谷和夫
来年40周年を迎えるカワセミ会の記念事業について、予定している複数の項目の概要説明、予定している担当者などの説明があった。
- タカの渡り調査について 14:00～14:15 発表：古山隆、小林克
数日後に始まる今季のタカの渡り調査について、担当から調査への参加の呼びかけがあった。また先立って城山湖の観察を行った会員から、状況の説明があった。

(2) 会報配布会 14:15～15:30 担当：浜野建男、浜野知恵子、木澤隆雄

内容：封筒のラベル貼り・会報の封筒入れ・糊付け。

出席者全員での作業により、効率よく行うことができた。また約100通を出席者が持ち帰っていただけのため、郵送数（経費）を大幅に減らすことができた。ご協力ありがとうございました。

カルガモ雛の「食べることは生きること」の厳しさ

マイフィールド観察記

岡本 昭男

いつもの夕方の散歩、浅川でカルガモ親子の採餌の様子が見られた。対岸に渡り、食事をして元の岸に戻る何気ない光景にも見えたがこの日は違っていた。



前日の雨で増水・急流の中で小さな雛にとっては渡るにも大変な苦勞をしている様子であった。やっと渡り切った対岸は緩やかな流れで十分に食べることができているように見えた。



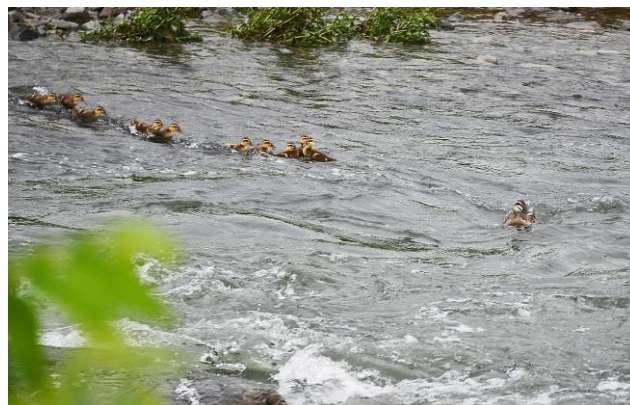
しかし、食事中に一羽の成鳥カルガモが飛んで来た。親はすぐに気づき、子供たちを草むらに隠し自分も身を隠した。やって来たカルガモは辺りを泳ぎながらしばらく見回していたが諦めて立ち去った。



親子は食事を再開し、岸辺を移動しながら採餌した。やがてもと来た対岸に親を先頭に渡りだした。さてこれで家族の食事も無事終了と私も引き揚げようとした。

ところが振り返るとどうも様子がおかしい。親が川の流れる中間で子供たちを待ち、先頭の雛たちは急な流れを前に立ちすくみ、いかにも恐れおののいているように見えた。

1分ほどたった頃1羽が思い切って渡りだした。すると次々に後を追って渡り終えてほっとした。



渡り終えた雛は10羽だった。はて、行きも採餌中も確か11羽だったはずだが？まさかあの急流で1羽は流されたのだろうか？



立ちすくんで恐れおののく様子が眼に浮かんだ。

増水時におけるカルガモ雛の「食べることは生きること」の厳しさを感じる出来事だった。

川上さん 天国からもお声をかけて下さい

粕谷 和夫

カワセミ会の元副会長の川上恵さんは昨年7月に永眠されました。川上さんはカワセミ会の発足初期の頃、まだ会の活動がよちよち歩きの時代に入会されました。カワセミ会に入会される会員は元々野鳥の観察活動の歴が多くある方と入会してから鳥に詳しくなる人に分けられますが、川上さんはどちらかといえば後者のタイプでした。川上さんはカワセミ会の運営にも積極的に参加され会の活動の飛躍に大きく貢献されました。また、新しく入会された会員に対する相談役、励まし役等、それまでの幅広い人生経験を活かし、誰からも好かれる温かな性格で会員に接していました。

以下は私が川上さんとの長いお付き合いの間に、特に記憶に残っていることを幾つか列挙し川上さんに対する御礼、感謝とします。先ず、八王子、日野市内を川上さんの自動車に乗せて頂くことが多かったのですが、その時にどんな裏道でも細い道でも熟知していてすいすいと車が進んだこと、まだカーナビなど無い時代でした。今のように野鳥の生態写真を誰もが撮れない時代に眼を見張るような写真を数々撮っていて、このことが私の目標であったこと。カワセミ会の中ではバードカービング製作の草分けで、その作品を八王子サイエンスドームから展示依頼があった時に数年にわたり、数々提供して頂いたこと。多摩森林科学園と協力して同園で親子野鳥観察会を数年にわたり開催し、親子野鳥観察会の開催の道を切り開いたこと。川上さん、天国からも私たちに優しい声をお掛け下さい。

以下は会員有志から寄せられた追悼です（五十音順）。皆様とともにご冥福をお祈りします。

浅野恵美子 初めてバードウォッチングに夫婦で参加した時の担当者が川上さんでした。こんな優しい方がいらっしゃるならと直ぐに会員になりました。沢山活躍なされて素晴らしい方だと思っていました。惜しい方をなくされ、カワセミ会の大きな損失です。どうか天国でも鳥見を楽しんで下さい。

一場香理 川上さんのご紹介で、カワセミ会に入会しました。自治会の作品展で、川上さんの「バードカービング」を見せて頂いた事が、きっかけです。お話する機会は少なかったのですが、温厚で背筋が伸びたようなお人柄に、最初から心惹かれました。カワセミ会や自宅近くで、たまにお顔を拝見する機会を得て、ゆっくりお話ししたい、まだまだお元気でいらして欲しいと、考えておりました。

今も自宅の居間には、頂いた北海道のフクロウの雛の写真が飾ってあります。長い間、自宅近くの魅力をほとんど知らずに過ごしていましたが、今朝も川辺で野鳥と親しみました。川上さん、良いご縁を下さいまして、ありがとうございました。

岡本昭男 野鳥展の当番で不思議と何回も長時間ご一緒しました。楽しい話と共に私の稚拙な作品の多くをお褒め励ましも頂きました。そのにこやかな姿を思い浮かべながら記念展の個性的で穏やかな作品の写真を眺め楽しんでいます。心からの謝意と共にご冥福をお祈り申し上げます。

加藤岸男 イトーヨーカドー八王子店、今はなきコイデカメラで写真を現像されている姿をよく見かけた。「たいしたものじゃないよ」が口癖。MLに活動結果等を投稿するとすぐに電話がかかってきて、「加藤さん、すごいね。」と優しい声で励ましてくださった。ご冥福を祈ります。

門ロー雄 カワセミ会草創の頃、遠出探鳥会やイベントなど色々と提案され一緒に取り組んだことが思い出されます。特に、記念植樹の際、山桜の苗木、添え木や看板まで手早く準備していただき植樹したこと等感慨深いです。

門倉美登利 川上さんの訃報を聞いたのは、猛暑の折やっと美味しくなったトマトを届けに行こうとしていた時です。先日会報を届け、お茶のみしたばかりなのに鳥の話をして「野草見分けのポイント図鑑」を借りたばかりでした。鳥だけでなく花も勉強していました。いつも「門倉さん、ジュニアも高尾山も頑張っているね。偉いね。」と行くたびに褒めてくれ励ましてくれた優しい川上さんがもういないのかと思うと本当に悲しいです。

私は川上さんが副会長の時、カワセミ会に入会しました。カメラや双眼鏡のことも教わり、いつも鳥の話をして頂きました。寅年の時はトラツグミの撮影に連れて行ってもらったり、八王子城跡の夏鳥調査も一緒に楽しみました。美味しいものも沢山ごちそうになりました。ジュニアの支援や環境フェスティバルの時は自転車の荷台に紙芝居を乗せ、放射線通りで、手作りの大きな鳥の帽子をかぶり拍子木をたたきながら一緒に子供達の支援をしてくださいました。川上さんが写真店や喫茶店で個展を開くたび沢山写真を頂きました。鳥の話をする優しい笑顔、温かさを忘れません。福本順吉さんと「バードカービング&鎌倉彫&鳥写真3人展」を村内画廊で行った時も毎日沢山のことを教わりました。感謝・感謝です。ありがとうございました。御冥福をお祈りいたします。

中村后子 川上さん4月月例探鳥会（お花見）では現地で毎年参加者を出迎えてくれましたね。記念樹の桜の木の下でお弁当を食べ、お酒を飲みベテラン、新人皆で昔話をして楽しいひと時を過ごしましたね。懐かしく思い出します。優しい笑顔とやさしいお言葉をありがとうございました。ご冥福をお祈りします。

福本健 川上さんと知り合ったのは、新宿御苑でのバードカービング展示会でした。カワセミ会を紹介され、会の活動に加え、いろいろな所へカメラを持って鳥見に連れて行っていただきました。川上さんの豊富な経験と多くの鳥仲間の情報をもとに、天龍村、鳥取、舩倉島等で珍しい野鳥に出会うことができました。忘れられない沢山の楽しい思い出を残すことができ、感謝しております。

亡くなる数週間前に一緒に食事をしたときは大変お元気でしたのに！ そちらでは鳥見をされていますか。どんな鳥がいますか。

山崎悠一 川上さんを意識したのは、探鳥会で台湾に行った時に、オウム真理教が犯人ですと断言された事件です。現役時代に、メガネ枠を福井県鯖江市に問合せに行った事も、探鳥会の合間にお聞きしました。あとは珍鳥の写真を撮りに自動車で出かけたという話をたくさん話されていました。心からの謝意と共にご冥福をお祈り申し上げます。

山崎久美子 バードカービングで素直な作品をたくさん製作されておられて羽根の緻密な流れに感心しておりました。バードオークションでオオタカを戴き、私の玄関に置かれています。作品を見るたびに川上さんのにこやかな顔が目に浮かびます。



宮島 仁

沖縄には「モアイ（模合）」というものがある。もちろん、イースター島にある人面を模した石造のことではありませんよ。内地でいう“頼母子講（たのもしこう）”や“無尽講（むじんこう）”の一種で、複数の参加者が定期的に集まって決められた一定の金銭を出し合い、その全額を順番に受け取っていくという制度のことだが、ちょっと分かり難いので具体的な例をあげると、

- ① 仲良しの5人（例えば：比嘉、金城、大城、新垣、宮城）が集まって模合をはじめ
- ② 毎月1人1万円ずつ出し合うことに決定する
- ③ 今月の“親”は比嘉さんとなり、5万円（1万円×5人）を受け取る
- ④ これを毎月繰り返し、残りの4人が親となって毎月5万円を受け取り、一巡したら終了

つまり、模合のメンバーとなった人たちが出し合ったお金を1人が受け取ることを毎月繰り返し、全員がお金を受け取ったら一旦終了で一区切りという流れで、出した金額分のお金は必ず最終的に戻ってくるので金銭的に損も得もしないのである。ある調べによると、沖縄県民の加入率は6割以上にのぼるらしく、実際には1人で複数の模合に参加しているケースもあるので、延べ人数はかなりの数になるはずだ。会費の相場は5千～2万円前後だが、なかには事業資金調達を目的とした会費数十万円もする高額模合もあるというのだ。模合の歴史は古く、その原型は18世紀以前の琉球王朝の時代には既に存在したようで、かつて銀行の利子が高く、多くの人にとって「融資」が遠い存在だった頃、一般庶民向けの金融制度としての地位を本格的に確立したのがルーツであり、特に、戦後の米軍統治によって金融機関の整備が著しく遅れたため、沖縄では模合がこれほどまで普及したのだという。

ただ、不思議なことは、現在のように金融制度が整備されている時代においても、老若男女こぞって盛んに模合に精を出していることがどうもよく分からないのだ。多くの模合が飲み屋に集まって一定の金額を取り合う利子無し模合なので、一度にまとまったお金が入るという利点はあるものの、実際には一文の得にもならない。それどころか、その月の“親”が二次会でおごるということもままあるので、実質的には目減りする事態が発生する。そうなのだ、現在の模合は庶民金融の場というより、仲間同士の親睦の場となっているのだ。模合仲間の友人に話を聞くと、「うちなーんちゅは何かとかこつけて集まるのが好きだからね～。でも、なにかとすっほかすことが多いのよ～、だから、お金がからむとすっほかせないでしょう～」と言う。おいおい、内地では「友人と末永く付き合うコツはお金をからませないこと」とよく言うが、沖縄ではわざわざそのお金をからめながら親睦を図るのが、これまたよく分からないところである。と、いいつつ、この私もいつしか三つの模合に参加するようになっていたのである。

今月の模合に向かう途中の海に白いクロサギがいた。こいつはいつも面倒な話となるのだが、クロサギは留鳥として本州以南に分布し、岩礁海岸や干潟、河口などに生息する。体全体が煤けた色の黒色型と純白の白色型と稀に黒色型と白色型の間個体がいる。南西諸島以南では白色型が多くなるが、これは南国の島々は白い砂浜が多く、白色が隠蔽色となって餌となる魚から見つけ難くなるためであり、逆に内地の海岸の岩場や砂浜は黒色をしているのでクロサギも黒色型が多いのだ。それにしても白いのに“黒サギ”なんてサギみたいな話なのである。

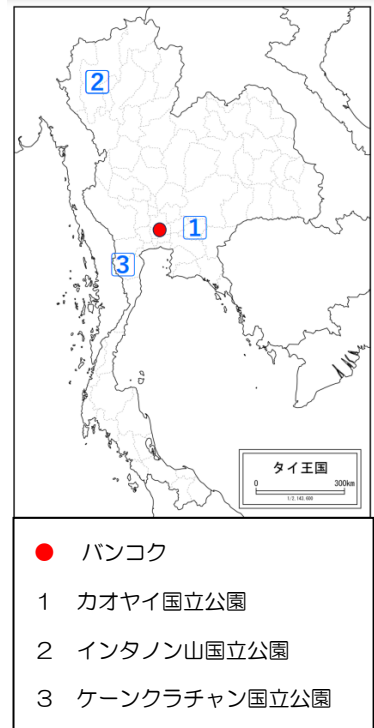


タイランド鳥だより (2) タイ国内の3つの国立公園と見られる野鳥

宮越 俊一 (バンコク駐在)

(参考 タイの野鳥 URL : <https://kawasemi.main.jp/guide/thai/birds.html>)

前号でバンコク市内およびその周辺で、半日ないしは日帰りの探鳥に適した場所と、期待される野鳥についてご紹介しました。続編となる今回は1~2泊程度で楽しむ、タイ国内の3つの代表的な国立公園での探鳥についてご紹介します。いずれも茫洋とした山域で、ガイド等なしでは探鳥スポットにたどり着くのが容易ではないかもしれません。季節はそれぞれに楽しめますが、一般に気温が高すぎず、山蛭に悩まされることの少ない季節として11月~1月がお勧めでしょうか。ただし、北部では近年、2月を中心にPM 2.5による大気汚染が深刻です。いずれも入園にはひとり200バーツから400バーツの入園料を徴収されますが、これが公園の維持整備の足しとなっています。すべての国民の共有資源として入園料を一切徴収しないことを旨としてきた日本の国立公園ですが、ここに来て「利用協力金」を徴収するケースも出てきており、世界標準やエコツーリズムの推進の立場からも参考とすべき段階かもしれません。



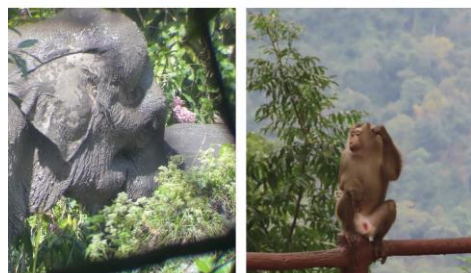
1. カオヤイ 国立公園 (Khao Yai National Park, タイ中部~東北部)



ズアカキヌバネドリ (中上)、オオサイチョウ (右上下)
カザリショウビン (中下)

タイで最初の国立公園であり、バンコクの東北約 200 km に広がる広大な山域を占め、タイの中央部と東北 (イサーン) 地方にまたがっています。常緑の熱帯雨林を中心に多様な森林が広がり、多くの滝など地形的にも変化に富んでいて、アジアゾウ、レパードをはじめとして生物多様性が豊かです。2005

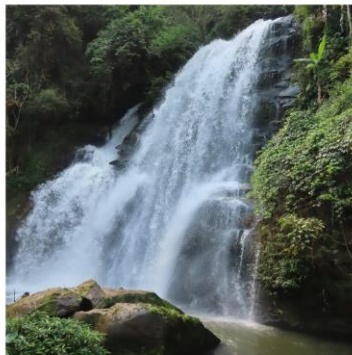
年にはユネスコ世界自然遺産にも登録されています。野鳥も豊富で、シンボルともいうベキオオサイチョウ、キタカササギサイチョウをはじめとするサイチョウの仲間、ズアカキヌバネドリ、キツツキ類、クマタカはじめ猛禽類、コサメビタキやハイガシラヒタキなどヒタキ類、カザリショウビンなどカワセミ類などが見られます。バンコクから車で直接か、タイ国鉄東北方面線でパークチョン駅に向かい、そこから車の利用となります。キャンプサイトなどが充実していて、一大リゾートとなっている点は少し違和感を覚える方もいるかもしれませんが、欧米のような滞在型リゾート地といった方がピンとくるかもしれません。ホテルなどは公園内ではなく、おもに山麓にあって車で通うことになります。



豊富な生物多様性の数々

園内の道路沿いには、コブラ横断注意の標識が・・・

2. インタノン山 国立公園 (Doi Inthanon National Park, タイ北部)



少数民族によるガイド (右上)

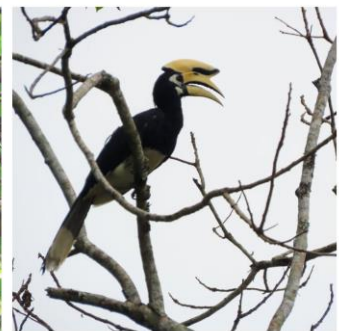
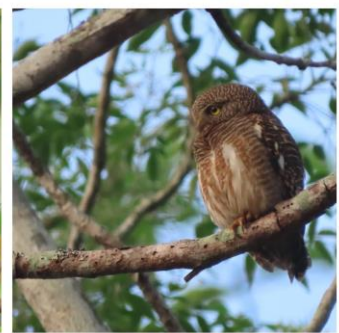
カワピタキ (♂ 中下)、オオルリチョウ (右下)、

タイ北部の古都、チェンマイから北部山地に入ったところに広がる国立公園です。インタノン山 (標高 2,565 m) はタイの最高峰でもあり、しかも山頂付近まで車で行くことができます。霧と雨の多い森

の中は、ランやシャクナゲの仲間、シダやコケが発達して独特の景観を形成しています。とくに赤いシャクナゲはシンボリックな存在です。年末年始頃の早朝には、気温が 10℃以下に下がることもありますが、常夏の国で日常を過ごしていると、非日常的に四季を思い出してすがすがしく感じられます。展望を楽しみながらハイキングができるトレイルが何本も整備されています。かつてはミャンマーやラオスの国境にかけてケシの栽培も盛んでしたが、現在は王室プロジェクトなどによる努力の結果、多くがコーヒー豆、野菜や花の栽培に切り替わっているほか、少数民族をガイドに雇ってのエコツーリズムも、地元で現金収入をもたらしています。チェンマイの市内観光と兼ねて訪れる人も多いようです。

3. ケーン クラチャン 国立公園 (Kaeng Krachan National Park, タイ中部～南部の入り口)

バンコクの南西約 300 km、マレーシアへと続くマレー半島の付け根、ミャンマーと国境で接する地域に広がる、タイでは最大の面積の国立公園です。多様な植物相や動物相で構成されていて、乾生フタバガキ、混生落葉樹、乾生常緑樹、山岳常緑樹などの森林があります。アジアゾウやシカ類、ネコ科の動物なども豊富で、2021 年にはユネスコ世界自然遺産に登録されました。細い回廊のようになった半島部を通過して、渡り鳥たちが南北に移動するため、年間を通じて見られる野鳥はこの国随一ともいわれています。年間を通じて見られるシンボリックな存在の野鳥としては、カササギサイチョウ、クロラケットオナガ、ビンムネヒロハシなどのほか、季節による渡り鳥、旅鳥なども多く観察されます。シロボシオオゴシキドリなどゴシキドリの仲間、ミドリテリカッコウ、キンバトやオオズメフクロウ、ミナミカンムリワシ、ミナミツミといった猛禽類、オニクロバンケンモドキ、チャムネバンケンモドキといったなじみの薄い中～大型の野鳥、家禽の原種と言われるセキショクヤケイなどもよく見られます。表玄関はリゾート地として知られるホアヒンで、ここから車利用となります。私は明るくないのですが、蝶類好きにはたまらないところでもあるようです。



奥の山並みの向こうは近くて遠い国ミャンマー、ビンムネヒロハシ (中上)、オオズメフクロウ (右上)
チャムネバンケンモドキ (中下)、キタカササギサイチョウ (右下)

以上、3 つの代表的なタイの国立公園での探鳥の例を簡単にご紹介しました。皆様の今後の参考になれば幸いです。

宇津貫（うつぬき）みどりの会の野鳥カウント

三代目会長 吉原 邦男

7、8月を除く第三月曜日に、八王子・日野カワセミ会と宇津貫みどりの会（注）が協働して、野鳥カウントを行っている。8時に八王子みなみ野駅を出発して、毘沙門天、宇津貫公園、七国閑道西尾根緑地、宇津貫緑地を巡り、兵衛川に沿って、みなみ野駅に戻るコースを約4時間かけて行うものである。

2003年1月から始まり、当初は台・只沼方面で、みなみ野駅の北側のコースだったが、2010年2月から今のコースに変更された。

現在のコースのハイライトは、何と言っても宇津貫緑地内で観察すること。

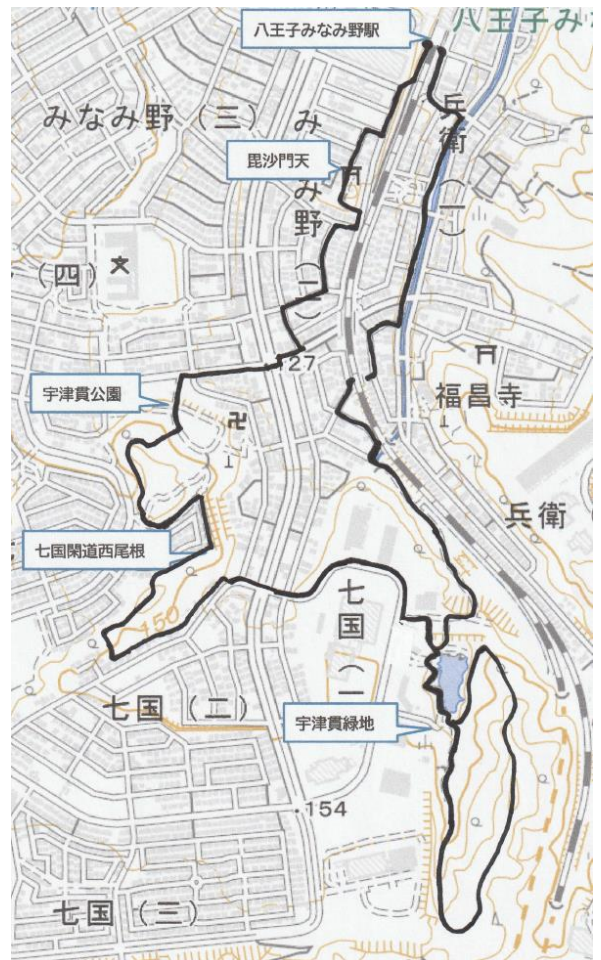
宇津貫緑地は八王子市の公園緑地の1つで、面積約16haであるが、その内約10haは、動植物保護のため特別保存ゾーンとして一般者立ち入り禁止となっている。この区画に入れる機会は貴重である。

宇津貫緑地は、みなみ野シティ開発前の里山の状態を残していて、薪炭林の名残である雑木林を中心に、針葉樹の植林地、皆伐地、竹林、田（谷戸田）、兵衛川の源流、小川、湿地、池があり、一般開放ゾーンには、広いススキ原もあり、狭い土地に多様な植生、環境がモザイク状に展開している。そのために多様な植物が育ち、多様な昆虫、鳥類、けもの（小型哺乳類）を育てている。一年を通じて（冬の一時を除いて）、次から次と花が咲いていて、植物観察も同時に行えることも、宇津貫緑地の大きな魅力である。

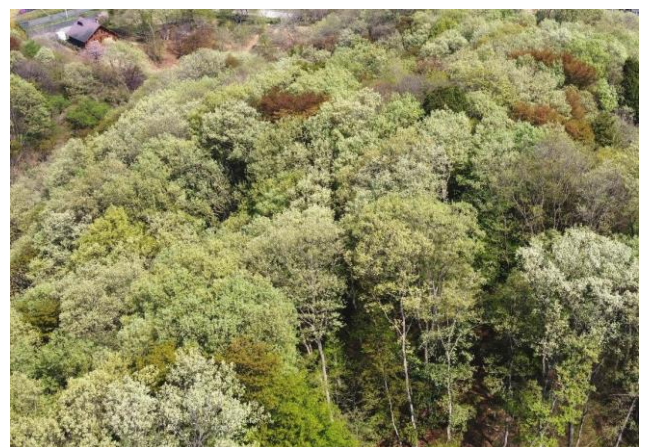
鳥類で特筆すべきは、フクロウが営巣すること。現在のコースで始めた初期の野鳥カウントの時にフクロウの声を聞いたことより、2012年5月に、カワセミ会よりフクロウの巣箱を提供していただき設置した。2015年1月に現在の場所に移動し、トレイルカメラも設置して観察を続けてきた。しかし、ヒナを確認したのは、2021年6月のみである。他の野生動物、イタチやアライグマがカメラに写っていたこともあるので、注意して見守っている。

他には、春秋に旅鳥として意外な鳥が通過し、ヤマシギが滞在したことも2回ある。また、冬には池にカモ類がやってくる。近年では、ヒドリガモ、トモエガモやヨシガモなど。

草原森林性の鳥も、一通り安定して確認され、オオタカ、ハイタカ、チョウゲンボウ、ツミなどの猛禽類も時折見られる。そして、今までに観察された鳥類は、65種になる。



＜野鳥カウントのコース＞



＜新緑の宇津貫緑地＞

(注) 宇津貫みどりの会

【はじまり】

1988年、住宅都市整備公団（現UR都市再生機構：以下公団と言う）による南八王子土地区画整備事業の工事が始まった頃、子供育成会が植えたサクラが突如、伐採されたことをきっかけに、人里の樹木を守りたい思いが地元の人々の間に生まれた。そのような樹木を残そうと地元の主婦15名が立ち上がり、地元住民の思い出の樹木を寄贈していただき、それらを公園などに移植して残すための運動を始めた。この運動が宇津貫みどりの会設立のきっかけである。

そして、1991年10月6日に宇津貫緑地の自然環境保全と里山文化の継承を目的として、宇津貫みどりの会が設立された。

【活動】

初期には、公団から用地を借りて、篠竹を切り開き、そこに希少な植物を自分達で移植していた。その後、宇津貫緑地の一部を借りることになり、篠竹を切り開き、植物を移植し、落ち葉を堆肥化する里山保全のサイクルが回るようになってきた。

2008年には宇津貫緑地も八王子市に移管され、八王子市と公園アドプト契約を結んで、指定管理者の下、現在のように宇津貫緑地の里山環境保全を中心に活動している。

会の活動をまとめると、以下のようになる。

1、宇津貫緑地（特別保存ゾーン内）の自然環境を守る活動

- ・植物の年サイクルに合わせた下草刈りと落ち葉掃き
- ・（絶滅危惧種を含む）希少動植物の保護、育成
- ・竹林の整備、実生苗の育成と移植（森の若返り）

2、宇津貫緑地の自然に親しむ活動

- ・緑地を散策する自然観察会実施
- ・森の素材を使った工作教室、リース作り主催
- ・環境学習や山の手入れ作業体験の提供

3、みなみ野シティ開発前の歴史・文化の伝承活動

- ・昔の宇津貫町の様子や、伝統的な行事や習慣を記録し出版

絵地図「宇津貫・片倉むかし道」 、「谷戸のくらし」

- ・周辺の史跡や神社仏閣、公園や緑地などを巡るハイキングを主催

4、宇津貫緑地（一般開放ゾーン内）の整備（適宜）

- ・園路整備：ゴミ拾い、落ち葉掃き、雪かき、落枝の除去、遊歩道に飛び出た危険な枝や篠竹を除去
- ・植栽整備：花木の剪定、木に絡んだクズの除去など



<落ち葉掃き>

【今後】

八王子みなみ野シティの一角にありながら、宇津貫緑地の存在を知らない地域の方はまだ多い。観察会や環境学習、里山体験などを通じて、宇津貫緑地の価値を多くの人に知ってもらい、さらに、地域の方々と一緒に、里山保全を継続して行うことが我々の目標と考えている。

川口川におけるカイツブリの子育てと繁殖環境

【本報告は 2024 年 11 月 21 日に開催された第 9 期浅川流域連絡会第 2 回全体会（東京都南多摩西部建設事務所事務局）で本連絡会の米沢純爾委員から情報提供として報告された論文を同連絡会に出席していた粕谷和夫が米沢さんに依頼して概要として取りまとめたものです。】

八王子市川口町 米沢 純爾

川口川でカイツブリが繁殖しているが、その実態については不明な点が多い。そこで今回、その実態を把握するため、川口川での営巣地となっている川中新橋～宮田橋間（以下、川中新橋区下流区）と堀口橋～駒形橋間（以下、堀口橋下流区）の 2 カ所について、子育てと繁殖環境を調査した。調査対象期間は、2021～2024 の 4 年間であるが、このうち前半 2 年については地元の野鳥愛好家からの情報収集によった。後半 2 年については現地で実際にカイツブリの観察と撮影を行い、水温、植生、餌生物等を調査した。雨量と水位については、東京都建設局が設置した、川口川片井戸観測所の計測値を用いた。以下に、調査結果の概要を記載する。

生息環境：カイツブリの主たる繁殖域は、川中新橋下流区では延長約 90m、最大流幅約 12m の淵で、水辺にはガマ、キショウブ、ツルヨシ等の抽水植物が分布している。堀口橋下流区では延長約 140m、最大流幅約 15m の淵と、その上流にある延長約 30m、最大幅約 5m のワンドで、それらの水辺にはツルヨシ、クサヨシ、ミソソバなどの抽水植物が繁茂している（図 1）。両区周辺の水温範囲は 8.7℃（1 月）～28.3℃（8 月）であった。水位は 60cm 以下のケースが約 80%で、6 月と 8～10 月に 60cm 越えの頻度が高かった。2024 年 8 月 29～30 日に、水位が 150cm を越える大増水があり（図 2）、堀口橋下流区では、水辺に繁茂していた抽水植物の過半が流失した。



図 1 堀口橋下流区。奥が上流側で、営巣地は右手の民家前。2024 年 6 月 16 日

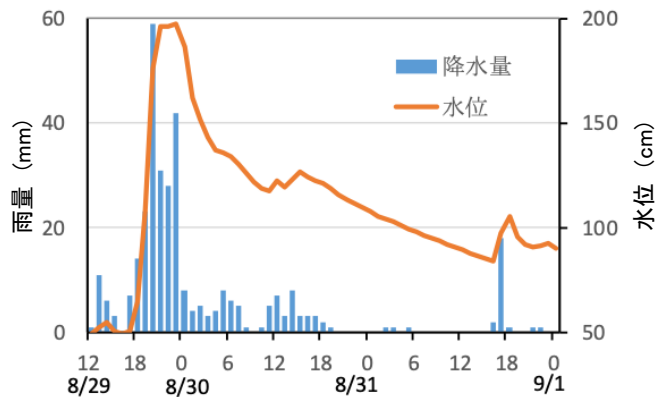


図 2 2024 年 8 月 29～31 日における片井戸橋観測点の雨量と水位(1 時間単位)。

営巣地点と巣の形状：川中新橋下流区では、水面に倒れ込んだ小木の枝先やマダケの穂先上に、堀口橋下流区では、ツルヨシの水上市落内に、それぞれ巣が築かれた。巣の形状は、直径が約 50cm、水面上の厚さは最大部が 10cm 余り、中央が凹み、縁辺は水面に向かって傾斜している。巣材は、ツルヨシ等の抽水植物の茎や葉、タケやクズの葉で（図 3）、繁殖毎に新しい巣を構築した。

産卵と孵化：年間の繁殖回数は、川中新橋下流区では 2021 年から順に、3 回、1 回、2 回、0 回、堀口橋下流区では同じく順に、不明、3 回、2 回、2 回であった。1 回の産卵数は 4～5 個のケースが多く、孵化に要する日数は 20～21 日前後と推定された。親が殻を突き、孵化を手助けするケースが認められた（図 4～5）。産卵と孵化は、第 1 回繁殖は 3～4 月、第 2 回繁殖が 6～7 月、第 3 回繁殖は 8～9 月であった。大規模な増水が巣を流失させ、また繁殖回数低下につながる事が示唆された。



図 3 マダケの穂先に作られたカイツブリの巣。雛は水面と親の背中にある。川中新橋下流区 2023 年 4 月 23 日



図4 ツルヨシの水中群落内に作られたカイツブリの巣。4個の卵と雛1羽(葉の裏)が見える。堀口橋下流区 2024年7月4日



図5 孵化直後の雛。親が殻を突いて孵化を手助けした。堀口橋下流区 2024年4月29日

給餌と採餌：給餌と採餌は、①巣給餌→②引率給餌→③自力採餌の3段階を経ることがわかった。①期では、雛が巣上、あるいは巣周囲で親から餌を受け取った。②期では引率による餌場の学習が行われ、①②期を通じ、魚の捕獲指導が行われた(図6~7)。餌の種類は、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ類、アメリカザリガニ、エビ類、ハグロトンボ(幼虫、成虫)などであった。



図6 巣の上流へ全雛を引率給餌。堀口橋下流区 2024年7月17日



巣の利用・管理：巣の役割は、①産卵・孵化→②給餌・雛の保温→③雛のねぐら・休憩場所と変化した。この間、降雨後などに、巣の天日干しや、巣材の補強が行われた。また、巣を清潔に保つため、雛も親も巣外で排泄した。2024年の第1回繁殖では、全卵孵化完了後20日頃までに、巣は放棄されたが、これは羽毛が発達し、雛が水上生活に適應できるようになったためと判断された。

外敵への対応：未孵化卵がある状況で、両親がともに巣を離れる場合には、卵をクズの葉などで覆った。孵化後については、ハシボソガラス、アオサギ、シマヘビへの警戒行動が確認された。その際、親が「ピッ！」という警戒音を出すことが多く、雛は親の背に乗るか、自力でツルヨシの水上群落内に避難した。親による雛への避難指示は、巣給餌の期間に多く見られた。



図7 親が捕まえたカワムツで、雛が魚を追いかける訓練。堀口橋下流区 2024年7月18日

雛の追い出し：雛の自立採餌が可能になった段階で、親による雛の追い出しが始まり、2024年第1回繁殖では、全卵孵化68日後までに、雛が全て繁殖域外に追い出された。

好ましい繁殖環境：上記の調査から、カイツブリの繁殖には一定面積の淵と、水際に生えるツルヨシ等の抽水植物が不可欠であり、増水に対応するためワンド等の避難場所も重要と考えられた。

表紙の野鳥 ‘キジ’ について

会報カワセミ編集長： 浜野 建男

今回の表紙は「キジ」です。会員から募集したキジの感想文書を以下に掲載します。(投稿順、敬称略)

- ◇ 数年前、高尾山に登った時のことです。同行した人たちと距離が空き、子供と二人きりで山道を歩いていると、ほんの目の前をキジがタタッと歩いて横切りました。至近距離で見られ、感激しました。鮮やかな色が印象に残りました。「キジ、いたね」「キジも歩いてたね」と何度も話しながら頂上まで歩きました。 (尾本 聖子)

- ◇ キジも飛ぶ！
バードウォッチングを始めた頃だから 30 年以上も前の話。日本野鳥の会東京支部(当時)の多摩川探鳥会(聖蹟桜ヶ丘付近)に参加。狙いはヤマセミでしたが、残念ながら見られず。交通公園付近で観察していると、ケーンという甲高い声がしたかと思うと、キジのオスが飛び出し、100m くらい飛んで、比較的高い木の中段の枝に止まりました。キジなど見慣れた鳥でしたが、こんなに長距離(?)を飛ぶのを見たのは初めてで、びっくりしました。キジもこんなに飛ぶんだ、と甚く感心したのを覚えています。それ以来そんな長距離飛行を見ていません。 (加藤 岸男)

- ◇ 今の家を購入するきっかけとなったのは前の土手にキジが来ると聞いたからだ。しかし近くに大型商業施設や倉庫などが次々と建設され、次第にキジが居なくなった。人と自然が共生する世界の実現が大きな課題である。 (市村 緑)

- ◇ 秋の浅川に 5 羽のキジが出現
浅川の河原にキジのような大型の野鳥がかなりの密度で一年中生息していることは、八王子、日野の誇りと思っています。キジの鳴き声と姿は春に目立つが、秋は草株の中に紛れていてあまり目立ちません。しかし、2023.10.28 のカワセミ会ジュニアクラブの野鳥観察会では新浅川橋近くの河原に 5 羽のキジのグループが突如出てきて子供たちが大喜びでした。 (粕谷 和夫)

- ◇ キジの飼育の思い出
子供の頃、親戚の叔父さんから「キジの中ビナ」を一羽貰いました。知人が「チャボの親に卵を抱かせて孵化させた」「チャボと同じように飼えるから」との事でした。「キジのキーちゃん」と名付けて、飼育を始めました。成鳥の羽に変わりつつあるキーちゃんは、人懐こく、温厚なオスでした。空き地のハコベや、私のおやつのカッキーやミカンなど、キーちゃんは何でも嬉しそうに食べました。「キーちゃん」と呼びかけると「キーコッコ」といつも小さな鳴き声を返してくれました。キーちゃんは大人になっても、なぜか「友達宅の床の間で見かけた、華やかな姿」にはなりません。キーちゃんは「コウライキジ」だったのです。「叔父さん、先に教えてよ。長いこと待ったよ」と、幼い頃の思い出です。 (一場 香理)

◇ 2年ほど前までは、多摩川の近くの河原でキジの雄2羽が激しく争っているのをよく見かけましたが、最近は見られなくなりました。河原が藁に覆われ荒れ果てており、キジの姿を見かける機会も減り、寂しい限りです。 (福本 健)

◇ 採餌したり母衣打ちしたりするキジ(雄)の優雅な姿をいつもは楽しんでいました。ところがある日、縄張り争いの姿を初めて見た時にはその激しさと真剣さに驚かされたものです。今でもその時の驚きが思い出されます。 (岡本 昭男)

◇ キジは、日本の国鳥です。

草かげから、真っ赤な頭部が見えた時は、心が躍るような気持ちになりました。樹木の切り株の上で、ケーンケーンと雄たけびを上げたところを見た時は、美しさに心が震えました。 (山崎 久美子)

◇ 八王子市の鳥は？【オオルリ】東京都の鳥は？【ユリカモメ】国鳥は？【キジ】です。と、子供たちにクイズします。国鳥は昔話、桃太郎に出て来るキジです。私の菜の花畑でケーン・ケーンと大声で鳴きます。その後メスが6羽のヒナを連れてトマトを食べに来ました。大玉の美味しいトマトです。がっかり。・・・メスが産んだ卵は何と12個でした。

(門倉 美登利)



◇ 2014年の冬に、多摩川の多摩大橋付近から中央線鉄橋に掛けて、「治水」を目的とした大規模な皆伐・抜根が行われました。同地の月例カウントを3月に行った時、草木の無くなった河川敷で、雄のキジが一羽、途方に暮れた様子でじっとしていたのが記憶にあります。その時の写真には、工事の「法丁張」が隣に写っていて、印象的でした。 (神谷 古牧)

◇ キジは浅川の探鳥などで、特に繁殖期に鳴き声を聴いたり、河原を歩く姿を見ることがあります。なかなか臆病な鳥なので、我々の気配を感じると、慌てて逃げるがよくあります。驚くのは、大型で重そうな体なのに、川の流れを飛び越えて向こう岸まで飛ぶ姿を見たときです。ちゃんと飛べるんだ・・・と感心します。 (浜野 建男)

◇ 何周年の時だったか、カワセミ会の企画展で、入り口に大きく引き伸ばされたキジの写真が飾られていた。あまりの美しさに見入ったのを覚えている。細やかな紋様、角度によって変わる色合い、輝き。鳥の羽は見れば見るほど不思議に満ちていて飽きない。一枚一枚を手にとって広げて見てみたいがそうもいかず、もっぱらバードカービングで何とか表現できないかと、勤しんでいる。苦戦・・・ (浜野 知恵子)

<表紙画像提供者> 以下の方々からご提供いただきました。ありがとうございます。

岡本 昭男、川上 恵、加藤 岸男、福本 健、他

外部機関が主催する探鳥会の支援記録 (2024年7月～12月)

○八王子市水辺のかんきょう教室支援

日時 2024年9月7日(土) 8:30～12:20

天気 晴れ

対象 八王子市科学教育センターの児童(5,6年生)

場所 八王子市役所前の浅川右岸(つるまき橋下～南北浅川の合流部付近)

支援者 5名 粕谷和夫、門倉美登利、浜野知恵子、古山隆、門口一雄

各班の子どもたちが選んだベスト

- ・1回目の班; 8:15～9:35 確認した種数12種
ベスト; キジ、ダイサギ、アオサギ
- ・2回目の班; 10:00～10:45 確認した種数14種
ベスト; キジ、アオサギ、ダイサギ、カワセミ、ヒメアマツバメ
- ・3回目の班; 11:10～11:55 確認した種数10種
ベスト; カワウ、アオサギ、イカルチドリ、カワセミ

概要・感想等

八王子市科学教育センター主催による「水辺のかんきょう教室」を支援した。八王子市役所近くの南北浅川の合流付近で見られる「野鳥、魚、水生生物と水質」の3分野を観察するイベントでカワセミ会は野鳥観察の支援をした。参加児童は八王子市内の小学5・6年生77名を3班に分け45分交代で実施。定点観察を主とし、各班ともキジ、アオサギ、カワセミ等10数種の野鳥を観察できた。アオサギの飛び姿や川岸で長い間たたずむダイサギの様子等も説明した。

また、八王子でも秋にはサシバの渡りがみられることやイソヒヨドリが生息域を拡大していること等カワセミ会の活動を紹介した。

(担当 門口 一雄)

○八王子市立上川口小学校 2024年度3・4年第2回野鳥観察会支援

日時 2024年11月22日(金) 8:45～10:05

天気 晴れ

場所 学校周辺東部・西部コース

観察した鳥: 23種(両コース合せて)

カルガモ キジバト トビ カワセミ コゲラ モズ ハシブトガラス ハシボソガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ
コジュケイ ガビチョウ

参加者 上川口小学校3・4年児童9名 教職員5名

カワセミ会6名 市村緑 加藤岸男 門口一雄 管野桂子 佐藤哲郎 玉木雅治

概要・感想等(担当・加藤が参加した西部コースの様子を報告する。)

雨天のため1日延期して実施した。校庭に2羽のハクセキレイ、ホオジロの声、カワラヒワとハシブトガラスを観察して出発。鳥たちの声も少ない。畑地に入るとジョウビタキのオスが止まったままだったのでじっくり観察した。モズも鳴くがすこし遠い。ヤマガラとシジュウカラが栗の木にいた。いつもスズメがいる場所にいない。出発当初の悪い予感が当たったかのように、鳥影が少ない。

都道を渡り左岸の畑地へ。メジロがいた。アオジの声もした。キジバトが見にくい場所にいた。時間に余裕があったので、畑のオブジェのところで休憩。再び歩き出すとスズメの30羽ほどの群れに出会った。子ども達から歓声があがった。スズメで?と思った。学校までの歩道を歩いていると上空にトビが出現。トンビだ、との声。トビですよ、と訂正すると担任の先生が、今までトンビだと思っていました、とのことだった。

鳥合せと帰校式をする。子ども達は積極的に発言していた。

(担当 加藤 岸男)

探鳥の記録(2024年7月～12月)

| | | |
|----------------------|-----------------|-----------------------------------|
| 7月6日(土) | 遠出探鳥会 | 都市公園シリーズ⑩ 板橋・都立浮間公園 |
| 7月10日(水) | 平日探鳥会 | 高尾山周辺 大月市秀麗富岳シリーズ⑨ ハマイバ丸と湯ノ沢 峠の花畑 |
| 7月24日(水) | 遠出探鳥会 | 里山歩き(三分一湧水から棒道) |
| 8月2日(金) | 平日探鳥会 | 高尾山周辺 夕方から夜の高尾山(鳥の声とピアマウント) |
| 8月3日(土) | 観察会 | 多摩川 ツバメ集団ねぐら観察会 |
| 8月4日(日)～ 6日(火) | 遠出探鳥会 (2泊3日) | 真夏の伊吹山・イヌワシ探鳥会 |
| 8月11日(日) | 月例探鳥会 | 高尾山早朝探鳥会 |
| 8月21日(水) | 遠出探鳥会 | 里山を歩く(日光杉並木) |
| 9月8日(日) | 月例探鳥会 | 多摩川:石田大橋から中央線鉄橋 |
| 9月18日(水) | 遠出探鳥会 | 里山を歩く(飯能巾着田) |
| 9月29日(日) | 観察会 | 高尾山周辺 陣馬山でタカの渡り観察探鳥会① |
| 10月4日(金) | 観察会 | 高尾山周辺 陣馬山でタカの渡り観察探鳥会② |
| 10月13日(日) | 公開探鳥会 | 浅川:長沼橋から大和田橋 |
| 10月16日(水)～ 18日(金) | 遠出探鳥会 (2泊3日) | 秘湯めぐり探鳥会⑩ 福島市の探鳥地と姥湯温泉 |
| 11月10日(日) | 月例探鳥会 | 多摩川:中央線鉄橋～小宮(通称「ひょうたん池」) |
| 11月13日(水) | 平日探鳥会 | 高尾山周辺 藤野・名倉金剛山と石橋山 |
| 11月27日(水) | 平日探鳥会 | 湯殿川・浅川・長沼公園 |
| 12月1日(日) | 遠出探鳥会 | 葛西臨海公園 |
| 12月6日(金) | 遠出探鳥会 | 里山を歩く(柏市の紅葉をめぐる) |
| 12月8日(日) | 月例探鳥会 | 湯殿川(住吉橋～釜土橋) |
| 12月10日(火) | 平日探鳥会 | 高尾山周辺 藤野・佐野川の林道と鷹取山 |
| 12月31日(火) | 遠出探鳥会 | 大晦日探鳥会 大磯谷戸川の道 |

*天候などの理由で中止となった探鳥会

7/14 醍醐川 月例探鳥会、8/31 ふなばし三番瀬 遠出探鳥会、9/18～19 白樺峠タカの渡り 遠出探鳥会、10/23 勝沼ぶどう郷 遠出探鳥会、11/11 明鐘岬 遠出探鳥会、11/20 塩山ころ柿の里 遠出探鳥会

○遠出探鳥会 都市公園シリーズ⑩ 板橋・都立浮間公園

日時:2024年7月6日(土)9:10～11:20

天気:曇り(薄日あり)

集合:JR 埼京線浮間舟渡駅改札前 9:00

行程:

(往路)①京王高尾駅発 7:28→新宿駅発 8:37→埼京線・浮間舟渡駅着 8:57 ②JR 高尾駅発 7:31→新宿駅発 8:28→埼京線・浮間舟渡駅着 8:45⇒浮間公園着 9:05(探鳥・休憩)・11:50 発⇒浮間舟渡駅着 12:00
解散:浮間公園出口付近 11時25分頃

(復路)浮間舟渡駅発 12:01→新宿駅発 12:40→京王高尾駅着 13:31 ②浮間舟渡駅発 12:01→新宿駅発 12:30→JR 高尾駅着 13:17

観察した鳥:17種(ベスト:ササゴイ オオタカ バン)

カルガモ カイツブリ キジバト ササゴイ アオサギ バン オオタカ オナガ ハシボソガラス
ス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ カワラバト
(ドバト)

参加者:9名

概要・感想等

日本野鳥の会・埼玉の「young 探鳥会」には 25 名ほどの参加者がいたが、私たちは 9 名。この暑さの中でよくまあ…、と感心する。駅から 1 分、もうそこは都立浮間公園。でも水面には何もいない。冬ならば水鳥でいっぱい。釣りの方の方がはるかに多い。バードウォッチャーはちらほら。

参加者の方の、あれじゃない?! という言葉通り、本日の唯一の主演ササゴイが浮きブイの上に 3 羽。更に奥の浮きブイの上にもいる。更に数羽のササゴイが全身の羽を逆立てて甲高い声を出していた。浮島まで進むと、釣りをしていた方が、あの島にさっきオオタカが入っていった、だから警戒しているんだ、と教えてくれた。にわかに信じがたかったが、しばらくすると一羽の巣立ちヒナを追ってオオタカが現れた。私達も緊張した。ヒナは枯れた草の陰に隠れてじっとしている。オオタカが近づく…、でも中々接近しない。水辺の急斜面だからだろうか、ちょっと前に一羽捕まえた(釣りの方の情報)からまだ空腹ではないからだろうか…。しばらくしてオオタカは奥に行き見えなくなった。

園内を一周する。オナガがよく鳴く。バンがいた。カルガモは奥の方に。小鳥の森(バードサンクチュアリー)には入れないが、ゴイサギもいるとのこと。堤防まで上がって荒川を見たが何もいなかった。更に進むと、突然オオタカが浮島から飛び立って消えた。平穏な時が来た。もう警戒する鳴き声は聞こえない。

もう一生分ササゴイは見たわ、という声を潮に、鳥合せをして解散した。お弁当を食べる方もいた。更に撮影をする人も…。結局ササゴイは 25 羽±か…。

(担当 加藤 岸男)

○平日探鳥会 高尾山周辺 大月市秀麗富岳シリーズ⑨ ハマイバ丸と湯ノ沢峠の花畑

日時：2024 年 7 月 10 日(水) 10:05~13:55

天気：曇り

集合：JR 中央線甲斐大和駅改札口 9:10

行程：JR 高尾駅発 8:01→甲斐大和駅着 9:04・9:15 発(自家用車 3 台に分乗)→湯ノ沢峠登山口着 9:50・10:05 発⇒湯ノ沢峠お花畑⇒大蔵高丸着 11:05⇒ハマイバ丸着 11:55(休憩・昼食)・12:25 発⇒大蔵高丸⇒湯ノ沢峠着 13:55→道の駅甲斐大和(休憩)→笹子駅着 15:15・15:29 発→高尾駅 16:30 着 解散：道の駅甲斐大和 15:05

観察した鳥：17 種(ベスト：ホオジロ ビンズイ)

ホトトギス トビ コゲラ カケス コガラ ヤマガラ イワツバメ ウグイス エナガ メボソ ムシクイ ミソサザイ ルリビタキ キセキレイ ビンズイ イカル ホオジロ アオジ

参加者：14 名

概要・感想等

甲斐大和駅から会員にご提供いただいた車 3 台で湯ノ沢峠へ移動。峠手前で、コマドリとキビタキが鳴いた。予定より 5 分遅れで峠を出発した。すぐにシカ除けの柵が見えた。湯ノ沢峠のお花畑だ。しかし、オダマキがさみしく咲いている程度。ただ、白い花のノイバラは全コースで満開だった。ホオジロが近くで、ビンズイが遠くで鳴いていた。よく整備されたブナ林のコースを大蔵高丸まで登る。富士山は山頂部が雲で見えない。南アルプスも残念ながら同様。

ほぼ平坦な道をハマイバ丸に向かう。猛禽だ、との声で上空を見る。トビだった。ほぼ中間点に来ると、またシカ除けの柵が見えた。扉を開けて入るとそこはシモツケをはじめとする草花が満開だった。湯ノ沢峠のお花畑があんなだったので、感慨ひとしおだ。じっくりゆっくり観察する。本日の主目的だったから。ハマイバ丸山頂は樹木に囲まれていた。富士山方向だけが伐採されていて展望があるが、富士山には雲が…。昼食にしたが少し寒さを感じた。

同じ道に戻る。大蔵高丸で記念撮影。ここでコガラを確認。そしてミソサザイの巣立ちヒナと思われる鳴き声も聞く。湯ノ沢峠には 35 分遅れで到着。鳥合せ後、道の駅甲斐大和に向かう。トイレ休憩と買い物をして、ここで解散。2 名は笹子駅から電車で。他の人は 3 台に分乗して帰路に着いた。梅雨の時期でどうかと思ったが雨は降らなかった。

*参考 花のベスト 5：①シモツケ ②ノイバラ ③チダケサシ ④ウスユキソウ ⑤オオバギボウシ
(担当 加藤 岸男)



<ハマイバ丸のお花畑>

○遠出探鳥会 里山歩き（三分一湧水から棒道）

日時：2024年7月24日（水）10:15～15:50

天気：雨後曇り

コース：小海線の甲斐小泉駅から三分一湧水に立ち寄り、信玄棒道を通して小淵沢駅まで歩いた。

観察した鳥：26種（ベスト：ジョウビタキ親子、ホオジロ、クロツグミ）

キジバト、カッコウ、トビ、コゲラ、アカゲラ、サンショウクイ、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジウカラ、ツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、センダイムシクイ、メジロ、クロツグミ、ジョウビタキ、キビタキ、スズメ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、ガビチョウ

参加者：16名

概要・感想等

甲斐小泉駅で下車すると雨が降り出し、本降りとなった。スマホで雨雲の動きを見ると、雨は13時頃まで止みそうもないので、駅前にあった平山郁夫シルクロード美術館に併設されているカフェで雨宿りをした。その後、三分一湧水の所にある東屋に移動して昼飯を済ませて出発した。雨上がりの後の棒道はカラマツ、雑木林が連続するほぼ平の遊歩道になっていて、気持ちよく歩けた。ハケ岳山麓で繁殖しているジョウビタキの幼鳥や親に数か所で出合った。棒道では他にホオジロの姿、クロツグミのさえずりが特に目立った。



（担当 粕谷 和夫、千葉 槇子）

<ジョウビタキ幼鳥>

○平日探鳥会 高尾山周辺 夕方から夜の高尾山（鳥の声とピアマウント）

日時：2024年8月2日（金）16:00～20:45

天気：晴れ

集合：京王高尾線高尾山口駅改札口 16:00

行程：高尾山駅口発 16:05 発⇒清滝駅着 16:10・16:15 発（リフト）→山頂駅着 16:25⇒高尾山頂着 17:15（休憩）・17:30 発⇒山頂駅（霞台ピアマウント）着 18:10（鳥合せ・夕食）・20:30 山頂駅着→清滝駅⇒高尾山口駅着 20:45 頃 解散：高尾山口駅 20:45

観察した鳥：17種（ベスト：アオバトの声 イカル）

キジバト アオバト アオゲラ カケス ハシブトガラス ヤマガラ シジウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ イカル ガビチョウ ソウシチョウ

参加者：8名

概要・感想等

高尾山口駅には6名が集まり出発。まだ暑い。ツバメが飛ぶ。親水エリアには子供たちが遊んでいたが、キセキレイとセグロセキレイがいた。清滝駅からはリフトを使う。途中アオゲラが鳴いた。霞台からの景色は霞んでいて遠くは見えなかった。薬王院からの1号路は意外とアップダウンや階段があり、体力を使う。ただ風は心地良い。アオバトが近くで鳴く。探すが見つけれなかった。

山頂には予定より少し早く到着。キジバトが水道水を飲んでいて、カケスが鳴く。富士山方面は霞んでいて見えなかった。帰路は富士道経由にした。ソウシチョウが近くで鳴いた。山頂駅で鳥合せをして2名はここまでで帰られたが、ここから新たに2名が参加。高尾ピアマウントへ。団体が帰った後で空いていた。夕焼けを見ながら楽しいひと時を過ごした。帰りのケーブルカーには一番前に乗り、トンネルを出た辺りからの夜景も楽しんだ。

（担当 加藤 岸男）

○観察会 多摩川 ツバメ集団ねぐら観察会

日時：2024年8月3日（土）17:45～19:30

天気：晴れ

場所：日野市栄町地先（ツバメがねぐら入りする中州は日野市内であるが、左岸の立川市富士見町との境界付近で、観察地は新奥多摩街道の「団地西」バス停から南に約500m地点）

ねぐら入りしたツバメの羽数：約 16,000 羽、他にコシアカツバメ、ハヤブサ、カワウ、アオサギ、ダイサギ等

参加者：13 名

概要・感想等

多摩大橋下流域のツバメの集団ねぐらは昨年までは右岸（八王子・日野市側）から観察できたが、今年はねぐら位置が左岸側に移動したので、左岸の新奥多摩街道の「団地西」バス停から南に約 500m地点が観察地となっている。毎週、会員の下野さんが中心となって行っているねぐら入り羽数のカウント等の調査に参加させてもらった。ツバメが集まって来る前に渡辺さんからツバメの集団ねぐらの解説があり、ねぐら入りした後は懐中電灯とスコープの組み合わせによりヨシにとまっているツバメを確認できた。以下は下野さんのカウントメモの一部で途中、ハヤブサ 1 羽が群れで飛翔中のツバメの集団に突っ込んだ。

18:39 コシアカツバメ 3 羽を含み 110 羽程度が左岸を飛ぶ。

18:45 ようやく上流側上空に 430 羽以上集結する。

18:53 右岸竹林上空を中心に 11000 羽以上が飛んでいる。

19:05 竹林上高空に多めに見積もって 13000 羽程度であるが、中洲奥及び対岸にはすでにねぐら入り個体が観察され、その数 3000 羽程度とみられ合算で総数 16000 羽とした。

19:07 この間にツバメ落として全てねぐら入りし終了する。

（担当：粕谷和夫 協力：下野彰夫、福本健、渡辺仁）

○遠出探鳥会（2泊3日） 真夏の伊吹山・イヌワシ探鳥会

日時：2024年8月4日（日）～8月6日（火） 2泊3日

天気：3日間共晴れたり曇ったり（8/5の午前中は濃霧）

集合：東海道新幹線岐阜羽島駅改札前 9:35

日程：

第1日（8/4日）

JR高尾駅発 6:36→八王子駅発 6:47→新横浜駅着 7:34・7:51 発（ひかり 633号）→岐阜羽島駅着 9:29・9:50 発（レンタカー）→伊吹山着 11:00（探鳥・昼食・休憩）・16:30 発→宿着 17:30（連泊）

※宿 ペンションいぶき 滋賀県米原市上野 983-1 TEL0749-58-1323

第2日（8/5日）

宿発 5:00→伊吹山着 5:50・6:05 発→伊吹山頂 7:20・7:55→観察ポイント着 9:00（探鳥・昼食・休憩）・17:00 発→宿着 17:40

第3日（8/6日）

宿発 6:30→姉川蝉合峡 6:40・7:30→宿着 7:45（朝食）・8:50 発→湖北野鳥センター・早崎ビオトープ 着 9:20（観察）・10:45 発→伊吹山着 12:00（探鳥・昼食・休憩）・16:00 発→17:00（レンタカー返却）→岐阜羽島駅着 17:10（解散）・18:15 発（ひかり 660号）→新横浜駅着 19:54→八王子駅着 20:50→高尾駅 着 21:05

観察した鳥：40種（ベスト：イヌワシ モズ サギの群れ）

ヒドリガモ マガモ カルガモ ホシハジロ スズガモ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン ホトトギス カッコウ アマツバメ ウミネコ トビ イヌワシ アオゲラ チョウゲンボウ サンショウクイ（亜種サンショウクイ）モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒガラ シジュウカラ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス イソヒヨドリ メジロ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ イカル ホオジロ ホオアカ カワラバト（ドバト）

参加者：10名

概要・感想等

【第1日目（8/4）】

JR岐阜羽島駅前でレンタカーを借り、伊吹山に向かう。伊吹山ドライブウェイは 17 km。標高 1120m の観察ポイントに到着。ツアー会社の 25 名ほどの団体がいた。カワセミ会員も一人。観察の支度をする間もなく頭上をイヌワシの成鳥が通過していった。幸先がいい。時々ガスがかかるものの視界はますます。ホオジロがちょくちょく顔を出す。13 時と 15 時頃、比較的近くをまだ白い尾が目立つイヌワシの幼鳥が飛んだ。遠く山頂駐車場レストハウス付近を 2 羽が飛ぶのが観察できた。あそこで陣取っている方たちは真上だったろう…。

16 時 30 分山頂出発。途中コンビニで明日の弁当等を購入し宿へ。ペンションいぶきは花に囲まれて

いた。おいしい夕食だった。経営者のご夫妻も感じのいい方だった。20時から鳥合せをして就寝。

【第2日目(8/5)】

宿を5時に出発。山頂駐車場は濃霧の中。花の百名山の伊吹山に登ることにした。植物好きは楽しそう。山頂部はほぼシカ除けの柵の中。草花はちょうど見頃の花も多い。シモツケソウの群落、山頂付近のイブキジャコウソウ、東登山道のマルバダケブキは群生していた。1337mの山頂は霧の中。展望はなし。残念。琵琶湖、そして白山や北アルプスが一望できるはず。下山の途中でホオアカを見つけた。

9時過ぎに昨日より少し上の観察ポイントに着く。しかし、ガスの中。時々晴れるがすぐにまた…。まったく出ない状況が続く。帰路に就く前に山頂トイレに向かうと数名がカメラを一点に向けていた。なんとイヌワシが150mほど先の崖の上に止まっていた。成鳥だ。感激しながらじっくり観察。高揚した気分で宿に着く。夕食、今日は昨日とは別メニューでおいしかった。

20時15分から鳥合せ。明日の予定を相談した。

【第3日目(8/6)】

6時30分宿を出て、昨夜宿のご主人に教えていただいたクマタカポイントに向かう。姉川上流の蜂合峡付近。少し歩いて探すが見つからず。カメラマンによると最近は出が悪いとのこと。でもサンショウクイ(亜種サンショウクイ)は15羽ほどいた。アオゲラも複数羽いたはず。あちこちで鳴いていた。8時からの朝食も美味。800円とは思えなかった。

8時50分に宿を出て、琵琶湖畔の湖北野鳥センターに向かう。アカハジロがみられるとの情報があったが探せなかった。居残りのカモが数種いた。カムリカイツブリの残留組。道の駅に寄ってから、早崎ビオトープに行くが何もいなかった。伊吹山に向かい走り出すと、姉川河口付近に、アオサギ・ダイサギ・コサギ、トビとカワウも含めた大群がいた。壮観だった。

伊吹山頂には予定より少し遅れて到着。昨日より少し上のポイントで観察した。視界は上々。涼しい風もあって気分よく待つ。目の前でモズの親が幼鳥に給餌している。14時頃から時々イヌワシが登場し始めた。14時35分、幼鳥が飛翔を始めた。今回初めての長時間の飛翔。集中して観察した。

16時、山頂を出発。帰路に着く。車内で鳥合せ。予定通りに新横浜に到着した。

こんなマニアックな探鳥会に参加されて感想は？ 少し心配になる。

*参考 伊吹山・花のベスト5:①イブキジャコウソウ ②ルリトラノオ ③シモツケソウ ④クガイソウ ⑤マルバダケブキ



<イヌワシ幼鳥>

(担当 加藤 岸男)

○月例探鳥会 高尾山早朝探鳥会

日時:2024年8月11日(日)6:30~9:20

天気:晴れ

コース:高尾山口駅前・・・(1号路)・・・ケーブルカー高尾山駅・・・たこ杉・・・薬王院・・・高尾山頂上(解散)

観察した鳥:16種(ベスト:オオタカ)

キジバト、ウグイス、クロツグミ、ツバメ、アオゲラ、コゲラ、オオタカ、ヒヨドリ、メジロ、ハクセキレイ、キセキレイ、シジュウカラ、ヤマガラ、カケス、ガビチョウ、ソウシチョウ

参加者:7名

概要・感想等

集合場所の高尾山口駅前の上空ではツバメ数羽が飛び交う。登り口までの住宅街ではハクセキレイ、ガビチョウにキジバトの鳴き声。1号路では、ウグイス、クロツグミ等の鳴き声を聞きながら上る。途中の視界の開けた場所の上空を飛びオオタカがよく見られ本日のベストとなった。薬王院付近ではハイカーが多くなり、野鳥の出現は少なく、時々アオゲラ、ソウシチョウの鳴き声が聞こえるが姿は確認できなかった。

(担当 門口 一雄)

○遠出探鳥会 里山を歩く(日光杉並木)

日時:2024年8月21日(水)9:40~13:20

天気:晴れ

コース：東武日光線下今市駅で下車、追分地蔵をスタート地点として杉並木を日光方面へ歩いた。前週の下見の時は日光駅まで歩いたが、本番は中間地点で折返し、日光だいや川公園を歩いて上今市駅まで戻った。

観察した鳥：11種（ベスト：無し）

カルガモ、キジバト、アオサギ、ダイサギ、トビ、ハシボソガラス、ヤマガラ、ヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ

参加者：5名

概要・感想等

杉並木の両側にはタマアジサイも咲いていて、高木の杉と低木のタマアジサイの組み合わせが見事にマッチしていた。日光杉並木の下を流れている豊富な用水を利用して水車が回っていた。その水車は重連で、隣りにフクロウの像が鎮座していた。今市エリアは杉線香の生産が盛んであり、かつては製造にあたり動力として水車が利用されていたらしい。この水車近くの杉の下には小規模の植物園がありレンゲショウマが咲いていた。

（担当 粕谷 和夫）

○月例探鳥会 多摩川：石田大橋から中央線鉄橋

日時：2024年9月8日（日）8:30～11:30

天気：晴れ

コース：多摩川（多摩モノレール万願寺駅～石田大橋～日野橋～中央線多摩川橋梁）

観察した鳥：29種（ベスト：チョウゲンボウ コシアカツバメ イカルチドリ）

カルガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、イカルチドリ、トビ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：19名

概要・感想等

今年も30度を超える気温の中での観察となった。序盤は鳥の気配が少ない中でのスタート。中央道の高架下に近づくとカワウの大群とそれに続くダイサギ、アオサギなどがようやく観察できた。その後、しばらく歩き、対岸の方でカイツブリの親子の姿を観察。日野橋に近づくと対岸側から獲物となる小鳥を追ってこちらへ飛んでくるチョウゲンボウの姿を全員が観察でき、ベストの1つとした。日野橋下で休憩後、橋桁で餌を探すイソヒヨドリのメスを観察。その後、立日橋付近では上空を飛び交うコシアカツバメ、ツバメなども観察でき、コシアカツバメをベストの2つ目とした。終盤は鳥の数が少なくなったが、最後のJR多摩川橋梁の手前で砂礫にじっとしていたイカルチドリを発見し、スコープでもじっくり観察ができた。これが3つ目のベストとなった。さほど数多くは見られたわけではないが、バラエティに富む野鳥を観察でき、一般参加の方からも楽しかったと言ってもらえた探鳥会だった。

（担当 小川 圭太）

○遠出探鳥会 里山を歩く（飯能巾着田）

日時：2024年9月18日（水）9:45～13:35

天気：晴れ

コース：当初予定は高麗駅から巾着田を訪れ、あいあい橋から奥武蔵自然歩道を高麗峠経由で東飯能駅まで歩く予定であったが、猛暑で熱中症が心配されたので巾着田から高麗駅に引き返した。

観察した鳥：13種（ベスト：イカルチドリ）

カルガモ、キジバト、イカルチドリ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ

参加者：12名

概要・感想等

日本最大級の500万本のヒガンバナ群生地として有名な埼玉県日高市高麗の「巾着田」、雑木林の中に咲き誇る深紅のヒガンバナに圧倒されるはずであったが、この日のヒガンバナは未だ2分咲きにもなっていない開花



<ヒガンバナ開花状況>

状態。通常の年であれば、満開になる時期であるが、9月になっても猛暑続きのため、ヒガンバナの本隊は土中で気温が下がるのを待っているのかも知れない。高麗川の河原にイカルチドリ1羽が飛んで来たが、丸石河原の中にまぎれて姿を確認するのに苦労した。

(担当 粕谷 和夫)

○観察会 高尾山周辺 陣馬山でタカの渡り観察探鳥会①

日時：2024年9月29日(日) 7:30~15:10

天気：曇り一時小雨

行程：JR中央線高尾駅北口改札口 6:40 集合 JR高尾駅北口バス停発 6:50 (路線バス) →陣馬高原下バス停着 7:23・7:30 発⇒(新道経由)陣馬山頂着 9:25 (観察・昼食・休憩)・14:00 発⇒和田バス停着 15:10・15:42 発⇒藤野駅着 15:56・16:06 発⇒高尾駅 16:32 着 (解散)

観察した鳥：17種 (ベスト：アマツバメ)

キジバト アオバト アマツバメ コゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ホオジロ タカ sp. ガビチョウ

参加者：7名

概要・感想等

陣馬高原下バス停に着くと小雨が降り始めた。カケスやアオゲラ、シジュウカラの声に励まされ、きつい新道の登りそして八王子山の家跡地からの急登を頑張って山頂に着くと、さっと濃霧が消え、すっきりではないが視界が開けた。みんな喜び。早速アマツバメが頭上に4羽。期待が膨らんだが…、その後は…、飛ばない、鳴かない、見えない。日曜にしては登山者も少ない。四方の担当を決め観察するが、ガビチョウの声、時々キツツキ類、カラ類の音がするのみ。

早めの昼食にする。すると11時45分、大きいのが飛んで、の声に探す、木々の間でなかなか確認できない。結局同定には至らなかった。クマタカのようなだったが…。アオバト、コゲラ・メジロ・エナガの小さな混群、ハシブトガラスが遠くで…。

少し雲行きが怪しくなった14時、和田バス停に向けて下山開始。小雨が降りだした。滑りやすいので細心の注意をして歩く。ヒガラが鳴いた。和田バス停に無事到着し鳥合せ。

こんな天気の中で無事陣馬山登山ができたことに感謝してバスに乗った。

(担当 加藤 岸男)

○観察会 高尾山周辺 陣馬山でタカの渡り観察探鳥会②

日時：2024年10月4日(金) 8:20~11:10

天気：曇りのち雨

行程：JR中央線高尾駅北口改札口 6:40 集合 JR高尾駅北口発 7:10 (車) →和田峠着 7:50・7:55 発⇒陣馬山頂着 8:20 (観察・昼食・休憩)・11:20 発⇒和田峠発 11:40 発 (車) ⇒高尾駅北口着 12:20 (解散)

観察した鳥：13種 (ベスト：アマツバメ)

キジバト アマツバメ (4群 37) コゲラ アオゲラ カケス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ホオジロ

参加者：2名

概要・感想等

集合時刻、小雨の高尾駅北口改札口に集まったのは担当を含め2名。そのため、路線バスではなく担当の車で和田峠まで行くことにした。和田峠からは巻き道を登る。雨はやんでいたが滑る。山頂に着くと、青空も少しだけが見られ、視界もすっきりと開けていた。瑞穂・埼玉方面は雲海の下だった。富士山は見えなかった。

観察の準備をする間もなく、アマツバメが飛んだ。まずは2群。南東の風が心地よい。高尾駅から陣馬高原下までの一番バスには5名ほどしか乗車していなかったとのこと。アマツバメがさらに2群。でもそれ以外は飛ばず。

9時45分。南からの雨雲で小雨が降りだしたので、屋根付きの休憩舎に移動する。少しずつ強い雨になる。スマホの情報では少なくとも1時間はやまないとのことだった。待ち時間、ホオジロが慰めてくれた。11時前になっても雨はやまず。昼食にした。視界はない。11時20分、撤収し和田峠に下る。帰路、松竹に行ったがこちらでも撤収した後だった。今年の陣馬山での渡りの観察は2回とも大外れとなった。

(担当 加藤 岸男)

○公開探鳥会 浅川：長沼橋から大和田橋

日時：2024年10月13日（日）8:30～10:55

天気：晴

コース：京王線長沼駅⇒長沼橋⇒浅川左岸を上流へ⇒新浅川橋で右岸へ⇒浅川右岸を上流へ⇒大和田橋（解散）

観察した鳥：29種（ベスト：キジ、イソシギ、カワセミ）

キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、イソシギ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：52名（一般参加者26名（内小学生1名）、会員26名）

概要・感想等

雲一つない晴れ上がった朝、集合場所の京王線長沼駅前には多くの参加者が集まった。

コースの説明やいくつかの注意事項の後、早速長沼橋を渡り浅川左岸へ向かう。橋の上から上流側にダイサギ、カワウの群れが見られた。早速スコープに入れて参加者に見てもらおうと、初めて見る人も多いようで歓声を上げていた。ホオジロも草の先にとまっており、これもスコープで見もらった。

あちこちでモズの高鳴きが響き、ときおりヒヨドリの小群が上空を渡って行った。さいかち池にはコガモはおらず、鳥の姿はほとんどみあたらなかった。

後続のグループがミサゴを見つけてくれた。双眼鏡で上空を見ると、かなり高いところを長い翼をひろげたミサゴが右岸側に飛んで行った。中央線鉄橋の下をくぐりさらに上流へ。水管橋のアーチには時々トビがとまっているのだが、今日はダイサギ、アオサギ、カワウのみ。結局トビは飛ばずじまいだった。

新浅川橋で右岸に渡り、橋のたもとで小休憩。その後は右岸側を進むが鳥は少なめ。後続のグループはイソシギを確認したとのこと。

終点の大和田橋に着き、後続の到着を待って橋下で鳥合わせをする。残念ながらノビタキは出なかったが、全体で29種とこの時期ではますますといったところか。

（担当 佐藤 哲郎）

○遠出探鳥会（2泊3日） 秘湯めぐり探鳥会⑩ 福島市の探鳥地と姥湯温泉

期日：2024年10月16日（水）～18日（金）2泊3日

天気：1日 曇り、2日目 晴れ時々曇り、3日目 曇り一時小雨

日程：

第1日（10/16 水） 集合：JR福島駅東改札口前 9:50 JR高尾発 7:06→西国分寺駅発 7:41 発（むさしの号）→大宮駅着 8:15・8:32 発（やまびこ127号）→福島駅着 9:45→宿⇒（タクシー）福島小鳥の森・ふくしま親水公園（探鳥・昼食）→信夫山公園（観察）⇒（路線バス）宿着 16:00（泊）

※宿 ホテルサンキョウ福島 福島市大町7-11 TEL024-525-2211

第2日（10/17 木） レンタカー発 8:20→宿発 8:30→土湯温泉女沼・男沼着 9:20（徒歩で観察）・11:30 発→浄土平 12:40 着（昼食・見学）・14:00 発→姥湯温泉 15:40（泊）

※宿 姥湯温泉・枅形屋 山形県米沢市大字大沢姥湯1 TEL090-7797-5934

第3日（10/18 金） ①薬師の森往復コース 宿発 8:30⇒薬師の森着 9:30・9:45⇒宿着 10:30、②滑川大滝コース 宿発 9:00⇒滑川温泉・滑川大滝→11:05 宿着、宿発 11:10⇒峠の茶屋着 11:50（昼食・峠駅見学）12:40 発→信夫山公園着 13:50（探鳥）・15:30 発→（レンタカー返却）⇒福島駅着 16:00（解散）・17:16 発（やまびこ150号）→大宮駅着 18:23・18:47 発（むさしの号）→八王子駅着 19:47→高尾駅着 19:56

観察した鳥：38種（ベスト：オシドリ イソシギ）

オシドリ マガモ カルガモ ホシハジロ キンクロハジロ キジバト アオサギ ダイサギ コサギ イソシギ トビ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ カワガラス スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ カワラバト（ドバト） ガビチョウ

参加者：10名

概要・感想等

【第1日目】

鳥はさておき、紅葉の温泉！をメインにした計画だった。結果として見事な紅葉に出会えた。

ホテルに荷物を置き、バス停に行くが、すでに出た後。タクシー3台で、ふくしま親水公園に行く。ハクチョウはまだ飛来してなかった。福島市野鳥の森へ。ビジターセンターに向かうが鳥の声も僅か。地元の小学生の声が響く。レンジャーにお話を聞く。行幸記念碑付近で昼食の後、カワセミの小径に入る。かなりの登りもあった。カラ類の声がする。次に阿武隈川河畔の親水公園に行く。スズメが一杯。文知摺大橋に進み、橋上から鳥を探す。カワセミ、イソシギ、セキレイ類。マガモとヒドリガモはまだエクリプス。ホオジロも鳴いた。

さらに進んで信夫山公園に向かう。目の前の小山全体が信夫山公園。元気な人だけ急な石段を登って岩谷観音へ。摩崖仏もあり。ここから第2展望台を目指しつつもりだったが、水路のある散歩道を護国神社に向かう。護国神社から第1展望台を目指して進んだが小雨が降り出したので、戻ることにした。福島アリーナバス停から100円バスでホテルに戻った。夕食はみんなで廉価広告の店に入ったが、大失敗だった。深く反省。

【第2日目】

レンタカーを借りてホテルにもどり出発。土湯温泉近くの女沼と男沼へ向かう。狭い道を進むと比較的大きな沼が見えてきた。女沼だ。紅葉が始まったばかり。湖畔に出ると遠くにマガモとヒドリガモがいた。思いの満まで進んだが、鳥が出そうな雰囲気になかったので戻り、湖面を見るとオシドリがいた。カモが次々と着水した。男沼に向かう。駐車場から5分ほどで湖畔に着いた。深い森の中でひっそりとしていた。右回りに歩き始めたが足元が悪いので引き返し左回りで進むと、カモがいた。驚いたように次々と飛び立ったが、オシドリが残った。湖面に映る紅葉の中のオシドリ。きれいだった。

吾妻連峰の浄土平に向かう。高度を稼いでいくと紅葉も進んでいた、パッチワークのような景色に感嘆する。浄土平で昼食。そして吾妻小富士に登る人と浄土平湿原を散策する人に分かれて過ごす。鳥はいない。国道13号線経由で宿に向かう。狭い道を進み、駐車場へ。そこから250m歩いて今回の主目的地、姥湯温泉榊形屋に到着した。またも感嘆の声。白濁したお湯の3つの露天風呂も素晴らしい。2つの内湯とともに堪能した。スーパームーンも部屋からも露天風呂からも眺められた。

【第3日目】

早朝の露天風呂を楽しみ、朝食もゆっくりいただいた。午前中はコース別行動。①薬師の森登山コースは3名、②滑川大滝見学コースは7名。それぞれのコースを楽しむ。11時過ぎに宿を出て板谷峠にある「峠の茶屋」へ。駅のホームでの販売で有名な峠の力餅をいただく。そのあと、峠駅を見学したがスイッチバック遺構は見つけられなかった。

次に1日目に行けなかった信夫山公園に向かった。途中道の駅へ寄った。果物が一杯！途中降りだした雨は気になるほどではなかった。信夫山公園では第1展望台と第2展望台付近で探鳥した。アカゲラやカラ類の混群がみられた。今回の探鳥会で唯一、探鳥している感じだった。

レンタカーを返却して福島駅へ。ここで解散。姥湯温泉はおすすめ。福島市の探鳥地は時期さえ合わせれば十分楽しい探鳥になりそうだった。2日間悪路を運転してくださった参加者の方に大感謝！

(担当 加藤 岸男)

○月例探鳥会 多摩川：中央線鉄橋～小宮（通称「ひょうたん池」）

日時：2024年11月10日（日）8:00～12:00

天気：曇り

コース：多摩川（中央線鉄橋～通称ひょうたん池）

観察した鳥：52種（ベスト：ミサゴ カワセミ ベニマシコ）

キジ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ヒメアマツバメ、イソシギ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラバト（ドバト）、ガビチョウ

参加者：会員24名、一般8名（内小学生以下2名）

概要・感想等

曇り空のスタートで序盤は例年に比べカモ類が少なくやや寂しい鉄橋付近だった。その後、定番のカワウ、ダイサギ、アオサギ、モズ、ジョウビタキがあちこちで見られたり、渡っていないツバメも見ら

れたりした。しばらく行くとミサゴが上空に現れ、全員が観察することができたのでベストの1つとした。中間地点の谷地川横までくるとカワセミが見られ、写真を撮る方もいて初参加の方やお子さんも喜んでおられた。カワセミをベストの2つ目とした。後半になるとノスリ・オオタカといった猛禽も見られたが、河原の草むらにはベニマシコ、カシラダカ、ホオジロが見られ、そのうちのベニマシコをベスト3つ目とした。最後はひょうたん池に、ホシハジロ、キンクロハジロなどのカモ類数種類や、タヒバリなどセキレイ4種が多数見られて全52種を観察して締めくくった。

初参加の方も小学生のお子様も含め8名いらっしゃって、楽しく観察することができましたとの感想もいただき、このコース最多と思われる種類とこの場所ならではのバリエーションの豊富さで充実した探鳥会だった。また図鑑もご購入いただけた。

(担当 小川 圭太)

○平日探鳥会 高尾山周辺 藤野・名倉金剛山と石楯山

日時：2024年11月13日(水) 9:00~14:45

天気：快晴のち曇り

行程：JR中央線藤野駅改札口 8:40 集合 JR 豊田駅発 8:08→八王子 8:13→高尾発 8:25→藤野駅着 8:38・9:00 発⇒日連大橋⇒秋川橋⇒天神峠⇒名倉金剛山着 11:40 (休憩・昼食)・12:10 発⇒石楯山 (見晴台) 13:00 石楯尾神社⇒弁天橋⇒藤野駅着 14:45 (鳥合せ)・15:13 発⇒高尾駅着 15:27

観察した鳥：27種 (ベスト：オシドリ 亜種リュウキュウサンショウクイ カワセミ)

オシドリ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ トビ カワセミ コゲラ アオゲラ 亜種リュウキュウサンショウクイ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ショウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジロ ガビチョウ

参加者：12名

概要・感想等

藤野駅を9時に出発。快晴。藤野駅前にいつものイソヒヨドリはいなかった。日連大橋でオシドリを発見。秋川大橋ではマガモ。少し先で数羽の亜種リュウキュウサンショウクイ、メジロ、ガビチョウを発見。さらにその先でモズ。風が心地良い。名倉地区に入る。竹林の奥の池にオシドリがいた。以前は数十羽いたが…。ホオジロを見ながら天神峠に到着。アオゲラが遠くで鳴いた。ここから急登。鳥もさえすらない中、落ち葉で滑る道を登る。名倉金剛山の山頂の展望はもう一つ。昼食。一人途中でヤマビルにやられていた。この時期にもまだいるのかと思った。

葛原神社・正念寺でトイレ休憩。高塚山への登り口の水たまりにもオシドリがいた。ショウビタキの声はそここです。名倉峠で登山道に入り、石楯山(見晴台)へ向かう。エナガが鳴いた。見晴台は展望がひらけ、陣馬山、茅丸、生藤山、権現山等々がよく見えた。ここはツツジの名所だが、なんとヤマツツジが沢山咲いていた。石楯尾神社を通過して藤野駅に向かう。弁天橋でオシドリを見ているとカワセミが2羽飛び出した。餌取りもした。

藤野駅で鳥合せ。皆さん少し疲れ顔だった。

(担当 加藤 岸男)

○平日探鳥会 湯殿川・浅川・長沼公園

日時：2024年11月27日(水) 8:00~11:30

天気：曇り

コース：北野駅・・・湯殿川・・・湯殿川・浅川合流部・・・長沼橋・・・長沼公園入口・・・(霧降の道)・・・展望園地・・・平山口・・・(引き返す)・・・頂上園地・・・(殿ヶ谷の道)・・・六社宮(解散)

観察した鳥：34種 (ベスト：バン、ショウビタキ、ホオジロ)

キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、ヒメアマツバメ、トビ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ショウビタキ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、コジュケイ、カワラバト(ドバト)、ガビチョウ、ソウシチョウ

参加者：会員13名

概要・感想等

湯殿川は前夜の雨で水量が多く、流れが速く濁っていた。川沿いに飛び交うセキレイ3種を見なが

ら下流方向に進む。出発早々にジョウビタキが対岸や民家のアンテナに止まるのを観察した。ジョウビタキはその後再三出現し楽しませてくれた。民家の屋根にはアオサギがたたずんでいた。中学校前のアシ原の水際を歩くバン、手前の水辺では株立ちしたヤナギの根本に見え隠れするホオジロがよく見られ、本日のベストとなった。公園近くの民家の屋根に止まるイソヒヨドリも観察できた。浅川との合流部ではカルガモ、キジ、カワセミ、上空にはカワウの飛翔と楽しませてくれた。

長沼公園に向かう。長沼駅の南側上空を飛ぶヒメアマツバメ 10 羽ほどを見て公園に着く。霧降の道は昨夜の雨で濡れて滑りやすく、立ち枯れの伐採作業中のチェンソーの音がうるさく、ガビチョウやソウシチョウの鳴き声も聞こえない。尾根道に進みメジロ、シジュウカラ、ガビチョウにヒヨドリ、林床部の笹藪からウグイス、ソウシチョウ、ガビチョウの音が聞こえた。展望台から平山口に進み折り返す。頂上園地を経て殿ヶ谷の道に進む。途中コゲラ、シジュウカラの鳴き声、上空ではトビが旋回するのを確認した。探鳥ポイントのひとつ、沢沿いの杉林でエナガの群れを確認し、解散地の六社宮に到着した。

(担当 門口 一雄)

○遠出探鳥会 葛西臨海公園

日時：2024 年 12 月 1 日 (日) 9:50~13:40

天気：快晴

場所：葛西臨海公園

観察した鳥：43 種 (含む外来種 1 種) (ベスト 3：クロツラヘラサギ、オオタカ、ミヤコドリ)

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、トモエガモ、コガモ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、オオバン、シロチドリ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、イソシギ、ハマシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、オオタカ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アオジ、カワラバト (ドバト)

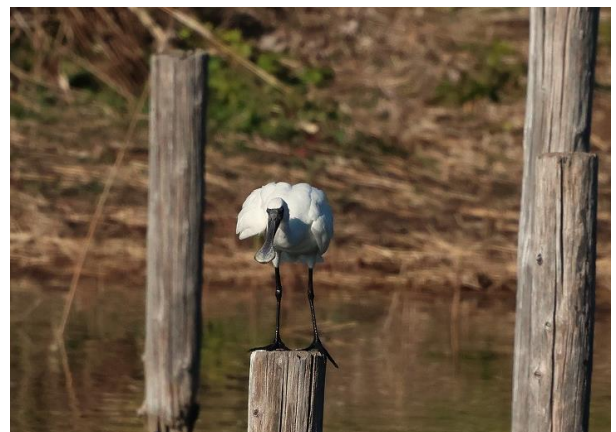
参加者：会員 13 名

概要・感想等

葛西臨海公園駅下に集合し、自己紹介後、まずは公園の西側のエリアへ。芦ヶ池まで、林の中を流れる水路沿いの道をゆっくり歩きながら、小鳥類を探す。鳥影は少なかったものの、黄色く色づいたイヌシデの葉陰で動き回るシジュウカラとメジロの混群等、秋らしいシーンが見られた。

次に水辺の鳥を見るため大きな橋を渡って西なぎさへ。保護区になっている「東なぎさ」の干潟が望める場所まで移動している途中、手前の水路の水際で、4 羽のミヤコドリを近い距離で観察することができた。この日は「大潮」で、東なぎさに形成された干潟では、ハマシギの群れが飛び回り、シロチドリやダイシャクシギ等も見られた。

昼は、西なぎさのベンチで暖かい日差しを受けながらお弁当を広げた後、東側のエリアにある鳥類園へ。「上の池」では、池の奥、陸上で並んで休息する 3 羽のクロツラヘラサギを見つけたが、首を曲げて体にうずめ、昼寝の最中でまったく頭部が見えず、見た気がしない。やきもきしていると、3 羽は突然、飛び立ち、上空を旋回した後、池の中に突き出た杭に止まってくれた。おかげで、その特徴的な嘴の形状や目先の黒色をしっかりと確認することができた。そして、同時に直ぐ近くの松の木のとっぺんの止まる眼光鋭いオオタカの成鳥や、水面で羽繕いするトモエガモのメスもじっくりと観察することができ、最後の最後で大いに盛り上がった探鳥会となった。



<クロツラヘラサギ>

(担当 古山 隆)

○遠出探鳥会 里山を歩く (柏市の紅葉をめぐる)

日時：2024 年 12 月 6 日 (金) 9:35~12:35

天気：晴れ

コース：東武アーバンパークライン増尾駅⇒満福寺⇒廣幡八幡宮⇒増尾城址公園⇒香取神社⇒法林寺⇒

日立台公園⇒柏神社⇒柏駅 全・約6km

観察した鳥：4種（ベスト：無し）

ヒヨドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイ

参加者：3名

概要・感想等

東武電車健康ハイクのイベントに参加した。そのためこのイベントに参加した大勢の人と一緒に歩いた。川、池がなく、わずかな畑があり、住宅がほとんどで、寺社（5か所）で、イチヨウ、イロハモミジの紅葉が見られた。柏レイソルの本拠地のグラウンドがあり、交通量が多かった。参加者の千葉さんから「育った世田谷区松原のあたりの住宅街のようでした」という感想があった。

（担当 粕谷 和夫）

○月例探鳥会 湯殿川（住吉橋～釜土橋）

日時：2024年12月8日（日）8:00～10:35

天気：晴れ

コース：片倉城跡公園⇒湯殿川（釜土橋まで）⇒折返・カタクリ橋⇒つどいの森公園⇒片倉城跡公園

観察した鳥：30種（ベスト：イカル、カワセミ、タヒバリ）

カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、バン、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、イカル、アオジ、カワラバト（ドバト）

参加者：26名

概要・感想等

スタートして直ぐ、イカルとシロハラに出会う。湯殿川に出るとカワウ1羽が採餌していて、そこでダイサギ1羽が見守っていた。カタクリ橋手前にバンがいたが先頭グループがさしかかるとツルヨシの株元に姿を隠してしまった。カワセミが何回も姿を見せてくれた。つどいの森公園から片倉城跡公園までの途中の畑に今年もタヒバリが来ていた。終了後に片倉城跡公園で恒例の巣箱の利用状況調査と清掃をした。

（担当 粕谷 和夫）

○平日探鳥会 高尾山周辺 藤野・佐野川の林道と鷹取山

日時：2024年12月10日（火）8:30～14:05

天気：晴れ

行程：JR中央線藤野駅改札口 8:00 集合 JR高尾駅 7:40 発⇒藤野駅着 7:53・8:10 発（路線バス）⇒終点和田バス停着 8:24・8:30 発⇒林道入口・橋詰・上岩⇒鷹取山登山口 11:10⇒鷹取山山頂着 11:45（昼食休憩）・12:20 発⇒上沢井バス停着 13:00⇒藤野駅着 14:05・14:12 発⇒高尾駅着 14:25

観察した鳥：24種（ベスト：カワガラス ショウビタキ エナガ）

キジバト トビ コゲラ アオゲラ 亜種リュウキュウサンショウクイ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ミソサザイ カワガラス ルリビタキ ショウビタキ キセキレイ アオジ コジュケイ ガビチョウ ソウシチョウ

参加者：7名

概要・感想等

和田バス停付近は霜が降りていて底冷えがした。バス停の対岸の林道に入るとしばらくするとジョウビタキの雄が出現。続いて、ヒッヒッという鳴き声とともにルリビタキが竹に止まった。でも逆光。すぐに飛び去った。遠くでコジュケイも鳴いた。人も車も極まれにしか来ない道を進むと、キセキレイが道案内。ミソサザイの音がしたが姿は確認できなかった。特産の柚子がたわわに実っていた。以前竹籠をいただいた方を訪ねたが留守だった。かわいいエナガもご出現。富士山がきれいに見えるところで休憩。風もなく心地良い。カケスが声も出さずに飛ぶ。年末の樋掃除をしている方によると近くの神社にはアオバズクが毎年来るとのこと。ガビチョウとソウシチョウが鳴く。何个体目だろう、ジョウビタキがまたいた。モズも飛んだ。

「銀の館」でトイレをお借りして、いよいよ鷹取山登山口へ。最初からきつい登りが続く。落ち葉が滑る。喘ぎながら山頂へ。期待の富士山は雲で少し隠れていた。昼食。ヤマガラがいた。陣馬山を眺めながら慎重に下山する。やはり落ち葉が滑る。民家の近くまで下りると亜種リュウキュウサンショウク

イの音がした。上沢井バス停には予定より早く到着。バスの時刻まで間があるので、藤野駅まで歩くことにした。期待はカワガラス。「やませみ」を過ぎて、トンネルへの登りに入る手前でカワガラスを発見。2羽いた。水面に映る紅葉の中で採餌していた。みんな大満足。駅のホームで、大忙しで鳥合せをした。東京行の電車がすぐに来た。

(担当 加藤 岸男)

○遠出探鳥会 大晦日探鳥会 大磯谷戸川の道

日時：2024年12月31日(火) 10:35~14:00

天気：晴れ

コース：二宮駅⇒月京バス停⇒谷戸川の谷戸⇒黒岩公民館⇒西久保展望台(昼食)⇒虫窪⇒学園入口バス停⇒二宮駅

観察した鳥：23種+不明1種(ベスト：ノスリ、カワセミ)

キジバト、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、リュウキュウサンショウクイ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、アオジ、カワラバト(ドバト)、不明種(ハイタカSP)

参加者：18名

概要・感想等

穏やかな天候に恵まれた楽しい大晦日探鳥会であった。コースの前半は谷戸川沿い里山的な緩やかな登り、後半はみかん畑が広がる開放的な空間が広がり雄大な富士山が展望できた。前半コースではヤマガラ、コゲラが樹間に現れ、陽だまりではムラサキシジミの10頭くらいの成虫越冬集団に出合った。小さな橋からは直ぐ近くで太目の枯れ枝にじっと止まっているカワセミに双眼鏡、カメラを向けても逃げずにポーズをとり続けてくれた。後半コースに入り空が開けたところでノスリ2羽が現れゆったり旋回飛行をしてくれた。

(担当 粕谷 和夫)

地元発見探鳥会の記録(2024年7月~12月)

○八王子8湧水池後半の半周

日時：2024年10月16日(水) 9:00~13:05

天気：曇り

コース：八王子市から平成20年(2008年)に八王子市の【八】にちなんで8か所の湧水池を選んだ【八王子湧水めぐりマップ】が発行されました。今回はそのうち、④真覚寺池(散田町)、⑤横川弁天池、⑥叶谷榎池、⑦子安神社池(中野山王)の4つの湧水巡る予定であったが、昼頃から雨が心配されたので、⑦子安神社は取り止めました。しかし、叶谷町の叶谷榎池の近くにあったもう1か所の湧水池に立寄ったので結果的には4か所を回ることができました。途中、南浅川と城山川の堤防を歩き、水辺の鳥も観察しました。

観察した鳥：21種(ベスト：カワセミ、コサギ、コガモ)

カルガモ、コガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、イソヒヨドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラバト(ドバト)

参加者：8名

概要・感想等

今年は猛暑で藻が出ている池もあったが、全体的にきれいな湧水が多かったです。「織物の町八王子」では、豊かな水が大事なことや、湧水を利用し、その恵みを受けて暮らしてきたその歴史が少しわかったとの感想もありました。また、西蓮寺やランドセル地蔵の相即寺にも立ち寄り、歴史にも少し触れ良くなったとの声もありました。

蛙合戦で有名な真覚寺の池や南浅川や城山川、泉町湧水群でカワセミがゆっくり観察できました。南浅川は水もきれいで、魚も沢山泳いでいてカワセミの他コガモや近頃あまり見られなくなったコサギが魚を狙っていたのを観察できました。また、東横川橋の近くでは4階建て集合住宅の屋上の給水塔にい

るイソヒヨドリも確認できました。

泉町湧水群はこの地域一帯が砂礫が重なっているため北浅川からの伏流水があちこちから湧出していました。水道が普及していない頃は炊事や洗濯に利用していたが、最近では、観賞用に鯉を飼育している所やホテルが復活していることもあり、地域の方々が総出できれいにした結果で魚も泳いでいました。池からの狭い水路にカルガモやカワセミもいたので驚きました。最後に訪れた叶谷榎池の湧水口の樹齢400年の榎は老木のため枯れ、倒木寸前でした。

(担当 粕谷 和夫、門倉 美登利)

○恩方里山歩き

日時：2024年11月7日(木) 9:15~12:20

天気：晴れ

コース：陣馬街道・切り通しバス停から裏甲州街道、鎌倉古道を歩き、小田野城趾に立ち寄って古刹心源院まで歩いた。ゴールの心源院では本堂左手奥の女坂でセンブリの群生地とその上の展望地まで往復した。

観察した鳥：20種(ベスト：ジョウビタキ、アオジ、カワラヒワ、番外センブリ)

キジバト、ダイサギ、トビ、アオゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、カワラヒワ、アオジ、ガビチョウ、不明鳥(ワシタカの仲間)

参加者：13名

概要・感想等

2024年の立冬の日、木枯らし1号が吹いていたが、日中は快晴に恵まれ、強い寒さもなく絶好の探鳥日和に恵まれた。歩きながら終始見えた大岳山は山肌に赤味が見えたので紅葉が始まったのでは思われた。ジョウビタキが終始出現し声も姿も観察できた。2羽が同時に縄張り宣言をしているような場面もあった。その同じ場所でアオジの姿も観察できた。ゴールの心源院では急坂をしばし登り、野草で薬草のセンブリの花を見ることができた。



<センブリの花>

(担当 粕谷 和夫、中村 后子、千葉 槇子)

○板当林道

日時：2024年12月12日(木) 9:15~11:45

天気：晴れ

コース：大久保バス停⇒板当林道入口⇒入口から1200m地点のイベント広場⇒林道の終点1800m地点⇒同じ林道を引き返し⇒大久保バス停⇒(恩方事務所トイレ)

観察した鳥：17種(ベスト：キセキレイ、エナガ)

キジバト、コゲラ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ルリビタキ、ジョウビタキ、キセキレイ、アオジ

参加者：7名

概要・感想等

本格的な冬となり、往路は冷蔵庫に入ったような寒さであったが、復路は日が射して暖かくなった。大久保バス停から歩き出して直ぐ、北浅川の大沢橋から清流の川で採餌するキセキレイが見えた。板当林道に入るまでの里道でジョウビタキ、シロハラの姿が見えたが、林道ではカラ類以外の殆どは声だけの確認である。猛禽に襲われたと思われるアオバトの羽根が大量に散らばっていた。折返し点付近にはメタセコイアの大木が数本あり、紅葉の真っ最中であった。

(担当 粕谷 和夫、中村 后子)

鳥信 (主として2024年7月~12月)

取りまとめ：粕谷和夫

今期は373件が鳥信として会員等から送付された。送付頂いたデータの表記については、一部統一表記に変えている。鳥番号前に「F」が付いているのは、本会HPの「フォト鳥信」にアップされたものである
配列は鳥番号(日本鳥学会鳥類目録第7版)順である。最後の哺乳類等は鳥信ではないが参考で五十音順。

| F | 番号 | 鳥名 | 年/月/日 | 羽数 | 観察した場所 | 状況その他特記事項 | 観察者 | 区分 | メッシュ |
|---|----|--------|------------|------|----------------------------|---|-------------|------|---------|
| | 4 | ヤマドリ | 2024/5/9 | 声 | 小仏城山頂上手前 | ホロウチを聞く。小仏方面からの登山道合流付近 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬 7F |
| | 5 | キジ | 2024/7/11 | 3羽+ | 浅川・一番橋から約150m上流の中洲 | 親子:成鳥1、雛2+α。17時頃。中洲の草むらと砂利の境目当たりに雌成鳥と隣に小さな鳥を見つけた。写真を撮影して拡大したらキジの雛であった。草が被っていたがもう一羽の雛も写っていた。また他の雛も草むらの中にいたかもしれないが皆すぐに隠れてしまい確認できなかった。 | 岡本昭男 | 繁殖4② | 武蔵府中 1J |
| | 5 | キジ | 2024/8/18 | 9羽 | 浅川・平山橋下流 | 右岸から左岸へ次々に。すべてメス型に見えたのはメス+ヒナだからか。 | 玉木雅治 | 繁殖4② | 武蔵府中 1J |
| F | 5 | キジ | 2024/9/7 | 3羽 | 多賀公園(元本郷4丁目、南浅川右岸・北浅川合流手前) | 水辺のかんきょう教室で野鳥観察中、写真には2羽写っているが現場には3羽いた。うち1羽はメス親だったかも知れない。ムクドリの小群と一緒に採餌していた。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 5K |
| | 24 | オシドリ | 2024/8/2 | 1羽 | 北浅川・陵北大橋下流付近。 | 沈下橋から上流に進んでいた。 | 中村后子他北浅川定期C | 初認 | 拝島 2B |
| F | 24 | オシドリ | 2024/10/7 | 8羽 | 長池公園・長池 | オス5羽、メス3羽。写真ではオスは4羽ですが、もう1羽います | 岡田浩郎 | 初認 | 武蔵府中 1C |
| | 24 | オシドリ | 2024/10/15 | 5羽 | 長池公園・長池の奥(西側) | 雌1羽、雄4羽。奥の方から出てきて採餌していたがやがて倒木の上で休憩した。 | 岡本昭男、岡本昭子 | 初認 | 八王子 1C |
| F | 24 | オシドリ | 2024/11/16 | 20羽± | 館ヶ丘団地近くの調整池 | ♂♀。上から池を覗いていると雄が1羽だけ見えたのでそのまま観察していたら次々と暗い茂みの中から雄と雌が鳴きながら出て来た。 | 市村緑 | 希少 | 八王子 3E |
| F | 24 | オシドリ | 2024/11/19 | 2羽 | 浅川・平山用水取水堰 | オスのみ。16:00頃。この堰では今季初認。堰の溜まりを隈なくチェックしたがメスの姿は無かった。先住のカイツブリ4羽が不審そうにこの2羽に付きまわっていた。 | 能田正行 | 希少 | 武蔵府中 0H |
| | 24 | オシドリ | 2024/12/2 | 2羽 | 高月浄水場 池 | ♂2羽 | 古山隆 | 希少 | 拝島 6E |
| F | 26 | オカヨシガモ | 2024/11/23 | 1羽 | 浅川・サイカチ池 | オス。北風が強くて浅川筋の野鳥は不活発でしたが地形的に風が遮られるサイカチ池にはカモ類が多く集まっていた。午前中に開催されたジュニアクラブ観察会でオカヨシガモの出現が報告されていますからそれと同一個体であろうと思います。 | 能田正行 | 行動 | 八王子 9H |
| F | 26 | ヨシガモ | 2024/10/27 | 3羽 | 多摩川・立日橋上流 | 尾羽よりヨシガモと判断したが、古山さんより性別、年齢は分からないがヨシガモで間違いのないとの確認が取れました | 福本健 | 初認 | 立川 2B |
| | 28 | ヒドリガモ | 2024/10/30 | 10羽+ | 多摩川・立日橋下流 | カモたちが渡ってきた。ヒドリガモの群れが他のカモたちと一緒にいた。 | 福本健 | 初認 | 立川 1B |
| F | 28 | ヒドリガモ | 2024/11/18 | 6羽 | 宇津貫緑地 | 宇津貫の野鳥定期カウント中の観察。調整池に繁茂しているアサザの茎を食べていた。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 6E |
| F | 28 | ヒドリガモ | 2024/11/21 | 1羽 | 浅川・平山用水取水堰 | 15:30頃。メス。この日、堰の溜まりはカルガモ、マガモ、カイツブリで賑わっていて、その中に嘴が白い愛嬌のある顔が1羽だけまじっていました。2日後には姿がありませんでしたから恐らく移動途中の羽休めだったのでしょう。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中 0G |
| | 30 | マガモ | 2024/10/14 | 2羽 | 長池公園・築池(田んぼ側) | 数羽のカルガモから少し離れて1羽だけで採餌していた。 | 岡本昭男、岡本昭子 | 初認 | 八王子 1C |
| F | 30 | マガモ | 2024/10/30 | 1羽 | 浅川・平山橋左岸豊田用水取水堰 | 午後北風が強まり気温が急降下、川筋の水鳥は風が穏やかな場所に集まっていました。10数羽のカルガモ集団の中にマガモのエクリプスが1羽確認できました。この場所では今季初認。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中 0H |
| | 30 | マガモ | 2024/11/9 | 2羽 | 南浅川・古道橋上流 | 15:00頃。オス・メス各1羽。カルガモ10羽と一緒にいました。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 3H |
| | 30 | マガモ | 2024/11/26 | 4羽 | 浅川・平山橋上流約100m(通称:大名淵) | オス1、メス3。カルガモしか見見掛けたことのない大名淵でマガモの採餌姿は珍しい。 | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 0H |
| | 32 | カルガモ | 2024/7/11 | 11羽 | 南浅川・富士森高校前 | 16:00頃。親鳥1 子ガモ 10 (孵化して1週間程度 まだ小さい) | 中山尊人、中山千晶 | 繁殖4② | 八王子 4J |
| | 32 | カルガモ | 2024/7/11 | 5羽 | 南浅川・五月橋下流 | 16:30頃。羽数 親鳥1 子ガモ 4(かなり成長していた)。 | 中山尊人、中山千晶 | 繁殖4② | 八王子 4J |
| | 32 | カルガモ | 2024/7/28 | 8羽 | 南浅川・東横山橋上流 | 12:30頃。親鳥1+子ガモ7(孵化して1週間程度 まだ小さい)。南浅川で今年4組目の観察です。全て7月です。平年より葦が繁茂しているのですが 見つけれなかったのは繁殖が遅かったのかと疑問です。 | 中山尊人、中山千晶 | 繁殖4② | 八王子 4J |
| | 32 | カルガモ | 2024/9/5 | 7羽 | 南浅川・桑志高校上流 | 親子・親鳥1 子ガモ6 (孵化して3~4週間程度 姿形は親鳥と同じ、大きさは2/3程度)。13:30頃。南浅川で今年5組目の観察です。先日の台風の豪雨で葦が流されたり、横倒しになり視界が良くなりました。今年は繁殖が遅かったのかと感じています。 | 中山尊人、中山千晶 | 繁殖4② | 八王子 4J |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|-----------|------------|------|---------------------------|---|--------------------|----|---------------|
| | 32 | カルガモ | 2024/10/20 | 20羽 | 南浅川・陵南公園プール | 12:00頃。陵南公園プールにカルガモが集合していました。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 4J |
| | 34 | ハシビロガモ | 2024/10/30 | 1羽 | 多摩川・立日橋下流 | カモたちが沢山渡ってきた。ヒドリガモやヨシガモに混じってハシビロガモが1羽いた | 福本健 | 初認 | 立川 1B |
| | 34 | ハシビロガモ | 2024/11/1 | 1羽 | 高月浄水場の池 | オス、近くにカルガモとコガモも数羽いた。 | 粕谷和夫 | 初認 | 拝島 6F |
| | 37 | トモエガモ | 2024/11/29 | 2羽 | 長池公園 | ♂2羽が築池東側の藪に覆われた岸辺にマガモと一緒にいた。 | 門口一雄他長池公園定期カウント参加者 | 希少 | 武蔵府中 1C |
| F | 37 | トモエガモ | 2024/12/24 | 4羽 | 長池公園 | 11月の野鳥定期カウントの時はオス2羽でしたが、12月の定期カウントの時はオス4羽になっていました。 | 粕谷和夫 | 希少 | 武蔵府中 1C |
| F | 38 | コガモ | 2024/9/27 | 6羽 | 谷地川・新鶴見橋付近 | 冬鳥が飛来し始めました。楽しみです。会員情報をもとに確認して鳥信に投稿しました。 | 福本健 | 初認 | 立川 0B |
| | 38 | コガモ | 2024/9/29 | 6羽 | 浅川・平山橋と一番橋の中間あたり | 夕方。下流方向から飛んできて着水。しばらく流れで採餌していたがやがて中洲に上がり休息を始めた。 | 岡本昭男 | 初認 | 武蔵府中 1J |
| | 38 | コガモ | 2024/9/30 | 4羽 | 浅川・ふれあい橋上流約100m | 昼頃。浅瀬で採餌していた。この場所では今期初認? | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 3K |
| | 38 | コガモ | 2024/10/7 | 12羽 | 大栗川・大田平橋上流10m付近 | 今朝、毎年来るこの場所にコガモを探しに行くと12羽が元気に採餌する姿を確認出来た。 | 市村緑 | 行動 | 武蔵府中 0E |
| | 38 | コガモ | 2024/10/10 | 3羽 | 高月浄水場 | 16:25。♀タイプ3羽。浄水場の池にいた。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6F |
| | 38 | コガモ | 2024/10/15 | 2羽 | 長池公園・長池の奥(西側) | オシドリに混じって採餌していた。 | 岡本昭男、岡本昭子 | 行動 | 八王子 1C |
| | 38 | コガモ | 2024/10/20 | 8羽 | 南浅川・陵南公園プール | 12:00頃。8羽(雌雄不明)。陵南公園プールにカルガモと一緒にいました。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 4J |
| | 38 | コガモ | 2024/11/9 | 54羽 | 大栗川(大栗川橋～堰場橋間 1.98km) | 7～8時頃。浅川ではあまり見かけないが、大栗川では散歩のついでにカウントすると、50羽以上が滞在していた。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 武蔵府中 2E、2F、3F |
| | 38 | コガモ | 2024/11/30 | 107羽 | 大栗川(大栗川橋～堰場橋間 1.98km) | 7～8時頃。区間中の所々に、10～20羽ほどで群れになっていた。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 武蔵府中 2E、2F、3F |
| | 42 | ホシハジロ | 2024/12/2 | 1羽 | 多摩川・昭和水堰上流側 | ♀1羽 | 多摩川滝山城跡下定期C(古山) | 希少 | 拝島 6E |
| | 46 | キンクロハジロ | 2024/7/1 | 1羽 | 浅川・長沼橋右岸500m位下流の堰に雄が1羽いた。 | 朝5時半ごろ、長沼橋右岸500m位下流の堰にあるブロックの端の所で、キンクロハジロ雄1羽がじっとしていた。 | 山崎久美子 | 行動 | 武蔵府中 0H |
| | 46 | キンクロハジロ | 2024/7/2 | 1羽 | 浅川・長沼橋右岸500m位下流の堰に雄が1羽いた。 | 定期カウントの時、長沼橋右岸500m位下流の堰に雄1羽が水面を泳いでいた。 | 山崎悠一・山崎久美子 | 行動 | 武蔵府中 0H |
| F | 57 | ホオジロガモ | 2024/11/24 | 1羽 | 浅川・一番橋下流 | 11:30頃、浅川の一歩橋下流、水門の少し下流で本流の左岸寄り、ホオジロガモのメスと思われるカモ1羽が泳いでいるのを確認しました。時々潜水もしていました。私は浅川でホオジロガモを確認したのは初めてです。 | 小久保雅之 | 希少 | 武蔵府中 1K |
| | 58 | ミコアイサ | 2024/12/2 | 3羽 | 高月浄水場 池 | ♀3羽 | 古山隆 | 希少 | 拝島 6E |
| | 58 | ミコアイサ | 2024/12/4 | 1羽 | 高月浄水場 池 | メス型 | 粕谷和夫 | 希少 | 拝島 6F |
| F | 58 | ミコアイサ | 2024/12/15 | 2羽 | 多摩川・昭和水堰 | 日野の自然を守る会の「より鳥みどり観察会」にて、滝山城址から昭和水堰を見下ろすと白く光る水鳥が泳いでいるのを確認。その後昭和水堰まで下って、ペアであることを確認しました。ちなみに高月浄水場の池でも別個体のメス1羽を確認しています。 | 小久保雅之 | 希少 | 拝島 6E |
| | 62 | カイツブリ | 2024/12/13 | 1羽 | 浅川・一番橋と平山橋のほぼ中間点の流れ | 水中から浮かび上がって来てしばらくするとまた潜って姿を消した。毎年の如く冬期にだけ姿を現す。 | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 1J |
| | 64 | カンムリカイツブリ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・JR多摩川橋梁より上流側 | オオバンと共に採餌していた。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 希少 | 立川 1B |
| F | 64 | カンムリカイツブリ | 2024/11/26 | 1羽 | 多摩川・日野用水堰 | オオバン、コガモの群れに交じって1羽だけ泳いでいました。 | 田中博之 | 希少 | 拝島 8C |
| | 78 | アオバト | 2024/7/30 | 1羽 | 拓殖大学八王子国際キャンパス 厩舎付近 | 午前6時頃。比較的近くで鳴いていた。探したが視認はできなかった。 | 加藤岸男 | 希少 | 八王子 2E |
| | 78 | アオバト | 2024/8/6 | 声 | 奥高尾・一丁平付近 | 声を聞く。奥高尾・もみじ台先、日影林道・キャンプ場でも声を聞く。 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬 8E |
| | 78 | アオバト | 2024/9/6 | 声 | 小仏城山～もみじ台の間 | 声を聞く。 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬 8E |
| | 78 | アオバト | 2024/9/16 | 8羽 | 松竹公園西・タカの渡り調査地 | 北西方向より飛んできて通称「2の山」の上空で4羽ずつに分かれて、北方向と南方向にそれぞれ飛ぶ | タカの渡り調査参加者 | 希少 | 八王子 0K |
| | 78 | アオバト | 2024/9/16 | 1羽 | 松竹公園西・タカの渡り調査地 | 南方向から飛んできて、対岸のミズキの木に止まり、実を食べる | タカの渡り調査参加者 | 希少 | 八王子 0K |
| | 78 | アオバト | 2024/12/8 | 3羽 | 駒木野公園上流側山道(小仏川) | 9時半ごろ、杉の木の上の方で移動する小鳥(エナガか)を双眼鏡で追っていると、大き目の鳥が移動するのを見た。よく見るとアオバトで、うち1羽は雨覆いが紫色のオスだった。冬の光のなか、全身の色が美しく見えた。 | 井川麻利子、井川志織子 | 希少 | 八王子 1G |
| | 127 | カワウ | 2024/10/31 | 74羽 | 浅川・浅川橋上流側 | 群れ 一緒にダイサギ12羽、コサギ7羽、アオサギ3羽 | 古山隆 | 行動 | 八王子 6K |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|-------|------------|-------|-------------------------------|---|-----------------------|-------|---------------|
| | 127 | カワウ | 2024/11/4 | 275羽 | 多摩川・浅川合流付近 | ◆カワウの大群が上空で舞い多摩川に着水したが壮観でした。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 立川 4A |
| | 127 | カワウ | 2024/11/7 | 10羽 | 浅川・鶴巻橋下の川原 | カワウ 10羽、ダイサギ 17羽、コサギ、アオサギがいた。カワウが潜り漁をすると、近くにダイサギが集まり「おこぼれ」?を食べていたのが遠くからでしたが観察できました。しばらくするとサギ類とカワウと一緒に一斉に飛び去った。 | 門倉美登利、木野孔司、栗原豊 | 行動 | 八王子 5K |
| | 127 | カワウ | 2024/11/7 | 100羽+ | 北浅川・鶴巻橋の上流野球場付近の上空 | カワウ 100羽、ダイサギ 30羽が野球場の上空をV字型に並び上流に向かい飛来した。最初はV字型から、隊形をだんだん変えて飛んで行った。白と黒の鳥がたくさん飛びかい圧巻でした。数えるのに夢中で証拠写真は皆、いまいちでした。このコースで初めて見た光景なので感動しました。 | 門倉美登利、木野孔司、栗原豊 | 行動 | 八王子 5K |
| | 137 | ミゾゴイ | 2024/9/15 | 1羽 | 滝ノ沢林道 | 沢沿いの道路脇より飛び立つ | 古山隆 | 希少 | 八王子 0J |
| F | 139 | ゴイサギ | 2024/8/12 | 1羽 | 浅川・平山用水取水堰 | 浅川本流からダイサギとコサギ数羽が堰の溜まりに飛来したとき、中にホシゴイが1羽混じっていました。1枚目はゴイサギ、ダイサギ、コサギの3種集合、2枚目のゴイサギ後方の水鳥は左翼初列風切を失ってこの地に留まっているキンクロハジロ(本年5月19日既報)です。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中 0H |
| | 141 | ササゴイ | 2024/9/6 | 1羽 | 浅川右岸の岸辺・新浅川橋下流 100mほど | 8:50頃。岸辺にいたが上流側へ飛び去る。幼鳥のように見えた。 | 佐藤哲郎 | 希少 | 八王子 8J |
| F | 144 | アオサギ | 2024/11/2 | 1羽 | 湯殿川 | 野鳥定期カウント中の一場面です。アオサギが段差工の滝の上で滝登りをして来る魚を待ち伏せしていて、何匹もゲットしていました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 6G |
| F | 144 | アオサギ | 2024/9/8 | 1羽 | 湯殿川 | アオサギの脚元の水しぶきに注目して下さい。アオサギは多めの水量と水流の所で漁をしていました。付近にはギンヤンマの飛翔、胴体の青色が光に当たって綺麗でした。アレチヌスビトハギの小群落の花と実(莢)が目立ちました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 6G |
| F | 147 | チュウサギ | 2024/8/29 | 1羽+ | 浅川・一番橋下流から上流に移動 | 1羽または2羽。7:20頃、浅川一番橋下流 200mほどの岸から草地の中にいる白鷺を肉眼で確認。草地にいたことからチュウサギの可能性ありと双眼鏡で確認したところ、嘴の長さ、眼と口角の関係からチュウサギと判断。カメラを用意している間に上流に飛び去った。その後、一番橋の上から上流 30mほどの左岸の草地で確認し、写真1を撮った。その後9:30頃、日枝神社近くの水路が浅川に合流する辺りで再度確認(写真2)。1と2が同じ個体かは不明のため、羽数を1羽または2羽としておきました。 | 小久保雅之 | 行動 | 武蔵府中 1J,1K,2K |
| | 148 | コサギ | 2024/10/10 | 1羽 | 南浅川・睦橋下流 | 13:30頃。南浅川で久々にコサギを見ることが出来ました。以前(7年前)サギはコサギが主流でしたが、最近はダイサギ、アオサギばかりでコサギは見ることが出来ませんでした。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 4J |
| | 148 | コサギ | 2024/3/4 | 76羽 | 多摩川・浅川合流付近 | コサギの大群が餌取り場所を求めカワウと共に乱舞を繰り返すのに遭遇した。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 立川 4A |
| F | 148 | コサギ他 | 2024/9/5 | 4羽他 | 浅川・一番橋上流 | コサギ 4羽、チュウサギ 6羽、亜種チュウダイサギ多数、亜種ダイサギ 1羽コサギ(留鳥)、チュウサギ(この辺りでは旅鳥)、亜種チュウダイサギ(留鳥)、亜種ダイサギ(冬鳥)が揃いました。亜種ダイサギは今シーズン初認、チュウサギは渡り途中の立ち寄りと思われるが、8月29日に1または2羽確認していますが、今日はサギの群れの中に6羽確認しました。浅川では単独か多くても一度に2羽くらいしか見たことがないので、6羽まとめては珍しいです。 | 小久保雅之 | 行動 | 武蔵府中 1J |
| | 148 | コサギ | 2024/10/17 | 1羽 | 南浅川・廿里橋上流付近 | 10:30頃。カルガモ1羽とともにいた。買物に出かけた時に確認した。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G |
| | 148 | コサギ | 2024/11/3 | 1羽 | 湯殿川・大橋～釜土橋 | 川沿いを下流に向かって飛んでいた。ダイサギかと思ったが嘴が黒く足指が黄色かった。湯殿川では普段見かけない。 | 目黒明子 | 行動 | 八王子 6G |
| | 148 | コサギ | 2024/11/7 | 4羽 | 浅川・鶴巻橋下の川原 | ダイサギ・アオサギ・カワウに交じりコサギが4羽いた。このコースでは久しぶりに観察できた。 | 門倉美登利、木野孔司、栗原豊 | 行動 | 八王子 5K |
| | 148 | コサギ | 2024/12/9 | 13羽 | 浅川・浅川橋下流側 | 溜まりで群れがたたずむ | 古山隆 | 行動 | 八王子 6K |
| | 166 | クイナ | 2024/11/8 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流 | 草むらから出たり入ったりしていた。 | 浅川(大和田橋～鶴巻橋)定期カウント参加者 | 希少 | 八王子 7K |
| | 166 | クイナ | 2024/11/28 | 1羽 | 北浅川・元木橋下流側 | 草むらから出てきたが、直ぐに草むらに姿を隠す | 粕谷和夫 | 希少 | 拝島 1B |
| | 166 | クイナ | 2024/12/19 | 1羽 | 大栗川左岸・新川橋～常盤橋の中程 | 7:20頃。護岸の水際を上流側へ歩き、草むらに入った。この辺りでは珍しい。 | 佐藤哲郎 | 希少 | 武蔵府中 3F |
| F | 170 | ヒクイナ | 2024/9/23 | 1羽 | 湯殿川・殿田橋上流左岸 | 護岸上部の草叢から見慣れない鳥が現れたので急いでレンズを向けたがアツという間にコンクリート擁壁を駆け下りて水際の茂みに隠れた。目測で体長 15cm 以下。画像からクイナ類と判断したが確信がなかったので本会認定委員に検討を依頼し、ヒクイナ幼鳥と同定された。当地での繁殖を示唆する記録であるとの判断も頂いたため、画像は不鮮明ですが投稿します。 | 能田正行 | 繁殖 5⑤ | 八王子 6G |
| | 170 | ヒクイナ | 2024/10/1 | 2羽 | 湯殿川左岸、釜土橋から下流 100m 位の間の護岸下の草地 | 夕方 4 時頃。雌 1 羽、幼鳥 1 羽。知人の情報で久しぶりに会いに出掛けた。少し待っていると草陰から出てきて移動しながら探餌している雌を見ることができた。幼鳥は既に草陰に入ったままだで見られなかったが知人並びに近くで撮影していた人 | 岡本昭男、岡本昭子 | 希少 | 八王子 6G |

| | | | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|--------------------------|---|--|-------|---------|--------|
| | | | | | の画像で確認できた。知人の話では9月下旬から10月の半ばまで見られていたとのこと。 | | | | |
| 174 | バン | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・JR 多摩川橋梁より上流側 | 幼鳥が採餌活動をしていた | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 希少 | 立川 1B | |
| 174 | バン | 2024/12/7 | 1羽 | 湯殿川・カタクリ橋下流側 | 出たが、直ぐにツルヨシの株元に姿を隠してしまった。 | 粕谷和夫 | 希少 | 八王子 6G | |
| 175 | オオバン | 2024/10/13 | 3羽 | 多摩川・立日橋下流側 | やっとオオバンに出会えました。 | 福本健 | 初認 | 立川 2B | |
| 175 | オオバン | 2024/11/4 | 2羽 | 多摩川・ひょうたん池付近 | 今季初見で採餌している2羽を確認。 | 小川圭太他 | 初認 | 立川 1B | |
| F | 175 | オオバン | 2024/11/7 | 1羽 | 浅川・八高線鉄橋下流側 | 中州にいたオオバンが川に入り、水面を走って飛び立ちました。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 八王子 8J |
| 175 | オオバン | 2024/11/10 | 10羽 | 多摩川右岸・JR 多摩川橋梁より上流側 | 採餌していた。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川 1B | |
| 175 | オオバン | 2024/12/6 | 21羽 | 多摩川・JR 中央線鉄橋上流部 | 約200mの範囲で計21羽が川で採餌等の活動をしていた | 小川圭太他 | 行動 | 立川 1B | |
| F | 175 | オオバン | 2024/12/16 | 1羽 | 宇津貫緑地・調整池 | 八王子・宇津貫緑地の調整池には5月頃から9月頃までの間に黄色い花が水面に咲き誇るアサザが繁茂しています。冬になり、水鳥のオオバンがやってきてアサザを食べていました。アサザは冬になると葉が枯れて根茎で越冬する習性を持っているので、オオバンはアサザの茎を食べているものと思われる。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 6E |
| F | 175 | オオバン | 2024/12/23 | 1羽 | 浅川・萩原橋と浅川橋の中間右岸 | 4日前にタシギを目撃した付近で、オオバン(1)とカイツブリ(2)と一緒に観察した。この付近でオオバンとカイツブリを同時に見れるのは珍しい。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子 6K |
| 185 | ホトギス | 2024/7/3 | 1羽 | 高尾山・1号路女坂 | 声が聞こえた。 | 千葉楨子他定期カウント参加者 | 行動 | 八王子 0F | |
| 185 | ホトギス | 2024/7/8 | 1羽 | 自宅(鑪水)前の遊歩道下 | 鳴き声のみ。自宅前の遊歩道下の八重桜の木。朝6時過ぎすぐ近くでホトギスの声が聞こえてきたので外に出てみると八重桜の木から鳴き声が出た。双眼鏡で探したが姿を確認する事は出来なかった。 | 市村緑 | 行動 | 八王子 9D | |
| 185 | ホトギス | 2024/7/8 | 1羽 | 下柚木・郷戸緑地 | 声だけ。午前3時ごろ、自宅すぐそばの郷戸緑地付近で「テペンカケタカッ」というけたたましい鳴き声で目が覚めた。ホトギスは鳴きながら飛び去った。以前から遠くの方で鳴く声が聞こえてはいたが、方角も距離も定かではなかった。鳴き声がこれほど大きいと、以前聞いた声は相当遠くからだったのかもしれない。近くで聞く鳴き声は、「けたたましい」という形容詞が当てはまると思った。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D | |
| 185 | ホトギス | 2024/7/8 | 1羽 | 自宅(高尾町)南側金毘羅山 | 17:20。金毘羅山中腹辺りからビツビツキョキョキョと地鳴きと思われる鳴き声が聞こえた。今年最後の鳴き声と思われる。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G | |
| 185 | ホトギス | 2024/7/21 | 1羽 | 高尾山頂から城山へ向かうコース上、もみじ台付近 | コース上の雑木林から鳴き声が聞こえた。 | 小川圭太 | 行動 | 与瀬 9C | |
| 185 | ホトギス | 2024/7/31 | 1羽 | 日野市・高幡(自宅にて) | 浅川沿いの向島緑地から声が聞こえてきた。 | 小川圭太 | 行動 | 武蔵府中 3K | |
| 185 | ホトギス | 2024/8/1 | 1羽 | 多摩川右岸・昭和用水堰上流川原 | ウグイス5、6羽がさえずっているところにホトギスの声が聞こえてきた。8月でも未だ鳴いていた。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島 6E | |
| 185 | ホトギス | 2024/8/2 | 1羽 | 北浅川・天使病院裏堰付近。 | 上流から声が聞こえた。 | 中村后子他北浅川定期 C | 行動 | 拝島 2B | |
| 195 | ケリ | 2024/8/1 | 1羽 | 浅川・南平駅から浅川に出た所と一番橋との真ん中位 | 定期カウントの最中、ケリの幼鳥が1羽でいた。自宅に帰ってから写真による判定。 | 山崎悠一・山崎久美子 | 希少 | 武蔵府中 1J | |
| 202 | イカルチドリ | 2024/10/2 | 12羽 | 浅川・ふれあい橋上流側 | 水かさが増した流れの中にわずかに残った中州で12羽が点々と並び羽繕いなどして休んでいました | 浜田早苗 | 行動 | 武蔵府中 3K | |
| 202 | イカルチドリ | 2024/10/19 | 2羽 | 南浅川・横川橋下流側 | 14:00。中洲に2羽いた。離れると呼んだり近づいたりしていたので連れ立っていた模様。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子 5K | |
| F | 202 | イカルチドリ | 2024/11/21 | 14羽 | 多摩川・JR 中央線鉄橋下流・中洲 | 鉄橋すぐ下流の中洲にイカルチドリ14羽がじっと日向ぼっこしていた。近くにイソシギもいた | 福本健 | 行動 | 立川 2B |
| F | 203 | コチドリ | 2024/7/2 | 7羽 | 高月水田 | 高月水田に7羽のコチドリが降りていました。この写真はその内の1羽で飛立つ直前、今まさに飛立とうとしている姿です。この個体が飛立ったら近くにいた他の6羽も飛立ちました。この6羽の中には今年生まれの雛もいたかも知れません。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島 6F |
| 219 | タシギ | 2024/10/19 | 1羽 | 南浅川・横川橋下流側 | 14:25。目の前の中洲に飛んできた。途端に目が合ったのですぐまた城山川方面に飛んで行ってしまった。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子 5K | |
| F | 219 | タシギ | 2024/10/19 | 1羽 | 南浅川・横川橋下流側 | 暗かったのでガタガタですが一応証拠写真です。 | 今野美代子 | 行動 | 八王子 5K |
| 219 | タシギ | 2024/11/28 | 1羽 | 北浅川・陵北大橋上流側 | 岸辺でじっとしていた。近くにカワセミ有り。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島 1B | |
| F | 219 | タシギ | 2024/12/13 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流右岸・排水口の出口 | 定期カウントの時はいなかったが帰りに寄ってみると排水口でジッとしていた。 | 井上京子 | 行動 | 八王子 8K |
| F | 219 | タシギ | 2024/12/19 | 1羽 | 浅川・萩原橋と浅川橋の中間左岸 | 川岸の枯草の中に何か居るようなのでその場所を注視していると枯草の中からタシギが出て来た。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子 6K |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|---------|------------|----|-------------------------|--|------------------|------|--------|
| F | 235 | アオアシシギ | 2024/10/19 | 1羽 | 浅川・ふれあい橋上流側 | ふれあい橋上流右岸から対岸に何かいないが探していたら、アオアシシギを発見、下流方向に時々飛びながら移動し、見えなくなりました。腹部と飛んだ時の背中、腰、尾羽の白さが目立っていました。 | 小久保雅之 | 希少 | 武蔵府中3K |
| | 239 | クサシギ | 2024/10/12 | 1羽 | 浅川・多摩川合流部の浅川寄り右岸 | テトラポットに上ったり、水中に入ったりを繰り返していた。 | 門口一雄、門口裕子 | 希少 | 武蔵府中4K |
| | 239 | クサシギ | 2024/11/1 | 3羽 | 多摩川・昭和水堰上流側 | 3羽で行動 | 多摩川滝山城跡下定期C(古山) | 希少 | 拝島6E |
| | 241 | キアシシギ | 2024/8/2 | 2羽 | 浅川・一番橋上流約100~150m、中洲の水際 | キアシシギのかすかな声が出て中洲の石ころの水際を探すと15m位離れた状態の2羽を見つけた。それぞれ2羽は石の上に立っていたが1羽は石ころの間に座り込んだ。もう1羽はすぐに飛び立って少し離れた場所に飛んでいったように見えたが見失った。 | 岡本昭男 | 通過 | 武蔵府中1J |
| | 241 | キアシシギ | 2024/8/27 | 7羽 | 浅川・平山橋下流 | 浅瀬で採餌していたが、下流へ飛去 | 玉木雅治 | 通過 | 武蔵府中1H |
| | 299 | セグロカモメ | 2024/11/28 | 1羽 | 浅川・平山橋下流 約400m | 浅瀬の中でじっと流れを見ていた。 | 岡本昭男、岡本昭子 | 希少 | 武蔵府中1H |
| | 339 | ミサゴ | 2024/11/1 | 1羽 | 多摩川・滝山下 | 水管橋付近 下流側に飛ぶ | 多摩川滝山城跡下定期C(古山) | 行動 | 拝島7D |
| | 339 | ミサゴ | 2024/11/4 | 1羽 | 多摩川・JR中央線鉄橋上流部 | 下流側へ向かうミサゴ1羽の飛翔を観察。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川1B |
| | 339 | ミサゴ | 2024/11/4 | 1羽 | 多摩川・ひょうたん池付近 | 下流側へ向かうミサゴ1羽の飛翔を観察。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川0C |
| | 339 | ミサゴ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・JR多摩川橋梁より上流側 | ホバリングを交えながら多摩川上空を飛翔していた。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川1B |
| F | 339 | ミサゴ | 2024/12/16 | 1羽 | 多摩川・日野用水堰 | 中洲の木に停まり、ときどき周囲の川面を巡回し採餌していました。ノスリも近くにいました。 | 田中博之 | 行動 | 拝島8C |
| F | 342 | トビ | 2024/9/15 | 1羽 | 浅川・一番橋下流 | 中洲で大ナマズを貪っていた。周りにハシボソガラスが2羽いて、隙をついて横取りしようとするが簡単に蹴散らして独り占め。上空ではカラスに追われるシーンをよく見るが地上では体格に勝るトビが優勢だった。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中2K |
| | 342 | トビ | 2024/10/13 | 1羽 | 自宅(高尾町) | 9:46。自宅上空を旋回していた。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G |
| | 342 | トビ | 2024/10/16 | 7羽 | 八王子市横川町・横川下原公園付近の上空 | 7羽の見事なタカ柱、サンバかと期待したが双眼鏡で確認するとトビであった。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子4K |
| F | 351 | ハイロチュウヒ | 2024/12/29 | 1羽 | 多摩川・JR鉄橋100M上流付近 | 水面のフカミを見ていると見慣れない猛禽が川面を低く横切り左岸の林へ飛んで見えなくなりました。暫くして又現れると下流方向へ飛びJR鉄橋手前の右岸土手付近で見失いました。認定委員の古山様より腰の白さや風切り羽の横斑、顔つき等からハイロチュウヒで雌雄や年齢は判別不明と認定して頂きました。翌日も近くの会員の方などに数回観察されたようです。地元で観ることが出来て嬉しい見納めとなりました。 | 浜田早苗 | 希少 | 立川1B |
| | 354 | ツミ | 2024/7/8 | 1羽 | 浅川・浅川大橋付近 | 上流側から下流側に向かって飛ぶ。その後をツバメの群れが鳴きながら追いかける | 古山隆 | 行動 | 八王子7K |
| | 354 | ツミ | 2024/7/11 | 1羽 | 狭間公園(京王線狭間駅の西側線路沿いの公園) | 12:10頃。京王線狭間駅の西側線路沿いの公園に沿った道を歩いている時、鳴き声を聞きました。高い木の間を飛んで移動する姿(シルエット)が見え、鳴き声は2箇所から聞こえました。 | 横山由美子 | 行動 | 八王子3G |
| F | 354 | ツミ | 2024/7/19 | 2羽 | 日野市・市民の森陸上競技場 | 2年ぶりに繁殖に成功したようで、巣立ったヒナ2羽が木に止まっていた。親は見つけられなかった。 | 福本健 | 繁殖5⑤ | 立川2B |
| F | 354 | ツミ | 2024/7/24 | 1羽 | 黒川清流公園 | ツミの幼鳥がアブラゼミを2回捕食しました。胸の横縞はまだ不鮮明で喉下に黒い縦縞が認められるので幼鳥と判断しました。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中1K |
| | 354 | ツミ | 2024/8/4 | 1羽 | 多賀神社(元本郷町) | 姿と声を確認 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子5K |
| | 354 | ツミ | 2024/8/22 | 1羽 | 日野市・高幡台団地 | 42号棟 横 電線に止まる | 古山隆 | 希少 | 武蔵府中3J |
| | 354 | ツミ | 2024/12/2 | 1羽 | 谷地川・表橋(丹木まち公園) | 15:40。雄。電線上でスズメに縄張りを主張しているジョウビタキの♀を観察していた所、バツといきなり逃げたので何かと思ったらツミが飛び込んできた。獲物に逃げられたことで消沈したのかしばらく電線に止まってから飛び去った。虹彩も赤く背中も青く脇もオレンジでしっかりと雄の成鳥だった。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島6C |
| F | 354 | ツミ | 2024/12/2 | 1羽 | 谷地川・表橋(丹木まち公園) | ♂。鳥信に投稿したツミの写真です。狩りの失敗で消沈したのか暫く佇んでいました。この個体、右後趾の爪が白化しています。個体識別のポイントになるなと思いましたのでご一報まで。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島6C |
| | 355 | ハイタカ | 2024/11/3 | 1羽 | 日野市クリンセンター付近 | 多摩川上空をトビと一緒に飛ぶ小型の猛禽がいて写真で確認するとハイタカでした。大きく旋回しながら下流へ飛び去りました。近くのワンドではコガモやクイナのような声もしましたがガマの茂みで姿は見えませんでした。 | 浜田早苗 | 行動 | 武蔵府中4K |
| | 355 | ハイタカ | 2024/12/6 | 1羽 | 多摩川・ひょうたん池付近 | 上空やや低い位置を飛翔していた。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川0C |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|-------|------------|----|--------------------|---|-------------------|------|--------|
| F | 356 | オオタカ | 2024/7/26 | 1羽 | 浅川・滝合橋上流左岸 | 土手道を自転車で移動中、流れの中で、尋常でなく大声で鳴き続けるカルガモに出会い、幼鳥を呼んでいるのかと思いきその視線方向に双眼鏡を向けると、水辺の草叢でオオタカが探餌していた。既に獲物の種類を判別できないほど食べ尽くしていたが状況からカルガモを捕食したと思われる。猛々しいオオタカと家族愛が篤いカルガモ双方の野生を目の当たりにした。10分後オオタカは流れに入って足を洗い水を飲んでから対岸の河畔林に消えた。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中0H |
| | 356 | オオタカ | 2024/9/7 | 1羽 | 八王子市上柚木三丁目上空 | カラスとオオタカのバトル。オオタカの鳴き声に気がついて空を見上げると、3羽のカラスがオオタカを襲撃。しかしいつの間にか形勢は逆転し、オオタカが2羽のカラスを追撃。さすがオオタカ! | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D |
| | 356 | オオタカ | 2024/10/26 | 1羽 | 公社横川町住宅付近の上空 | 16:10。若鳥。カワラバトを狙っていたが、ハシボソカラスに見つかり追い回され、カラスに蹴られたので蹴り返したら仲間を呼ばれて5.6羽に蹴られて追い回されて飛び去って行った。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子5K |
| | 356 | オオタカ | 2024/11/4 | 1羽 | 多摩川・ひょうたん池付近 | カラス2羽にモビングされている幼鳥らしき1羽を観察。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川0C |
| | 356 | オオタカ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・通称ひょうたん池付近 | 下流側に向かって飛翔し、真上を通過した。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川0C |
| | 356 | オオタカ | 2024/12/6 | 1羽 | 多摩川・谷地川合流部付近 | 上流側の上空を飛翔していた。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川1B |
| | 356 | オオタカ | 2024/12/9 | 1羽 | 都営鎌水第2団地7号棟 | 朝のお散歩で団地の前を通ると久しぶりにオオタカが高層棟の避雷針の横にジッと動かずに留まっていた。夏以降姿を見なかったが久しぶりに姿を見た。 | 市村緑 | 行動 | 八王子9C |
| F | 356 | オオタカ | 2024/12/19 | 1羽 | 浅川・萩原橋下流 | オオタカとカラスのバトルを目撃しました。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子6K |
| | 356 | オオタカ | 2024/12/25 | 1羽 | 浅川・川口川合流部 | 成鳥 木に止まる | 古山隆 | 行動 | 八王子6K |
| | 357 | サシバ | 2024/9/2 | 2羽 | 城山湖 | サシバ、ハチクマ、ツミ。合計それぞれ2羽、7羽、2羽。東屋から鷹の渡りを期待して観察。9:00から11:00。雲15%程度の快晴。ハチクマとサシバ、ハチクマとカラス、ハチクマとトビに途中からツミが絡むなど、互いにモビングしあいながら、いずれも高度低く賑やかに飛んだが、確実に渡りと判断できたものはなかった。対岸にオシドリ4、5羽も観られた。 | 小林匠、小林理恵 | 通過 | 八王子1C |
| | 357 | サシバ | 2024/9/13 | 1羽 | 北浅川・松竹橋付近 | 15:20 北側の山の方から鳴き声 9/14も同方向から鳴き声が聞こえる | 古山隆 | 通過 | 八王子0K |
| | 357 | サシバ | 2024/10/6 | 1羽 | 多摩川・谷地川合流部付近 | 谷地川合流部付近で、樹上に止まるサシバを観察。他の鳥が来て上流方面に飛び去った。 | 小川圭太他 | 通過 | 立川1B |
| | 357 | サシバ | 2024/10/7 | 2羽 | 多摩川・浅川合流付近 | 多摩川上空で旋回、南西方面へ飛び去った。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 通過 | 立川4A |
| | 358 | ノスリ | 2024/11/1 | 1羽 | 多摩川・右岸昭和用水堰上流川原 | 地上にいて、私に気が付いて飛び去って行った。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島6F |
| | 358 | ノスリ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・谷地川合流部付近 | 河原を上流側に向かって飛翔していた。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川0C |
| | 358 | ノスリ | 2024/11/23 | 1羽 | エコ広場(北野町)近く | 浅川からエコ広場の方向へ飛翔 | ジュニアクラブ野鳥観察参加者 | 行動 | 八王子8J |
| | 358 | ノスリ | 2024/11/25 | 1羽 | 加住町長江寺上空 | 15:00。長江寺上空から南に飛び去った。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島5D |
| F | 358 | ノスリ | 2024/12/5 | 1羽 | 北浅川・中央高速道橋の上流側 | 北浅川の野鳥定期カウント中。河原の上空にタカが現れたのでノスリかと思ったがトビでした。その後で河原の中の林に眼を向けるとノスリが枝に止まっていました。未だ若々しい幼鳥でリラックスしていました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島4A |
| | 358 | ノスリ | 2024/12/6 | 1羽 | 多摩川・JR中央線鉄橋上流部 | 対岸の枯れ木に止まってじっとしていた。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川1B |
| | 358 | ノスリ | 2024/12/16 | 1羽 | 浅川・浅川橋上流側 | 右岸 上空 市街地方向(南方向)に飛ぶ | 古山隆 | 行動 | 八王子6K |
| F | 358 | ノスリ | 2024/12/27 | 1羽 | 浅川・暁橋下流 | ノスリに対してカラスがちょっかいを出していましたが、ノスリが高度を上げたためか離ればなれになった。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子7K |
| | 364 | クマタカ | 2024/9/14 | 1羽 | 北浅川・松竹公園付近 | 北側(通称「3の山」)上空 カラス(5羽)に追われて西方向へ | 古山隆 | 希少 | 八王子0K |
| | 372 | フクロウ | 2024/12/2 | 1羽 | 多摩川・滝山下 | 左岸 河川林 上流側より飛んできて、木に止まる | 多摩川滝山城跡下定期C(古山) | 希少 | 拝島7D |
| | 372 | フクロウ | 2024/12/13 | 1羽 | 八王子市台町 八王子生活実習所敷地内 | カラスに追われ、施設建物の窓ガラスにぶつかり保護された個体 施設の方が東京都の鳥獣保護担当に連絡し、引き渡す | 古山隆 | 希少 | 八王子6H |
| F | 374 | アオバズク | 2024/5/30 | 1羽 | 多摩森林科学園 | 巣の目の前で遠くに聞こえるカラスの声に反応して首をキョロキョロ動かしていました。 | 市村緑 | 希少 | 八王子2H |
| | 374 | アオバズク | 2024/7/6 | 1羽 | 浅川・浅川橋 右岸 | 極楽寺 境内 20時30分 鳴き声 | 古山隆 | 希少 | 八王子6K |
| F | 374 | アオバズク | 2024/7/13 | 2羽 | 日野市内の公園(詳細非開示) | 親鳥2羽が揃ってウロの外に現れたのが7/11、いよいよ巣立ちだろうと期待していましたが7/13に2羽の幼鳥を確認することができました。1枚目は最初に巣立った個体、2枚目は恐らくこの日に巣立った個体でダウン(幼綿羽)を纏っています。毎日観察されている方の情報では巣立ちは3羽とのこと。そして今日(7/15)、ウロの近辺に親子の姿は無く、森のどこかへ移動した模様です。無事に成鳥となって来年また戻っ | 能田正行 | 繁殖5⑤ | 非公開 |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|---------|------------|----|---|--|--------------------------|----|---------|
| | | | | | て来てくれるのを願いたいと思います。尚、本種のフォト鳥信は、繁殖保護のため会長とご相談の上巢立ち後まで控えました。同じ理由で場所も非公認としています。 | | | | |
| | 374 | アオバズク | 2024/9/2 | 1羽 | 八王子市狭間町(自宅) | 20時13分(現在)。今、近くでアオバズクが鳴いています。15分ほど前からです。 | 加藤岸男 | 希少 | 八王子 3F |
| F | 383 | カワセミ | 2024/12/7 | 1羽 | 湯殿川・白旗橋下流側 | 野鳥カウント中の一こま。カワセミが魚をゲット。捕った魚が大き過ぎて一気に食べられない。魚の背骨を柔らかくするためか、何回も何回も何回も噛んだ大きな魚を足元に叩きつけていたが、獲物が大き過ぎて呑み込めない。この光景を数分見ていたが、呑み込めないでこちらが諦めてこの場を立ち去りました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 5F |
| | 393 | アカゲラ | 2024/11/6 | 1羽 | 高尾山山頂からの陣馬山縦走路入り口付近 | みがコナラに止まっていた。 | 千葉慎子他高尾山(蛇滝コース)定期カウント参加者 | 行動 | 与瀬 9E |
| F | 393 | アカゲラ | 2024/12/17 | 1羽 | 小宮公園・カワセミの小道 | 比較的低い位置にいました。 | 田中博之 | 行動 | 拝島 7A |
| | 397 | アオゲラ | 2024/11/25 | 1羽 | 加住町富士浅間神社 | 14:40。木を伝って行った。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 5C |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/6/3 | 1羽 | 多摩川・浅川合流付近 | ゴミ焼却場建物の屋上に止まっていたチョウゲンボウが飛び立つと、ハクセキレイが数羽モビングしていた。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 武蔵府中 4K |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/7/2 | 1羽 | 南大沢駅付近 | 都立大方向からアウトレットの屋根すれすれくらいの高さでチョウゲンボウが飛んできた。その後高度をグングン上げながらプレスコ南大沢(市役所分室が入っているビル)方向へ一直線に飛び去った。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/9/8 | 1羽 | 多摩川右岸・日野橋より下流側 | 対岸方向からこちらへ、前を飛ぶ小鳥を捕まえようと追いかけて飛翔してきた。その後住宅の影に隠れ、捕獲したかどうかは不明。 | 小川圭太・他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川 3B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/9/28 | 1羽 | 浅川・新浅川橋下流約 100m | 草むらから飛び出し遠くの下流の高圧線に止まった。 | 岡本昭男、ジュニアクラブ野鳥観察参加者 | 行動 | 八王子 8H |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/10/3 | 1羽 | 京王八王子駅ビル | 上空を飛ぶ | 古山隆 | 行動 | 八王子 7J |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/10/17 | 1羽 | 自宅(八王子市中野町) | AM11:30。玄関前に居たら、自宅上空を南東から北西に向かってチョウゲンボウが横切って行った。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/10/19 | 1羽 | 多賀公園上空 | 13:55。多賀公園上空で、ドバトの群れの近くを飛んでいた。ドバトの群れに 2 回ほど近づいたがその後南東へ飛び去った。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子 5K |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/10/28 | 1羽 | 甲の原サイクル 3 軒隣のアンテナ | 13:20。♀。南西から飛んできてアンテナに少し止まった後北東に飛び去った。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/1 | 1羽 | 高月水田 | スズメの数羽の群れの所のビニールハウス屋根にいたが、飛び去って行った。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拝島 6E |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/1 | 1羽 | 高月町水田 | 電柱に止まり、足指で挟んだ獲物をちぎり取って食べる。 | 多摩川滝山城跡下定期 C(古山) | 行動 | 拝島 6E |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/3 | 2羽 | 湯殿川・釜土橋付近 | 15:25。♂♀。♀を♂が追いかけて東の方に飛び去って行った。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子 6G |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/4 | 1羽 | 湯殿川・殿橋付付近 | カラスを空中で追いかけるチョウゲンボウをハクセキレイがモビングしていた。 | 湯殿川カウント参加者 | 行動 | 八王子 6G |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/7 | 1羽 | 浅川・北野清掃工場上空 | 9:10 頃。北野清掃工場上空を飛ぶ。ときおりホバリングした。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 八王子 8J |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/13 | 1羽 | 甲の原中学校フェンス | ♀。中学校のフェンスに止まってくつろいでいた。その後南西に飛び去る。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 5B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/16 | 1羽 | 中野山王 2 丁目 31 の鉄塔 | 14:15。♀。ムクドリにモビングされながら鉄塔に止まる。その後も何回かムクドリにモビングされたが気にせず羽織りしていた。多分 11/13 に報告した個体と同じではないかと思われる。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 拝島 6A |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/16 | 1羽 | 京王八王子駅前 | カラスに追われる | 古山隆 | 行動 | 八王子 7J |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/18 | 1羽 | 八王子みなみ野駅近く | 駅近くで旋回飛翔をしていた。 | 粕谷和夫他宇津貫カウント参加者 | 行動 | 八王子 6F |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/21 | 2羽 | 自宅周り(中野町) | 14:10-50。♂♀。自宅前で声が出たので見上げたら居つきの♀成鳥と思われる個体と、知らない♂成鳥の個体が追いかけてくつろいでいた。追いかけては互いが見えるアンテナ等に止まり、また追いかけることを繰り返して 40 分ほどして♀が南の方へ飛び去り、♂は北東に飛び去った。縄張り争いなのか求愛の準備行動なのか不明。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/23 | 1羽 | 浅川・山田川合流付近 | カラスに絡まれた跡、単独でしばし旋回飛翔 | ジュニアクラブ野鳥観察参加者 | 行動 | 八王子 8H |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/25 | 2羽 | 自宅周り(中野町) | 13:10。♂♀。自宅前で声が出たので見上げたら上空で♂成鳥がケケケケと鳴きながら円を描いていた。しばらくすると南西から居つきの♀成鳥と思われる個体が飛んできた。続きを観ようと追いかけたが転んだのでロストした。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6B |
| | 401 | チョウゲンボウ | 2024/11/25 | 1羽 | 多摩病院アンテナ | 13:10。雌。アンテナで休んでいるのが見えたので観察していたら、院内敷地の中からカマキリを獲ってきて同じアンテナに戻り食べていた。食後は南東に飛び去る。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 6B |

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|------------|------------|-------------------|---|---|------------------|---------------|--------|
| 401 | チョウゲンボウ | 2024/12/5 | 1羽 | 浅川・新浅川橋～水管橋 右岸上空 | 9:35 頃。 ハシボンガラスに追われ、上流側へ飛び去る。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 八王子8H、8J | |
| 401 | チョウゲンボウ | 2024/12/27 | 1羽 | 八王子市中野上町1丁目 | ♀1 高圧線鉄塔の最上部に止まる | 古山隆 | 希少 | 八王子6K | |
| 407 | ハヤブサ | 2024/8/2 | 1羽 | 日野市栄町地先 | 19:10 多数のねぐら入りのツバメが集まる薄暗いところを、多摩川の上流側からハヤブサ1羽が下流側へ川沿いに低い高度で直線的に飛び去る。足にツバメをつかんでいる。特にツバメは騒ぎ立てたりせず静かな襲来であった。観察したのは立川側の多摩川岸からだが住所としては日野市栄町地先。 | 渡辺仁 | 行動 | 立川1C | |
| 412 | サンショウクイ | 2024/8/3 | 1羽 | 北浅川・小田野中央公園 | 公園の川向うにいた。リュウキュウサンショウクイかどうかは不明。 | 青木静子他定期カウント参加者 | 希少 | 拝島1A | |
| 412 | サンショウクイ | 2024/8/6 | 声 | 日影林道・キャンプ場 | 鳴きながら飛ぶ。亜種区分不明 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬9F | |
| 412 | サンショウクイ | 2024/9/6 | 声 | 日影林道・キャンプ場 | 上空を鳴きながら移動している。亜種区分不明 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬9F | |
| 420 | モズ | 2024/8/10 | 1羽 | 湯殿川・釜土橋付近 | 幼鳥が釜土橋付近の田んぼにいた。 | 粕谷和夫他湯殿川カウント参加者 | 行動 | 八王子6G | |
| 420 | モズ | 2024/8/24 | 1羽 | 川町谷戸 | オス、木のてっぺんで地鳴きのような声を繰り返して、明らかに「高鳴き」ではなかった。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子2K | |
| 420 | モズ | 2024/8/28 | 2羽 | 浅川・平山橋～高幡橋 | 高鳴き開始。1羽は電線上で、もう1羽は樹木で。 | 玉木雅治 | 初認 | 武蔵府中1J、武蔵府中2K | |
| 420 | モズ | 2024/9/19 | 1羽 | 八王子市中野上町1丁目 | 住宅地の屋根のアンテナに止まって高鳴き | 古山隆 | 行動 | 八王子6K | |
| 420 | モズ | 2024/9/23 | 1羽 | 南大沢駅前 PAORE | 避雷針の先端でモズが高鳴きしていた | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |
| 420 | モズ | 2024/9/25 | 声 | 裏高尾町・駒木野公園付近(小仏川) | 朝、モズの高鳴きが川沿いの木々の方から聞こえた。翌26日も鳴いていた。駒木野付近は、彼岸花が咲き、鹿の鳴き声も聞こえるようになり、秋らしくなってきました。 | 井川麻利子、井川志織子 | 行動 | 八王子1G | |
| 420 | モズ | 2024/10/5 | 1羽 | 南大沢・学園一番街 | 6号棟屋上の避雷針先端でモズが高鳴きしていた | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |
| 420 | モズ | 2024/10/7 | 1羽 | 清水入り緑地・北側入り口 | 梢でモズが高鳴きしていた | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中1C | |
| 427 | カケス | 2024/11/1 | 1羽 | 滝が原運動場 付近 | 滝丘丘陵側から鳴き声が聞こえる | 多摩川滝山城跡下定期C(古山) | 行動 | 拝島6D | |
| F | 429 | オナガ | 2024/7/28 | 5羽+ | 市民の森陸上競技場 | 5~6羽。ほんとうに幼鳥です。成長を願っていますが同じ公園でツミも巣立ったとか。ちょっと心配です。 | 野崎照夫 | 繁殖5⑤ | 立川2B |
| | 429 | オナガ | 2024/11/10 | 20羽± | 浅川左岸・ふれあい橋下流の竹藪 | ムクドリねぐらの状況を見に行くとオナガ約20羽が竹藪に入りました。ねぐら入りと思われず。 | 小川圭太 | 峙 | 武蔵府中3K |
| | 429 | オナガ | 2024/11/17 | 35羽 | 浅川左岸・ふれあい橋下流の竹藪 | オナガの群れが竹藪に入り、ねぐら入りと思ったが、ムクドリが入ってきたせいか、全羽とも出て行って北側の公園へと飛び去った。 | 小川圭太 | 峙 | 武蔵府中3K |
| | 435 | ハシボンガラス | 2024/10/21 | 1羽 | 自宅(高尾町)北側甲州街道沿い | 9:26。訪問看護ステーション「天馬」の横の電線にとまり「ガーガー」鳴いていた。*鳥が自宅付近に来なくなりました。少なくなったのでしょうか。スズメやシジュウカラ、ヤマガラ、ジョウビタキなど以前にはよく来ていたのですが。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G |
| F | 435 | ハシボンガラス | 2024/11/12 | 1羽 | 大栗川(常盤橋～新川橋間) | 7:30頃。常盤橋上流側で部分白化のハシボンガラスを観察した。風切～雨覆のあたりが白かった。写真はスマホ動画からの切出し拡大。 | 佐藤哲郎 | 希少 | 武蔵府中3F |
| F | 435 | ハシボンガラス | 2024/12/6 | 1羽 | 谷地川・新旭橋横のパチンコ店駐車場 | 空中からクルミの実を何度も落として割ろうとしているハシボンガラス。 | 小川圭太 | 行動 | 立川0C |
| F | 435 | ハシボンガラス | 2024/12/22 | 1羽 | 大栗川(常盤橋～新川橋間) | 7:30頃。11月12日に投稿した部分白化のハシボンガラスと同一個体。この辺りにいつもいるようだ。 | 佐藤哲郎 | 希少 | 武蔵府中3F |
| | 436 | ハシボンガラス | 2024/12/4 | 1羽 | 自宅(高尾町) | 14時20分頃。晴。自宅西側空地に降りて採食していた。久しぶりに確認した。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G |
| | 445 | シジュウカラ | 2024/11/9 | 2羽 | 自宅(高尾町) | 15時30分。庭の木の剪定をしていたら餌台に2羽が久しぶりに木でくれた。しかし、直ぐ前上の電線に移り私がいなくなるのを待っているようだった。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G |
| F | 457 | ツバメ | 2024/7/14 | 5羽 | 高幡不動駅北口側モノレール下付近 | ひな。今日あたりには巣立ちそうひな5羽の兄弟。この人工巣で今年育った2組目の子供たちです。 | 小川圭太 | 繁殖5① | 武蔵府中3K |
| F | 457 | ツバメ | 2024/7/19 | 122羽 | 大和田三丁目 | この辺でこの数集結するのも珍しいが見覚えのある個体が複数いたので全て地元組と思われず。この日まで今年には二番子が多いなと思っていましたら、3日後まで朝夕の集結を観て、それ以降は個体数が激減したので今年は7月末から移動を始めたようです。 | 下野彰夫 | 行動 | 八王子8J |
| | 457 | ツバメ | 2024/7/26 | 3羽 | 高尾駅北口前 | 10:30頃。多摩信用金庫横道路上を3羽が飛翔していたのを確認した。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G |
| | 457 | ツバメ | 2024/11/4 | 1羽 | 多摩川右岸・JR多摩川橋梁より上流側 | 11月定期カウントで観察。飛翔して、その後近隣のアパートのベランダ給湯器の上に止まりじっとしていた。 | 小川圭太他定期カウント参加者 | 行動 | 立川1B |
| | 457 | ツバメ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・JR多摩川橋梁より上流側 | 4日と同じ個体と思われるツバメが飛翔して、その後4日と同じアパートの部屋のベランダ手すりに止まる。給湯器前が暖かいのではないかとと思われる。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川1B |

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|------------|------------|------------------|---|---|------|--------|--------|
| 459 | コシアカツバメ | 2024/10/7 | 20 羽士 | 多摩川・浅川合流付近 | ゴミ処分場の煙突上空でコシアカツバメ20±が長い時間乱舞(餌取り)しているのが見れた。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 武蔵府中4K | |
| 459 | コシアカツバメ | 2024/10/12 | 90 羽+ | 浅川・多摩川合流部の清掃工場付近 | 清掃工場の煙突の周りで旋回しながら上昇し、西方向に飛び去る。(20, 30 羽の群れが次々と飛来し、飛び去るのが確認できた。)他に、イワツバメ30の群れやツバメ5の群れも前後して飛んだ。 | 門口一雄、門口裕子 | 通過 | 武蔵府中4K | |
| 459 | コシアカツバメ | 2024/10/13 | 200 羽+ | 日野市クリーンセンター付近 | 約200羽以上(220羽位)。クリーンセンターの煙突付近や上空を100羽以上のコシアカツバメが飛び回っていて次第に数が増え約200羽以上が集結し北川原公園上空の電線にずらりと並び羽織いなどして30分程度休んだ後半数羽が思い思いに飛び立ち上空を行ったり戻ったりしながらゆっくりと南西方向へ空高く飛んで見えなくなりました。毎年今頃になるとここに多く集まって来て渡りの中継地になっているのでしょうか。 | 浜田早苗 | 行動 | 武蔵府中4K | |
| 459 | コシアカツバメ | 2024/11/3 | 20 羽士 | 日野市クリーンセンター付近 | 多摩川上空を数羽のコシアカツバメがまだ飛んでいてクリーンセンターの煙突上部にも20羽程が集まって来ました。煙突の上でホバリングするような行動も度々見られ煙浴ではという話もありましたが煙突からは煙が出ない構造で煙浴ではなさそうです。この日は長居せず5~6分で見えなくなりました。終認? | 浜田早苗 | 終認 | 武蔵府中4K | |
| 461 | イワツバメ | 2024/3/4 | 1羽 | 多摩川・石田橋 | 石田橋の橋梁下部付近からイワツバメ一羽が飛び出るのが確認出来た。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 繁殖3 | 立川4A | |
| 461 | イワツバメ | 2024/11/7 | 7羽 | 北浅川・中央道橋下付近 | 中央道橋付近の上空を飛来していた。「ヒメアマではないよ!」と声かけしイワツバメとした。喉から胸腹など白。尾が短かった。橋脚下の手前の巣に出たり入ったりしていた。後日観察に行ったら見れたのはこの日だけでした | 門倉美登利、木野孔司、栗原豊 | 行動 | 拜島4A | |
| 479 | エゾムシクイ | 2024/8/24 | 1羽 | 多摩川・日野橋付近 | 地鳴き、姿で同定しました。繁殖が終わって、渡りが始まっているのでしょうか。 | 玉木雅治 | 通過 | 立川3B | |
| 506 | ムクドリ | 2024/6/3 | 85 羽 | 多摩川・石田橋 | 石田橋高架下にムクドリが多数営巣しており、餌運びが頻繁に確認出来た。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 繁殖5① | 立川4A | |
| 506 | ムクドリ | 2024/10/11 | 3500 羽士 | 八王子駅北口二階デッキ及び周辺 | 16時00分~18時00分。気象:高曇り、南風微風、気温23°C 日没時間17時13分 16時15分 J:COM アンテナに飛来し始める。 16時30分 J:COM に700~800羽止まる。 16時45分 止まり切れない個体が周辺のビルに止まる。 17時00分 400~500羽の複数単位で上空を旋回する。久し振りの光景に感激。3000±羽 17時05分 チョウゲンボウが、オクトレービル方面より飛来する。 17時10分 ドン・キホーテ屋上アンテナにも数個体が止まる。 17時25分 北口周辺の個体は西方面に順次飛び去る 17時40分 三崎町の屋敷林にて罫入り完了、3500羽士としました。 | 対中義雄 | 罫 | 八王子7J | |
| 506 | ムクドリ | 2024/11/12 | 2200 羽士 | 浅川左岸・ふれあい橋下流の竹藪 | ムクドリの群れが近くの電線に一度止まり、浅川で水浴びをした後、上空を旋回し、竹藪へ入った。その後も再度飛び立ち、何度か上空を旋回するのを繰り返し、午後4時48分頃、竹藪に入ってねぐら入りした。 | 小川圭太 | 罫 | 武蔵府中3K | |
| F | 506 | ムクドリ | 2024/11/17 | 1200 羽士 | 浅川左岸・ふれあい橋下流の竹藪 | ムクドリの群れが浅川で水浴びをした後、上空を旋回し、竹藪へ入ったり上空の旋回を繰り返したのち、最終午後4時45分頃、竹藪に入ってねぐら入りした。11月12日より数回はやや少なかった。 | 小川圭太 | 罫 | 武蔵府中3K |
| 506 | ムクドリ | 2024/12/27 | 10 羽 | 八王子市中野山王1丁目 | 都営アパート横の街路樹(トウネズミモチ?)の実を群れで採餌 | 古山隆 | 行動 | 拜島6A | |
| 508 | コムクドリ | 2024/9/19 | 1羽 | 八王子市中野上町1丁目 | み1 住宅地の屋根のアンテナに止まる | 古山隆 | 通過 | 八王子6K | |
| 512 | カワガラス | 2024/12/4 | 2羽 | 圏央道下・梅の郷まの広場付近 | 1羽は、小仏川で採餌。1羽は、離れた所で採餌後上流へ、浅川ホーム入り口の橋上流側で採餌、その後見失う。 | 千葉楨子他高尾山(小仏川コース)定期カウント参加者 | 希少 | 八王子0G | |
| 514 | トラツグミ | 2024/7/5 | 声 | 小仏城山頂上手前 | 小仏方面からの登山道合流付近 | 柚木育子 | 希少 | 与瀬7F | |
| 521 | シロハラ | 2024/12/9 | 1羽 | 小山内裏公園鮎道脇の駐車場奥 | 駐車場奥のヤブの中。脇から鳴きながら飛んで来てヤブの中に入って行く姿を確認した。 | 市村緑 | 行動 | 八王子9C | |
| F | 521 | シロハラ | 2024/12/25 | 1羽 | 平山城址公園東園 | この場所では今季初認。特徴のある鳴き声が聞こえた時、「戻って来た!」と安堵しました。前年は公園内いたる所で整備伐採が行われ、結局会えず終いでした。シロハラは余人を恐れない印象ですが、渡ってきたばかりなのか、この個体は警戒心が強く直ぐに飛び去ってしまいました。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中1G |
| 525 | ツグミ | 2024/4/1 | 27 羽 | 多摩川・浅川合流付近 | 多摩川河川敷雑木林の樹上で、渡りを前にしたツグミが集結して騒いでいるのが観察出来た。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 立川4A | |
| F | 525 | ツグミ | 2024/11/13 | 2羽+ | 浅川右岸・さいかち池上流側さいかち | 複数の大型ツグミの警戒音がしたので遊歩道から確認したら少なくとも2羽のツグミであった。ヒヨドリとガマズミの実を巡って争っていたようだ。この後暑い日もあったので失敗したと思ったに違いない。 | 下野彰夫 | 初認 | 八王子9H |
| 525 | ツグミ | 2024/11/24 | 1羽 | 八王子市城山手2丁目東西遊歩道 | 16:15頃、枝いっぱい実をつけたピラカンサに止まっているのを確認した。初認。 | 千葉楨子 | 初認 | 八王子3J | |

| | | | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|--------------------------------|---|---|------|--------|--------|
| 525 | ツグミ | 2024/11/25 | 1羽 | 高幡台団地・第二緑地 | 上空 鳴きながら飛ぶ | 古山隆 | 初認 | 武蔵府中3H | |
| 536 | ルリビタキ | 2024/11/23 | 1羽 | 駒木野公園付近山道(小仏川) | 雌タイプ。朝、森からヒタキ科の囀りが聞こえた。8時過ぎに山道を歩きに行くと、公園より上流側の細道の木で雌タイプのルリビタキが鳴いていた(地鳴き)。雨覆いの辺りがうすら青くなっていたので雄ではないかと思う。 | 井川麻利子、井川志織子 | 初認 | 八王子1G | |
| 536 | ルリビタキ | 2024/12/8 | 声 | 駒木野公園(小仏川) | 声。9時半ごろ、公園の方からルリビタキの地鳴き聞こえたので見に行く。対岸の山の中にいるようで姿は見えなかった。ここには、毎年ルリビタキが来ている。今のところ雌雄は不明。昨年は雄。 | 井川麻利子、井川志織子 | 行動 | 八王子1G | |
| 536 | ルリビタキ | 2024/12/8 | 声 | 駒木野公園上流側山道(小仏川) | 声。公園でルリビタキの地鳴きを聞きアオバトを見ている時、さらに上流側でルリビタキの囀りが聞こえた。5分くらい鳴き続けていたので、注意深く探したが、木々が混みあい姿を見ることはできなかった。11月23日初認以来、ここから鳴き声が聞こえる。同個体ならば雨覆いのあたりだけ青い雄。 | 井川麻利子、井川志織子 | 行動 | 八王子1G | |
| F | 536 | ルリビタキ | 2024/12/12 | 1羽 | 小宮公園 | 定期カウント後、再度公園を歩いていると♂のルリビタキに会えた。 | 井上京子 | 行動 | 拝島7A |
| F | 536 | ルリビタキ | 2024/12/13 | 1羽 | 小宮公園・カワセミの小道 | 人出が少なくなる16過ぎに訪れました。10分程、ゆっくり観察できました。 | 田中博之 | 行動 | 拝島7A |
| F | 536 | ルリビタキ | 2024/12/25 | 1羽 | 平山城址公園東園 | オス。常緑低木の中から現れ、葉を落とした別の低木の枝を渡りながら暫くこちらを覗いていました。この公園で今季初認は11月25日でしたが薄暮のため撮影チャンスを逃しました。今回リベンジが叶いました。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中1G |
| 536 | ルリビタキ | 2024/12/25 | 1羽 | 裏高尾・木下沢林道起点手前 | オス。藪から「ヒッ、ヒッ、ヒッ、ガッ、ガッ」と聞こえてきたので、ルリビタキがいるのだらうと思い探した。すると、よく鳴いているメジロの群の近くに青いオスがいた。藪から藪へ移動し見えなくなった。 | 井川麻利子 | 行動 | 与瀬9G | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/21 | 1羽 | 鎌水(自宅前の土手) | 朝庭仕事をしているとヒッヒッと鳴き声が聞こえて来て、土手の下の八重桜の木に留まっているのを確認した。(初認が昨年と全く同じ10/21日だった) | 市村緑 | 初認 | 八王子9D | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/22 | 1羽 | 八王子市城山手2丁目 | ♂の姿を確認。 | 千葉禎子 | 初認 | 八王子3J | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/22 | 1羽 | 駒木野公園付近(小仏川沿い) | オス。朝8時ごろ、民家のアンテナにとまり、「ヒッヒッ」と鳴いていた。数日前から鳴き声は聞こえていたが、姿を確認できなかった。 | 井川麻利子 | 初認 | 八王子1G | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/22 | 1羽 | 自宅庭先 | オス。庭に出ていたら、目の前の垣根にきれいなオスのジョウビタキが止まってこちらを見ていた。今年初めての出会いでした。 | 福本健 | 初認 | 立川1B | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/23 | 1羽 | 下恩方町自宅の前の家 | オス。自宅の前の家の屋根の上で鳴いていた。少しして中村のクワイフルツの棚の周りでしばらく鳴いていた。 | 中村后子他1名 | 初認 | 拝島1B | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/24 | 1羽 | 上柚木公園 芝生の丘を下ったところ | オス。ジョウビタキ オスが木々の間を飛び回っていた。 | 岡田浩郎 | 初認 | 八王子9E | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/26 | 1羽 | そよ風公園(愛宕小学校の南西にある小さな公園) | オス。そよ風公園から学園一番街(団地)の梅の木に飛び移ったビジョウビタキ オスが鳴いていた。このあたりにはジョウビタキのオスあるいはメスが毎年やってくる。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/27 | 1羽 | 高尾梅の郷まちの広場(小仏川) | オス。梅の木の天辺で囀っていた。綺麗な声だった。地鳴きもしていた。 | 井川志織子 | 行動 | 八王子0G | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/27 | 1羽 | 蛇滝口バス停付近(小仏川) | オス。「ヒッ、ヒッ、カッカッ」と電線で鳴いていた。裏高尾町の駒木野公園から高尾梅の郷まちの広場までの間(旧甲州街道)では、6個体(オス4、メス2)くらいのジョウビタキを確認しています。去年と同じくらいの羽数です。 | 井川志織子 | 行動 | 八王子0G | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/27 | 1羽 | 近所の絹ヶ丘1-21-9民家のTVアンテナにオスが1羽いた。 | 絹ヶ丘1-21-91民家のTVアンテナの上で、朝7時前に、オスが1羽鳴いていた。 | 山崎悠一・山崎久美子 | 行動 | 八王子9G | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/28 | 1羽 | 自宅前(八王子市中野町) | 15:20。♂。今季、自宅で初認 | 今野美代子 | 行動 | 拝島6A | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/28 | 1羽 | 隣家(日野市豊田)のアンテナ | ♀。珍しく雌が初到来した。 | 岡本昭子、岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中0J | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/29 | 1羽 | 南大沢アウトレットの花屋さんの南側 | オス。ジョウビタキ オスが桜の梢で鳴いていた。30日にも同じ木の梢で鳴いていたが、ドバトが数羽飛んできたので、東の方に飛び去った。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/30 | 1羽 | 南大沢・学園一番街(自宅団地)内 | オス。ベランダの目の前の木に止まって鳴いていた。この個体は、10月26日に鳥信で配信した「そよ風公園」の個体と同一かもしれない。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/30 | 2羽 | 小山内裏公園芝生広場下のスロープ付近 | ♂♀。シジュウカラと一緒に木の上に居て何かを夢中で採餌していた。その後雄だけが近くの別の木のとっぴんに飛び移った。 | 市村緑他1名 | 行動 | 八王子9C | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/31 | 1羽 | 南大沢・渦巻公園 | メス。渦巻公園南西端の桜の木の枝に止まっていた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 八王子9C | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/31 | 1羽 | 小山内裏公園 | メス。大田切池の周辺の木々を飛び移っていた。最後は、サンクチュアリ入り口扉付近へ行って、先着のキセキレイを追い払って水を飲み、飛び去った。 | 岡田浩郎 | 行動 | 八王子9C | |
| 540 | ジョウビタキ | 2024/10/31 | 1羽 | 南大沢・谷戸山 雲の公園 | オス。雲の公園の近くの電線に止まって鳴いていた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中0D | |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|--------|------------|----|---------------------------|---|-------------------|-------|---------|
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/10/31 | 1羽 | 浅川右岸・大和田橋下流の堤防に面した民家 | 状況:朝急いでいたため声のみ確認、11月2日に雄であることを確認、写真を撮った。 | 下野彰夫 | 行動 | 八王子 8J |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/10/31 | 1羽 | 八王子市中野上町1丁目 | 民家アンテナに止まり鳴く | 古山隆 | 行動 | 八王子 6K |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/1 | 2羽 | 上柚木公園 芝生の丘の西側園路 | メス 2羽。メスが1羽木に止まって鳴いていた。そこにもう1羽メスがやって来て、先にいたメスを追い払い、園路に降りて毛虫を捕食。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 9D |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/1 | 1羽 | 南大沢・愛宕小学校西門付近 | メス。西門の外の木の梢で鳴いていた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/1 | 2羽 | 南大沢・学園一番街外周通路 | オス1,メス1。学園一番街の敷地内から2羽のジョウビタキが飛んできて、オスが一旦フェンスに止まったが追いかけてきたメスに追い払われた。このオスは、10月26日に鳥信で配信した「そよ風公園」の個体と同一かもしれない。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/1 | 1羽 | 南大沢・スーパーOKの北東端の屋上 | オス。屋上で鳴いていた | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 9D |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/1 | 1羽 | 南大沢・宮上中学校正門付近 | 雌雄不明。鳴き声だけ。植え込みの中か向こう側で鳴いていて、姿は確認できなかった。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/4 | 2羽 | 長池公園 | オス1羽、メス1羽。梅林。梅林からジョウビタキの声が聞こえたので行ってみると、ジョウビタキオスがいた。その直後にメスがやって来てオスを追い払い、地面に降りてアオムシを捕らえ、樹上で捕食した。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 1C |
| F | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/21 | 1羽 | 八王子市横川町 | ♀。11月上旬から家の周辺でジョウビタキの声が聞こえていたが、非常に警戒心が強く玄関から出ると飛び去ってしまっていたが、この日はフェンスの上に姿を見せてくれた。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子 4K |
| F | 540 | ジョウビタキ | 2024/11/22 | 2羽 | 川町谷戸の田んぼ | 川町田んぼで野鳥の定期カウント中。オス2羽が縄張りの境界で出合ったのか、お互いに威嚇し合っています。ここに肉食のモズが割って入ってきたため、ジョウビタキ2羽は別々の方向へ避難しました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子 2K |
| | 540 | ジョウビタキ | 2024/12/4 | 1羽 | 高尾町 1558 先 K 宅 | オス。13時頃。晴。郵便局へ用足しに出かけた途中、K宅の庭木に止まっていた。今季初認。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G |
| F | 540 | ジョウビタキ | 2024/12/6 | 1羽 | 八王子市横川町 | ♂。今年は先月のメスに続き、オスも確認できた。このジョウビタキ(♂)は、2~3m 近くまで接近しても飛び去らない「人なつこい」個体だった。 | 荻島伸介 | 行動 | 八王子 4K |
| F | 540 | ジョウビタキ | 2024/12/23 | 1羽 | 平山城址公園東園 | メス。この場所では今季初認。全体的に冬鳥の出現時期が遅く数も少ない印象です。昨年実施された整備伐採で樹木や藪が大幅に減少したことが影響しているかもしれません。 | 能田正行 | 行動 | 武蔵府中 1G |
| F | 540 | ジョウビタキ | 2024/12/24 | 1羽 | 長池公園 | 定期カウント中、ここで12月最後の出会い。目の前にメスが現れて、まるで「良いお年をと」挨拶してくれたようでした。 | 粕谷和夫 | 行動 | 武蔵府中 1C |
| | 542 | ノビタキ | 2024/10/6 | 1羽 | 多摩川・谷地川合流部付近 | 谷地川合流部付近の草原にシジュウカラに混じって、1羽のノビタキがいた。 | 小川圭太他 | 通過 | 立川 1B |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/4/1 | 1羽 | 多摩川・石田橋 | 石田橋橋梁下部よりインヒヨドリ♀1羽が焼却場の方へ飛び去るのが確認出来た。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 立川 4A |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/7/3 | 1家 | 大和田 | 左足趾全てを欠損した雄が若い雌。雛2羽雌を巣立たせ、雛と雌は7月1日、雄は3日を最後に避暑地に移動しました。雄は去年も七夕前後に移動しました。海か山かは分かりませんが桜の時期に戻って来るようです。 | 下野彰夫 | 繁殖 5① | 八王子 8J |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/7/6 | 1羽 | 堀之内大田川峯ヶ谷戸橋近くのマンション | ♀(幼鳥)。堀之内大田川峯ヶ谷戸橋近くのマンション「セザール京王堀之内」北側の電線の上。カルガモ、イワツバメ調査中川の方から飛んできて。暫く観察していると暑そうに口を開けていた。小柄で嘴の脇がまだ黄色くあどけない顔立ちだった為、巣立ちまもない幼鳥だと皆で確認した。 | 市村緑他 2名 | 繁殖 5⑤ | 武蔵府中 2E |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/2 | 1羽 | 北浅川・松枝橋(パチンコ店) | 石堀の上止まっていた。 | 中村后子他北浅川定期 C | 行動 | 拝島 3B |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/2 | 1羽 | 松枝住宅 7号棟の6階 | ベランダを飛び回っていた。 | 中村后子他北浅川定期 C | 行動 | 拝島 3B |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/6 | 1羽 | イーアス高尾の付近 | 16:27、インヒヨドリらしき鳥さんが我が家のベランダに来ていました。ベランダの戸を開けると驚いたように床から手すりへ飛び上がったようです。お背中側しか見せてくれませんでした。が、手すりにしばらく留まってくれました。青みのあるうろこ模様のお背中。お腹側の羽根はオレンジ色だったように思います。まっすぐで細いくちばしと、くちばしに近くて大きな目。素敵でした。あまり野鳥には詳しくありませんがインヒヨドリが一番似ていると思ったのでご連絡差し上げます。我が家の場所はイーアス高尾の付近です。詳しい場所が必要であれば折返しご連絡ください。(会員外からの情報) | S | 行動 | 八王子 3G |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/6 | 1羽 | 高尾駅北口付近 | 9:55。甲州街道有善堂支店前の電柱上で♂1羽がさえずっていた。しばらく見ていたが北側0宅の方へ飛び去った。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/10 | 1羽 | 湯殿川・稲荷橋下流側 | メス親が稲荷橋下流側の河原で餌を採り、右岸の住宅地の方に運んで行った。この時期で子育て中なのかも知れない。 | 粕谷和夫他湯殿川カウント参加者 | 行動 | 八王子 6G |
| | 549 | インヒヨドリ | 2024/8/27 | 4羽 | 長房町近辺(長房団地から空き地、宅地開発中の辺り) | 8/27前後。オス3羽、メス1羽。確実に確認できた数です。ネットで調べたところ群れないそうですが群れているように見えます。聞いたことのない鳴き声、見たことのない美しい羽色だったので調べました。インヒヨドリで間違いないかと思えます。(会員外からの情報) | Y | 行動 | 八王子 3J |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|--------|------------|----|------------------------------|---|-----------------------|----|---------|
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/8/27 | 1羽 | 自宅(高尾町)付近 | 11:30頃。近くの店に買物に行った際、マンション「グランシャリオ」、横田マンション付近で鳴き声を聞いたので探したが、場所と姿を確認できなかった。「グランシャリオ」でも繁殖しているかも知れませんね。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/8/31 | 1羽 | 南浅川・桑志高校 体育館屋上 | 14:00頃。オス。久々に見ることが出来ました。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 4J |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/2 | 1羽 | 多摩川・石田橋 | 石田橋の橋脚でイソヒヨドリのみが盛んに囀っていた。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 行動 | 立川 4A |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/2 | 1羽 | 八王子駅北口 | 7時20分 駐輪場付近 囀りの声 | 古山隆 | 行動 | 八王子 7J |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/4 | 1羽 | JR 片倉駅付近 南側のビルの上 | たぶんオス。7:50。さえずりが聞こえたので探すと、ビルの角で鳴いていた。 | 浜野知恵子 | 行動 | 八王子 7G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/7 | 1羽 | 多摩川・JR 中央線鉄橋上流部 | 電柱の上に止まるメスのイソヒヨドリをスコープで観察。 | 小川圭太他 | 行動 | 立川 1B |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/8 | 1羽 | 多摩川右岸・日野橋下 | メス、日野橋の橋桁のところで、餌となるようなものを探して歩いていた。 | 小川圭太・他月例多摩川探鳥会参加者 | 行動 | 立川 3B |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/11 | 1羽 | 近所の絹ヶ丘1-18-6前の電柱の上 | 朝6時頃、絹ヶ丘1-16-8前の電柱の上から、雄が1羽で鳴いていた。 | 山崎久美子 | 行動 | 八王子 9G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/16 | 2羽 | 八王子みなみ野駅前 | 宇津貫定期カウントスタート時に駅前のビルの屋上にオス、メスが時間差で現れた。 | 粕谷和夫他(宇津貫定期カウント参加者) | 行動 | 八王子 6F |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/20 | 4羽 | 狭間住宅(狭間町) | 8時頃イソヒヨドリ4羽が短いさえずりで鳴き交わしながら狭間住宅(狭間町)屋上付近を飛び回ってました。昨日は暴風雨と降雪が凄まじかったのでよく無事で、と思いました。 | 横山由美子 | 行動 | 八王子 3G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/20 | 2羽 | 高尾狭間駅前・エスフォルタアリーナ駐車場側入り口 | オス。毎日のようにイソヒヨドリが囀っています。今日はオス2羽が争っていました。激しい戦いで見ていてびっくり。しつこく追いかけていて、片方が逃げ去ると残った方が高らかに木の上で鳴いていました。エスフォルタアリーナは高い崖のように見えるのでイソヒヨドリが住み着いています。縄張り争いでしょうか。 | 関谷孝 | 行動 | 八王子 3G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/9/28 | 1羽 | 浅川右岸・山田川合流付近 | メス、浅川のフェンス近くにて山田川の左岸の方へ飛んで行った。 | ジュニアクラブ探鳥会 | 行動 | 八王子 8H |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/5 | 1羽 | 湯殿川・稲荷橋下流 | ♂、稲荷橋下流側右岸屋根の上のテレビアンテナ | 湯殿川カウント参加者 | 行動 | 八王子 6G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/5 | 1羽 | 湯殿川・白旗橋下流 | ♀、白旗橋下流側取水堰跡の操作装置の囲い金網の上 | 湯殿川カウント参加者 | 行動 | 八王子 5F |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/6 | 1羽 | 湯殿川の住吉橋近くの家の屋根 | 片倉城跡公園の定期カウントにて、オスが屋根に止まっているのを確認した。 | 浜野知恵子、浜野建男 | 行動 | 八王子 7G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/11 | 1羽 | 浅川右岸・向川原団地 6号棟の4階5階 | メスがベランダを上下に行き来しズメを追いかけていた。 | 浅川・一番橋コース定期カウント参加者 | 行動 | 武蔵府中 1J |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/11 | 1羽 | 浅川右岸・浅川橋下流約100m | オス1羽が建物の3階ベランダに止まってじっとしていた。 | 浅川(大和田橋～鶴巻橋)定期カウント参加者 | 行動 | 八王子 6K |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/16 | 1羽 | 南浅川左岸・東横山橋下流側 | オス、4階ビルの屋上の給水タンクの上で見え隠れ | 地元発見探鳥会参加者 | 行動 | 八王子 4H |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/20 | 1羽 | 荒井梅林付近(裏高尾町) | オス。イソヒヨドリの雄が道路に降りて、蛾か蝶のような虫を食べようとしていた。獲物を何度も啜え直し、軽トラが近づいたため梅林の方に飛び去った。毎日、ここで畑作業をしている方が、「いつもいる。」と言っていた。 | 井川麻利子、井川志織子 | 行動 | 八王子 0G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/21 | 1羽 | 八王子みなみ野駅前 | オスの幼鳥、電線と電柱のてっぺんに止まっていた。 | 宇津貫野鳥カウント参加者 | 行動 | 八王子 6F |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/21 | 1羽 | 日野市豊田1丁目の人家の屋根 | 浅川一番橋約400m上流左岸土手沿いの家。雄の幼鳥(雨覆い先端に白斑)。2階屋根の上で遠くを見つめていたがしばらくして飛び去った。 | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 1J |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/26 | 1羽 | 湯殿川左岸・浅川合流付近 | メス型、集合住宅の屋上のアンテナに止まっていた。 | ジュニアクラブ探鳥会参加者 | 行動 | 八王子 9G |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/28 | 1羽 | 中野町2224付近 | 16:40。♂。娘が帰宅中に見たというのでその場所まで行ってみたら居た。屋根から地面に降り何か探餌してまた屋根の上に消えた。この付近で確認したのは初めて。 | 今野美代子と娘 | 行動 | 拝島 6B |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/28 | 1羽 | 南大沢駅付近 | オス。イソヒヨドリ オスが、fabの非常階段6階の手すりではなく鳴いていたが、南大沢駅舎の2階部分の横棧に飛び移って、そこで鳴き始めた。翌29日にも同じ横棧で鳴いていた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中 0D |
| F | 549 | イソヒヨドリ | 2024/10/29 | 1羽 | 八王子市久保山町 | 雌。我が家のベランダの手摺にきました。 | 田中博之 | 行動 | 拝島 9B |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/2 | 1羽 | 南大沢・三徳プラザ(スーパー三徳や五番街郵便局他がある) | オス。雨の中、イソヒヨドリ オスが郵便局側から駐車場内を超低空で飛んできて、マツキヨの南側の建物の屋根の軒先近くに降りた。その後屋根をびよんびよんと飛び跳ねて登り、棟瓦の上で尾羽をしばらく振ったのち飛び去った。ここでイソヒヨドリを見たのは初めて。 | 岡田浩郎 | 行動 | 八王子 9D |
| | 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/3 | 1羽 | 湯殿川・親水広場 | 14:35。未成鳥♂。まだまだらの♂未成鳥が親水広場の横の斜面で地面探餌していた。 | 今野美代子と夫 | 行動 | 八王子 5F |

| | | | | | | | | |
|-----|--------|------------|----|------------------------------------|--|----------------------------------|----|------------|
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/4 | 2羽 | 片倉城跡公園脇の由井さゆり学園の建物 | オスとメス。メスが建物の隅に止まっているのが目に止まり、幾度か場所を変えながら最後は飛び去った。その後、囀りのような声が聞こえたので見ると、オスが建物に止まっていた。 | 浜野知恵子、 浜野建男 | 行動 | 八王子 7G |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/4 | 1羽 | 湯殿川左岸・大橋下流側 | メス。民家の屋根 | 湯殿川カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 5G |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/4 | 1羽 | 湯殿川・大橋上流側 | メス。川のフェンスに止まっていた。 | 湯殿川カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 5G |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/4 | 1羽 | 湯殿川・白旗橋付近 | オス。兩岸の住宅地を動き回っていた。 | 湯殿川カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 5F |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/5 | 1羽 | 大栗川左岸・新川橋 ～常盤橋間 | 7:20 頃。下流側から飛んできて左岸の電柱上にとまり 周囲を見回す。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 武蔵府中 3F |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/6 | 1羽 | 北浅川・福祉園付近 | オス。福祉園裏の対岸屋根の上 | 青木静子他 定期カウ ン参加者 | 行動 | 拜島 1A |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/6 | 1羽 | 北浅川・川原宿大橋 上流 | メス。屋根の上に止まっていた。 | 青木静子他 定期カウ ン参加者 | 行動 | 拜島 1A |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/7 | 1羽 | 浅川・大和田橋左岸 | 8:50 頃。メス。下流側から飛んできて左岸の民家の屋根にとまる。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 八王子 8K |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/8 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流 | 左岸の河原にいたオスが、モズに追われ対岸の建物の屋上(コンクリート)に止まった。 | 浅川(大和田橋 ～鶴巻橋)定期 カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 7K |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/10 | 1羽 | 多摩川右岸・JR 多摩 川橋梁より上流側 | メス。屋根の上に止まっていた。 | 小川圭太他 月例多摩川探鳥 会参加者 | 行動 | 立川 1B |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/10 | 1羽 | 浅川右岸一番橋と平 山橋のほぼ中間の波 殺しブロックの上 | オス。複数の波殺しブロックの隙間に入ったり出たりしていた。 | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 1J |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/11 | 1羽 | 八王子市七国3丁目 | 午前 11:40 頃、犬の散歩中に住宅街の歩道の植木にイソヒヨドリのオスがいました。あまり見かけない鳥なので何だろうと思いつきながら見つめていてもなかなか気づかないほどボーッとしている様子。気づいた時にもほんの 2メートルほど高いところに移動しただけで、この場所に不慣れなように見えました。声は出していませんでした。場所は八王子市七国3丁目です。(会員外からの情報) | E | 行動 | 八王子 6D |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/15 | 2羽 | 自宅(散田町) | 屋頂、久しぶりにイソヒヨドリの声でしたので、ベランダに出てみるとマンションの東南側の道路の電線にオスがいました。下におりたり、また戻ったりを繰り返しているの、近くに行ってみると 鳴いていない時も声があるので周りを見たら、道路の反対側の畑と駐車場の間の縁石にもう 1羽いました。よく見たらお腹側の下の方がオレンジ色になっていましたが、首の方はまだ模様が残っていたので、ヒナではないかと思いました。私が見ているのに気がついたのか、奥の家の方にピョンピョン跳ねて移動します。上にいるイソヒヨドリもその家の屋根に移動して下を見ていましたが、ヒナ(?)の方は飛ばずに畑に行ったり、戻ったりを繰り返していました。(畑にはジョウビタキのオスやスズメが 5~6羽来ていました。) 30分ほど観察しましたが、用事があるのでその場を離れたら イソヒヨドリの声も聞こえなくなったので、どこかに飛んでいったようです。 | 宇都宮信子 | 行動 | 八王子 5J |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/18 | 1羽 | 八王子みなみ野駅前 | メス。いつものように宇津貫定期カウンのスタート地点の八王子みなみ野駅前のビルの屋上 | 粕谷和夫他 宇津貫カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 6F |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/18 | 1羽 | 宇津貫緑地・入口前 の明治製菓の建物 | オス。屋上に長い間止まっていた。 | 粕谷和夫他 宇津貫カウ ン参加者 | 行動 | 八王子 6E |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/11/30 | 1羽 | 浅川・大和田橋 3 丁 目 10 番の道路沿い 民家 | 雄。車道から飛び上がりホバリングでピラカンサスの実を 1粒採り、柵の上で食べた。慣れている左足の不自由な雄ではなく、ムラウチジョーシンで繁殖している雄と思われる別個体である。ピラカンサスの実を食べるのは初めて見た。 | 下野彰夫 | 行動 | 八王子 8J |
| F | ヒヨドリ | 2024/12/10 | 7羽 | 上柚木公園・多目的 広場の北側 | 上柚木公園 定期カウンの途中、実がたわわになったカキの木でヒヨドリが実を突いていた | 岡田浩郎 | 行動 | 八王子 9D |
| F | イソヒヨドリ | 2024/12/10 | 1羽 | 上柚木公園・野球場 の南の花壇 | 上柚木公園定期カウンの前にそのあたりを散策していたら、花壇の柵に止まっているイソヒヨドリオスに遭遇。花壇に降りて何かを突いたり、園路に落ちていたナンキンハゼの実を突いたりしていた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 八王子 9D |
| F | イソヒヨドリ | 2024/12/13 | 1羽 | 八王子市横川町 | ♂。裏庭で採餌していた。庭でイソヒヨドリを目撃するのは 2020年9月以来4年ぶりですが、4年前はメスでした。 | 萩島伸介 | 行動 | 八王子 4K |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/12/14 | 1羽 | 鎌水 | ♂。鎌水、老人ホーム「絹の道」近くのデイサービス「おもや」北側の民家の物置の上。前を通りかかると物置の上において暫く何かを啄んでいた。この場所で イソヒヨドリを見たのは初めて | 市村緑 | 行動 | 八王子 8D |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/12/17 | 1羽 | 浅川・一番橋下流約 50m 左岸の河原 | メス。河原の草むらから飛び出して近くの人家の屋根に止まればしばらく見回していたがやがて飛び去った。 | 岡本昭男 | 行動 | 武蔵府中 1J |

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|------------|-----------|-------------------|---|--|------|--------|--------|
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/12/24 | 1羽 | 鎌水 | み。鎌水、「都築木材」の屋根の上。カウント会の帰り道少し遠かったが屋根の上にジッと溜まっている イソヒヨドリを会員と2人で確認した。 | 市村緑他会員1名 | 行動 | 八王子8C | |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/12/25 | 1羽 | くら寿司(八王子みなみ野店前) | オス1羽、会員外からの情報 | X | 行動 | 八王子6F | |
| 549 | イソヒヨドリ | 2024/12/ | 1羽 | 宇津貫・明治イノベーションセンター | 日付は覚えていませんが、明治イノベーションセンターでも1羽(オス)を見かけました。12月中ではあったと思います。会員外からの情報 | X | 行動 | 八王子6E | |
| 552 | エゾビタキ | 2024/9/27 | 1羽 | 松竹公園西・タカの渡り調査地 | 枯れ木のとっぺんに止まり、フライングキャッチで虫をとる | タカの渡り調査参加者 | 希少 | 八王子0K | |
| F | 552 | エゾビタキ | 2024/9/28 | 数羽 | 小宮公園 | ミズキの黒い実を啄んでいます。今季は当たり年のようです。キビタキのメスも見て見聞しています。追っかけっこ | 野崎照夫 | 行動 | 拜島7A |
| 552 | エゾビタキ | 2024/10/6 | 3羽 | 小宮公園 | 3羽位？ みずきの木の近くで待機していると1羽が実を食べに木の中央付近まで降りて来た。 | 市村緑他3名 | 通過 | 拜島7A | |
| F | 552 | エゾビタキ | 2024/10/7 | 数羽 | 長池公園・長池 | ミズキの木の周りで飛び回っていた。羽数は5-6羽かと思いますが、飛び回るので確かではありません。 | 岡田浩郎 | 通過 | 武蔵府中1C |
| 552 | エゾビタキ | 2024/10/12 | 1羽 | 浅川・日野市民プール前の浅川右岸 | エノキの梢に止まっていた。 | 門口一雄、門口裕子 | 通過 | 武蔵府中2K | |
| 552 | エゾビタキ | 2024/10/26 | 1羽 | 浅川左岸・長沼橋上流側 | 電線に止まっていて、その後近くの高い木のとっぺんに移動 | ジュニアクラブ探鳥会参加者 | 通過 | 八王子9H | |
| 558 | キビタキ | 2024/10/6 | 1羽 | 小宮公園 | ♀。エゾビタキが居たみずきの木にキビタキのメスもいた。 | 市村緑他3名 | 行動 | 拜島7A | |
| F | 558 | キビタキ | 2024/10/7 | 1羽 | 長池公園・長池 | エゾビタキ数羽に混じってキビタキメスがいた。 | 岡田浩郎 | 行動 | 武蔵府中1C |
| 569 | スズメ | 2024/8/20 | 1羽 | 自宅(高尾町) | 13:15頃。玄関の前に置いてある植木に水やりのために出たところ、その植木に来て採餌していた。植木盆栽の中に見たのは初めてでした。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子2G | |
| F | 567 | スズメ | 2024/10/4 | 300羽± | 高月水田 | つい最近までは当たり前だったスズメが、最近全国規模で減少しています。この写真は高月水田で刈取り寸前の稲穂を食害しているスズメの群れで約300羽いました。中ほどの右を向いているスズメはくちばしに米粒を咥えています。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拜島6E |
| F | 574 | ハクセキレイ | 2024/9/8 | 1羽 | 湯殿川 | 湯殿川で野鳥定期カウント中、ハクセキレイがシオカラトンボを食べているシーンを観察できました。 | 粕谷和夫 | 行動 | 八王子6G |
| 574 | ハクセキレイ | 2024/10/11 | 221羽 | 八王子駅北口二階デッキ及び周辺 | 16時00分～18時00分。気象:高曇り、南風微風、気温23°C 日没時間17時13分 17時30分 京王プラザホテル前街路樹及び工事用足場に58羽止まる。 17時50分 オクトレービル窓枠に163羽、京王ホテル58羽、罅入り完了合計221羽としました。 | 対中義雄 | 罅 | 八王子7J | |
| F | 575 | セグロセキレイ | 2024/7/2 | 2羽 | 高月水田 | セグロセキレイ親子です。7月の野鳥定期カウントで出会いました。ハクセキレイもいましたが、この親子はとても可愛かったです。よく見ると親はくちばしに何か咥えていますね。 | 粕谷和夫 | 繁殖4② | 拜島6F |
| 575 | セグロセキレイ | 2024/11/4 | 1羽 | 大栗川左岸・下の川橋～新川橋間 | 7:10頃。左岸の岸辺に1mほど離れてカワセミとセグロセキレイがとまっていたが、カワセミが飛び立ってホバリングするとセグロセキレイがカワセミに向かって飛びかかった。 | 佐藤哲郎 | 行動 | 武蔵府中3F | |
| 575 | セグロセキレイ | 2024/11/4 | 47羽 | 八王子市二分方小学校西側の桑畑 | 3日に北側の駐車場から状況を確認し、北側からの観察はふてきて判断して南側の民家横で待機した。日の入り前に小群が東西に行き来していたが桑畑に降りるわけではなかった。16時45分の日の入り後の16時59分に22羽が桑畑上空を周回し南側東端から2番目及び3番目の民家の桑畑側の屋根及びおそらく庇に降りてその後民家に近い場所の桑の木にねぐら入りしたとみられる。屋根から降りるところは反対側なので観えず、また直接桑に突っ込む個体もいるので上空での周回、急降下時にカウントした。その後小群が6回遅れて直接桑畑に降下し、屋根で騒いでいた残りが17時11分にねぐら入りして終了した。総数は47羽であるが、そのうち遅れた1群の11羽は低く周回していたので再度ねぐらから飛び出した二重カウントの可能性は否定できない。日を改めて確認することとした。 | 下野彰夫 | 罅 | 拜島3A | |
| 575 | セグロセキレイ | 2024/11/16 | 57羽 | 八王子市二分方小学校西側の桑畑 | 4日の結果を踏まえてともかく桑畑上空を周回して急降下するタイミングでカウントした。日の入りは16時35分で、16時38分に43羽が桑畑上空を周回し南側東端から3番目の民家のすぐ裏の桑畑に直接及び間接的にねぐら入りした。16時39分には東高空より8羽が同じ場所に急降下しねぐら入り、16時45分に北高空から6羽がねぐら入りし総数57羽であった。ずっと上空を注視しているので二重カウントの可能性はなく確定値である。4日に比べ増加しているため今後も動向を観る予定である。 | 下野彰夫 | 罅 | 拜島3A | |
| 575 | セグロセキレイ | 2024/11/23 | 35羽 | 八王子市二分方小学校西側の桑畑 | 11月16日観察と同じ地点へ日の入り16時31分を過ぎて16時45～48分の間に小群7分割でねぐら入りした。前回より減少したので今年は終わりと考え。 | 下野彰夫 | 罅 | 拜島3A | |
| 580 | ビンズイ | 2024/10/27 | 1羽 | 高尾梅の郷まちの広場(小仏川) | 地面から梅の木に飛び上がり、隣の栗林に飛んで行った。「ツエー」と鳴いていた。 | 井川志織子 | 初認 | 八王子0G | |
| 584 | タヒバリ | 2024/12/4 | 20羽 | 高月水田 | 今年も田んぼに返ってきた。 | 粕谷和夫 | 行動 | 拜島6E | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/11/10 | 2羽 | 多摩川右岸・通称ひょうたん池付近 | メス。2羽のメスが草むらにて活動していた。 | 小川圭太他月例多摩川探鳥会参加者 | 希少 | 立川0C | |

| | | | | | | | | | |
|-----|---------|------------|------------|----------------------|--|---|------|---------|--------|
| 592 | ベニマシコ | 2024/11/21 | 4羽 | 浅川右岸・元横山公園前大和田排水樋管前 | ベニマシコの声でしたが出勤で忙しいため写真はなし。居合わせたカメラマンによると4羽とのこと(雌雄間かず)。上流より来たらしい。 | 下野彰夫 | 希少 | 八王子 7K | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/11/25 | 1羽 | 浅川右岸・大和田橋下流 100m 地点 | 雌。僅かに残ったススキとオギの原で声が出た。草叢の中の移動なので写真は撮れず。11月21日の個体かどうかは不明。 | 下野彰夫 | 希少 | 八王子 8J | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/11/25 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流側 | 右岸 鳴き声 | 古山隆 | 希少 | 八王子 7K | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/12/2 | 1羽 | 多摩川・滝山下 | 水管橋付近 左岸 ヨシ原 | 多摩川滝山城跡下定期 C(古山) | 希少 | 拝島 7D | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/12/3 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流側 | 水管橋の下流 右岸 鳴き声 | 古山隆 | 希少 | 八王子 7K | |
| 592 | ベニマシコ | 2024/12/13 | 1羽 | 浅川・鶴巻橋下流 | メス 1羽が草むらを出入りしていた。 | 浅川(大和田橋～鶴巻橋)定期カウント参加者 | 希少 | 八王子 5K | |
| F | 592 | ベニマシコ | 2024/12/14 | 1羽 | 浅川・浅川大橋の下右岸 | 浅川大橋の下にベニマシコがいると情報が入りましたので何日か通いました。遂に会えました。 | 井上京子 | 希少 | 八王子 8K |
| 600 | シメ | 2024/11/13 | 1羽 | 浅川右岸・さいから池上流側さいから林 | フォト鳥信で上げたツグミの近くにいた。写真は一瞬で移動のため写真は間に合わず。 | 下野彰夫 | 初認 | 八王子 9H | |
| 617 | カシラダカ | 2024/11/19 | 2羽 | 小宮公園 | 公園の北側(タンポポの小道)毎年来る場所に今年も来ていました。 | 井上京子 | 初認 | 拝島 7A | |
| 624 | アオジ | 2024/11/1 | 2羽 | 多摩川右岸・昭和用水堰上流川原 | 姿を確認、近くにホオジロも数羽いた。 | 粕谷和夫 | 初認 | 拝島 6E | |
| 624 | アオジ | 2024/11/3 | 2羽 | 鎌水・神子の沢東歩道橋東側の遊歩道脇 | み。お散歩中鳴き声と共に近くの木に1羽居るのを確認、続けてもう1羽茂みの中から飛び出した。 | 市村緑 | 初認 | 八王子 9D | |
| 624 | アオジ | 2024/11/3 | 2羽 | 小山内裏公園 | 通称1本杉(内裏池の南)の周回園路。歩いていると茂みで鳴き声が2か所から聞こえた。 | 岡田浩郎 | 初認 | 八王子 9C | |
| 624 | アオジ | 2024/11/3 | 1羽 | 小山内裏公園 | メス。展望デッキとトイレの間。茂みからアオジ メスが飛び出して園路をはさんだ茂みの下に飛び込んだ。1羽ということもないだろうとしばらく待っていたが、後に続くアオジはいなかった。 | 岡田浩郎 | 初認 | 八王子 9C | |
| 624 | アオジ | 2024/11/4 | 5羽 | 長池公園 | オス 1羽、メス 2羽、不明 2羽。トンボ池から築池への疎水沿い。田んぼの畔でアオジ 3羽がエサをとっていた。不明の2羽は、前記 3羽のほかには鳴き声が聞こえただけ。 | 岡田浩郎 | 初認 | 武蔵府中 1C | |
| F | 624 | アオジ | 2024/11/5 | 1羽 | 浅川・浅川大橋下流 右岸大和田排水樋管付近 | 右岸に僅かに残る草地から飛び出したところを確認した。19日には元横山公園前の水路の敷にホオジロと一緒に居た。夏の台風で大和田橋及び浅川大橋付近の荒れ方は酷く餌となる殆どが 1/5 程度になり、ホオジロも大幅に減少し、カシラダカも入るかどうか心配している。 | 下野彰夫 | 初認 | 八王子 7K |
| 624 | アオジ | 2024/11/9 | 1羽 | 南浅川・横山橋と東横山の間 | 15:30頃。葦の中から飛び上がったところを視認できました。 | 中山尊人、中山千晶 | 行動 | 八王子 4J | |
| 624 | アオジ | 2024/11/13 | 1羽 | 工学院大学フェンス内(谷野町) | み。13:10。敷地フェンス内の茂みから出て来てまた潜った。 | 今野美代子 | 行動 | 拝島 5C | |
| 625 | クロジ | 2024/12/8 | 1羽 | 高尾梅の郷まちの広場対岸(小仏川) | オス。紅葉し落葉する木の枝にクロジがとまっていた。始めに聞こえた地鳴きがアオジと違う感じだったので根気よく探した。今まで見たクロジの雄よりも褐色の羽が少し多いように感じられたので、完全成長羽ではない雄かなと話合った。 | 井川麻利子、井川志織子 | 希少 | 八王子 0G | |
| 901 | コジュケイ | 2024/6/23 | 1羽 | 自宅(高尾町)南側金毘羅山 | 10:48。金毘羅山中腹辺りから「チョットコイ、チョットコイ」との鳴き声が聞こえた。 | 福本順吉 | 行動 | 八王子 2G | |
| 910 | ソウシチョウ | 2024/8/6 | 声 | 裏高尾・イロハの道 | 下りで声を聞く | 柚木育子 | 行動 | 与瀬 9F | |
| 910 | ソウシチョウ | 2024/10/13 | 声 | 奥高尾・富士見台付近 | 声を聞く | 柚木育子 | 行動 | 与瀬 9E | |
| 910 | ソウシチョウ | 2024/10/13 | 声 | 裏高尾・イロハの道 | 下り途中で声を聞く | 柚木育子 | 行動 | 与瀬 9F | |
| | シカ | 2024/5/14 | 1頭 | 多摩川・浅川合流付近 | 多摩川浅川合流周辺に野性のシカが現れた情報に動物愛護センターの職員が多数出て捜索していた。 | 馬場隆進他多摩川定期カウント参加者 | 哺乳類 | 立川 4A | |
| | ニホンイノシシ | 2024/11/19 | 1頭 | 道の駅滝山の裏、谷地川・新横山橋下の河原 | 15:15。体長 70cm 程。河原からガサガサ音がしていたので覗いたら居た。当方は橋の上だったので少し観察した。近くには道に上がれる場所もあるので付近を訪れる方はご注意ください。 | 今野美代子 | 哺乳類 | 拝島 7C | |
| | ミンミンゼミ | 2024/8/2 | 声 | 高尾駅南口 | 11:10頃。南口広場付近で鳴き声を聞いた。買い物の帰り、店から出てきた時だった。 | 福本順吉 | 昆虫 | 八王子 2G | |
| | ユキムシ | 2024/12/4 | 3匹 | 自宅(高尾町) | 通称名でアブラムシの仲間とか。自宅庭で飛んでいた。 | 福本順吉 | 昆虫 | 八王子 2G | |

2024年 タカの渡り調査 結果

まとめ： 古山 隆

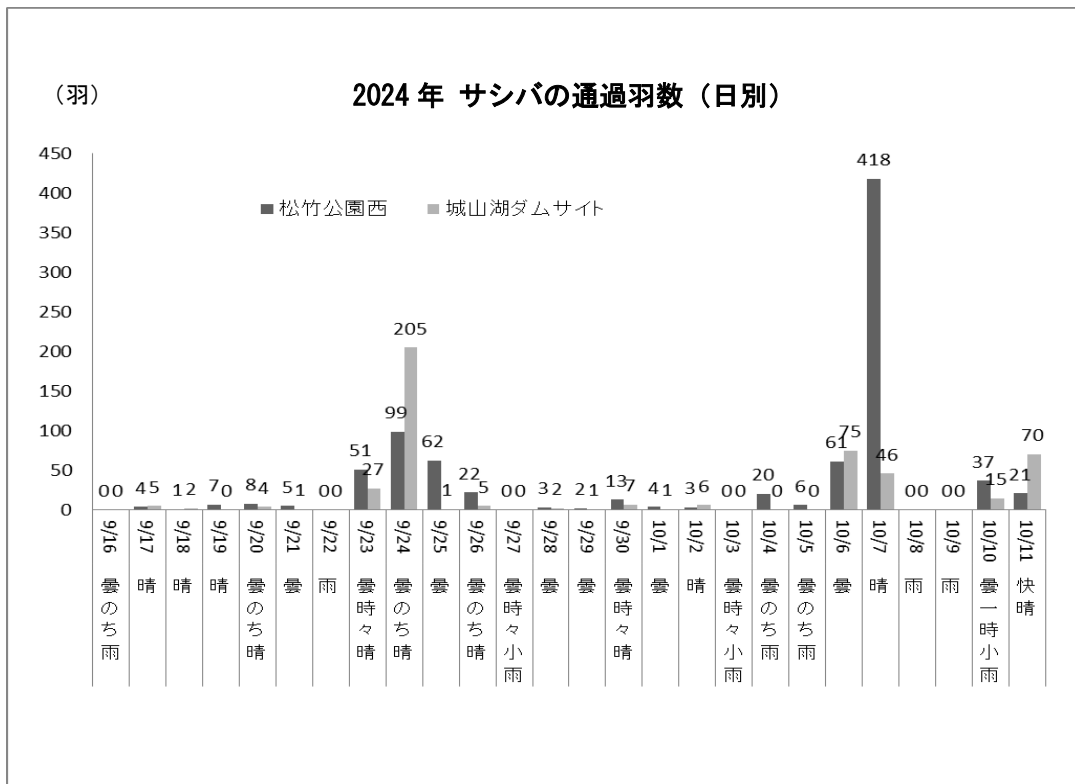
調査地は昨年と同様、「松竹公園西」及び「城山湖ダムサイト」の2ヶ所とし、調査地毎に当日の観察記録のとりまとめ及び当会のメーリングリストへ速報値の投稿を担う複数名の責任者（参照：別表1・2）を置いた。事前に担当責任者が集まっての打ち合わせ会を持ち、調査期間や調査時間の設定、調査マニュアルや記録用紙及び報告用紙の様式や記入方法等について確認し、それぞれの調査地で調査欠落日が生じないように日毎の担当者の割り振りを行った。調査期間は9月16日（月）～10月11日（金）の26日間とし、調査時間は開始時刻を前年より1時間遅らせ、原則として9時～14時とした。

実際の調査では一人でも多くの会員の協力が不可欠であることから、8月、9月発行の「探鳥会あんない」及び当会メーリングリストで会員の積極的な参加を呼びかけ、調査が初めての会員でも気軽に参加しやすいよう当会が2023年に作成した「タカの渡り調査 参加の手引き」の活用を進めた。会員の延べ参加人数は2つの調査地点を合わせて194名であった。また、会員外の調査協力者や遠方からのビジターの方々の参加もあり、特に城山湖ダムサイトでは連日10名を超える多数の協力者の支援があった。

その日の調査結果（速報値）は当日のうちに当会のメーリングリストで会員に伝え、「タカの渡り全国ネットワーク」のホームページともリンクさせた当会のホームページでもタイムリーに発信した。

1 サシバの日別通過羽数

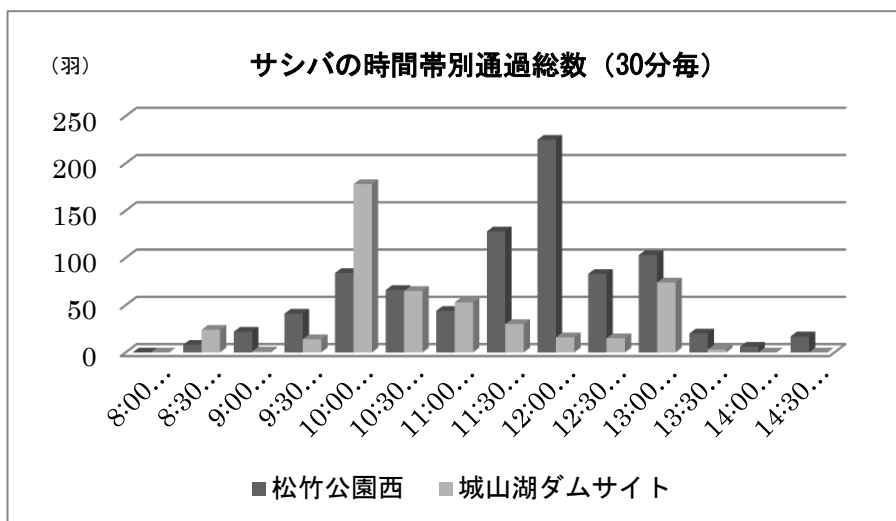
両調査地におけるサシバの日別の通過羽数は以下のグラフの通りである。渡りの大きなピークは二度（9月24日計304羽、10月7日計464羽）あり、天候はやはり曇りや雨等ぐずついた天気が続いた後、天気が回復して晴れ間が広がったタイミングであった。調査期間の通過羽数は松竹公園西で847羽、城山湖ダムサイトで473羽、両調査地の合計は1320羽であった。（参照：別表1・2）



なお、両調査地以外に陣馬山山頂においても9月29日、及び10月4日に有志にて調査が行われたが、両日とも天候は芳しくなくタカの渡りは観察できなかった旨、報告があった。

2 サシバの時間帯別通過羽数

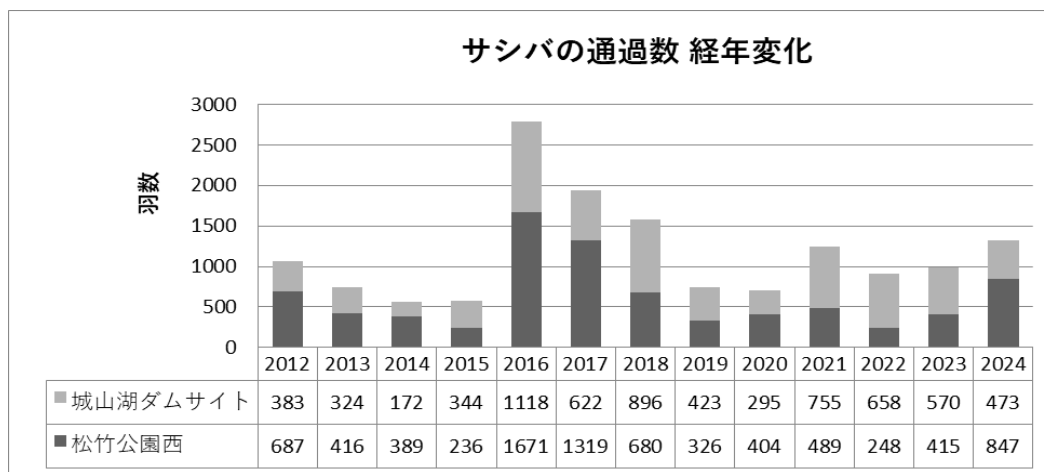
サシバがそれぞれの調査地を通過する時間帯を大まかにみると以下のグラフ（調査期間中の30分毎の総数）のようになった。両調査地とも午前10時頃～13時半頃の間によくが通過していったが、時間帯に違いがあり、松竹公園西では昼頃にピークがあるが、城山湖ダムサイトでは正午前後は通過する個体数は少なく、午前10時過ぎ頃にピークがみられた。（参照：別表3）



3 サシバの通過羽数経年変化

松竹公園西と城山湖ダムサイトの両調査地で共に調査が開始されたのは2010年からであるが、ここでは便宜的に2012年からの記録をもとにサシバの通過羽数（松竹公園西と城山湖ダムサイトの合算）の変化をグラフ化した。なお、2013年は松竹公園西ではなく、600m西側に位置する遠矢堀公園で調査が行われたため、その調査結果を使用した。

2016年は松竹公園西において1日で1267羽が記録された「大当たり」の年であり、この年をピークとして、2020年までは徐々に減少傾向が続いたが、翌年から少しずつ増加傾向を示し、2024年も両調査地の通過数の総計は前年度より増加した。両調査地の通過羽数の割合はここ数年、城山湖ダムサイトの方が松竹公園西を上回っていたが、2024年は松竹公園西の方が上回った。



4 サシバの飛翔コース

それぞれの調査地におけるサシバの飛翔コースはその年の渡りの時期の気象状況やその日の天候によっても異なるが、2024年に多くのサシバが渡った日の飛翔コースを以下の地図に示した。

松竹公園西では、近年、タカ柱を形成するようなまとまった群れが観察できた日は調査地から見て、遠方の「北西→南西」のコースを高い高度で通過することが多かったが、2024年は観察地の上空付近を通過する「北→南～南西」のコースも多く観察された。シーズン最多の羽数を記録した日（10/7）は25群が通称「1の山」等、北側の山の上空で旋回、タカ柱を形成して、南～南西の方角に飛んで行くシーンが多く見られた。城山湖ダムサイトでは、「北→南」ではなく、いわゆる「都心方面」から飛来し、西の方角に飛んで行く「東→西」のコースもこれまででも多く観察されているが、2024年、シーズン最多の羽数を記録した日（9/24）も150羽を超えるサシバの一群がタカ柱を形成することなく観察地の真上高くを東から西へ渡った。

2024年は両調査地で最大羽数を記録した日にちは異なり、また、通過した時間帯や通過時の方角も大きく異なることから、それぞれの調査地で観察されたサシバは当日朝、異なる出発地から飛来したものが多くと推察され、同じ個体群が両調査地で記録された可能性は低いと思われる。



5 サシバ以外のタカ類・ハヤブサ類の渡り（参照：別表1・2）

サシバ以外ではタカ類は7種、ハヤブサ類は3種の渡りが観察された。ハチクマの減少傾向は続いているが、代わりにノスリの増加が目立つようになった。期間中の通過羽数は以下の通りである。

| | 松竹公園西 | 城山湖ダムサイト | 計 | | 松竹公園西 | 城山湖ダムサイト | 計 |
|------|-------|----------|----|---------|-------|----------|----|
| ハチクマ | 9 | 13 | 22 | ハイタカ | 0 | 4 | 4 |
| ミサゴ | 3 | 0 | 3 | ノスリ | 19 | 39 | 58 |
| トビ | 3 | 0 | 3 | ハヤブサ | 0 | 4 | 4 |
| オオタカ | 2 | 5 | 7 | チゴハヤブサ | 1 | 2 | 3 |
| ツミ | 6 | 2 | 8 | チョウゲンボウ | 0 | 1 | 1 |

6 非渡り及び地付きのタカ類・ハヤブサ類

非渡りや地付きのタカ類・ハヤブサ類はサシバ、ハチクマ、ミサゴ、トビ、ハイタカ、ノスリ、クマタカ、チュウヒ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウの計 11 種が記録された。松竹公園西ではサシバが雨天時等、渡りを中断して観察地付近の木に止まる個体が複数羽、観察された。城山湖ダムサイトでは 9 月 28 日にチュウヒ 1 羽が観察され、両調査地での初記録である。また、留鳥であるクマタカは両観察地で記録され、城山湖ダムサイトでは 10 月 3 日に若鳥 1 羽がカワウを捕獲後、10 月 6 日まで同一ポイントにてこのカワウを食べる様子が観察された。松竹公園西では調査期間のうち 7 日間、上空で帆翔する成鳥が観察された。

7 その他の渡り

タカ類やハヤブサ類以外の野鳥の渡り、及び「渡りをするチョウ」として知られるアサギマダラの観察記録（期間中の総数）は右の表の通りである。ヒヨドリは 10 月に入ってから、大きな群れで渡る様子が見られた。エゾビタキも両調査地で観察された。ツバメ類やアマツバメ類は山地の上空、非常に高い高度を飛んでいることも多く、見逃しもあったと思われる。（参照：別表 1・2）

| | 松竹公園西 | 城山湖 ダムサイト |
|---------|-------|--------------|
| ヒメアマツバメ | 105 | |
| アマツバメ | 124 | 173 |
| ツバメ | 4 | 7 |
| イワツバメ | 11 | |
| ヒヨドリ | 3033 | 2263 |
| エゾビタキ | 1 | 4 |
| アオサギ | 13 | |
| ツバメsp. | 14 | 100 |
| アサギマダラ | 9 | 4 |

8 両調査地での様子

松竹公園西

今シーズンは猛暑が続き、調査地は北浅川の土手で、南側にエノキの木があるものの、日影ができるのは昼近くになってからで、暑さに耐えながらの調査となった。ここ数年、サシバは西側遠くの高いところでタカ柱を形成し、高度を上げて南西方面に飛んでいくこと多かったのだが、2024 年は北側にある通称「1 の山」～「4 の山」の上空で湧き上がるようにタカ柱を形成して、観察地の上空近くを通過する個体も多く、飛翔シーンをジックリと堪能できた。その他、エゾビタキやリュウキュウサンショウクイ等、小鳥類も見られ、アオバトの群れも連日のように観察された。会員以外では板橋や練馬区等、遠方からのビジターの姿もあった。今シーズン最大の羽数を記録した 10 月 7 日は担当責任者が不在となり、当日参加された会員の皆さんには大変お世話になった。（古山隆）

城山湖ダムサイト

今年は 9/16～10/11 までの 26 日間(うち 3 日雨天で中止)の観察であった。サシバについては、近年の 8 割程度の羽数(22 年 23 年平均の 77%)であり少なかった。例年 9 月末、10 月初めの 2 回の多数通過日があるのに今年は 9 月末 1 回のみであった。周辺観察地で多くが観察された 10 月 7 日(松竹公園 418 羽、城山湖 46 羽)は、南寄りの風やや強、気温 30.2℃で南寄りの風の時は城山湖より北側の観察地点の通過が多いと感じた。今年は東側都心方面からの渡りが少なかった。また、当会観察地点の松竹公園とは連動(重複カウント)もないと感じた。ハチクマの渡りは前年比半数以下、ノスリは多く 2 倍以上だった。今年のトピックスはクマタカがカワウを捕らえ湖畔の草むらに引き上げ 4 日間滞在捕食が見られたことである。今年も多くのタカファンに出会えて楽しい時を過ごすことができた。会員の皆様の参加も増えてきました。さらに会員皆様の参加を期待しています。（角田幸男）

別表1 松竹公園西におけるタカ類・ハヤブサ類、その他 の通過羽数

| 調査期間 | 2024年9月16日～10月11日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|------|------|---------|------|---------|----------|---------------------------|------|---------|----------|------|------|----------|------|------|------|---------|---------|------|------|---------|---------|---------------|-------|-----------|-----|
| 調査地 | 松竹公園西 | | | | | | 担当者 | | 古山 隆、水渡トシ子、中村后子、村田靖雄、粕谷和夫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査参加者 | 古山隆、水渡トシ子、中村后子、村田靖雄、粕谷和夫、加藤岸男、対中義雄、岩崎和代、藤田淳子、宇都宮信子、市村緑、植木裕子、栗原勝、菅野桂子、井上京子、小川圭太、坂本良子、市村緑・元、坂本良子、下野彰夫、千葉楓子、野嶋洋子、門倉美登利、横山重子（会員25名） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観察日 | 9/16 | 9/17 | 9/18 | 9/19 | 9/20 | 9/21 | 9/22 | 9/23 | 9/24 | 9/25 | 9/26 | 9/27 | 9/28 | 9/29 | 9/30 | 10/1 | 10/2 | 10/3 | 10/4 | 10/5 | 10/6 | 10/7 | 10/8 | 10/9 | 10/10 | 10/11 | 合計 (羽) | |
| 天気 | 曇 後雨 | 晴 | 晴 | 晴 | 曇 後晴 | 曇 | 雨 中止 | 曇 時々晴 | 曇 後晴 | 曇 | 曇 後晴 | 曇 時々雨 | 曇 | 曇 | 曇 時々晴 | 曇 | 晴 | 小雨 | 曇 後雨 | 曇 後雨 | 曇 | 晴 | 雨 中止 | 雨 中止 | 曇 一時 小雨 | 快晴 | | |
| サシバ | 0 | 4 | 1 | 7 | 8 | 5 | 0 | 51 | 99 | 62 | 22 | 0 | 3 | 2 | 13 | 4 | 3 | 0 | 20 | 6 | 61 | 418 | 0 | 0 | 37 | 21 | 847 | |
| ハチクマ | | | 1 | 4 | | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | |
| ミサゴ | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 3 | |
| トビ | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 3 | |
| オオタカ | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | |
| ツミ | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 6 | |
| ハイタカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ノスリ | | | | | | | | 1 | | | | | 4 | | | 8 | | | | | | | | | 1 | 5 | 19 | |
| クマタカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハヤブサ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テコハヤブサ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | |
| チョウゲンボウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明種 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 4 | |
| 合計 | 0 | 4 | 2 | 11 | 9 | 9 | 0 | 56 | 99 | 64 | 22 | 0 | 10 | 2 | 14 | 13 | 3 | 0 | 22 | 8 | 62 | 419 | 0 | 0 | 38 | 27 | 894 | |
| その他の渡り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハリオアマツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒメアマツバメ | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | 102 | | | | | | | | 105 |
| アマツバメ | | | | | | 14 | | | | | | | | | | | 15 | | 90 | 5 | | | | | | | | 124 |
| ショウドウツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ツバメ | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| コシアカツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イワツバメ | | | | | | 2 | | 2 | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| ヒヨドリ | | | 17 | 16 | | | | 64 | | 50 | 44 | | 139 | 91 | 82 | 169 | 125 | | 57 | 5 | 723 | 424 | | | 471 | 556 | 3033 | |
| エゾビタキ | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| アオサギ | | | | | | | | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 13 |
| ツバメsp. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 | | | | | | 14 |
| アサギマダラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 | 5 | | 9 |
| 調査参加者数 | 3 | 4 | 3 | 5 | 2 | 3 | 0 | 5 | 6 | 6 | 6 | 2 | 5 | 9 | 3 | 5 | 8 | 3 | 1 | 2 | 6 | 4 | 0 | 0 | 5 | 6 | 102 | |
| 非渡り・地付きのタカ類・ハヤブサ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サシバ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、クマタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



松竹公園西 調査地

別表 2 城山湖ダムサイトにおけるタカ類・ハヤブサ類、その他の通過羽数

| 調査期間 | 2024年9月16日～10月11日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------|------|------|---------|------|---------|--------------|---------|-------------------------|---------|--------------|------|------|--------------|------|------|------|---------|---------|------|------|---------|---------|---------------|-------|-----------|
| 調査地 | 城山湖ダムサイト | | | | | | 担当者 | | | 角田幸男、加藤岸男、浜野建男・知恵子、関根伸一 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査参加者 | 角田幸男、加藤岸男、浜野建男・知恵子、関根伸一、小林克・理恵・匠、霜村亮、大石茂雄、門口一雄、長者原恵美子、粕谷和夫、中山尊人・千晶、青木静子、井上京子、菅野桂子、玉木雅治、馬場隆進・啓子、村田靖雄、對中義雄、田中博之、古山隆（会員25名） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観察日 | 9/16 | 9/17 | 9/18 | 9/19 | 9/20 | 9/21 | 9/22 | 9/23 | 9/24 | 9/25 | 9/26 | 9/27 | 9/28 | 9/29 | 9/30 | 10/1 | 10/2 | 10/3 | 10/4 | 10/5 | 10/6 | 10/7 | 10/8 | 10/9 | 10/10 | 10/11 | 合計 (羽) |
| 天気 | 曇 後雨 | 晴 | 晴 | 晴 | 曇 後晴 | 曇 | 雨 中止 | 曇 時々 晴 | 曇 後晴 | 曇 | 曇 後晴 | 曇 時々 雨 | 曇 | 曇 | 曇 時々 晴 | 曇 | 晴 | 小雨 | 曇 後雨 | 曇 後雨 | 曇 | 晴 | 雨 中止 | 雨 中止 | 曇 一時 小雨 | 快晴 | |
| サシバ | | 5 | 2 | | 4 | 1 | | 27 | 205 | 1 | 5 | | 2 | 1 | 7 | 1 | 6 | | | | 75 | 46 | | | 15 | 70 | 473 |
| ハチクマ | | 3 | | | 2 | 4 | | | 2 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | 13 |
| ミサゴ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トビ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オオタカ | | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 5 |
| ツミ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| ハイタカ | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | 4 |
| ノスリ | | 1 | | 1 | | | | 1 | 2 | | 6 | 2 | 1 | 4 | 2 | 1 | | | | | 4 | | | | 1 | 13 | 39 |
| クマタカ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハヤブサ | | | | | | | | 2 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | 4 |
| チゴハヤブサ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| チョウゲンボウ | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 不明種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | 10 | 2 | 1 | 8 | 6 | 0 | 30 | 209 | 1 | 11 | 0 | 7 | 2 | 15 | 3 | 8 | 0 | 0 | 0 | 76 | 52 | 0 | 0 | 16 | 86 | 543 |
| その他の渡り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハリオアマツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒメアマツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アマツバメ | | | | | 82 | 46 | | 6 | 3 | | | 7 | | | | | | 6 | | 1 | 13 | | | | 9 | 173 | |
| ショウドウツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 6 | 7 |
| コシアカツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イワツバメ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒヨドリ | | | | | | | | | 10 | 10 | | | 25 | 25 | 39 | 115 | 73 | 22 | 102 | | 176 | 201 | | | 788 | 677 | 2263 |
| エソビタキ | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | 4 |
| アオサギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ツバメsp. | | | | | | | | | | | | | | | | | 100 | | | | | | | | | | 100 |
| アサギマダラ | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | 1 | 4 |
| 調査参加者数 | 3 | 4 | 2 | 4 | 1 | 5 | 2 | 6 | 9 | 4 | 5 | 1 | 5 | 4 | 2 | 4 | 8 | 3 | 3 | 2 | 4 | 6 | 0 | 0 | 2 | 3 | 92 |
| 非渡り・地付きのタカ類・ハヤブサ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サシバ、ハチクマ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、クマタカ、チュウヒ(1)、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



城山湖ダムサイト 調査地

別表3 松竹公園西・城山湖ダムサイトにおけるサシバの30分毎の通過羽数

| 調査期間 | 2024年9月16日(月)～10月11日(金) | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 調査地 | 松竹公園西 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8:00 ～ | 8:30 ～ | 9:00 ～ | 9:30 ～ | 10:00 ～ | 10:30 ～ | 11:00 ～ | 11:30 ～ | 12:00 ～ | 12:30 ～ | 13:00 ～ | 13:30 ～ | 14:00 ～ | 14:30 ～ | 合計 (羽) |
| 9月16日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月17日 | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | 4 |
| 9月18日 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 9月19日 | | | | | | | 1 | | 2 | | | 4 | | | 7 |
| 9月20日 | | | | | 1 | | | | | 1 | 5 | | 1 | | 8 |
| 9月21日 | | | | | | | | | | | | | 5 | | 5 |
| 9月22日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月23日 | | | | 12 | 16 | 6 | 4 | 3 | 3 | 5 | 1 | 1 | | | 51 |
| 9月24日 | | | 8 | 21 | 12 | 44 | 2 | 12 | | | | | | | 99 |
| 9月25日 | | | 1 | | 50 | | 2 | 7 | | 2 | | | | | 62 |
| 9月26日 | | | | | 4 | | | | 1 | 12 | 5 | | | | 22 |
| 9月27日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月28日 | | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 3 |
| 9月29日 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | 2 |
| 9月30日 | | | | 2 | | | 1 | | 2 | 4 | 2 | 2 | | | 13 |
| 10月1日 | | | 4 | | | | | | | | | | | | 4 |
| 10月2日 | | | | 3 | | | | | | | | | | | 3 |
| 10月3日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月4日 | | | | | | | | | | | 6 | 11 | | 3 | 20 |
| 10月5日 | | 6 | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 10月6日 | | | | | | | | 2 | 19 | 3 | 23 | | | 14 | 61 |
| 10月7日 | | 1 | 9 | | | 13 | 33 | 73 | 194 | 37 | 56 | 2 | | | 418 |
| 10月8日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月9日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月10日 | | | | | | | | 31 | | 2 | 4 | | | | 37 |
| 10月11日 | | | | | | | | | 4 | 17 | | | | | 21 |
| 合計 | | 8 | 22 | 41 | 84 | 66 | 44 | 128 | 225 | 83 | 103 | 20 | 6 | 17 | 847 |

| 調査期間 | 2024年9月16日(月)～10月11日(金) | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 調査地 | 城山湖ダムサイト | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8:00 ～ | 8:30 ～ | 9:00 ～ | 9:30 ～ | 10:00 ～ | 10:30 ～ | 11:00 ～ | 11:30 ～ | 12:00 ～ | 12:30 ～ | 13:00 ～ | 13:30 ～ | 14:00 ～ | 14:30 ～ | 合計 (羽) |
| 9月16日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月17日 | | | | | | | | 4 | | | | 1 | | | 5 |
| 9月18日 | | | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| 9月19日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月20日 | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | | | | 4 |
| 9月21日 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 9月22日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月23日 | | | | | | 6 | 17 | | 3 | | 1 | | | | 27 |
| 9月24日 | | | | | 172 | 3 | 15 | 2 | 4 | 9 | | | | | 205 |
| 9月25日 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 9月26日 | | 1 | | 1 | | | | | | | 3 | | | | 5 |
| 9月27日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9月28日 | | | | | | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 9月29日 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 9月30日 | | | | | | | 7 | | | | | | | | 7 |
| 10月1日 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 10月2日 | | | | 2 | | | | | 3 | 1 | | | | | 6 |
| 10月3日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月4日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月5日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月6日 | | | | 9 | | | | | | | 65 | 1 | | | 75 |
| 10月7日 | | 7 | 1 | | | 27 | | 6 | 5 | | | | | | 46 |
| 10月8日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月9日 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10月10日 | | | | | 1 | 9 | | 2 | | 2 | | 1 | | | 15 |
| 10月11日 | | 15 | | 2 | 3 | 16 | 13 | 15 | | 1 | 5 | | | | 70 |
| 合計 | 0 | 24 | 1 | 14 | 178 | 65 | 53 | 30 | 16 | 15 | 74 | 3 | 0 | 0 | 473 |

2024 年浅川流域イワツバメ営巣調査

まとめ： 粕谷 和夫

この調査は 1987 年から毎年行っているもので 2024 年は 38 年目となった。調査方法は前年までと同じで、5 月から 7 月の間に 2 回以上、その年に繁殖に利用している巣の数をカウントした。浅川流域を川筋別に 16 に分割し、その他に谷地川、程久保川及び大栗川を加えて行った。調査区域と調査者は第 1 表、結果は第 2 表の 2024 年欄の通りであり、営巣カ所数、営巣数ともにほぼ前年並みでした。

調査担当者から以下のコメントがあった（○内数値は第 1 表に対応）。①4 月 6 日にイワツバメ 30 羽十、5 月 4 日に 25 羽十、6 月 1 日に 7 羽をカウントしたが、巣は確認できなかった。④浅川橋が補修途中でネットが張られていたため営巣できず。⑨成鳥少数（5/19 は 2 羽、7/2 は 5 羽）見たが、イワツバメの巣はなし。⑩京王高尾駅ホームに 8 個の未使用の巣あり。⑪東横山橋で 5 月は一ヶ所、7 月には二ヶ所で営巣を確認した。⑭和合橋は 7/8 には 1 羽もいなくなっていました。⑮3 回の調査のうちイワツバメが一番多かった 6 羽が殿田橋の下に出入りしていたことから巣の数は 3 と推定した。⑯例年の営巣場所の JR 横浜線の湯殿川鉄橋下は、今年は確認出来ませんでした。他の箇所でも巣の確認は出来ませんでした。⑰イワツバメの飛翔と営巣は残念ながら見当たりませんでした。⑱川の中は草が生い茂って見えにくかった。城山下橋で巣が見えたのは 3 個のみ。⑳今年も新日向橋や新鶴見橋付近で 5/26、6/15 に飛んでいる姿は確認したが、巣は見つけられませんでした。

(第 1 表)2024 年イワツバメ営巣調査地域と調査者

| | 調査地域 | 調査者 |
|---|-------------------|------------|
| ① | 北浅川(大沢橋～陵北大橋) | 青木静子 |
| ② | 北浅川(陵北大橋～松枝橋) | 中村后子 |
| ③ | 浅川本流(松枝橋～鶴巻橋) | 萩島伸介 |
| ④ | 浅川本流(鶴巻橋～大和田橋) | 木澤隆雄 |
| ⑤ | 浅川本流(大和田橋～長沼橋) | 佐藤晋郎 |
| ⑥ | 浅川本流(長沼橋～一番橋) | 山崎悠一、山崎久美子 |
| ⑦ | 浅川本流(一番橋～ふれあい橋) | 玉木雅治 |
| ⑦ | 浅川本流(ふれあい橋～多摩川合流) | 門口一雄 |
| ⑧ | 川口川(川口橋～明治橋) | 対中義雄 |
| ⑨ | 川口川(明治橋～浅川合流) | 小林一任 |
| ⑩ | 南浅川(案内橋～敷島橋) | 角田幸男 |
| ⑪ | 南浅川(敷島橋～浅川合流) | 萩島伸介 |
| ⑫ | 城山川(月夜峯新橋～浅川合流) | 中山尊人、中山千晶 |
| ⑬ | 山田川(山田橋～浅川合流) | 浜野建男、浜野知恵子 |
| ⑬ | 山田川・JR八王子駅 | 浜野建男、浜野知恵子 |
| ⑭ | 湯殿川(白旗橋上流部) | 加藤岸男 |
| ⑮ | 湯殿川(白旗橋～時田橋) | 粕谷和夫 |
| ⑯ | 湯殿川(時田橋～浅川合流) | 門口一雄 |
| ⑯ | 湯殿川(都立片倉高校周辺) | 門口一雄 |
| ⑰ | 程久保川 | 武藤邦子 |
| ⑱ | 谷地川(月見橋～新左入橋) | 浅野恵美子 |
| ⑱ | 谷地川(新左入橋～田島橋) | 木澤隆雄 |
| ⑳ | 谷地川(田島橋～多摩川合流) | 中村美弥子 |
| ㉑ | 大栗川(鍵水～大竹橋) | 工藤正子 |
| ㉒ | 大栗川(大竹橋～横倉橋) | 登坂久雄 |

(第 2 表) 2024 年イワツバメ営巣調査結果の報告書

単位：巣数（X：人による破壊、－：未調査）

建物区分 A:コンクリート建物 B:コンクリート道路橋下 C:コンクリート鉄道高架下 D:その他

| 浅川の流域 | 物区 | メッシュNo | 1987 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----------------|----|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ①北浅川(恩方第1小学校) | A | 八王子0K | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②東京天使病院 | A | 拝島2B | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②松枝住宅 | A | 拝島3B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ③北浅川中央高速道橋 | B | 拝島4A | 17 | 0 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ③市立第2中学校 | A | 拝島5A | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ④浅川萩原橋 | B | 八王子6K | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ④浅川浅川橋 | B | 八王子6K | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| ④浅川映橋 | B | 八王子7K | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 7 | 15 | 16 | 8 |
| ④浅川浅川大橋 | B | 八王子7K | 0 | 122 | 115 | 123 | 44 | 28 | 95 | 146 | 79 |
| ⑤浅川大和田橋 | B | 八王子8J | 69 | 73 | 81 | 61 | 89 | 66 | 49 | 46 | 65 |
| ⑤北野清掃工場 | A | 八王子8J | X | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 |
| ⑤ヤマ生コン工場→西東京生コン | A | 八王子8H | 25 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑤浅川JR中央線鉄橋高架 | C | 八王子9H | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑥浅川長沼橋 | B | 八王子9H | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑥浅川滝合橋 | B | 武蔵府中0H | 0 | 3 | 8 | 5 | 6 | 5 | 6 | 8 | 7 |
| ⑥平山中学校 | A | 武蔵府中1H | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

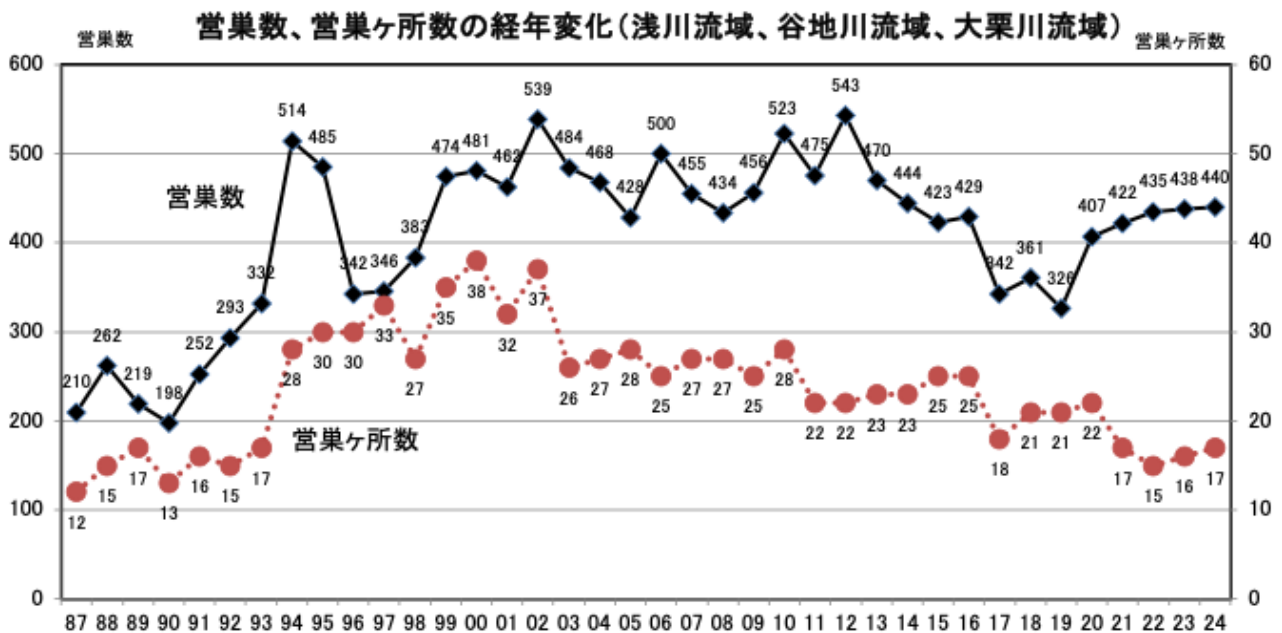
| 浅川の流域 | 物区 | メッシュNo | 1887 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------------------|----|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ⑦浅川一番橋 | B | 武蔵府中1J | 1 | 21 | 19 | 11 | 133 | 152 | 148 | 100 | 145 |
| ⑦浅川高幡橋 | B | 武蔵府中2K | 1 | 18 | 13 | 0 | 50 | 52 | 45 | 30 | 31 |
| ⑧川口児童館 | A | 拝島2C | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑨陶鐘小学校 | A | 拝島4C | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑨中央道中野山王町高架 | B | 拝島6A | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑨清水小学校 | A | 拝島5A | 4 | - | - | - | 0 | 0 | - | - | - |
| ⑨榎原中学校 | A | 拝島5B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑨川口川坂守橋 | B | 拝島6A | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑩京王高尾山口駅 | A | 八王子1F | 6 | 9 | 17 | 42 | 37 | 34 | 19 | 20 | 26 |
| ⑩案内川高尾橋詰橋本屋 | A | 八王子1F | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑩京王高尾駅 | A | 八王子2G | 10 | 0 | 0 | 2 | 6 | 13 | 17 | 18 | 16 |
| ⑩高尾駅南口マンション、東電寮 | A | 八王子2G | 0 | 28 | 27 | 8 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑩東浅川小学校 | A | 八王子3G | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑩京王線東浅川小学校前 | C | 八王子3G | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑪南浅川横山橋 | B | 八王子4J | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 | 0 | 0 | 0 |
| ⑪南浅川東横山橋 | B | 八王子4J | 6 | 8 | 4 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 2 |
| ⑪南浅川横川橋 | B | 八王子5K | - | - | - | - | - | 23 | 12 | 9 | 12 |
| ⑪都立桑志高校体育館 | A | 八王子4J | 0 | 0 | 0 | - | - | - | 0 | 0 | - |
| ⑪八王子総合福祉センター | A | 八王子3H | - | 0 | 0 | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 |
| ⑪南多摩病院 | A | 八王子5J | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑪ライオンズマンション西八王子駅前 | A | 八王子5J | - | 0 | 2 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑪台町市民センター | A | 八王子5J | 0 | - | - | - | - | - | 0 | 0 | 0 |
| ⑫城山川(月夜峯新橋～浅川合流) | | 八王子3K4K | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬JR八王子駅 | D | 八王子7J | 50 | 32 | 14 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬湯殿川西田中橋下 | B | 八王子5H | 0 | - | 5 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | - |
| ⑬湯殿川境橋 | B | 八王子5H | - | - | - | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬湯殿川和合橋 | B | 八王子5H | - | - | - | 3 | 3 | 15 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬柵田中学校 | A | 八王子5H | - | - | - | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| ⑬イトーヨーカドー八王子店駐車場ビル5階 | A | 八王子3H | 0 | - | 19 | 15 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬八王子はざま住宅 | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬メジロ台ハイム | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬ヤマダ電気八王子高尾店 | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬大信工業kk | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬スバル研修センター | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑬東建狭間マンション | A | 八王子3G | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑮湯殿川大橋 | B | 八王子5G | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑮湯殿川釜土橋 | B | 八王子6G | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| ⑮湯殿川殿田橋 | B | 八王子6G | 0 | 0 | 1 | 1 | 6 | 3 | 2 | 4 | 3 |
| ⑯JR片倉駅 | A | 八王子7G | 0 | - | - | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯片倉陸橋下(片倉高校北) | B | 八王子7F | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯片倉台小学校 | A | 八王子7F | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯片倉サンライズ幼稚園 | A | 八王子7F | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯湯殿川東橋 | B | 八王子7G | - | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯兵衛川横浜線鉄橋 | C | 八王子7G | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯湯殿川横浜線鉄橋 | C | 八王子8H | 0 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| ⑯湯殿川打越大橋 | B | 八王子8G | 0 | - | - | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯湯殿川時見橋 | B | 八王子8G | 0 | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯北野ハケンタビル | A | 八王子8G | 1 | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯京王北野駅 | A | 八王子8G | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯京王北野駅～長沼駅 | C | 八王子9G | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑯京王長沼駅 | A | 八王子9G | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑯都立片倉高校 | A | 八王子7F | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑯柵田中学校 | A | 八王子4F | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑯花王八王子センター倉庫 | A | 八王子6F | - | - | - | 0 | - | - | - | 0 | 0 |
| ⑯雑種工業団地(下恩方) | A | 拝島OA | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計営業数(I) | | | 210 | 330 | 336 | 315 | 392 | 425 | 415 | 404 | 399 |
| 営業力所数(I) | | | 12 | 14 | 18 | 18 | 16 | 14 | 13 | 13 | 13 |

| 程久保川、谷地川、大栗川の流域 | | メッシュNo | 1887 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|-----------------|---|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ⑰程久保川 | | 武蔵府中2H3J4J | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑱谷地川城山下橋 | B | 拝島6D | - | 5 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| ⑱谷地川黄金橋 | B | 拝島6C | - | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑱中央高速下石川西児童公園 | B | 拝島9A | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑱谷地川鶴巻橋 | B | 拝島9B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑱谷地川西野橋 | B | 拝島8A | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑱谷地川八幡宿橋 | B | 拝島7C | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑱カレツツア駐車場 | A | 拝島7B | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ⑱いちよう接骨院 | A | 拝島8B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 程久保川、谷地川、大栗川の流域 | マッシュNo | 1887 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------------------|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| ①谷地川青木橋 | B 拝島8B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ①谷地川八方地橋 | B 拝島8B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| ①谷地川万年橋 | B 拝島9A | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ①谷地川新灌木橋 | B 拝島8B | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ①谷地川新左入橋 | B 拝島7B | - | 3 | 3 | 5 | 10 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| ②谷地川新日向橋 | B 拝島9B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②JR八高線小宮八石陸橋 | B 拝島9C | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②谷地川新鶴見橋 | B 立川0B | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②京王南大沢駅 | A 武蔵府中0D | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大田川おかんどう橋 | B 武蔵府中1D | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②南大沢駅前中郷公園トイレ | A 武蔵府中0D | - | - | - | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大栗川山下山歩道橋 | B 武蔵府中0E | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大栗川大片瀬橋 | B 武蔵府中0E | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大栗川富士見橋 | B 武蔵府中0E | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②南大沢駅駐輪場歩道橋 | B 武蔵府中0D | - | 1 | 6 | 4 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| ②南大沢駅ラフェット多摩歩道橋 | B 武蔵府中0D | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②南大沢舞の橋歩道橋 | B 武蔵府中0D | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②ゴルフ・ドウ多摩ニュータウン店 | A 武蔵府中1E | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ②大田川板橋 | B 武蔵府中1E | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大田川川橋 | B 武蔵府中1E | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②京王堀之内駅 | A 武蔵府中2E | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ②大栗川新川橋 | B 武蔵府中3F | - | 0 | 0 | 0 | 5 | 12 | 17 | 22 | 27 |
| ②大栗川横倉橋 | B 武蔵府中4G | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大栗川宮田橋 | B 武蔵府中3F | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ②大栗川常盤橋 | B 武蔵府中3F | - | 3 | 16 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| ②大田川峯が谷戸橋 | B 武蔵府中1E | - | 0 | 0 | - | 3 | 0 | 0 | 10 | 0 |
| ②堀之内駅150m多摩センター寄り高架下 | C 武蔵府中2E | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計営業数(Ⅱ) | | | 12 | 25 | 11 | 25 | 20 | 20 | 34 | 41 |
| 営業力所数(Ⅱ) | | | 4 | 3 | 3 | 6 | 4 | 2 | 3 | 4 |

浅川流域とその周辺の合計

| | 1887 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 合計営業数(Ⅰ) | 210 | 330 | 336 | 315 | 382 | 402 | 415 | 404 | 399 |
| 合計営業数(Ⅱ) | | 12 | 25 | 11 | 25 | 20 | 20 | 34 | 41 |
| 合計営業数(Ⅰ+Ⅱ) | 210 | 342 | 361 | 326 | 407 | 422 | 435 | 438 | 440 |
| 営業力所数(Ⅰ) | 12 | 14 | 18 | 18 | 16 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 営業力所数(Ⅱ) | | 4 | 3 | 3 | 6 | 4 | 2 | 3 | 4 |
| 営業力所数(Ⅰ+Ⅱ) | 12 | 18 | 21 | 21 | 22 | 17 | 15 | 16 | 17 |



2024年定期カウント報告

調査コース: 1.北浅川(松竹公園西～陵北大橋)

担当者氏名: 青木静子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|-----------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------|----------------------|----------------|-----------|----------------------|-----------|----------------|-----------------|
| | | | 1/14 | 2/3 | 3/1 | 4/6 | 5/4 | 6/1 | 7/6 | 8/3 | 9/7 | 10/6 | 11/6 | 12/4 |
| | | | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 7:30 | 7:30 | 7:30 | 7:00 | 7:30 | 7:30 | 8:00 | 8:00 |
| | | | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 曇り | 晴れ | 曇後晴 | 晴れ | 晴れ | 小雨 | 曇り | 晴れ | |
| | | | 青木静子、白川史子、丸山二三夫 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫、村田靖雄 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫、村田靖雄 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫、村田靖雄 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫 | 青木静子、白川史子、対中義雄 | 青木静子、白川史子 | 青木静子、白川史子、対中義雄、丸山二三夫 | 青木静子、白川史子 | 青木静子、対中義雄、白川史子 | 青木静子、白川史子、丸山二三夫 |
| 5 | キジ | 3 | | | | 2 | 1 | 3 | 1 | | | | | |
| 26 | オカヨシガモ | 2 | | 1 | 2 | | | | | | | | | |
| 30 | マガモ | 3 | | | 3 | | | | | | | | | |
| 32 | カルガモ | 19 | 15 | 19 | 13 | 13 | 4 | 3 | 8 | 2 | 2 | 15 | 9 | 10 |
| 38 | コガモ | 13 | 5 | 10 | 7 | 13 | 2 | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 74 | キジバト | 27 | 14 | 21 | 12 | 15 | 27 | 13 | 11 | 12 | 10 | 13 | 8 | 19 |
| 127 | カワウ | 2 | | 1 | | 1 | | 2 | | 1 | 1 | 2 | | 1 |
| 144 | アオサギ | 5 | 1 | 5 | 1 | | 2 | 3 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 |
| 146 | ダイサギ | 6 | 3 | 5 | 3 | 3 | 1 | 1 | | | 1 | 5 | 1 | 6 |
| 175 | オオバン | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 203 | コチドリ | 6 | | | | 2 | 5 | 6 | | | | | | |
| 219 | タシギ | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 |
| 342 | トビ | 11 | 1 | 3 | 1 | | | | 1 | | | 1 | 11 | 1 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 4 | 1 | 3 | 4 | | 4 | 2 | | 4 | 2 | | 2 | 3 |
| 390 | コゲラ | 7 | 5 | 2 | 2 | 5 | 2 | 4 | 2 | | 7 | 3 | 2 | 1 |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 |
| 412 | サンショウクイ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 420 | モズ | 13 | | 2 | 5 | 4 | | | | | 2 | 13 | 2 | 4 |
| 429 | オナガ | 23 | | | | | | | | | | 23 | | 8 |
| 435 | ハシボソガラス | 14 | 8 | 5 | 6 | 3 | 5 | 6 | 8 | 8 | 2 | 14 | 11 | 3 |
| 436 | ハシブトガラス | 4 | 2 | 3 | 4 | 4 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 4 | 2 | 2 |
| 445 | シジュウカラ | 26 | 7 | 25 | 16 | 16 | 21 | 26 | 16 | 8 | 21 | 13 | 5 | 15 |
| 457 | ツバメ | 41 | | | | 30 | 12 | 41 | 28 | 21 | | | | |
| 461 | イワツバメ | 30 | | | | 30+ | 25+ | 19 | 28 | 2 | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 74 | 29 | 25 | 13 | 28 | 21 | 28 | 14 | 15 | 16 | 74 | 55 | 24 |
| 464 | ウグイス | 19 | 4 | 5 | 10 | 19 | 15 | 13 | 7 | 10 | | | 4 | 5 |
| 466 | エナガ | 8 | 8 | | 2 | 2 | 3 | | | | | | | |
| 485 | メジロ | 23 | 6 | 4 | 7 | 12 | 8 | 16 | 4 | | 4 | 4 | 6 | 23 |
| 506 | ムクドリ | 39 | 25 | 10 | 12 | 22 | 17 | 39 | 35 | 1 | | 24 | 36 | 33 |
| 522 | アカハラ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 33 | 33+ | 17 | 7 | 25 | | | | | | | | |
| 536 | ルリビタキ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 14 | 4 | 7 | 4 | 2 | | | | | | | 14 | 4 |
| 549 | インビヨドリ | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 | |
| 558 | キビタキ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 569 | スズメ | 79 | 8 | 16 | 10 | 17 | 10 | 23 | 9 | 11 | 16 | 19 | 14 | 79 |
| 573 | キセキレイ | 6 | | 1 | | 5 | 3 | 4 | | | | 6 | | 2 |
| 574 | ハクセキレイ | 7 | 6 | 1 | 5 | 4 | | 2 | 7 | 3 | 1 | 4 | 7 | 3 |
| 575 | セグロセキレイ | 11 | 9 | 5 | 2 | 5 | | 11 | | 3 | 4 | 5 | 4 | 6 |
| 587 | カワラヒワ | 51 | 29 | 28 | 25 | 23 | 3 | 5 | 6 | 5 | | | 10 | 51 |
| 592 | ベニマシコ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 600 | シメ | 3 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 82 | 67+ | 82+ | 45+ | 20+ | 1 | | | 1 | | 6 | | |
| 610 | ホオジロ | 20 | 20 | 9 | 14 | 4 | 4 | | 2 | 8 | 2 | 2 | 1 | 8 |
| 617 | カシラダカ | 45 | 45 | 19 | | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 21 | 18 | 21 | 17 | 19 | | | | | | | 5 | 6 |
| | 出現総羽数 | | 378 | 363 | 256 | 350 | 200 | 273 | 190 | 120 | 94 | 253 | 213 | 321 |
| | 種類数 | 50 | 29 | 34 | 32 | 31 | 26 | 25 | 19 | 20 | 17 | 21 | 24 | 27 |
| 901 | コジュケイ | 3 | | | 1 | 1 | | | 3 | | | 1 | 2 | |
| 909 | ガビチョウ | 11 | 2 | 1 | 7 | 7 | 7 | 11 | 5 | 7 | 5 | 3 | | 2 |
| 412-3 | サンショウクイ亜種区分不明 | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | | 1 | 2 | 2 | | | | | | 1 | | 2 |
| 420-2 | モズ♀ | 3 | | 1 | 3 | 2 | | | | | | 1 | | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 11 | | | | | | | | | 2 | 11 | 2 | 1 |
| 536-1 | ルリビタキ♂ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 5 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | 5 | 3 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 5 | 2 | 4 | 3 | 2 | | | | | | | 5 | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 4 | | 1 | | | | | | | | | 4 | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 2.北浅川(松枝橋～陵北大橋)

担当者氏名: 中村后子

N中村后子、K河村洋子、Y柚木育子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---------|---------------|----------|----------|---------------|-------------------------------|-------------|-------------|------|------|-----------------|-----------------|
| | | | 1/14 | 2/2 | 3/1 | 4/5 | 5/3 | 6/7 | 7/5 | 8/2 | 9/6 | 10/4 | 11/1 | 12/6 |
| | | | 8:00 | 8:00 | 7:50 | 8:00 | 8:00 | 7:45 | 7:00 | 7:00 | 7:00 | 6:50 | 8:00 | 8:00 |
| | | | 晴 | 曇り | 曇り/晴れ | 小雨 | 快晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴れ | 晴れ | 晴れ |
| | | | N, K, Y | N, K, Y, 坂本良子 | NK, 坂本良子 | NK, 坂本良子 | N, 坂本良子, 村田靖雄 | N, K, 氷渡トシ子, 柚木育子, 坂本良子, 村田靖雄 | N, K, 氷渡トシ子 | N, K, 氷渡トシ子 | NK | NK | NK, 氷渡トシ子, 坂本良子 | NK, 坂本良子, 氷渡トシ子 |
| 5 | キジ | 10 | | 1 | 1 | 6 | 10 | 4 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 1 |
| 24 | オンドリ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 26 | オカヨシガモ | 7 | | | 7 | | | | | | | | | 4 |
| 28 | ヒドリガモ | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| 30 | マガモ | 7 | 3 | 2 | 2 | 7 | | | | | | | | 6 |
| 32 | カルガモ | 10 | 2 | | 5 | 10 | | 4 | | 3 | 4 | 3 | 2 | |
| 38 | コガモ | 5 | | | | 1 | | | | | | 5 | | 1 |
| 62 | カイツブリ | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 74 | キジバト | 14 | 7 | 6 | 14 | 7 | 10 | 8 | 5 | | 6 | 7 | 2 | 8 |
| 127 | カワウ | 8 | 3 | 4 | 8 | 4 | 2 | 4 | | | | 1 | 2 | 1 |
| 144 | アオサギ | 7 | 4 | 4 | 4 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 7 | 2 |
| 146 | ダイサギ | 7 | 2 | 5 | 5 | 5 | 5 | 1 | | 1 | 1 | 7 | 7 | 5 |
| 174 | バン | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 175 | オオバン | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 5 | 5 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 219 | タシギ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | | | | 3 | 2 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 356 | オオタカ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 358 | ノスリ | 2 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 383 | カワセミ | 2 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | | | 1 | 2 |
| 390 | コゲラ | 6 | 1 | 3 | | 3 | | 6 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 420 | モズ | 6 | 4 | 5 | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | 6 | 5 | 3 |
| 429 | オナガ | 2 | | 2 | | | | 2 | | | | | | |
| 435 | ハシボソガラス | 9 | 8 | 7 | 7 | 4 | 1 | 3 | 5 | 8 | 4 | 2 | 9 | 5 |
| 436 | ハシブトガラス | 6 | 6 | 2 | 3 | | 1 | 2 | 2 | | | | | 3 |
| 445 | シジュウカラ | 48 | 17 | 24 | 48 | 13 | 10 | 9 | 11 | 7 | 10 | 4 | 14 | 5 |
| 457 | ツバメ | 15 | | | | 15 | 6 | 12 | 15 | 3 | 2 | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 140 | 27 | 14 | 11 | 18 | 9 | 26 | 20 | 8 | 7 | 140 | 45 | 49 |
| 464 | ウグイス | 15 | 10 | 8 | 14 | 8 | 15 | 14 | 10 | 6 | | | | 2 |
| 466 | エナガ | 9 | 7 | 9 | 6 | 2 | | | | | | | 3 | |
| 485 | メジロ | 40 | 3 | 12 | 40 | | | 5 | 2 | | | 1 | | 11 |
| 506 | ムクドリ | 68 | 16 | 17 | 33 | 68 | 15 | 16 | 20 | 6 | | | 9 | 36 |
| 521 | シロハラ | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | | |
| 522 | アカハラ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 39 | 7 | 8 | 7 | 39 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 10 | 3 | 2 | 3 | | | | | | | | 10 | |
| 549 | イソヒヨドリ | 2 | | | | | | 1 | | 2 | | | | |
| 569 | スズメ | 70 | 70 | 45 | 1 | | | 12 | 5 | 2 | | 3 | 1 | 11 |
| 573 | キセキレイ | 3 | 3 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 574 | ハクセキレイ | 4 | 2 | 4 | 2 | 1 | | | | 4 | | 2 | 2 | 1 |
| 575 | セグロセキレイ | 8 | 4 | 8 | 1 | 5 | 1 | | 2 | 2 | 1 | 4 | 4 | 2 |
| 587 | カワラヒワ | 58 | 19 | 58 | 8 | | | 14 | 6 | | | | 21 | 7 |
| 600 | シメ | 7 | 3 | 7 | 3 | 4 | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 9 | 5 | 9 | 7 | 5 | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 16 | 14 | 16 | 14 | | | 3 | 5 | 2 | 1 | | 1 | 4 |
| 617 | カシラダカ | 11 | 5 | 3 | 11 | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 30 | 22 | 24 | 21 | 30 | | | | | | | | 8 |
| | 出現総羽数 | | 292 | 322 | 297 | 264 | 92 | 154 | 117 | 65 | 41 | 190 | 152 | 190 |
| | 種類数 | | 49 | 35 | 37 | 32 | 27 | 17 | 24 | 18 | 13 | 16 | 22 | 30 |
| 901 | コジュケイ | 9 | | 3 | 3 | 4 | 3 | 2 | 5 | | | 9 | | 2 |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 27 | | 27 | 14 | | | 14 | 3 | 7 | 3 | 3 | 16 | 5 |
| 908 | カオグロガビチョウ | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | |
| 909 | ガビチョウ | 18 | 4 | 9 | 18 | 9 | 14 | 10 | 12 | 5 | 3 | 4 | | 2 |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 5 | 3 | 3 | | | | 1 | | | | 5 | 4 | 2 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 7 | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | 7 | |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 3.北浅川(松枝橋~鶴巻橋)

担当者氏名: 荻島伸介(7月まで)、門倉美登利(8,10,11月)、粕谷和夫(9,12月)

調査者記号: o:荻島伸介、kn:木野孔司、k:門倉美登利、t:対中義雄、s:佐藤健、m:村田靖雄、y:柚木育子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|----------------------------------|------|---------------------|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------|---------------------|---------------------|--------------------------|
| | | | 1/14 | 2/1 | 3/10 | 4/7 | 5/3 | 6/2 | 7/7 | 8/4 | 9/5 | 10/3 | 11/7 | 12/5 |
| | | | 8:00 11:20 快晴 | 8:00 10:50 晴のち曇り | 8:00 10:45 晴れ | 8:00 10:30 晴れ | 8:00 10:20 晴れ | 8:00 9:45 曇り | 6:25 8:00 曇り | 7:00 8:40 晴れ | 8:00 9:55 晴れ | 8:00 10:10 曇り | 8:00 10:20 晴れ | 8:00 10:15 晴れ |
| | | | o,s,m | o,k | o | o,kn | o,k,kn,t | o | o,kn,y | 門倉美登利・木野孔司・柚木育子・氷渡トシ子 | 粕谷和夫、門倉美登利、岡田浩郎、木野孔司、栗原豊 | 門倉美登利・木野孔司・栗原豊 | 門倉美登利・木野孔司・栗原豊 | 粕谷和夫、門倉美登利、木野孔司、栗原豊、下野彰夫 |
| 5 | キジ | 9 | 1 | 1 | | 7 | 9 | 9 | 3 | 2 | | | | 2 |
| 30 | マガモ | 3 | | 3 | | | | | | | | | | |
| 32 | カルガモ | 19 | | | 8 | 11 | 19 | 4 | 7 | 2 | | 4 | 4 | |
| 38 | コガモ | 20 | | 20 | 9 | 2 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 74 | キジバト | 23 | 20 | 23 | 16 | 7 | 21 | 7 | 11 | 7 | 7 | 15 | 8 | 15 |
| 127 | カワウ | 110 | 5 | 3 | 3 | 5 | 4 | 3 | 1 | 2 | | | 110+ | 2 |
| 144 | アオサギ | 7 | 2 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 6 | 2 | 7 | 6 | 5 |
| 146 | ダイサギ | 48 | 37 | 7 | 6 | 4 | 5 | 1 | 2 | 5 | 7 | 13 | 48+ | 4 |
| 148 | コサギ | 4 | | | | 1 | | | | | | | 4 | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 15 | | | | | 2 | | 7 | 4 | 15 | 4 | | |
| 202 | イカルチドリ | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | | |
| 203 | コチドリ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 244 | イソシギ | 6 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | | | 2 | | 3 | 6 | |
| 342 | トビ | 4 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 3 | | 1 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| 358 | ノスリ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 383 | カワセミ | 4 | 4 | 2 | 3 | 3 | 2 | | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 |
| 390 | コゲラ | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 420 | モズ | 10 | 3 | 3 | 5 | 7 | 3 | | | | | 10 | 3 | 9 |
| 429 | オナガ | 7 | | | 7 | | | | | | | | | |
| 435 | ハシボソガラス | 18 | 5 | 6 | 10 | 8 | 8 | 11 | 5 | 12 | 3 | 18 | 8 | 15 |
| 436 | ハシブトガラス | 7 | 3 | 1 | 5+ | 2+ | 3+ | 1+ | 1+ | | | 1 | 1 | 7 |
| 445 | シジュウカラ | 21 | 6 | 21 | 11 | 6 | 6 | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | 5 | 4 |
| 457 | ツバメ | 10 | | | | 2 | 9 | 10 | 8 | 5 | | 1 | | |
| 461 | イワツバメ | 10 | | | 3 | 10 | 4 | 5 | 3 | 4 | | | 7 | |
| 463 | ヒヨドリ | 48 | 20 | 24 | 8 | 35 | 10 | 20 | 13 | 6 | 12 | 22 | 25 | 48 |
| 464 | ウグイス | 16 | 1+ | 2+ | 5+ | 12+ | 16+ | 14+ | 5+ | 8 | | | | 4 |
| 466 | エナガ | 3 | | | 3 | | | | | | | | | |
| 485 | メジロ | 15 | 2 | 8 | 15± | | | | 2 | 5 | | | 1 | 2 |
| 492 | オオヨシキリ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 499 | セッカ | 3 | | | | | | | | 3 | | | | |
| 506 | ムクドリ | 80 | 17 | 27 | 6 | 23 | 48 | 80± | 33 | 16 | 7 | 24 | 15 | 36 |
| 525 | ツグミ | 8 | 3 | 8 | 4 | | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | 2 |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 569 | スズメ | 41 | 41 | 10 | 6 | 2 | 2 | 8 | 2 | 16 | 11 | 24 | 3 | |
| 573 | キセキレイ | 7 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | | | | 4 | 2 | 7 |
| 574 | ハウセキレイ | 9 | 3 | 3 | 5 | | 3 | 2 | | | 4 | 3 | 5 | 9 |
| 575 | セグロセキレイ | 17 | 15 | 17 | 9 | 4 | 11 | 8 | 3 | 3 | 1 | 4 | 8 | 8 |
| 580 | ビンズイ | 3 | 3 | | | | | | | | | | | |
| 587 | カワラヒワ | 60 | 25 | 9 | 11 | 5 | | 1 | 8 | | | | 5 | 60 |
| 600 | シメ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 8 | 8 | 3 | 7 | 2 | 5 | | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | 3 |
| 617 | カシラダカ | 30 | 30± | 20± | | | | | | | | | | 3 |
| 624 | アオジ | 10 | 9 | 10 | 6 | | | | | | | | | 7 |
| | 出現総羽数 | | 276 | 243 | 183 | 165 | 195 | 193 | 125 | 120 | 78 | 167 | 279 | 255 |
| | 種類数 | | 47 | 31 | 30 | 32 | 26 | 23 | 21 | 22 | 14 | 21 | 23 | 24 |
| | 不明鳥-1 | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | |
| 901 | コジュケイ | 2 | | | | | | | | 1 | 2 | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 40 | 40± | 30± | 6 | 30± | 8 | 30± | 25± | 15+ | 35 | 30+ | 21 | 40 |
| 909 | ガビチョウ | 7 | 1 | 7 | 6 | 2 | 6 | 5 | 4 | 2 | 2 | | | 2 |
| 420-1 | モズ♂ | 3 | | | 1 | 3 | 1 | | | | | 3 | 1 | 2 |
| 420-2 | モズ♀ | 3 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | | | | 3 | 1 | 1 |
| 420-3 | モズ幼鳥 | 2 | | | 2 | | | | | | | | | |
| 420-4 | モズ不明 | 6 | 2 | 3 | | 2 | | | | | | 4 | 1 | 6 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 2 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 4.浅川本流(鶴巻橋~大和田橋)

担当者: 井上京子(1~3月)、木澤隆雄(4~12月)

調査者記号: 井上京子IK、大石茂雄OSG、萩島伸介OSN、管野桂子KK、木澤隆雄KT、栗原豊KU、坂本良子SR、高梨規子TN、
長者原恵美子TM、畠山忠男HT、増田文子MH、宮越俊一MS、武藤邦子MK、目黒明子MA、本島てるみMT

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|--|--|---|---|--|--|--|--|---|--|---|--|
| | | | 1/14 | 2/9 | 3/15 | 4/12 | 5/10 | 6/14 | 7/16 | 8/9 | 9/13 | 10/11 | 11/8 | 12/13 |
| | | | 8:00 12:00 晴 IK,OSG,T A,MH,HT, MT | 8:00 11:25 晴 IK,KT,SR, MH,MK | 8:00 11:35 晴 IK,KK,KT, SR,MH,M K | 8:00 11:40 曇一時雨 IK,KT,SR, TN,HT,M H,MS,MK, MT | 8:00 11:40 快晴 IK,OSN,K T,SR,MH, MK,MT | 8:00 10:55 快晴 IK,KK,KT, KU,SR,H T,MH,MK MA | 8:00 10:00 曇一時雨 IK,MH,M K,KT | 8:00 10:15 晴 IK,SR,MH, MK,KT | 8:00 10:30 快晴 IK,SR,MH, MK,KT | 8:00 11:35 晴 IK,SR,HT, MA,MH,M K,KT | 8:00 11:35 晴 IK,SR,HT, MH,MK,K T | 8:00 11:45 曇 IK,KK,SR, MH,KT |
| 5 | キジ | 18 | 4 | 1 | 4 | 18 | 16 | 4 | | | 3 | 3 | 5 | 2 |
| 32 | カルガモ | 23 | 10 | 20 | 22 | 23 | 6 | 12 | 23 | 11 | 6 | 7 | 3 | |
| 38 | コガモ | 19 | 18 | 15 | 19 | 8 | | | | | | | 2 | 2 |
| 62 | カイツブリ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 74 | キジバト | 16 | 7 | 8 | 9 | 9 | 14 | 6 | 7 | 8 | 10 | 5 | 5 | 16 |
| 127 | カワウ | 45 | 13 | 6 | 12 | 10 | 2 | 2 | | 1 | 2 | 16 | 45 | 23 |
| 144 | アオサギ | 10 | 7 | 9 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 10 | 7 | 5 | 6 |
| 146 | ダイサギ | 37 | 37 | 23 | 7 | 10 | 2 | 1 | 2 | 3 | 14 | 35 | 30 | 5 |
| 148 | コサギ | 14 | 1 | 2 | 4 | 1 | | | | | 1 | 13 | 14 | |
| 166 | クイナ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 175 | オオバン | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 3 | | 2 | | | 1 | | | | 3 | | | |
| 202 | イカルチドリ | 15 | 8 | 9 | 5 | 3 | 3 | | 3 | 7 | | 2 | 5 | 15 |
| 219 | タシギ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 241 | キアシシギ | 9 | | | | | 9 | | | | | | | |
| 244 | イソシギ | 9 | 4 | 6 | 4 | 9 | 2 | | | 1 | | 3 | 2 | 9 |
| 342 | トビ | 3 | 1 | 3 | | 1 | 2 | 2 | | | | 1 | | |
| 356 | オオタカ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 383 | カワセミ | 11 | 11 | 5 | 4 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 8 | 5 | 4 |
| 390 | コゲラ | 4 | | 2 | | 1 | | | | | 4 | | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 420 | モズ | 11 | 5 | 2 | 3 | 6 | | | | 3 | 2 | 11 | 8 | 1 |
| 429 | オナガ | 21 | | | | | | 1 | | | | | 21 | |
| 435 | ハシボソガラス | 18 | 16 | 18 | 16 | 3 | 3 | 12 | 7 | 4 | 6 | 11 | 13 | 18 |
| 436 | ハシブトガラス | 10 | 10 | 1 | 6 | 1 | | | 6 | 3 | 2 | 4 | 3 | 3 |
| 445 | シジュウカラ | 8 | 3 | 3 | 7 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | 4 | 1 | 2 |
| 457 | ツバメ | 16 | | | | 15 | 16 | 16 | 11 | 4 | 1 | | | |
| 459 | コシアカツバメ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 461 | イワツバメ | 90 | | | 12 | 42 | 80+ | 90± | 6 | | | 10 | | |
| 463 | ヒヨドリ | 46 | 19 | 7 | 14 | 13 | 5 | 14 | 10 | 5 | 9 | 46 | 35 | 20 |
| 464 | ウグイス | 12 | | 2 | 5 | 3 | 1 | 12 | 6 | 2 | | 1 | 3 | 4 |
| 485 | メジロ | 6 | 4 | 2 | 6 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 5 | 3 | 1 | 2 |
| 499 | セッカ | 11 | | | | | 8 | 5 | 4 | 11 | | | | |
| 506 | ムクドリ | 80 | 29 | 75+ | 58+ | 60+ | 70+ | 5 | 13 | 25 | 8 | 2 | 78 | 80+ |
| 525 | ツグミ | 28 | 20 | 28 | 14 | 6 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | 4 | 1 | 5 | | | | | | | | 4 | 4 |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 569 | スズメ | 56 | 35 | 56 | 47+ | 40+ | 40+ | 30+ | 40± | 28 | 48 | 19 | 40+ | 16 |
| 570 | イワミセキレイ | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 573 | キセキレイ | 6 | 3 | 5 | 3 | | 2 | 1 | | | | 2 | 1 | 6 |
| 574 | ハクセキレイ | 12 | 6 | 9 | 12 | 7 | 2 | 4 | 5 | 2 | 4 | 6 | 8 | 12 |
| 575 | セグロセキレイ | 21 | 21 | 17 | 15 | 10 | 8 | 6 | 9 | 4 | 4 | 11 | 19 | 15 |
| 584 | タヒバリ | 3 | 1 | 2 | | | | | | | | | | 3 |
| 587 | カワラヒワ | 60 | 48 | 25 | 13 | 12 | 1 | 6 | 1 | 3 | 23 | 11 | 31 | 60 |
| 592 | ベニマシコ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 610 | ホオジロ | 14 | 8 | 14 | 3 | 6 | 3 | 5 | 4 | 5 | | 1 | 1 | 5 |
| 617 | カシラダカ | 4 | 3 | 2 | 4 | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 9 | 4 | 9 | 8 | 4 | | | | | | | 1 | 3 |
| | 出現総羽数 | | 363 | 390 | 347 | 332 | 307 | 244 | 165 | 140 | 176 | 243 | 391 | 339 |
| | 種類数 | 48 | 33 | 34 | 31 | 30 | 30 | 24 | 20 | 23 | 22 | 27 | 30 | 29 |
| | 不明鳥-1 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 110 | 59 | 83+ | 64+ | 57 | 90+ | 100± | 110+ | 63 | 40+ | 100+ | 80+ | 100+ |
| 909 | ガビチョウ | 7 | | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 1 | 3 | 4 | 7 | |
| 420-1 | モズ♂ | 5 | 4 | | 2 | 3 | | | | 1 | | 4 | 5 | |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | | 2 | 1 | 2 | | | | 1 | | | 1 | |
| 420-4 | モズ不明 | 7 | 1 | | | 1 | | | | 1 | 2 | 7 | 2 | 1 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 3 | | | 3 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 3 | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | 3 | 2 |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース:5.浅川(大和田橋~長沼橋)

担当者氏名: 佐藤哲郎

調査者記号:サ 佐藤哲郎、Os 尾本聖子、Ok1 尾本琴美、Ok2 尾本果穂

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|
| | | | 1/14 | 2/2 | 3/4 | 4/2 | 5/2 | 6/4 | 7/3 | 8/6 | 9/6 | 10/2 | 11/7 | 12/5 |
| | | | 8:00 | 7:25 | 7:25 | 7:20 | 7:20 | 7:15 | 7:05 | 7:00 | 7:10 | 7:10 | 7:15 | 7:25 |
| | | | 11:00 | 10:15 | 10:10 | 10:25 | 10:10 | 10:00 | 9:50 | 9:40 | 9:45 | 9:55 | 10:10 | 10:15 |
| | | 晴 | 曇り | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 曇り | 曇り | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | |
| | | サ,Os,Ok1,Ok2 | サ | サ | サ | サ | サ | サ | サ | サ | サ | サ | サ | |
| 5 | キジ | 5 | 1 | | 1 | 4 | 5 | 5 | 3 | | | | 1 | 1 |
| 30 | マガモ | 5 | 1 | 5 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 32 | カルガモ | 18 | 8 | 6 | 11 | 18 | 7 | 5 | 13 | 9 | 5 | 2 | 5 | 3 |
| 38 | コガモ | 11 | 11 | 9 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | |
| 74 | キジバト | 17 | 17 | 10 | 9 | 11 | 6 | 6 | 5 | 4 | 3 | 7 | 4 | 10 |
| 127 | カワウ | 244 | 16 | 5 | 4 | 8 | 3 | 11 | 19 | 2 | 5 | 7 | 244 | 33 |
| 141 | ササゴイ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 144 | アオサギ | 6 | 4 | 4 | 5 | 5 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 6 | 3 | 4 |
| 146 | ダイサギ | 49 | 49 | 17 | 8 | 8 | 1 | 3 | 1 | 7 | 11 | 36 | 34 | 32 |
| 148 | コサギ | 4 | | 1 | 1 | 2 | | | | | 1 | 4 | 2 | |
| 174 | バン | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 175 | オオバン | 6 | 3 | 3 | 6 | 1 | | | | | | | 1 | 5 |
| 193 | ヒメアマツバメ | 3 | | | | | 3 | | | | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 5 | 5 | 3 | 1 | 2 | 2 | | 1 | 1 | | | 1 | |
| 203 | コチドリ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 244 | イソシギ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 342 | トビ | 2 | | | 2 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 1 |
| 383 | カワセミ | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 390 | コゲラ | 2 | | | | | | | | 1 | 2 | | | |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 |
| 420 | モズ | 7 | 2 | 1 | 7 | 3 | | 1 | | | | 5 | 3 | 3 |
| 429 | オナガ | 5 | | | | | | | | | 5 | 2 | | |
| 435 | ハシボソガラス | 15 | 12 | 14 | 13 | 9 | 8 | 6 | 8 | 6 | 8 | 7 | 11 | 15 |
| 436 | ハシブトガラス | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 3 |
| 445 | シジュウカラ | 9 | 9 | 8 | 5 | 8 | 3 | 7 | 6 | 3 | 2 | 1 | 3 | 6 |
| 457 | ツバメ | 13 | | | | 2 | 12 | 13 | 12 | 6 | 6 | | | |
| 461 | イワツバメ | 35 | | | | 19 | 35 | 27 | 16 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 35 | 23 | 11 | 12 | 14 | 6 | 8 | 9 | 14 | 8 | 25 | 17 | 35 |
| 464 | ウグイス | 7 | 2 | 1 | | 7 | 4 | 6 | 4 | 5 | | 2 | | 3 |
| 485 | メジロ | 7 | 2 | | 7 | 3 | 2 | 2 | 1 | | | | | 2 |
| 499 | セッカ | 6 | 1 | | | 1 | 3 | 6 | 6 | 5 | | | | |
| 506 | ムクドリ | 90 | 32 | 56 | 35 | 27 | 18 | 83+ | 90+ | 32 | 29 | 13 | 7 | 75+ |
| 525 | ツグミ | 14 | 9 | 14 | 4 | 1 | | | | | | | | 5 |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | 3 | | 5 | | | | | | | | 4 | 2 |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | |
| 569 | スズメ | 43 | 25 | 38 | 26 | 21 | 14 | 24 | 27 | 22 | 28 | 43 | 30+ | 24 |
| 573 | キセキレイ | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 574 | ハクセキレイ | 5 | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 | 2 | 4 | 4 |
| 575 | セグロセキレイ | 9 | 3 | 7 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 6 | 9 |
| 584 | タヒバリ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 587 | カワラヒワ | 106 | 41 | 106 | 40 | 9 | 3 | 1 | 2 | 3 | 5 | 2 | 11 | 21 |
| 592 | ベニマシコ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 600 | シメ | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 |
| 610 | ホオジロ | 8 | 5 | 4 | 4 | 8 | 1 | 7 | 5 | 6 | | 4 | 4 | 5 |
| 617 | カシラダカ | 2 | | 2 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 624 | アオジ | 14 | 9 | 12 | 14 | 11 | | | | | | | 2 | 3 |
| 628 | オオジュリン | 2 | | | | 2 | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | | 303 | 349 | 243 | 220 | 147 | 230 | 237 | 134 | 134 | 176 | 403 | 310 |
| | 種類数 | 49 | 31 | 32 | 33 | 34 | 26 | 25 | 24 | 21 | 19 | 22 | 27 | 29 |
| 901 | コジュケイ | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 25 | 6 | 11 | 16 | 5 | 9 | 14 | 25 | 20 | 14 | 10 | 21 | 13 |
| 909 | ガビチョウ | 2 | 2 | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 |
| 420-1 | モズ♂ | 4 | 2 | 1 | 4 | 2 | | 1 | | | | 4 | 3 | 2 |
| 420-2 | モズ♀ | 3 | | | 3 | 1 | | | | | | 1 | | 1 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 4 | 2 | | 4 | | | | | | | | 3 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 6.浅川(長沼橋~一番橋)

担当者氏名: 山崎悠一

調査者記号: 山崎悠一Y、山崎久美子y、

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | | 1/14 | 2/12 | 3/17 | 4/6 | 5/4 | 6/8 | 7/2 | 8/1 | 9/16 | 10/14 | 11/4 | 12/22 |
| | | | 8:00 11:45 晴 Y,y | 7:05 10:30 晴 Y,y | 8:20 11:45 晴 Y,y | 7:20 11:15 曇後晴 Y,y | 6:15 10:55 晴 Y,y | 6:15 9:40 晴 Y,y | 6:05 10:10 晴 Y,y | 5:45 9:35 晴 Y,y | 6:15 9:35 曇 Y,y | 6:55 10:55 晴 Y,y | 7:20 11:25 晴 Y,y | 7:40 11:10 晴 Y,y |
| 5 | キジ | 17 | | | 2 | 13 | 17 | 6 | 3 | | | 2 | 2 | |
| 32 | カルガモ | 27 | 17 | 11 | 10 | 27 | 25 | 21 | 23 | 21 | 22 | 3 | 24 | 17 |
| 38 | コガモ | 2 | | | | 2 | | | | | | | | |
| 46 | キンクロハジロ | 2 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 4 | 3 | | 2 | 2 | 3 | | 2 | 3 | | 2 | 4 | 1 |
| 74 | キジバト | 11 | 2 | 5 | 1 | 8 | 6 | 5 | 3 | 7 | 11 | 6 | 5 | 6 |
| 127 | カワウ | 74 | 7 | 3 | 5 | 11 | 11 | 1 | 5 | 46 | 3 | | 74 | 13 |
| 144 | アオサギ | 15 | 10 | 7 | 4 | 5 | 6 | 6 | 7 | 15 | 9 | 6 | 9 | 5 |
| 146 | ダイサギ | 49 | 21 | 18 | 16 | 19 | 10 | 5 | 7 | 49 | 16 | 5 | 38 | 27 |
| 148 | コサギ | 24 | | 1 | 2 | | 2 | | | 2 | 24 | 1 | 21 | |
| 174 | バン | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 195 | ケリ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 11 | | 9 | 4 | 10 | 11 | 3 | 1 | 1 | | 2 | | 1 |
| 203 | コチドリ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 219 | タンギ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 244 | イソシギ | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | | | |
| 342 | トビ | 2 | 1 | | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| 383 | カワセミ | 9 | 1 | 1 | 3 | 8 | 4 | 4 | 4 | 4 | 9 | 5 | 4 | 7 |
| 390 | コゲラ | 2 | | | 1 | | | | 2 | | | 1 | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 420 | モズ | 17 | 1 | | 1 | 3 | 2 | | | 1 | 8 | 17 | 7 | 2 |
| 429 | オナガ | 11 | | | | 11 | 2 | | 3 | 2 | | | | |
| 435 | ハシボソガラス | 21 | 21 | 11 | 13 | 13 | 8 | 11 | 7 | 9 | 21 | 14 | 11 | 16 |
| 436 | ハシブトガラス | 5 | 2 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | 3 | | 3 | | 5 |
| 445 | シジュウカラ | 7 | 3 | 2 | 3 | 4 | 7 | 4 | 7 | 2 | 3 | 5 | 1 | |
| 452 | ヒバリ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 457 | ツバメ | 27 | | | 5 | 26 | 19 | 27 | 26 | 8 | | | | |
| 459 | コシアカツバメ | 2 | | | | | 2 | | | | | | | |
| 461 | イワツバメ | 46 | | | 11 | 46 | 16 | 25 | 45 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 31 | 10 | 3 | 8 | 12 | 19 | 4 | 17 | 12 | 12 | 26 | 31 | 26 |
| 464 | ウグイス | 6 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 6 | 3 | | | | |
| 485 | メジロ | 3 | 1 | | 2 | | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | | |
| 492 | オオヨシキリ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 499 | セッカ | 13 | | | 1 | 2 | 13 | 7 | 7 | 6 | | | 1 | |
| 506 | ムクドリ | 76 | 28 | 16 | 27 | 31 | 16 | 76 | 11 | 3 | 58 | 56 | 37 | 61 |
| 525 | ツグミ | 13 | 11 | 5 | 6 | 13 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 6 | 1 | | | | | | | | | | 6 | 2 |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 569 | スズメ | 142 | 142 | 106 | 59 | 75 | 55 | 46 | 42 | 41 | 46 | 72 | 53 | 26 |
| 573 | キセキレイ | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| 574 | ハクセキレイ | 12 | 4 | 4 | 5 | 4 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 12 | 5 | 7 |
| 575 | セグロセキレイ | 18 | 12 | 15 | 18 | 12 | 4 | 6 | 6 | 5 | 8 | 5 | 10 | 14 |
| 584 | タヒバリ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 587 | カワラヒワ | 21 | 13 | 11 | 21 | 11 | 19 | 8 | 6 | 6 | 2 | 6 | 2 | 7 |
| 602 | イカル | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 15 | 3 | 4 | 12 | 15 | 8 | 6 | 14 | 12 | 3 | 6 | 11 | 1 |
| 624 | アオジ | 7 | 6 | 7 | 4 | 3 | | | | | | | 2 | 1 |
| 628 | オオジュリン | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | | 325 | 244 | 253 | 396 | 293 | 283 | 264 | 268 | 260 | 257 | 359 | 246 |
| | 種類数 | 48 | 27 | 22 | 32 | 32 | 30 | 25 | 30 | 26 | 18 | 23 | 23 | 21 |
| 901 | コジュケイ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 123 | 33 | 62 | 23 | 38 | 53 | 16 | 53 | 43 | 123 | 87 | 98 | 53 |
| 909 | ガビチョウ | 6 | 1 | | | 2 | 6 | 4 | 4 | 5 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 420-1 | モズ♂ | 9 | 1 | | | 2 | | | | | 4 | 9 | 6 | |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 2 | 1 | |
| 420-3 | モズ幼鳥 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 420-4 | モズ不明 | 6 | | | 1 | | | | | 1 | 3 | 6 | | 2 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 5 | | | | | | | | | | | 5 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 7-1. 浅川(一番橋~ふれあい橋)

担当者氏名: 玉木雅治

調査者記号: A:青木京子、O:大野清司、D:出口富子、Ty:對中義雄、Th:登坂久雄、S:佐藤洋一、H:浜田早苗、Hk:原田佳世、
K:小久保雅之、Ka:菅野桂子、T:玉木雅治

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------------------|-------------------|-------|---------|--------------|-------|-------|------|-------|---------|----------------|----------------|-------|
| | | | 1/14 | 2/7 | 3/5 | 4/3 | 5/8 | 6/5 | 7/10 | 8/7 | 9/6 | 10/11 | 11/6 | 12/4 |
| | | | 8:00 | 8:00 | 9:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 |
| | | | 11:10 | 11:00 | 11:00 | 10:20 | 10:40 | 10:40 | 9:40 | 10:00 | 10:40 | 10:50 | 10:30 | 10:25 |
| | | 晴れ | | 曇り | 曇り | 晴れ | 晴れ | 曇り | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 曇り | 晴れ | |
| | | A,O,D,T h,H,T | O,H,K,T y,Hk,T | T | O,D,H,T | O,Ty,D, T | K,D,T | O,T | O,T | O,T | O,S,D,T | O,K,Ka, D,T | O,K,Ka, D,T | |
| 5 | キジ | 9 | | 2 | 3 | 6 | 9 | 3 | 1 | 1 | | 6 | 2 | 3 |
| 28 | ヒドリガモ | 4 | | | | 4 | | | | | | | | |
| 30 | マガモ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 32 | カルガモ | 23 | | 15 | 4 | 13 | 5 | 17 | 19 | 19 | 6 | 3 | 5 | 23 |
| 34 | ハシビロガモ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 38 | コガモ | 23 | 10 | 23 | 6 | 6 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 4 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | | 2 | | 1 | 2 | 2 | 4 |
| 74 | キジバト | 8 | 6 | 6 | 5 | 6 | 5 | 3 | 7 | 8 | 7 | 3 | 5 | 4 |
| 127 | カワウ | 15 | 5 | 13 | 3 | 5 | 3 | 3 | 5 | 1 | 3 | 3 | 2 | 15 |
| 144 | アオサギ | 9 | 7 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 8 | 7 | 6 | 9 |
| 146 | ダイサギ | 18 | 18 | 11 | 5 | 7 | 3 | 1 | 3 | 8 | 17 | 9 | 11 | 16 |
| 147 | チュウサギ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 148 | コサギ | 39 | 24 | 39 | 4 | 2 | 1 | | | 1 | 6 | 1 | 5 | |
| 166 | クイナ | 3 | 2 | 3 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 174 | バン | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 175 | オオバン | 9 | 3 | 4 | | 4 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 9 |
| 192 | アマツバメ | 19 | | | | 4 | 15 | 19 | 11 | 12 | 6 | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 50 | | 13 | 50 | 13 | | 7 | | | 10 | 10 | 10 | 3 |
| 202 | イカルチドリ | 14 | 6 | 7 | 4 | 5 | 4 | 1 | 2 | 14 | 1 | 1 | | |
| 203 | コチドリ | 2 | | | | | | 1 | 2 | | | | | |
| 241 | キアシシギ | 7 | | | | | 7 | | | | | | | |
| 244 | イソシギ | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | | |
| 342 | トビ | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 354 | ツミ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 356 | オオタカ | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| 383 | カワセミ | 8 | 8 | 4 | 5 | 6 | 6 | 5 | 7 | 1 | 3 | 5 | 3 | 3 |
| 390 | コゲラ | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | | | |
| 420 | モズ | 17 | 9 | 7 | 3 | 3 | 1 | 1 | | | 7 | 17 | 9 | 8 |
| 429 | オナガ | 24 | 24 | | 7 | | | | | | | 1 | | |
| 435 | ハシボソガラス | 12 | 12 | 8 | 6 | 11 | 7 | 4 | 4 | 3 | 8 | 8 | 10 | 5 |
| 436 | ハシブトガラス | 27 | 5 | 3 | 2 | 2 | 3 | 4 | 3 | 2 | 3 | 4 | 27 | 6 |
| 445 | シジュウカラ | 8 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 8 | 4 | 5 | 1 | 4 | 1 | 1 |
| 457 | ツバメ | 22 | | | | 14 | 22 | 11 | 12 | 11 | 2 | | | |
| 459 | コシアカツバメ | 8 | | | | | | | | 8 | | | | |
| 461 | イワツバメ | 55 | | | 8 | 50 | 19 | 55 | 17 | 1 | 2 | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 260 | 55 | 21 | 18 | 19 | 15 | 15 | 11 | 9 | 12 | 260 | 27 | 43 |
| 464 | ウグイス | 5 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 1 | 5 | 5 | | 1 | 1 | 2 |
| 466 | エナガ | 10 | | 1 | 10 | | | 2 | | | | | | |
| 485 | メジロ | 6 | 5 | 6 | 4 | 5 | 2 | 2 | 4 | 2 | 3 | 2 | 2 | 4 |
| 492 | オオヨシキリ | 11 | | | | | 11 | 8 | 3 | | | | | |
| 499 | セッカ | 11 | | | | 3 | 11 | 9 | 6 | 10 | 4 | | | |
| 506 | ムクドリ | 62 | 11 | 21 | 33 | 55 | 62 | 54 | 15 | 7 | 9 | 58 | 13 | 17 |
| 525 | ツグミ | 18 | 18 | 9 | 4 | 2 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | | | | | | | 3 | 1 |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | | 1 | | | | | 1 | | |
| 569 | スズメ | 198 | 198 | 48 | 55 | 33 | 44 | 19 | 33 | 31 | 19 | 61 | 21 | 33 |
| 573 | キセキレイ | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | |
| 574 | ハクセキレイ | 6 | 3 | 4 | 5 | 4 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 6 | 6 |
| 575 | セグロセキレイ | 16 | 7 | 9 | 5 | 5 | 6 | 3 | 4 | 2 | 5 | 12 | 15 | 16 |
| 584 | タヒバリ | 3 | 1 | 3 | | | | | | | | | | |
| 587 | カワラヒワ | 45 | 21 | 44 | 21 | 7 | 13 | 6 | 22 | 16 | 4 | 16 | 33 | 45 |
| 610 | ホオジロ | 22 | 12 | 22 | 12 | 5 | 13 | 13 | 12 | 12 | 3 | 6 | 13 | 18 |
| 617 | カシラダカ | 38 | 10 | 38 | 5 | 6 | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 18 | 13 | 18 | 11 | 7 | 1 | | | | | | 4 | 8 |
| 628 | オオジュリン | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | | 509 | 421 | 316 | 326 | 305 | 278 | 222 | 198 | 159 | 508 | 241 | 303 |
| | 種類数 | 57 | 35 | 37 | 36 | 37 | 34 | 29 | 30 | 29 | 31 | 30 | 30 | 26 |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 15 | 9 | 3 | 2 | 5 | 6 | 6 | 8 | 15 | 9 | 6 | 6 | 3 |
| 909 | ガビチョウ | 5 | 5 | 1 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 4 | 2 | 1 | 2 | 2 |
| 420-1 | モズ♂ | 6 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 6 | 3 | 4 |
| 420-2 | モズ♀ | 7 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | | 7 | 3 | 1 |
| 420-3 | モズ幼鳥 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 6 | 3 | 1 | | 1 | | | | | 6 | 4 | 3 | 2 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | | 3 | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース:7-2.浅川(ふれあい橋~多摩川合流部)

担当者氏名:門口一雄

調査者記号:k門口一雄、kh門口裕子、O小川圭太、Ko倉本修、H原田佳代

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1/14 | 2/15 | 3/4 | 4/10 | 5/2 | 6/5 | 7/5 | 8/7 | 9/5 | 10/12 | 11/8 | 12/4 |
| | | | 8:00 | 9:00 | 8:45 | 8:50 | 8:50 | 8:50 | 6:40 | 7:35 | 7:30 | 8:15 | 8:00 | 8:30 |
| | | | 11:10 | 12:15 | 12:15 | 12:30 | 12:00 | 11:40 | 9:30 | 10:15 | 10:30 | 11:30 | 11:30 | 12:00 |
| | | | 晴 | 晴、後強風 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 曇後晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 |
| | | | k,O,Ko, H | k,kh | K,Kh | k、kh | k,kh | k,kh | k | k | k | k、kh | k、kh | k、kh |
| 5 | キジ | 8 | | | | 4 | 8 | 2 | 4 | | | | 2 | 1 |
| 32 | カルガモ | 18 | | 6 | | 13 | 6 | 7 | 9 | 18 | 2 | | 4 | |
| 38 | コガモ | 20 | | 10 | 20 | 1 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | 2 |
| 74 | キジバト | 19 | 9 | 5 | 4 | 7 | 8 | 4 | 7 | 5 | 5 | 19 | 6 | 1 |
| 127 | カワウ | 65 | 16 | 6 | 4 | 6 | 47 | 20 | 4 | 65 | 58 | 6 | 8 | 5 |
| 144 | アオサギ | 13 | 6 | 2 | 4 | 3 | 2 | 1 | 6 | 13 | 8 | 6 | 4 | 1 |
| 146 | ダイサギ | 37 | 34 | 31 | 6 | 10 | 8 | 1 | 4 | 18 | 12 | 14 | 37 | 5 |
| 148 | コサギ | 14 | 14 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | | |
| 175 | オオバン | 20 | 7 | 20 | 10 | | | | | | | | | 10 |
| 193 | ヒメアマツバメ | 4 | | | | | | | 4 | | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 10 | 10 | 2 | 2 | 2 | | 1 | 2 | 1 | | 2 | | |
| 203 | コチドリ | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 239 | クサシギ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 244 | イソシギ | 3 | 3 | | | | | | | 1 | | 1 | | |
| 339 | ミサゴ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 3 | | 1 | 1 | 5 | 2 | 2 |
| 354 | ツミ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 356 | オオタカ | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | |
| 358 | ノスリ | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 5 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 390 | コゲラ | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 2 | 2 | | 1 | 2 | 3 | 1 |
| 397 | アオゲラ | 2 | | 1 | | | | | 1 | 1 | 2 | | | |
| 420 | モズ | 11 | 6 | 7 | 4 | 2 | 1 | | | | 1 | 11 | 5 | 1 |
| 429 | オナガ | 6 | | 2 | | 5 | 2 | 4 | 5 | | 6 | | | |
| 435 | ハシボソガラス | 18 | 5 | 10 | 8 | 13 | 6 | 10 | 12 | 3 | 6 | 5 | 18 | 3 |
| 436 | ハシブトガラス | 12 | 5 | 3 | 4 | 2 | 7 | 3 | 3 | 2 | 2 | 12 | 7 | 3 |
| 442 | ヤマガラ | 2 | | | | | | | | | | 2 | | |
| 445 | シジュウカラ | 21 | 7 | 13 | 9 | 21 | 13 | 12 | 5 | 4 | 6 | 9 | 5 | 12 |
| 457 | ツバメ | 49 | | | | 17 | 49 | 26 | 24 | 26 | 9 | | | |
| 459 | コシアカツバメ | 90 | | | | | 7 | 3 | 4 | 1 | 2 | 90± | | |
| 461 | イワツバメ | 30 | | | | | 4 | | | | | 30 | | |
| 463 | ヒヨドリ | 81 | 34 | 10 | 8 | 6 | 30 | 17 | 21 | 16 | 14 | 81 | 69 | 41 |
| 464 | ウグイス | 14 | 3 | 2 | 8 | 12 | 14 | 14 | 11 | 9 | | 2 | 3 | 2 |
| 466 | エナガ | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | | 2 | | | | | | |
| 480 | センダイムシクイ | 2 | | | | | 2 | | | | | | | |
| 485 | メジロ | 22 | 8 | 16 | 15 | 2 | 6 | 15 | 9 | 4 | 3 | 22 | 6 | 4 |
| 492 | オオヨシキリ | 3 | | | | | 3 | 1 | | | | | | |
| 499 | セッカ | 12 | | | | | 12 | 10 | 8 | 5 | 2 | | | |
| 506 | ムクドリ | 154 | 154 | 13 | 13 | 9 | 21 | 36 | 20 | 8 | 1 | 20 | 110 | |
| 522 | アカハラ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 17 | 17 | 9 | 6 | 1 | | | | | | | | 1 |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | 5 | 3 | 4 | | | | | | | | 5 | |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 552 | エゾビタキ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 569 | スズメ | 42 | 30 | 15 | 10 | 12 | 13 | 11 | 13 | 12 | 42 | 14 | 10 | 2 |
| 573 | キセキレイ | 5 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | 2 | 5 | 1 |
| 574 | ハクセキレイ | 7 | 7 | 5 | 5 | | | 1 | 3 | | 2 | 1 | 3 | 4 |
| 575 | セグロセキレイ | 15 | 5 | 3 | 5 | 7 | 2 | 3 | 6 | 1 | 10 | 5 | 15 | 12 |
| 584 | タヒバリ | 3 | | 3 | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 587 | カワラヒワ | 72 | 24 | 33 | 17 | 9 | 14 | 3 | 10 | 2 | 7 | 3 | 72 | 14 |
| 600 | シメ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 17 | 12 | 17 | 11 | 7 | 3 | 6 | 3 | 8 | | 3 | 2 | 3 |
| 617 | カシラダカ | 2 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 5 | 5 | 4 | 1 | | | | | | | | | 2 |
| 628 | オオジュリン | 4 | | 2 | 4 | | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | 986 | 439 | 270 | 196 | 185 | 292 | 221 | 209 | 226 | 202 | 370 | 407 | 137 |
| | 種類数 | 57 | 32 | 37 | 33 | 32 | 28 | 29 | 30 | 24 | 24 | 27 | 26 | 27 |
| 901 | コジュケイ | 2 | | 1 | | 2 | | | | | 1 | 2 | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 22 | | 16 | 22 | 17 | 6 | 2 | 1 | 4 | 5 | 20 | | 4 |
| 909 | ガビチョウ | 30 | 2 | 1 | | 7 | 30 | 5 | 10 | 9 | 10 | 10 | 7 | |
| 420-1 | モズ♂ | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | | | | | | 3 | 2 | |
| 420-2 | モズ♀ | 4 | 2 | 4 | 2 | | | | | | | 2 | 1 | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 6 | 1 | 1 | | | 1 | | | | 1 | 6 | 2 | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 3 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 4 | 1 | 1 | | | | | | | | | 4 | |

2024年定期カウント報告

調査コース:8.川口川(川口橋~明治橋)

担当者氏名:対中義雄

調査者記号: 対中義雄 た、青木静子 あ、市橋ゆみ い、植田益夫 う、坂本良子 さ、氷渡トシ子 ひ、村田靖雄 む、森田弘文 も、
荻島伸介 お

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|--------|-------|--------|-------|----------|---------|-------|------|--------|------|--------|-------|-------|
| | | | 1/14 | 2/4 | 3/3 | 4/7 | 5/5 | 6/5 | 7/7 | 8/3 | 9/4 | 10/6 | 11/3 | 12/1 |
| | | | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 7:30 | 7:30 | 7:30 | 7:30 | 7:30 | 8:00 | 8:00 | 8:00 |
| | | | 10:45 | 10:45 | 10:25 | 10:20 | 9:55 | 10:00 | 9:45 | 9:40 | 9:35 | 9:50 | 10:10 | 11:00 |
| | | 晴れ | 小雨曇り | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 霧雨 | はれ | 晴れ |
| | | たいうさひも | たあうさひ | たあうさひむ | たあうさひ | たあうおさひむも | たあうさひむも | たあうひむ | たいさひ | たあうさひも | たうひも | たあうさひも | たあひむ | |
| 27 | ヨシガモ | 6 | 5 | 6 | 4 | | | | | | | | | |
| 30 | マガモ | 3 | 2 | 3 | 3 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 32 | カルガモ | 23 | 21 | 15 | 13 | 9 | 4 | 3 | 8 | 6 | 9 | 15 | 7 | 23 |
| 38 | コガモ | 14 | 10 | 11 | 12 | 13 | 1 | | | | | | 1 | 14 |
| 62 | カイツブリ | 7 | 4 | 4 | | 2 | 7 | 4 | 4 | 6 | 3 | 1 | 1 | 3 |
| 74 | キジバト | 23 | 7 | 20 | 7 | 5 | 23 | 8 | 8 | 13 | 17 | 17 | 2 | 14 |
| 127 | カワウ | 5 | 3 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 5 |
| 144 | アオサギ | 7 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | | 3 | 3 | 7 |
| 146 | ダイサギ | 6 | 5 | 2 | 3 | 1 | 4 | | | 2 | 1 | 6 | 3 | 4 |
| 148 | コサギ | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |
| 166 | クイナ | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 174 | バン | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 185 | ホトギス | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 203 | コチドリ | 2 | | | | | 2 | 2 | | | | | | |
| 342 | トビ | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | | 3 | 1 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 358 | ノスリ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 7 | 5 | 5 | 3 | 3 | 2 | 4 | 7 | 3 | 3 | 6 | 5 | 6 |
| 390 | コゲラ | 2 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | | 2 | 1 | | 1 |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| 420 | モズ | 5 | 1 | 4 | 4 | 5 | 4 | 2 | 1 | | 1 | 3 | 2 | 4 |
| 435 | ハシボソガラス | 12 | 5 | 6 | 4 | 5 | 7 | 10 | 8 | 6 | 12 | 12 | 12 | 11 |
| 436 | ハシブトガラス | 6 | 3 | 3 | 2 | 5 | 2 | 6 | 1 | 1 | | | | 3 |
| 442 | ヤマガラ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 445 | シジュウカラ | 10 | 2 | 7 | | 6 | 3 | 10 | 5 | 5 | 9 | 5 | 2 | 3 |
| 457 | ツバメ | 34 | | | | 15 | 23 | 33 | 34 | 8 | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 23 | 13 | 17 | 12 | 11 | 8 | 13 | 12 | 9 | 14 | 23 | 4 | 10 |
| 464 | ウグイス | 6 | 2 | 2 | 2 | 6 | 4 | 4 | 5 | 1 | 1 | | | 1 |
| 466 | エナガ | 24 | | 24 | | | | | | | | | | |
| 485 | メジロ | 14 | 7 | 9 | 14 | 12 | 2 | 4 | 6 | 2 | | 1 | 2 | 6 |
| 492 | オオヨシキリ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 506 | ムクドリ | 150 | 14 | 21 | 19 | 25 | 16 | 36 | 13 | 4 | 25 | 150 | 5 | 10 |
| 525 | ツグミ | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 2 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 569 | スズメ | 80 | 43 | 80 | 29 | 15 | 19 | 9 | 8 | 14 | 6 | 44 | 13 | 35 |
| 573 | キセキレイ | 3 | 1 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | 3 | 1 | 2 |
| 574 | ハクセキレイ | 5 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | 4 | 5 | 4 |
| 575 | セグロセキレイ | 6 | 6 | 2 | 1 | 1 | 4 | 2 | | 5 | 3 | 4 | 2 | 1 |
| 587 | カワラヒワ | 34 | 34 | 32 | 19 | 5 | 2 | 2 | 1 | 5 | 10 | 3 | 2 | 11 |
| 600 | シメ | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 50 | | 27 | | 50 | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 2 | | | 2 | | | | 1 | | | | | |
| 617 | カシラダカ | 23 | 9 | 23 | 2 | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 16 | 10 | 16 | 14 | | | | | | | | 1 | 3 |
| | 出現総羽数 | | 229 | 350 | 180 | 207 | 144 | 161 | 130 | 94 | 117 | 302 | 81 | 186 |
| | 種類数 | 44 | 33 | 31 | 29 | 27 | 25 | 23 | 21 | 18 | 16 | 19 | 24 | 27 |
| 901 | コジュケイ | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | |
| 909 | ガビチョウ | 9 | 1 | | | 6 | 5 | 4 | 1 | 4 | 4 | 9 | 2 | |
| 420-1 | モズ♂ | 3 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | | | | | 1 | 1 | 3 |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | | 2 | 2 | | 2 | 1 | | | | 1 | | 1 |
| 420-3 | モズ幼鳥 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 420-4 | モズ不明 | 2 | | | | 2 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 2 | | 2 | 2 | | | | | | | | | 2 |

| 第7版番号(新) | 月*日 開始時:分 終了時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---------------------------------------|---|--|---|---|--|--|--|---------------------------------|---|--|---|
| | | | 1/14 | 2/3 | 3/9 | 4/6 | 5/4 | 6/1 | 7/6 | 8/10 | 9/8 | 10/5 | 11/4 | 12/7 |
| | | | 晴残雪有 8:00 10:30 | 晴 8:10 10:05 | 晴れ 8:05 9:50 | 曇り 8:05 10:25 | 晴れ 8:07 10:00 | 晴れ 8:10 9:50 | 晴れ 8:08 9:35 | 晴れ 8:15 9:45 | 晴れ 8:10 9:40 | 晴れ 8:15 10:15 | 小雨 8:15 10:10 | 晴れ 8:10 10:10 |
| | | | 粕谷和夫、市村緑、植木裕子、栗原豊、佐藤恒子、田中裕二、星野光雄、目黒明子 | 17名:粕谷和夫、市村緑、植木裕子、海老沢、兼子裕行、栗原豊、作間廣志、佐藤恒子、佐藤光恵、佐藤光男、関邦義、関谷義、田中裕二、中村、畠山忠男、星野光雄、目黒明子、山崎久美子、会以外(湯村) | 14名:粕谷和夫、井上京子、市村緑、植木裕子、兼子裕行、栗原豊、坂本良子、作間廣志、関邦義、畠山忠男、星野光雄、目黒明子 | 11名:粕谷和夫、市村緑、海老沢、眞行、植木裕子、兼子裕行、栗原豊、佐藤恒子、関邦義、畠山忠男、星野光雄、目黒明子 | 16名:粕谷和夫、植木裕子、宇都宮信子、井上京子、海老沢眞行、大部すみ江、兼子裕行、栗原豊、坂本良子、作間廣志、佐藤恒子、畠山忠男、星野光雄、目黒明子 | 13名:粕谷和夫、市村緑、植木裕子、井上京子、兼子裕行、坂本良子、佐藤恒子、関邦義、関谷孝、高橋靖男、山崎久美子、会以外(湯村) | 粕谷和夫、植木裕子、栗原豊、佐藤恒子、中村桂果、畠山忠男、星野光雄、目黒明子、山崎久美子 | 12名:粕谷和夫、植木裕子、大部すみ江、尾本聖子、尾本琴美、兼子裕行、栗原豊、坂本良子、佐藤恒子、関谷孝、畠山忠男、目黒明子 | 6名:粕谷和夫、植木裕子、栗原豊、佐藤恒子、畠山忠男、星野光雄 | 10名:粕谷和夫、井上京子、兼子裕行、栗原豊、坂本良子、佐藤恒子、高橋靖男、畠山忠男、目黒明子 | 12名:粕谷和夫、井上京子、兼子裕行、栗原豊、佐藤恒子、関谷孝、对中義雄、高橋靖男、畠山忠男 | 16名:粕谷和夫、市村緑、井上京子、植木裕子、海老沢眞行、栗原豊、坂本良子、関邦義、高橋靖男、畠山忠男、星野光雄、目黒明子、体験(市村元、姜雅君)、会員外(湯村) |
| 5 | キジ | 3 | | | | 1 | 3 | | | | | | | 1 |
| 32 | カルガモ | 22 | 18 | 9 | 3 | 4 | 5 | 15 | 3 | 8 | 1 | 2 | 5 | 22 |
| 38 | コガモ | 55 | 38 | 45 | 55 | 41 | 11 | | | | | 3 | 8 | 22 |
| 62 | カイツブリ | 4 | 4 | 4 | | | | | | | | | | 1 |
| 74 | キジバト | 16 | 16 | 12 | 5 | 12 | 6 | 4 | 9 | 4 | 9 | 13 | 2 | 4 |
| 127 | カワウ | 7 | 7 | 3 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 3 | 7 |
| 144 | アオサギ | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 4 |
| 146 | ダイサギ | 5 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | | | | | 1 | 5 | 4 |
| 166 | クイナ | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | |
| 174 | バン | 4 | 4 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 175 | オオバン | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 2 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | 1 | 1 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 358 | ノスリ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 11 | 9 | 7 | 8 | 11 | 5 | 3 | 2 | 6 | 3 | 6 | 5 | 6 |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 420 | モズ | 4 | 3 | 2 | 4 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 |
| 435 | ハシボソガラス | 80 | 5 | 7 | 8 | 7 | 5 | 3 | 8 | 2 | 8 | 15 | 27 | 80 |
| 436 | ハシブトガラス | 18 | 4 | 3 | 18 | 10 | 5 | 5 | 3 | 1 | 2 | 10 | 5 | 15 |
| 445 | シジュウカラ | 10 | 4 | 4 | 4 | 8 | 6 | 7 | | 2 | | 6 | 1 | 10 |
| 457 | ツバメ | 23 | | | | 4 | 2 | 15 | 23 | 8 | 2 | | | |
| 461 | イワツバメ | 6 | | | | 5 | 6 | 3 | 5 | 2 | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 40 | 40 | 7 | 7 | 8 | 5 | 7 | 6 | 3 | 1 | 12 | 7 | 6 |
| 464 | ウグイス | 6 | | 1 | 2 | 6 | 5 | 5 | 3 | | | | | |
| 466 | エナガ | 6 | 3 | 1 | | | | | | | | | 6 | |
| 485 | メジロ | 7 | 5 | 5 | 6 | 1 | | 1 | | | | | 6 | 7 |
| 499 | セッカ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 506 | ムクドリ | 120 | 39 | 13 | 13 | 43 | 17 | 65 | 30 | 18 | 40 | 120 | 25 | 5 |
| 525 | ツグミ | 3 | 2 | 1 | 1 | 3 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 4 | 3 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | 4 | 4 |
| 549 | イソヒヨドリ | 2 | | | | | 2 | 1 | | 1 | | 2 | | |
| 569 | スズメ | 60 | 42 | 14 | 6 | 45 | 15 | 15 | 17 | 3 | 14 | 20 | 13 | 60 |
| 573 | キセキレイ | 6 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 6 | 1 | 1 | | 4 | 4 | 2 |
| 574 | ハクセキレイ | 6 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 6 | 1 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| 575 | セグロセキレイ | 5 | 3 | 5 | 1 | 1 | 2 | 3 | 3 | | 1 | 2 | | 3 |
| 587 | カワラヒワ | 30 | 30 | 11 | 2 | | | | 3 | 5 | | | | 9 |
| 610 | ホオジロ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 624 | アオジ | 8 | 8 | 8 | 7 | 8 | | | | | | | | 4 |
| | 出現総羽数 | | 296 | 179 | 168 | 235 | 107 | 162 | 125 | 68 | 88 | 220 | 140 | 280 |
| | 種類数 | 38 | 28 | 29 | 28 | 27 | 22 | 20 | 18 | 18 | 15 | 17 | 22 | 25 |
| 901 | コジュケイ | 4 | | | | | 2 | 2 | | 4 | | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 100 | 100 | | | 15 | | 2 | 3 | 7 | | | | |
| 909 | ガビチョウ | 4 | | | | 3 | 4 | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 | |
| 420-2 | モズ♂ | 2 | 2 | | 2 | 2 | | 1 | | | | 1 | 2 | |
| 420-3 | モズ♀ | 2 | | | 2 | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 420-4 | モズ幼鳥 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 420-5 | モズ不明 | 2 | 1 | 2 | | 1 | | | 1 | | | | 1 | |
| 540-2 | ジョウビタキ♂ | 2 | 3 | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 540-3 | ジョウビタキ♀ | 2 | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 540-4 | ジョウビタキ不明 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 10.多摩川(滝山下)

担当者氏名: 古山隆

調査者記号: FT(古山隆)

| 第7版番号(新) | 月*日 開始時:分 終了時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|----------|--|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|----|
| | | | 1/2 | 2/2 | 3/3 | 4/2 | 5/10 | 6/7 | 7/5 | 8/2 | 9/8 | 10/5 | 11/1 | 12/2 | |
| | | | 8:55 | 9:00 | 8:20 | 8:10 | 8:50 | 8:40 | 7:50 | 8:35 | 7:30 | 6:45 | 9:15 | 8:00 | |
| | | | 10:30 | 11:15 | 10:10 | 10:45 | 10:30 | 10:15 | 9:30 | 9:45 | 8:45 | 7:55 | 11:05 | 9:30 | |
| | | | | 曇 | 曇 | 快晴 | 快晴 | 快晴 | 曇 | 快晴 | 曇 | 晴 | 曇 | 晴 | 快晴 |
| | | | | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT | FT |
| 5 | キジ | 1 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| 26 | オカヨシガモ | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | マガモ | 30 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 32 | カルガモ | 40 | | | | | | | | | | | | 19 | |
| 38 | コガモ | 10 | | | | | | | | | | | | | |
| 42 | ホシハジロ | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 47 | スズガモ | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 58 | ミコアイサ | 3 | | | | | | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 5 | 5 | 2 | 1 | 3 | | | | 1 | 1 | | | 5 | 2 |
| 74 | キジバト | 8 | 1 | 8 | 1 | 2 | | 1 | 5 | 2 | 7 | 8 | | 2 | 3 |
| 127 | カワウ | 30 | 14 | 23 | 22 | 8 | 4 | 30 | 13 | 9 | 4 | 13 | 14 | 14 | 11 |
| 144 | アオサギ | 13 | 2 | 13 | 4 | 4 | 5 | 2 | 1 | 2 | 6 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| 146 | ダイサギ | 4 | 4 | 4 | 3 | 2 | | | | 4 | | | | | 1 |
| 147 | チュウサギ | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | |
| 175 | オオバン | 12 | 1 | | | | | | | | | | | 5 | 12 |
| 185 | ホトギス | 2 | | | | | | | 2 | 1 | 2 | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 4 | 1 | 3 | 1 | | | | 2 | 4 | 1 | 1 | | | |
| 239 | クサシギ | 3 | | | | | | | | | | | | 3 | |
| 244 | イソシギ | 3 | | | | | | | | 3 | | 2 | 2 | 1 | |
| 339 | ミサゴ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 342 | トビ | 3 | | | | | | | | | | | | 2 | 1 |
| 355 | ハイタカ | 2 | | | | | | 2 | 3 | | | | 2 | 2 | |
| 356 | オオタカ | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | |
| 358 | ノスリ | 2 | | | | | | | | | | | | 2 | |
| 372 | フクロウ | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 383 | カワセミ | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 390 | コゲラ | 2 | 1 | 2 | 2 | | | | 1 | 2 | 1 | | | 1 | |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 407 | ハヤブサ | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 420 | モズ | 4 | 3 | | | | | | | | | | | | |
| 427 | カケス | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 429 | オナガ | 5 | | | | | | | | | | | | 1 | 5 |
| 435 | ハシボンガラス | 63 | 14 | 14 | 14 | 32 | 63 | 13 | 2 | 10 | 7 | 1 | 5 | 5 | 12 |
| 436 | ハシブトガラス | 27 | 2 | 21 | 27 | 7 | 3 | 1 | 4 | 4 | 2 | 6 | 7 | 7 | 3 |
| 445 | シジュウカラ | 8 | 6 | 8 | 5 | 3 | 5 | 8 | 3 | 4 | | | | 1 | 3 |
| 452 | ヒバリ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 457 | ツバメ | 2 | | | | | | | 1 | 2 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 43 | 20 | 6 | 2 | 4 | 7 | 13 | 12 | 6 | 9 | 43 | 18 | 15 | 15 |
| 464 | ウグイス | 17 | 5 | 3 | 12 | 17 | 14 | 15 | 13 | 14 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 466 | エナガ | 11 | 10 | 11 | | | | | | | | | | | 1 |
| 485 | メジロ | 9 | 8 | 4 | 9 | 7 | 4 | 7 | 9 | 5 | 7 | 4 | 7 | 7 | 6 |
| 492 | オオヨシキリ | 9 | | | | | | | 7 | 9 | 4 | | | | |
| 499 | セッカ | 4 | | | | | | | 4 | 2 | 3 | 2 | | | |
| 506 | ムクドリ | 105 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 23 | 5 | 10 | 10 | 23 | | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 4 |
| 569 | スズメ | 50 | 20 | 50 | 3 | 7 | 4 | 13 | | 2 | 10 | 5 | 6 | 6 | 2 |
| 573 | キセキレイ | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 574 | ハクセキレイ | 5 | 2 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 5 | 3 | 4 | 4 | 2 |
| 575 | セグロセキレイ | 5 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | | 2 | 3 | 3 | 5 | 5 | 4 | 4 |
| 587 | カワラヒワ | 19 | 19 | 19 | 3 | 1 | | | 2 | | | | | 8 | 6 |
| 592 | ベニマシコ | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 600 | シメ | 9 | 9 | 3 | 2 | | | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 8 | 3 | 8 | 6 | 7 | 2 | | 4 | 2 | 4 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 617 | カシラダカ | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 624 | アオジ | 12 | 5 | 12 | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | 3 |
| 625 | クロジ | 4 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 628 | オオジュリン | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | 653 | 173 | 249 | 234 | 151 | 157 | 141 | 107 | 87 | 79 | 216 | 147 | 112 | |
| | 種類数 | 60 | 32 | 34 | 34 | 27 | 24 | 23 | 27 | 20 | 19 | 20 | 34 | 30 | |
| | 不明鳥 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 901 | コジュケイ | 5 | 1 | | | | | | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 15 | | | | | | | | | | 7 | 1 | | |
| 909 | ガビチョウ | 10 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | |
| 420-1 | モズ♂ | 3 | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | |
| 420-4 | モズ不明 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 3 | | | | | | | | | | | | 3 | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 11. 多摩川(谷地川合流部付近)

担当者氏名: 小川圭太

調査者記号: A=浅野恵美子、D=出口富子、F=福本健、H=浜田早苗、H2=畠山嘉郎、H3=平賀甫 K=神谷古牧、K2=菅野桂子、K3=小塩菊子、K4=粕谷和夫、K5=河田徳子、K6=久保山嘉男、M=武藤邦子、M2=村田靖雄、N=中村后子、S2=佐藤サヨ子、F1=藤田淳子、Y2=山沢良雄、O=小川圭太、O1=萩島伸介、S3=佐藤哲郎、T=高梨規子、T2=対中義雄、W2=渡辺正樹、M3=森田公子、U=植木裕子、U2=宇都宮信子、A3=青木京子、I=岩崎和代、I2=井上京子、S4=坂本良子、Y=山崎久美子、I3=井川麻利子、I4=井川志織子(ジュニアクラブ)、H3=原田佳世、O2=大部すみ江

| 第7版番号(新) | 月*日 開始時:分 終了時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---------|-----------------------|------------------------|---------------------|------------------|--------------------|----------|----------|----------|-------------------|------------------|--------|
| | | | 1/4 | 2/3 | 3/2 | 4/6 | 5/3 | 6/1 | 7/6 | 8/3 | 9/7 | 10/6 | 11/4 | 12/6 |
| | | | 8:00 | 7:50 | 7:45 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 7:55 | 7:50 | 7:50 | 8:00 | 7:55 | 8:00 |
| | | | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 曇り | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 雨のち曇り | 晴れ | 晴れ |
| | | | O,S4,O2 | O,A,H,F,O 1,H3,I,M | O,A,H,H3,I, K2,M,S4 | O,A,D,F,H,I M,S4 | O,D,F,I,K5, M | O,A,H3,K2, K5,M | O,I,H3,M | O,A,K2,M | O,I,K2,M | O,O2,K2,D, H,M | O,O2,H,S4, U2 | O,I,K5 |
| 5 | キジ | 6 | 1 | | | 6 | 4 | | 2 | | | 1 | 1 | |
| 10 | マガン | 4 | | | | | | 4 | | | | | | |
| 26 | オカヨシガモ | 42 | 34 | 8 | 42 | 2 | | | | | | | | 4 |
| 28 | ヒドリガモ | 3 | | | 3 | 2 | | | | | | | | 2 |
| 30 | マガモ | 30 | 28 | 30 | 11 | 1 | | | | | | | 3 | 10 |
| 32 | カルガモ | 29 | 7 | 15 | 10 | 16 | 12 | 14 | 6 | 22 | 6 | 8 | 11 | 29 |
| 34 | ハンビロガモ | 9 | | 9 | 7 | 3 | | | | | | | | 4 |
| 38 | コガモ | 62 | 62 | 39 | 49 | 4 | 17 | | | | | 16 | 1 | 51 |
| 42 | ホシハジロ | 3 | | 1 | 3 | | | | | | | | | |
| 46 | キンクロハジロ | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 9 | 7 | 9 | 2 | 4 | 1 | | | | 1 | 1 | 3 | 7 |
| 64 | カンムリカイツブリ | 3 | | 3 | 3 | 2 | | | | | | | | |
| 74 | キジバト | 10 | 4 | 5 | 3 | 4 | 1 | 2 | 5 | 3 | 10 | 7 | 2 | 7 |
| 127 | カワウ | 139 | 14 | 32 | 20 | 7 | 139 | 95 | 15 | 10 | 6 | 5 | 48 | 8 |
| 144 | アオサギ | 10 | 5 | 10 | | 3 | 4 | 5 | 5 | 8 | 2 | 8 | 8 | 4 |
| 146 | ダイサギ | 37 | 5 | 37 | 21 | 4 | 26 | 2 | | 4 | 6 | 34 | 16 | 13 |
| 148 | コサギ | 2 | | | 2 | | | | | | | | | 2 |
| 174 | バン | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 175 | オオバン | 32 | 25 | 32 | 30 | 15 | 14 | | | | | | 2 | 21 |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 192 | アマツバメ | 15 | | | | 15 | | | | | | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 40 | | 10 | 40 | 4 | | | | | | | | |
| 202 | イカルチドリ | 2 | 1 | 2 | | 1 | | | | 2 | 1 | | | 1 |
| 203 | コチドリ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 244 | イソシギ | 4 | | 1 | 1 | 1 | | | 2 | 3 | | 4 | 2 | 3 |
| 339 | ミサゴ | 4 | 2 | 4 | 2 | 1 | | | | | | | 2 | |
| 342 | トビ | 5 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 1 | 1 | | | | | 3 |
| 355 | ハイタカ | 2 | | 2 | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 356 | オオタカ | 3 | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | 1 | 1 |
| 357 | サシバ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 358 | ノスリ | 2 | 1 | 2 | 2 | | | | | | | | | 1 |
| 383 | カワセミ | 3 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 3 | 2 |
| 390 | コゲラ | 2 | | 1 | | 2 | | | | | 1 | | 1 | |
| 393 | アカゲラ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 407 | ハヤブサ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 420 | モズ | 9 | 3 | 5 | 2 | 2 | | | 1 | | | 7 | 9 | 1 |
| 429 | オナガ | 4 | | 2 | | | | | 4 | 4 | | 1 | | |
| 435 | ハシボソガラス | 14 | 11 | 7 | 8 | 7 | 8 | 4 | 4 | 1 | 3 | 14 | 12 | 4 |
| 436 | ハシトガラス | 5 | | | 2 | 1 | 5 | 3 | 1 | | | 1 | | |
| 445 | シジュウカラ | 14 | 2 | 14 | 12 | 10 | 7 | 3 | 6 | 2 | 4 | 6 | 3 | |
| 457 | ツバメ | 29 | | | | 12 | 11 | 16 | 29 | 12 | 7 | | 1 | |
| 459 | コシアカツバメ | 17 | | | | 1 | | | 9 | 2 | 17 | | | |
| 461 | イワツバメ | 14 | | | | 14 | 3 | 2 | | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 42 | 13 | 5 | 5 | 10 | 42 | 11 | 13 | 8 | 4 | 23 | 12 | 11 |
| 464 | ウグイス | 25 | | 3 | 12 | 25 | 20 | 25 | 24 | 15 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 466 | エナガ | 8 | 6 | 6 | | | 1 | 5 | 6 | | | | 8 | |
| 485 | メジロ | 5 | 4 | 5 | 2 | 3 | 1 | 3 | 2 | | 4 | 1 | 5 | 2 |
| 492 | オオヨシキリ | 24 | | | | | 11 | 24 | 11 | 1 | 1 | | | |
| 499 | セッカ | 10 | | | | 3 | 9 | 10 | 9 | 7 | 2 | | | |
| 506 | ムクドリ | 112 | 12 | 51 | 17 | 14 | 20 | 33 | 32 | 6 | 6 | 112 | 4 | 33 |
| 522 | アカハラ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 14 | 3 | 11 | 4 | 14 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 10 | | 10 | 2 | | | | | | | | 7 | 3 |
| 542 | ノビタキ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 549 | イソヒヨドリ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 569 | スズメ | 61 | 61 | 20 | 10 | 7 | 15 | 22 | 23 | 32 | 18 | 38 | 60 | 24 |
| 573 | キセキレイ | 5 | 3 | 3 | | 1 | | | | | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 574 | ハクセキレイ | 17 | 15 | 10 | 17 | 3 | 1 | 3 | | | 9 | 6 | 5 | 17 |
| 575 | セグロセキレイ | 7 | 7 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | | 2 | 5 | 1 |
| 584 | タヒバリ | 4 | 1 | 4 | 1 | | | | | | | | 4 | 1 |
| 587 | カワラヒワ | 57 | 1 | 4 | 9 | 35 | | 1 | 1 | 1 | 4 | 14 | 18 | 57 |
| 592 | ベニマシコ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 600 | シメ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 23 | 5 | 11 | 23 | 15 | 8 | 2 | 8 | 3 | | 2 | 6 | 7 |
| 617 | カシラダカ | 3 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | 1 | |
| 624 | アオジ | 6 | 6 | 3 | | 5 | | | | | | | 1 | 2 |
| 628 | オオジュリン | 5 | | | | 5 | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | | 356 | 440 | 391 | 299 | 390 | 299 | 223 | 147 | 117 | 323 | 271 | 339 |
| | 種類数 | 68 | 33 | 45 | 40 | 47 | 29 | 27 | 26 | 21 | 25 | 27 | 34 | 35 |
| 901 | コジュケイ | 4 | 1 | | 1 | 2 | 2 | 1 | 4 | 1 | | | | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 30 | 1 | 15 | 30 | 3 | 3 | 1 | 21 | 13 | | | | 8 |
| 909 | ガビチョウ | 7 | 2 | 4 | 1 | 3 | 7 | 6 | 1 | 3 | 6 | 6 | 5 | 2 |
| 420-1 | モズ♂ | 4 | | 3 | 2 | 1 | | | | | | 3 | 4 | |
| 420-2 | モズ♀ | 2 | 2 | 2 | | 1 | | | | | | 1 | 2 | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 3 | 1 | | | | | | 1 | | | 3 | 3 | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 5 | | 5 | 1 | | | | | | | | 3 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 5 | | 5 | | | | | | | | | 4 | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 2 | | | 1 | | | | | | | | | 2 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 12.多摩川(万願寺・浅川合流部) 担当者氏名: 馬場隆進、馬場啓子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|-------------------------------|---------------------|--------------------------|-------------------------------|-----------|-------------------------------|----------------|---------------------|---------------------|--------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| | | | 1/8 | 2/5 | 3/4 | 4/1 | 5/14 | 6/3 | 7/1 | 8/5 | 9/2 | 10/7 | 11/4 | 12/2 |
| | | | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 | 8:30 |
| | | | 11:30 | 11:30 | 11:30 | 11:30 | 11:15 | 11:30 | 11:00 | 11:20 | 11:45 | 11:50 | 11:35 | 11:40 |
| | | | 快晴 | 曇り | 晴れ | 曇り | 曇後晴 | 晴れ | 曇後雨 | 晴れ | 晴れ | 曇時々晴 | 晴れ | 晴れ |
| | | | 馬場隆進、馬場啓子、加藤岸男、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、木澤隆雄、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子、安原啓行 | 馬場隆進、馬場啓子 | 馬場隆進、馬場啓子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子、安原啓行 | 馬場隆進、馬場啓子、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、武藤邦子、安原啓行 | 馬場隆進、馬場啓子、菅野桂子、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子 | 馬場隆進、馬場啓子、井上京子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子、安原啓行 | 馬場隆進、馬場啓子、井上京子、菅野桂子、木澤隆雄、武藤邦子、安原啓行 |
| 5 | キジ | 6 | 1 | | | 6 | 5 | 4 | 1 | | 4 | | 1 | 2 |
| 26 | オカヨシガモ | 4 | | | 4 | | | | | | | | | |
| 30 | マガモ | 3 | | 3 | 2 | | | | | | | | 2 | |
| 32 | カルガモ | 19 | | 19 | | 5 | 4 | 5 | 2 | 6 | 1 | 2 | | |
| 38 | コガモ | 27 | 27 | 5 | 24 | 8 | | | | | | | | |
| 62 | カイツブリ | 9 | 5 | 9 | 9 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 64 | カンムリカイツブリ | 2 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 74 | キジバト | 18 | 6 | 8 | 7 | 18 | 2 | 5 | | 2 | 4 | | 1 | 1 |
| 127 | カワウ | 275 | 51 | 31 | 32 | 12 | 4 | 12 | 53 | 5 | 13 | 4 | 275 | 2 |
| 144 | アオサギ | 6 | 6 | 2 | 4 | 3 | 3 | 2 | 6 | 4 | 3 | 5 | 3 | 3 |
| 146 | ダイサギ | 225 | 225+ | 6 | 6 | 5 | 1 | 3 | 7 | 15 | 3 | 6 | 5 | 2 |
| 147 | チュウサギ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 148 | コサギ | 76 | 4 | | 76 | 2 | | | 5 | | | | | |
| 174 | バン | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | |
| 175 | オオバン | 45 | 29 | 35 | 31 | 45 | | | | | | | 2 | 28 |
| 193 | ヒメアマツバメ | 9 | | | | | | 9 | | | | 6 | 1 | |
| 339 | ミサゴ | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | |
| 342 | トビ | 4 | 2 | 1 | 4 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 |
| 355 | ハイタカ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 356 | オオタカ | 2 | 1 | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | |
| 357 | サンバ | 2 | | | | | | | | | | 2 | | |
| 358 | ノスリ | 3 | | 2 | 3 | | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 3 | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | 3 | 3 |
| 390 | コゲラ | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | | 1 | 2 | | | 2 | | |
| 397 | アオゲラ | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 401 | チョウゲンボウ | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 |
| 420 | モズ | 8 | 3 | 3 | 3 | | | | | | | 8 | 6 | 4 |
| 429 | オナガ | 7 | | | | 7 | 5 | | | 2 | | | | |
| 435 | ハンボンガラス | 7 | 3 | 5 | 7 | 2 | 5 | 4 | 7 | 1 | 2 | 3 | 3 | 4 |
| 436 | ハシトガラス | 4 | 2 | 2 | 3 | 4 | | 4 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| 445 | シジュウカラ | 15 | 11 | 13 | 15 | 12 | 4 | 8 | 6 | | 2 | 2 | 13 | 4 |
| 452 | ヒバリ | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 457 | ツバメ | 20 | | | | 7 | 7 | 8 | 20 | 9 | 11 | | | |
| 459 | コシアカツバメ | 20 | | | | | | 3 | | | | 20 | | |
| 461 | イワツバメ | 7 | | | 1 | | | 4 | | | 7 | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 142 | 17 | 9 | 11 | 27 | 12 | 11 | 5 | 4 | 6 | 142 | 23 | 26 |
| 464 | ウグイス | 8 | 2 | 5 | 5 | 5 | 5 | 7 | 8 | 2 | | | 3 | 3 |
| 466 | エナガ | 10 | 3 | 10 | 2 | 4 | 2 | | | | | 2 | 10 | |
| 485 | メジロ | 18 | 18 | 2 | 2 | | 4 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 9 | 11 |
| 492 | オオヨシキリ | 6 | | | | | 3 | 6 | | | | | | |
| 499 | セッカ | 7 | | | 1 | 3 | 6 | 7 | 7 | 4 | 2 | | | |
| 506 | ムクドリ | 85 | 12 | 4 | 28 | 22 | 28 | 85 | 22 | | 1 | 11 | 22 | 15 |
| 521 | シロハラ | 3 | 3 | 1 | | | | | | | | | | |
| 522 | アカハラ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 27 | 23 | 14 | 11 | 27 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | | 1 | 1 | | | | | | | | 5 | 1 |
| 549 | インヒヨドリ | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | | |
| 558 | キビタキ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 569 | スズメ | 37 | 2 | 2 | 11 | | 6 | 9 | 8 | 9 | 4 | 6 | 16 | 37 |
| 573 | キセキレイ | 3 | | | | | | | | | | 3 | | 3 |
| 574 | ハクセキレイ | 16 | 6 | 9 | 8 | 4 | 4 | 6 | 5 | 16 | 12 | 5 | 10 | 12 |
| 575 | セグロセキレイ | 9 | 4 | 6 | 2 | 3 | 1 | | 5 | 1 | | 3 | 9 | 4 |
| 584 | タヒバリ | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | | | |
| 586 | アトリ | 22 | 22 | | | | | | | | | | | |
| 587 | カラヒワ | 37 | | 5 | 4 | 3 | 2 | 4 | | | | | 33 | 37 |
| 600 | シメ | 7 | 6 | 7 | 3 | 3 | | | | | | | | |
| 610 | ホオジロ | 7 | | | 5 | 4 | 3 | 6 | 7 | 5 | | | 5 | 3 |
| 617 | カシラダカ | 4 | 4 | | | | | | | | | | | 3 |
| 624 | アオジ | 4 | 4 | | 1 | | | | | | | | 3 | 3 |
| | 出現総羽数 | | 510 | 228 | 331 | 249 | 122 | 217 | 183 | 92 | 82 | 241 | 471 | 221 |
| | 種類数 | 59 | 35 | 33 | 36 | 30 | 26 | 26 | 22 | 19 | 20 | 24 | 27 | 28 |
| 901 | コジュケイ | 1 | | | | 1 | | | | 1 | | | | |
| 903 | カラバト(ドバト) | 125 | 39 | 53 | 8 | 34 | 15 | 17 | 12 | 21 | 16 | 125 | 116 | 66 |
| 909 | ガビチョウ | 7 | 4 | 4 | 6 | 7 | 4 | 5 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | 2 | 1 | |
| 420-2 | モズ♀ | 4 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 | 1 | 3 |
| 420-4 | モズ不明 | 4 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | 2 | 4 | 1 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 4 | | | 1 | | | | | | | | 4 | 1 |

2024年定期カウント報告

調査コース: 13.小宮公園

担当者氏名: 木澤隆雄(3月まで)、井上京子(4月以降)

調査者記号: 青木京子ak、青木静子as、市村緑im、井上京子ik、植木裕子uy、大石茂雄os、荻島伸介os、菅野桂子kk、木澤隆雄kt、田中博之th、坂本良子sr、長者原惠美子te、増田文子mh、武藤邦子mk、村田靖男my、渡辺正樹wm、栗原豊ky、目黒明子ma、兼子裕行kh、大部すみえos、加藤岸男kk、宇都宮信子un

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|--|--|---|---|------------------------------------|--|---------------------------------|---------------------------------|---|------------------------------------|---|---|
| | | | 1/11 | 2/15 | 3/14 | 4/11 | 5/9 | 6/13 | 7/11 | 8/8 | 9/12 | 10/10 | 11/14 | 12/12 |
| | | | 8:40 11:15 曇り | 8:40 11:30 晴れ | 8:40 11:15 快晴 | 8:40 11:25 晴 | 8:40 11:00 曇り | 8:40 11:25 晴 | 8:40 10:40 曇り | 8:40 10:40 晴 | 8:40 11:10 晴 | 8:40 11:20 曇り | 8:40 11:25 晴 | 8:40 11:05 晴 |
| | | | as,ik,uy,o s,os,kt,th .sy,te,ma a,muk,my wtm | ak,as,im,i k,uy,os,kt .th,sy,te, maa,my | im,ik,uy,o sg,os,kt,s y,th,te,m aa,wtm | ak,uy,os, kt,sr,mh, ms,mh,m a,wm,ik, | as,uy,os, kt,ky,th,t e,me,ik | as,os,os, kh,kt,sr,t h,te,mh, ma,ik | as,os,sr,t h,te,mh, ma,ik | as,os,kh, kk,kt,sr, mh,ik | as,uy,os, os,kh,kk, kt,sr,th,t e,mh,ik | uy,os,kh, kt,sr,th,t e,mh,ik | im,uy,os, kh,kk,kt,t h,te,mh, mk,ma,ik | im,un,os, kh,kk,kt,t h,te,mh,i k |
| 5 | キジ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 32 | カルガモ | 7 | | | | 1 | 7 | | | | | 2 | 1 | |
| 38 | コガモ | 3 | | | | | | | | | | 1 | 3 | |
| 74 | キジバト | 11 | 11 | 5 | 3 | 4 | 6 | 1 | 4 | 2 | 4 | 3 | | 1 |
| 78 | アオバト | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 146 | ダイサギ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 192 | アマツバメ | 2 | | | | | 1 | | 2 | | | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 2 | | | | 2 | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 2 | | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| 355 | ハイタカ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | 1 |
| 356 | オオタカ | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | |
| 358 | ノスリ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 390 | コゲラ | 12 | 3 | 6 | 6 | 6 | 1 | 12 | 9 | 1 | 5 | 6 | 9 | 3 |
| 397 | アオゲラ | 4 | | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | | 2 | 2 | 1 | 2 | |
| 420 | モズ | 4 | 4 | 2 | | | | | | | | 2 | 3 | 1 |
| 427 | カケス | 4 | | | | | | | | | | 4 | | |
| 435 | ハシボソガラス | 36 | 15 | 11 | 5 | 13 | 12 | 36 | 13 | 16 | 20 | 13 | 19 | 9 |
| 436 | ハシトガラス | 23 | 14 | 6 | 2 | 17 | 2 | 2 | 18 | 15 | 23 | 6 | 6 | 4 |
| 442 | ヤマガラ | 7 | 3 | 7 | 1 | 2 | | 5 | | | 6 | 7 | 7 | 7 |
| 445 | シジュウカラ | 23 | 2 | 17 | 8 | 16 | 6 | 23 | 6 | 2 | 8 | 8 | 18 | 5 |
| 457 | ツバメ | 20 | | | | 6 | 20 | 7 | 17 | | | | | |
| 461 | イワツバメ | 7 | | | | 7 | | | | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 50 | 15 | 18 | 13 | 50 | 38 | 32 | 33 | 10 | 12 | 36+ | 36 | 26 |
| 464 | ウグイス | 27 | 2 | 3 | 5 | 10 | 6 | 27 | 7 | 6 | | | 7 | 4 |
| 466 | エナガ | 25 | 10 | 13 | 2 | 14 | 5 | | | 10 | 3 | 5 | 25 | 3 |
| 485 | メジロ | 31 | 13 | 9 | 2 | 31 | 6 | 25 | 25 | 22 | 18 | 4 | 14 | 13 |
| 504 | ミンサザイ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 506 | ムクドリ | 120 | 70+ | 32 | 25 | 14 | 24 | 120 | 29 | | | 7 | 1 | 13 |
| 521 | シロハラ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 525 | ツグミ | 38 | 38 | 14 | 12 | 3 | | | | | | | 1 | |
| 536 | ルリビタキ | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540 | ジョウビタキ | 5 | 1 | 2 | 4 | | | | | | | | 5 | 2 |
| 552 | エソビタキ | 4 | | | | | | | | | | 4 | | |
| 554 | コサメビタキ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 558 | キビタキ | 7 | | | | | 2 | 3 | | | | 7 | | |
| 569 | スズメ | 10 | 5 | | 7 | 3 | 6 | 6 | 3 | 10 | 1 | | 1 | |
| 574 | ハクセキレイ | 6 | | | 1 | 2 | 2 | | | | 3 | 1 | 6 | 3 |
| 587 | カワラヒワ | 43 | 21 | 1 | 17 | 4 | 13 | 23 | 7 | 25 | 43 | | 8 | 8 |
| 600 | シメ | 10 | 10 | 2 | 3 | 1 | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 35 | 2 | 17 | 20 | 7 | 6 | 35 | | | | 12 | | |
| 610 | ホオジロ | 4 | | 3 | 1 | 1 | | 4 | 2 | 3 | 2 | | 2 | |
| 617 | カシラダカ | 11 | 11 | 1 | 10 | | | | | | | | | 9 |
| 624 | アオジ | 4 | 3 | 4 | 2 | 3 | | | | | | | 2 | 2 |
| | 出現総羽数 | | 256 | 178 | 153 | 222 | 166 | 366 | 176 | 124 | 152 | 130 | 179 | 117 |
| | 種類数 | 45 | 22 | 24 | 25 | 25 | 21 | 20 | 15 | 13 | 16 | 20 | 23 | 21 |
| | 不明鳥 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 901 | コジュケイ | 16 | 16 | 4 | 4 | 6 | 8 | 6 | 3 | 5 | 2 | | 4 | 2 |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 73 | 4 | 8 | 3 | 6 | 6 | 2 | 8 | | 3 | 73 | | 15 |
| 909 | ガビチョウ | 21 | 12 | 8 | 7 | 11 | 21 | 13 | 19 | 13 | 9 | 11 | 7 | |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | 1 | 2 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 420-2 | モズ♀ | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| 420-4 | モズ不明 | 2 | 2 | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| 536-1 | ルリビタキ♂ | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 536-2 | ルリビタキ♀型 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 536-3 | ルリビタキ不明 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 4 | | 1 | 3 | | | | | | | | 4 | 2 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 14.片倉城跡公園、湯殿川(時田大橋~住吉橋)

担当者氏名: 浜野建男

調査者記号: H:浜野建男 HC:浜野知恵子 TA:玉木 OO:大野

| 第7版番号(新) | 月*日 開始時:分 終了時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | | 1/5 | 2/1 | 3/4 | 4/2 | 5/2 | 6/4 | 7/3 | 8/1 | 9/4 | 10/6 | 11/4 | 12/5 |
| | | | 8:00 9:59 晴 H,HC | 8:05 10:05 晴 H,HC | 8:00 9:47 晴 H,HC | 8:00 9:53 晴 H,HC | 8:00 9:43 晴 H,HC,T A,OO | 8:00 9:33 晴 H,HC | 8:00 9:10 曇 H,HC | 7:45 9:00 晴 H,HC | 8:00 9:40 晴 H,HC | 8:00 9:14 小雨 H,HC | 8:00 9:53 晴 H,HC | 8:00 9:35 晴 H,HC |
| 32 | カルガモ | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | 4 | |
| 74 | キジバト | 15 | 15 | 11 | 12 | 6 | 5 | 5 | 6 | 7 | 5 | 3 | 6 | 8 |
| 127 | カワウ | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 144 | アオサギ | 2 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 146 | ダイサギ | 3 | | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | 3 |
| 342 | トビ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 354 | ツミ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 356 | オオタカ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 383 | カワセミ | 2 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 2 | 2 |
| 390 | コゲラ | 4 | 1 | 4 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 393 | アカゲラ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 397 | アオゲラ | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | |
| 420 | モズ | 5 | | 1 | 5 | 1 | | | | 1 | | 2 | 2 | 1 |
| 435 | ハシボソガラス | 20 | 10 | 12 | 4 | 6 | 14 | 20 | 13 | 4 | 13 | | 11 | 6 |
| 436 | ハシブトガラス | 13 | 7 | 5 | 6 | 13 | 10 | 3 | 3 | 7 | 10 | 7 | 4 | 9 |
| 438 | クウイタダキ | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 442 | ヤマガラ | 4 | 3 | 4 | | 3 | 3 | | | | | 1 | 4 | 1 |
| 445 | シジュウカラ | 16 | 14 | 13 | 10 | 8 | 7 | 16 | 7 | 4 | 5 | 3 | 11 | 6 |
| 457 | ツバメ | 5 | | | | 1 | 5 | 2 | 2 | 1 | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 24 | 24 | 13 | 10 | 15 | 6 | 7 | 13 | 9 | 9 | 23 | 17 | 19 |
| 464 | ウグイス | 5 | 1 | | 4 | 4 | 5 | 2 | 3 | 1 | | | 2 | 4 |
| 466 | エナガ | 25 | 3 | 3 | 6 | 1 | | 25 | | 3 | 5 | 5 | 10 | 2 |
| 485 | メジロ | 19 | 10 | 18 | 19 | 7 | 2 | 2 | 3 | 5 | 3 | 5 | 16 | 15 |
| 506 | ムクドリ | 40 | 12 | 15 | 6 | 25 | 40 | 22 | 5 | 16 | | | | 2 |
| 521 | シロハラ | 2 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| 525 | ツグミ | 10 | 5 | 8 | 10 | 5 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |
| 549 | イソヒヨドリ | 2 | | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 |
| 558 | キビタキ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 569 | スズメ | 9 | | | 2 | | 2 | 5 | 4 | 4 | 9 | | | 2 |
| 573 | キセキレイ | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 574 | ハクセキレイ | 2 | | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| 575 | セグロセキレイ | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 587 | カワラヒワ | 3 | | 3 | | | | 3 | | | | | 3 | |
| 600 | シメ | 6 | 4 | 6 | 1 | 3 | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 20 | | 20+ | 10 | 2 | | | | 1 | 5 | | 3 | 7 |
| 624 | アオジ | 6 | 6 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | 3 |
| | 出現総羽数 | | 122 | 151 | 117 | 112 | 106 | 117 | 64 | 64 | 69 | 54 | 101 | 95 |
| | 種類数 | 37 | 18 | 24 | 22 | 22 | 15 | 16 | 14 | 14 | 14 | 12 | 18 | 20 |
| | 不明鳥 ケラSP | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 901 | コジュケイ | 8 | 1 | 8 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 8 | | | | 3 | 4 | 4 | | | 5 | | 8 | 3 |
| 909 | ガビチョウ | 6 | 5 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 2 | 4 | 2 | 6 | 1 |
| 420-1 | モズ♂ | 4 | | 1 | 4 | | | | | | | 2 | 1 | 1 |
| 420-2 | モズ♀ | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 420-4 | モズ不明 | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |

2024年定期カウント報告

調査コース:15.長沼公園

担当者氏名:門口一雄

調査者記号:k 門口一雄、kh 門口裕子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1/6 | 2/13 | 3/5 | 4/11 | 5/3 | 6/6 | 7/4 | 8/1 | 9/10 | 10/11 | 11/13 | 12/8 |
| | | | 8:00 | 8:30 | 8:30 | 9:20 | 8:10 | 8:50 | 8:10 | 7:30 | 8:00 | 8:00 | 8:00 | 8:30 |
| | | | 11:30 | 11:00 | 11:45 | 12:20 | 12:00 | 12:00 | 10:50 | 9:30 | 11:30 | 11:30 | 11:30 | 11:30 |
| | | | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 曇 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 | 晴 |
| | | | K,Kh | K | K,Kh | k | k,kh | k、Kh | K | k | k、kh | k、kh | k、kh | k、kh |
| 74 | キジバト | 13 | 4 | 9 | 6 | 5 | 6 | 2 | 3 | 7 | 13 | 1 | | 1 |
| 185 | ホトギス | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 342 | トビ | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | 2 | | | | | 1 |
| 356 | オオタカ | 2 | | | 2 | 1 | 1 | | | 1 | | | | |
| 390 | コゲラ | 14 | 2 | 3 | 6 | 14 | 7 | 9 | 2 | | 4 | 6 | 7 | 9 |
| 393 | アカゲラ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 397 | アオゲラ | 4 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | |
| 418 | サンコウチョウ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 420 | モズ | 2 | 1 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 427 | カケス | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | | |
| 435 | ハシボソガラス | 10 | 2 | 7 | 7 | 6 | 6 | 10 | 4 | 2 | 2 | 3 | 3 | |
| 436 | ハシブトガラス | 16 | 3 | 6 | 8 | 16 | 6 | 7 | 11 | 5 | 11 | 10 | 8 | 5 |
| 442 | ヤマガラ | 8 | 8 | 5 | 8 | 2 | 1 | 4 | | 1 | 4 | 5 | 4 | 2 |
| 445 | シジュウカラ | 26 | 4 | 8 | 10 | 14 | 16 | 20 | 14 | 5 | 17 | 12 | 26 | 16 |
| 457 | ツバメ | 2 | | | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 55 | 34 | 19 | 12 | 48 | 25 | 41 | 41 | 27 | 14 | 55 | 40 | 44 |
| 464 | ウグイス | 35 | 8 | 7 | 14 | 35 | 31 | 27 | 32 | 18 | 2 | 2 | 12 | 3 |
| 466 | エナガ | 34 | 14 | 6 | 9 | 4 | 10 | 21 | 4 | | | | 15 | 34 |
| 485 | メジロ | 52 | 37 | 13 | 12 | 33 | 17 | 38 | 52 | 6 | 26 | 20 | 24 | 26 |
| 504 | ミソサザイ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 506 | ムクドリ | 16 | | 4 | 2 | | 16 | 3 | 3 | | | | | |
| 521 | シロハラ | 4 | 1 | 1 | 4 | | | | | | | | 1 | |
| 525 | ツグミ | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 540 | ジョウビタキ | 3 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | 2 | 2 |
| 558 | キビタキ | 5 | | | | | 5 | 3 | 3 | | | | | |
| 569 | スズメ | 20 | | 2 | 3 | 4 | 2 | 2 | 2 | 3 | | 20 | 4 | |
| 573 | キセキレイ | 2 | | | | | 2 | | | 2 | | | 1 | 2 |
| 574 | ハクセキレイ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 575 | セグロセキレイ | 2 | | 2 | | | | | | | | | 1 | |
| 587 | カワラヒワ | 5 | | 4 | 1 | 3 | 2 | 5 | 2 | | | | | |
| 599 | ウソ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 30 | | 2 | 30 | | | 2 | 1 | | | | | |
| 617 | カシラダカ | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 9 | 6 | 9 | 7 | | | | | | | | | 2 |
| | 出現総羽数 | 385 | 132 | 116 | 149 | 190 | 157 | 201 | 181 | 79 | 96 | 138 | 151 | 148 |
| | 種類数 | 34 | 18 | 22 | 23 | 16 | 19 | 19 | 18 | 12 | 11 | 14 | 16 | 14 |
| | 不明鳥-1 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 901 | コジュケイ | 7 | 3 | 2 | 6 | 2 | 2 | 4 | 3 | 7 | | 3 | 4 | |
| 903 | カワラバト(ドバト) | 15 | | 15 | | | | | | | | | | |
| 909 | ガビチョウ | 61 | 9 | 11 | 19 | 48 | 61 | 52 | 39 | 28 | 27 | 28 | 30 | 8 |
| 910 | ソウシチョウ | 10 | | | 2 | 5 | 4 | | 4 | | 4 | 10 | | 4 |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | | 1 |
| 420-4 | モズ不明 | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 2 | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 1 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 599*2 | アカウソ | 2 | | 2 | | | | | | | | | | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 16.高尾山(小仏川コース)

担当者氏名: 千葉槇子

調査者記号: C・千葉槇子、EM・前田恵美子、MK・門倉美登利、O・大石茂雄、SH・浜田早苗、TM・村林徳子、KH原田佳世、

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| | | | 1/3 | 2/14 | 3/11 | 4/6 | 5/3 | 6/12 | 7/3 | 8/6 | 9/5 | 10/2 | 11/6 | 12/4 |
| | | | 8:00 9:50 曇 | 8:00 9:35 晴 | 8:00 9:50 晴 | 8:00 9:40 晴 | 8:00 9:55 晴 | 8:00 9:50 晴 | 8:00 10:00 晴 | 8:00 9:15 晴 | 8:00 9:25 晴 | 8:00 10:20 晴 | 8:00 9:35 曇 | 8:00 9:45 晴 |
| | | O、SH、 MK、C | O、EM、 TM、C | SH、 EM、C | O、EM、 TM、C | TM、C | O、TM、 EM、C | O、EM、 TM、C | EM、C | O、EM、 KH、 TM、C | O、EM、 TM、C | O、EM、 TM、C | O、EM、 TM、C | |
| 32 | カルガモ | 2 | | | | | | | | | 2 | | | |
| 74 | キジバト | 2 | 2 | | | 2 | | | | | | | | |
| 144 | アオサギ | 2 | | | | | | | 1 | | | | 2 | |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 15 | 15 | | | | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 11 | | 1 | | 6 | 1 | | 3 | 5 | 7 | 6 | 11 | |
| 383 | カワセミ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 390 | コゲラ | 4 | | | 2 | 4 | | | | | | 1 | 4 | 1 |
| 420 | モズ | 2 | | 1 | | | | | | | | 2 | | 1 |
| 427 | カケス | 4 | | | | | | | | | | | 4 | |
| 435 | ハシボソガラス | 8 | 6 | 8 | | 2 | | | 2 | | 1 | | | |
| 436 | ハシブトガラス | 13 | 4 | | 4 | | | 1 | 4 | | | 2 | 13 | 3 |
| 442 | ヤマガラ | 7 | 4 | | 2 | 2 | 1 | | | | | 1 | 7 | |
| 445 | シジュウカラ | 18 | 18 | 6 | 11 | 4 | 5 | 3 | 1 | 4 | 2 | 2 | 11 | 4 |
| 457 | ツバメ | 16 | | | | 16 | 2 | 5 | 10 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 24 | 24 | 5 | 4 | 14 | 1 | 7 | 4 | 6 | 3 | 9 | 7 | 9 |
| 464 | ウグイス | 8 | | | 1 | 2 | 6 | 8 | | 5 | | | | 1 |
| 465 | ヤブサメ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 466 | エナガ | 22 | | | | | | | | | | | 22 | |
| 485 | メジロ | 32 | 6 | 5 | 32 | 2 | 2 | | | 2 | 10 | 1 | 7 | |
| 506 | ムクドリ | 7 | | | | | | | | | | | 7 | |
| 512 | カワガラス | 2 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 540 | ジョウビタキ | 4 | 2 | 1 | 4 | | | | | | | | 4 | 1 |
| 552 | エソビタキ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 558 | キビタキ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 569 | スズメ | 5 | | | | 5 | | | 1 | | | 1 | | |
| 573 | キセキレイ | 6 | 1 | 1 | 3 | | | 6 | | | | 2 | | 3 |
| 574 | ハクセキレイ | 3 | | 3 | | | | | | | | | | 1 |
| 587 | カワラヒワ | 7 | | 3 | 2 | | | | | | | 1 | | 7 |
| 610 | ホオジロ | 2 | | | | | | | | | | | | 2 |
| 617 | カシラダカ | 1 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 624 | アオジ | 12 | 6 | 12 | 6 | | | | | | | | | 6 |
| | 出現総羽数 | | 89 | 46 | 71 | 59 | 19 | 31 | 27 | 22 | 25 | 30 | 99 | 41 |
| | 種類数 | 32 | 12 | 11 | 11 | 11 | 8 | 7 | 9 | 5 | 6 | 13 | 12 | 13 |
| 901 | コジュケイ | 2 | | | 2 | | 1 | | | | 1 | | | |
| 909 | ガビチョウ | 2 | | | 2 | 2 | 1 | | 2 | | | | 1 | |
| 420-1 | モズ♂ | 2 | | | | | | | | | | 2 | | |
| 420-2 | モズ♀ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | 1 | 1 | 4 | | | | | | | | | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 4 | | | | | | | | | | | 4 | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 17.高尾山(蛇滝コース)

担当者氏名: 千葉禎子

調査者記号: C: 千葉禎子、O: 大石茂雄、SH: 浜田早苗、MK: 門倉美登利、TM: 村林徳子、EM: 前田恵美子、KH: 原田佳世、

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|
| | | | 1/3 | 2/14 | 3/11 | 4/6 | 5/3 | 6/12 | 7/3 | 8/9 | 9/5 | 10/2 | 11/6 | 12/4 |
| | | | 9:50 15:20 曇 | 9:35 15:40 晴 | 9:50 15:15 晴 | 9:40 0:00 晴 | 9:55 16:00 晴 | 9:50 0:00 晴 | 10:00 16:00 晴 | 9:15 15:15 晴 | 9:25 14:50 晴 | 14:50 15:30 晴 | 9:35 15:10 曇 | 9:45 15:15 晴 |
| 74 | キジバト | 2 | | | 2 | | | | | | | 2 | 1 | |
| 185 | ホトトギス | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| 193 | ヒメアマツバメ | 10 | 10 | | | | | | | | | | | |
| 342 | トビ | 3 | | | 3 | | | | | 1 | 3 | 3 | | |
| 358 | ノスリ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 390 | コゲラ | 10 | 10 | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | 2 | | | 3 | | 4 |
| 393 | アカゲラ | 2 | | | 2 | | | | | | | | 1 | |
| 397 | アオゲラ | 2 | 1 | | | | 1 | | | | | 2 | | |
| 418 | サンコウチョウ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 427 | カケス | 2 | 2 | | 2 | 2 | | 1 | | | | 2 | 2 | |
| 435 | ハシボソガラス | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | | |
| 436 | ハシブトガラス | 6 | 6 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 4 | 3 | 1 | 3 | 3 |
| 442 | ヤマガラ | 12 | 12 | | 4 | 4 | | | | | | 3 | 7 | 5 |
| 443 | ヒガラ | 6 | | | 1 | 2 | 1 | | | | | 2 | 6 | |
| 445 | シジュウカラ | 14 | 14 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | | 2 | 2 | 3 |
| 463 | ヒヨドリ | 14 | 14 | 5 | 2 | 2 | 3 | 4 | 5 | 8 | 6 | 12 | 5 | 4 |
| 464 | ウグイス | 11 | 1 | | 2 | 8 | 8 | 3 | 11 | 7 | 1 | 3 | 1 | 1 |
| 465 | ヤブサメ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 466 | エナガ | 27 | 20 | | 8 | 2 | | | | | | 12 | 27 | 18 |
| 480 | センダイムシクイ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 485 | メジロ | 12 | 10 | 7 | | 2 | | 2 | 1 | | 2 | 12 | | 6 |
| 501 | ヒレンジャク | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 536 | ルリビタキ | 3 | 3 | | | | | | | | | | | |
| 558 | キビタキ | 7 | | | | | 7 | 4 | 6 | | | | | |
| 561 | オオルリ | 2 | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | |
| 573 | キセキレイ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 574 | ハクセキレイ | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | 1 | 1 |
| 575 | セグロセキレイ | 2 | | | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 599 | ウソ | 3 | 2 | | 3 | 2 | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 624 | アオジ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 出現総羽数 | | 105 | 19 | 36 | 31 | 26 | 26 | 33 | 22 | 18 | 59 | 60 | 47 |
| | 種類数 | 31 | 13 | 6 | 13 | 11 | 10 | 13 | 10 | 5 | 7 | 13 | 15 | 10 |
| 909 | ガビチョウ | | 2 | | | | 2 | | | 6 | | 1 | | |
| 536-3 | ルリビタキ不明 | | 3 | | | | | | | | | | | |

2024年定期カウント報告

調査コース:18.高尾山(琵琶滝コース)

担当者氏名:菅野桂子 加藤岸男

調査者記号:k菅野桂子 kk加藤岸男 ik石橋公子 ne西村恵里子 hk原田佳世 as青木静子 un宇都宮信子 yy横山由美子
st佐藤恒子 ht畠山忠男 kh兼子裕行

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|---|--|---|---|--|---|--|---|--|---|--|-------------------------------------|
| | | | 1/11 9:00 13:45 曇り k kk ik ne hk | 2/1 9:00 14:30 曇/晴 k kk ne hk as un yy | 3/7 9:00 13:50 曇り k kk ik ne yy st ht | 4/11 9:05 14:20 晴れ k kk ik ne un st | 5/2 9:00 14:00 曇/晴 k kk ne kh | 6/6 9:00 14:30 曇り k kk ik ne hk yy st | 7/4 9:00 14:30 晴れ k kk ik as st | 8/1 8:00 13:00 晴れ k kk ik st | 9/5 9:00 14:00 晴れ k kk ik ne yy | 10/3 8:50 14:05 曇り k kk ne st 会員外 1名 | 11/7 8:55 14:10 晴れ k kk st | 12/6 8:50 13:30 快晴 k kk |
| 32 | カルガモ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 74 | キジバト | 3 | 3 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | | 3 | 1 | |
| 78 | アオバト | 1 | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 144 | アオサギ | 1 | | | | | | | 1 | | | 1 | | |
| 146 | ダイサギ | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 185 | ホトギス | 2 | | | | | | 1 | 2 | | | | | |
| 342 | トビ | 5 | | | 3 | | | | 1 | | 4 | 2 | 5 | |
| 357 | サシバ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 390 | コゲラ | 6 | 3 | 6 | 5 | 4 | 2 | 1 | 4 | 1 | 2 | 4 | 2 | 5 |
| 393 | アカゲラ | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | |
| 397 | アオゲラ | 2 | | | | 1 | 2 | 1 | | 2 | | 2 | 2 | 1 |
| 412 | サンショウクイ | 6 | | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | | | 6 | | |
| 418 | サンコウチョウ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 427 | カケス | 7 | | 1 | 3 | 1 | | 2 | | | 2 | 7 | 5 | |
| 435 | ハシボソガラス | 4 | | | | 1 | | | | 1 | | 4 | 3 | 1 |
| 436 | ハシブトガラス | 10 | 10 | 3 | 8 | 3 | | 5 | 4 | 3 | 4 | 2 | 2 | 3 |
| 442 | ヤマガラス | 17 | 11 | 17 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | | | 4 | 3 | 7 |
| 443 | ヒガラ | 6 | | 4 | 3 | 6 | 3 | | 2 | | | | 2 | |
| 445 | シジュウカラ | 15 | 10 | 9 | 7 | 7 | 5 | 8 | 11 | 4 | 15 | 7 | 6 | 2 |
| 457 | ツバメ | 4 | | | | | | 1 | 4 | 4 | | | | |
| 461 | イワツバメ | 30 | | | | 9 | 20± | 30± | 20± | 3 | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 63 | 21 | 63 | 26 | 10 | 14 | 16 | 22 | 29 | 15 | 37 | 17 | 17 |
| 464 | ウグイス | 18 | 1 | 2 | 6 | 17 | 18 | 11 | 17 | 16 | 1 | 4 | 2 | |
| 465 | ヤブサメ | 3 | | | | | 3 | 3 | 3 | | | | | |
| 466 | エナガ | 32 | 22 | 24 | 6 | 4 | | | 3 | | 10 | 20 | | 32 |
| 485 | メジロ | 29 | 20 | 20 | 16 | 15 | 14 | 15 | 22 | 12 | 29 | 20 | 25 | 15 |
| 504 | ミソサザイ | 2 | 1 | | 2 | | | | | | | | | |
| 518 | クロツグミ | 3 | | | | | 2 | 3 | 3 | 1 | | | | |
| 536 | ルリビタキ | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 2 |
| 540 | ジョウビタキ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 549 | イソヒヨドリ | 2 | 1 | | | | | | | | 2 | 1 | | |
| 554 | コサメビタキ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 558 | キビタキ | 10 | | | | | 10 | 10 | 6 | | | | | |
| 561 | オオルリ | 3 | | | | 2 | 3 | | 2 | | | | | |
| 569 | スズメ | 12 | | 12 | | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 573 | キセキレイ | 2 | | | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 |
| 574 | ハウセキレイ | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| 575 | セグロセキレイ | 2 | 2 | | 1 | 2 | | 1 | | 1 | | 2 | 2 | 2 |
| 599 | ウソ | 6 | | 4 | 6 | | | | | | | | | |
| 602 | イカル | 3 | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 2 | 2 | | 2 | | |
| 625 | クロジ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 出現総羽数 | 323 | 110 | 170 | 104 | 97 | 105 | 122 | 137 | 86 | 89 | 132 | 81 | 91 |
| | 種類数 | 41 | 16 | 16 | 19 | 22 | 18 | 24 | 22 | 17 | 15 | 22 | 17 | 15 |
| 909 | ガビチョウ | 3 | | | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 3 | |
| 910 | ソウシチョウ | 14 | 1 | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 14 | 5 | 2 | 8 | |
| 412-1 | 亜種サンショウクイ | | | | | | 2 | 2 | | | | | | |
| 412-2 | 亜種リュウキュウス | | | 1 | 2 | 2 | | | 3 | | | 6 | | |
| 536-3 | ルリビタキ不明 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 2 |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 599*2 | アカウン | 3 | | 1 | 3 | | | | | | | | | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 19.高尾山(大垂水コース)

担当者氏名: 加藤岸男

調査者記号: kk加藤岸男 tm玉木雅治 ik石橋公子

| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1/5 | 2/2 | 3/1 | 4/2 | 5/3 | 6/5 | 7/3 | 8/9 | 9/2 | 10/1 | 11/1 | 12/2 |
| | | | 9:00 | 9:00 | 9:00 | 8:05 | 8:00 | 7:50 | 7:55 | 7:55 | 7:50 | 8:50 | 7:55 | 8:55 |
| | | | 12:25 | 12:20 | 12:10 | 10:50 | 10:45 | 10:40 | 11:30 | 10:50 | 10:30 | 12:15 | 11:15 | 12:20 |
| | | | 快晴 | 曇り | 曇/晴 | 晴れ | 快晴 | 晴れ | 曇/晴 | 晴れ | 快晴 | 曇り | 曇り | 快晴 |
| | | | kk tm | kk tm ik | kk tm | kk | kk | kk | kk tm | kk tm | kk | kk tm | kk tm | kk tm |
| 32 | カルガモ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 74 | キジバト | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | | 1 | 1 | 6 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| 78 | アオバト | 2 | | | | | | | 2 | | | | | |
| 146 | ダイサギ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 185 | ホトギス | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| 187 | ツツドリ | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 342 | トビ | 2 | | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 358 | ノスリ | 1 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| 390 | コゲラ | 7 | 5 | 1 | 7 | 3 | 1 | 1 | 4 | | | 4 | 1 | 3 |
| 397 | アオゲラ | 3 | 1 | | 2 | 3 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 412 | サンショウクイ | 2 | | | | | 2 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | |
| 418 | サンコウチョウ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 420 | モズ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 427 | カケス | 8 | 1 | 2 | 5 | 4 | 1 | | | 1 | 3 | 7 | 8 | |
| 436 | ハシトガラス | 18 | 4 | 2 | 4 | 1 | 2 | 4 | 6 | 4 | 18 | 3 | 3 | 3 |
| 438 | キクイタダキ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 442 | ヤマガラ | 7 | 5 | 2 | 7 | 5 | 2 | 1 | 3 | 1 | 5 | | 3 | 7 |
| 443 | ヒガラ | 8 | 1 | | | 8 | 2 | | | 1 | | 2 | | |
| 445 | シジュウカラ | 19 | 15 | 3 | 18 | 13 | 10 | 6 | 5 | 7 | 7 | 7 | 12 | 19 |
| 457 | ツバメ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 463 | ヒヨドリ | 29 | 26 | 14 | 24 | 8 | 25 | 29 | 29 | 16 | 14 | 22 | 22 | 21 |
| 464 | ウグイス | 23 | 3 | | 10 | 23 | 20 | 18 | 21 | 11 | 1 | 6 | 8 | 6 |
| 465 | ヤブサメ | 6 | | | | | | 3 | 6 | | | | | |
| 466 | エナガ | 36 | 36 | 7 | 8 | 8 | | | 7 | | 10 | 6 | 2 | 26 |
| 480 | センダイムシクイ | 4 | | | | 2 | 4 | 3 | 2 | | 1 | | | |
| 485 | メジロ | 41 | 12 | 14 | 16 | 11 | 9 | 12 | 23 | 6 | 11 | 41 | 17 | 11 |
| 504 | ミソサザイ | 6 | 5 | 6 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | |
| 514 | トラツグミ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | |
| 518 | クロツグミ | 5 | | | | | 2 | 3 | 5 | | | | | |
| 521 | シロハラ | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| 536 | ルリビタキ | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 |
| 540 | ジョウビタキ | 7 | 3 | 4 | 3 | | | | | | | | 5 | 7 |
| 558 | キビタキ | 8 | | | | | 6 | 8 | 5 | | | | | |
| 561 | オオルリ | 4 | | | | | 4 | 1 | | | | | | |
| 569 | スズメ | 3 | | | | | | 3 | | | | | | |
| 573 | キセキレイ | 4 | 1 | | 1 | 4 | 3 | 4 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 587 | カワラヒワ | 2 | | | | | | 2 | | | | | | |
| 599 | ウソ | 2 | | | | 2 | | | | | | | | |
| 600 | シメ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 602 | イカル | 2 | | | | 1 | | 2 | | | | | 1 | |
| 610 | ホオジロ | 3 | | 2 | 1 | | | 1 | 3 | | | 2 | | |
| 624 | アオジ | 3 | 1 | | 3 | 1 | | | | | | | 1 | 2 |
| | 出現総羽数 | | 126 | 63 | 118 | 101 | 96 | 108 | 128 | 56 | 77 | 106 | 93 | 113 |
| | 種類数 | 42 | 18 | 15 | 21 | 19 | 17 | 22 | 20 | 12 | 14 | 14 | 20 | 14 |
| 901 | コジュケイ | | | | | | | 2 | | | 3 | | | |
| 909 | ガビチョウ | | 2 | | 1 | 1 | 4 | 2 | 1 | 4 | 2 | 2 | 5 | 1 |
| 910 | ソウシチョウ | | | | | | | | | | 3 | | 7 | |
| 412-1 | 亜種サンショウクイ | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 412-2 | 亜種リュウキュウス | 1 | | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| 412-3 | 亜種区分不明 | 2 | | | | | 2 | | 2 | | | | | |
| 420-2 | モズ♀ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 536-3 | ルリビタキ不明 | 4 | 4 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 540-2 | ジョウビタキ♀ | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 6 | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | 4 | 6 |
| 599*2 | アカウソ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |

2024年定期カウント報告

調査コース: 20.高尾山(日影沢コース)

担当者氏名: 柚木育子

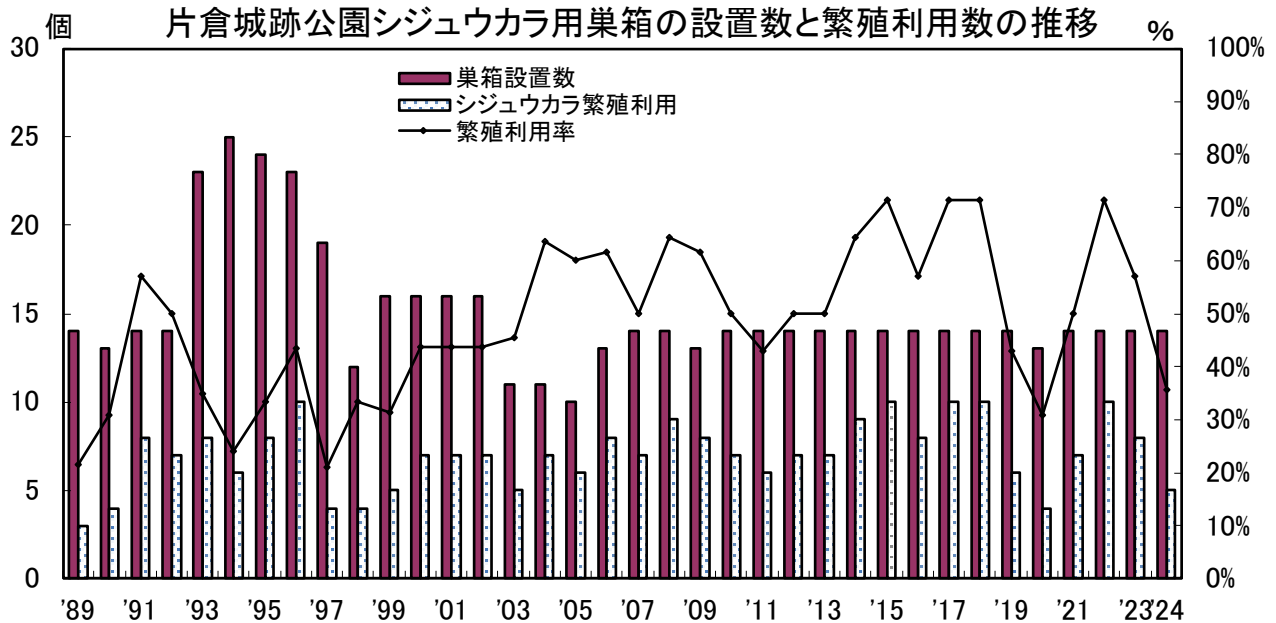
| 第7版番号(新) | 月*日 開始 時:分 終了 時:分 天候(前後) 調査者記号 | 年最大値 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|----------|--|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|-------|
| | | | 1/6 | 2/8 | 3/4 | 4/8 | 5/9 | 6/1 | 7/5 | 8/6 | 9/6 | 10/13 | 11/7 | 12/2 |
| | | | 7:10 | 7:30 | 7:05 | 6:15 | 5:50 | 5:45 | 5:15 | 5:20 | 6:00 | 6:25 | 6:00 | 7:15 |
| | | | 11:15 | 12:05 | 11:10 | 11:00 | 10:10 | 10:10 | 9:05 | 9:00 | 9:55 | 10:40 | 11:15 | 11:40 |
| | | | 晴れ | 曇り | 晴れ | 曇り | 小雨 | 曇り | 晴れ | 曇り | 晴れ | 晴れ | 晴れ | 晴れ |
| | | | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 | 柚木育子 |
| 4 | ヤマドリ | 1 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 74 | キジバト | 4 | | | 2 | | | | 4 | 3 | 2 | | | |
| 78 | アオバト | 3 | | | | | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | | | |
| 185 | ホトトギス | 3 | | | | | | 3 | 2 | | | | | |
| 187 | ツツドリ | 2 | | | | | 2 | 1 | | | | | | |
| 342 | トビ | 1 | | | | | | | 1 | | | | | |
| 390 | コゲラ | 9 | 2 | 4 | | 7 | 3 | 4 | 2 | 5 | 2 | 2 | 9 | 1 |
| 397 | アオゲラ | 4 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | 2 | | 3 | 4 | 3 | | |
| 412 | サンショウクイ | 3 | | | | | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| 418 | サンコウチョウ | 3 | | | | | 1 | 3 | 2 | | | | | |
| 420 | モズ | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 427 | カケス | 9 | | 3 | | 9 | | | 2 | | 1 | 9 | 9 | |
| 435 | ハシボソガラス | 2 | 2 | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | 1 |
| 436 | ハシブトガラス | 7 | 3 | 7 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 6 | 2 |
| 442 | ヤマガラ | 16 | 16 | 12 | 14 | 16 | 9 | 11 | 10 | 6 | 14 | 14 | 16 | 5 |
| 443 | ヒガラ | 8 | 3 | 1 | 6 | 8 | 3 | 4 | 3 | 3 | 3 | 2 | 4 | |
| 445 | シジュウカラ | 14 | 11 | 14 | 4 | 9 | 5 | 8 | 3 | 6 | 4 | 8 | 10 | 4 |
| 463 | ヒヨドリ | 31 | 16 | 18 | 13 | 31 | 13 | 24 | 16 | 12 | 19 | 24 | 18 | 11 |
| 464 | ウグイス | 28 | | | 13 | 21 | 25 | 28 | 17 | 15 | 9 | 5 | 10 | 3 |
| 465 | ヤブサメ | 11 | | | | 7 | 7 | 11 | 5 | 8 | | | | |
| 466 | エナガ | 17 | 9 | 2 | 7 | 13 | 17 | 4 | 3 | | 5 | | | 2 |
| 480 | センダイムシクイ | 3 | | | | | 3 | | | | | | | |
| 485 | メジロ | 22 | 13 | 21 | 8 | 14 | 9 | 20 | 15 | | 8 | 22 | 22 | 20 |
| 504 | ミソサザイ | 4 | 2 | 4 | 4 | 2 | | | | 1 | | | | 3 |
| 514 | トラツグミ | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| 518 | クロツグミ | 7 | | | | 5 | 3 | 7 | 7 | 4 | | | | |
| 536 | ルリビタキ | 6 | 6 | 1 | | | | | | | | | | 5 |
| 540 | ジョウビタキ | 2 | | 1 | | | | | | | | | 2 | |
| 558 | キビタキ | 15 | | | | | 12 | 15 | 7 | | | | | |
| 561 | オオルリ | 4 | | | | 1 | 3 | 3 | 4 | 1 | | | | |
| 573 | キセキレイ | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| 588 | マヒワ | 3 | | | | 3 | | | | | | | | |
| 599 | ウソ | 6 | 2 | 2 | 6 | 2 | | | | | | | | 1 |
| 602 | イカル | 11 | | | | 11 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | | 1 | |
| 610 | ホオジロ | 4 | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 3 |
| 617 | カシラダカ | 4 | | 4 | | | | | | | | | | |
| 624 | アオジ | 6 | | 6 | | | | | | | | | | 1 |
| | 出現総羽数 | | 88 | 106 | 86 | 172 | 128 | 162 | 114 | 76 | 76 | 94 | 111 | 62 |
| | 種類数 | 37 | 14 | 18 | 13 | 20 | 23 | 21 | 24 | 16 | 15 | 12 | 14 | 14 |
| | 不明鳥 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| 901 | コジュケイ | 3 | | 2 | | 3 | | 1 | 1 | 3 | 1 | | | |
| 909 | ガビチョウ | 15 | 7 | 7 | 2 | 11 | 8 | 8 | 9 | 6 | 15 | 4 | 4 | 5 |
| 910 | ソウシチョウ | 5 | | | | 1 | | | | 1 | | 3 | 1 | 5 |
| 412-3 | サンショウクイ亜種区分不明 | 3 | | | | | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| 420-4 | モズ不明 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| 536-2 | ルリビタキ♀型 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 536-3 | ルリビタキ不明 | 5 | 5 | 1 | | | | | | | | | | 5 |
| 540-1 | ジョウビタキ♂ | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 540-3 | ジョウビタキ不明 | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |

2024年 片倉城跡公園巣箱設置調査報告

まとめ： 浜野建男、浜野知恵子

カワセミ会が片倉城跡公園に設置している、シジュウカラ用巣箱の利用状況調査と巣箱の清掃を2024年12月8日に実施した。調査には湯殿川探鳥会に参加した23名の会員が参加した。

結果は下図推移のとおり、繁殖に利用した巣は5個で繁殖利用率は36%、例年よりかなり少ない。



今年の特徴

- ① 林縁部に設置した8個のうち2個、林の中に設置した6個のうち3個について繁殖利用を確認した。入り口付近や管理棟前は例年利用率が高いが、今回は利用されていなかった。今まで継続利用されていたものの昨年は利用されなかった休憩広場や北西側の住宅上部では利用があった。4月の時点で壊れていた巣箱（写真）や、落ちた巣箱があり利用率が低い原因の一つかもしれない。
- ② 巣材はコケ・しゅろ・化繊・獣毛が利用されていた。3cm～6cmの厚さで産座も確認できた。
- ③ サシガメなど越冬と思われるムシのいる巣箱がいくつかあった。
- ④ 二の丸時計付近の巣箱は落ちており、その時点で中身はカラであった。新しいものを設置した。
- ⑤ 蓮田の通りの巣箱は木が伐採され昨年付け替えたが、確認時に植木を痛める場所であったので別の場所へ移した。



八王子・日野カワセミ会の主な調査範囲



編集後記

上野の国立科学博物館で開催された‘鳥展’を見て来た。行列するほどではないが、館内は混雑していた。展示のはく製の多さにも驚いたが、鳥類目録第八版にも関係する鳥類の最新情報が所狭しと解説されていて、情報の多さに圧倒された。短時間の閲覧では全く頭に入らず、図録を購入し、じっくりと勉強したいと思う。3月からは名古屋市科学館に巡回する予定で、鳥に興味のある方はぜひ足を運んでみることをお勧めする。

浜野 建男

かわせみ

2025年3月発行 第74号

発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

題字 河村 洋子

表紙画像 キジ

表紙デザイン 青柳 圭 TEL: 042-397-3006

印刷 株式会社プリントパック

編集人 (連絡先) 浜野 建男

八王子市北野台5-14-10

hamano@mx.mesh.ne.jp